

令和6年度愛媛県職員自主研究グループ
調査研究活動成果報告書

女性の活躍、働きやすさ、 一層の職場環境の向上について

職場の未来を考える会

目 次

1. 調査の目的	5
2. 調査方法・内容	5
3. 調査期間	6
4. 調査結果について	6
(1) 全体の回答状況について	
ア 設問 1～設問 3 (所属、年齢、性別)	6
(2) 女性の活躍について	
イ 設問 4 (職場内で女性職員が増えたと思いますか?)	8
ウ 設問 5～6 (職場内で性別や年齢、役職に関わらずコミュニケーションは円滑に図られていると思いますか?)	9
エ 設問 7～8 (今の職場で女性は活躍できていると思いますか?)	11
オ 設問 9～10 (女性が活躍できる環境をさらに充実させる必要は、「ない」と思いますか?)	13
カ 設問 11 (女性が活躍できる職場環境では何が重要だと思いますか?)	15
キ 設問 12～13 (女性の管理職への登用は進んでいると思いますか?)	16
ク 設問 14～15 (職場において、女性の活躍や管理職登用に妨げになるものは「ない」と思いますか?)	18
ケ 設問 16～17 (職場は、子育てをするうえで仕事と家庭を両立しやすい環境だと思いますか?)	20
コ 設問 18～19 (職場に保育施設があれば、今よりも働きやすくなると思いますか?)	23
サ 設問 20～21 (職場に保育施設以外は、特に新たな設備・制度は必要ないと思いますか?)	25
シ 設問 22～23 (産休・育休等休暇制度の活用が自身のキャリア形成に与える影響はないと思いますか?)	27
ス 設問 24～25 (女性職員に対する職場での教育・研修環境は整っていると思いますか?)	29
セ 設問 26～27 (女性職員の能力・スキルの向上について、組織としての支援は十分だと思いますか?)	31
(3) 働きやすさについて	
ソ 設問 28～29 (職場では時差出勤やテレワークなど多様な働き方の制度が整っていると思いますか?)	33
タ 設問 30～31 (職場の福利厚生(過重労働対策、メンタル相談ほか) 制度は整っていると思いますか?)	35
チ 設問 32～33 (職場において休暇(年休、夏季休暇)は取得しやすいですか?)	37
ツ 設問 34～35 (産休・育休等休暇制度は、十分に活用できていますか?)	39
テ 設問 36～37 (職場内におけるワークシェアリングなど、休暇を取得しやすい取り組みは進んでいると思いますか?)	41
(4) 職場環境について	
ト 設問 38～39 (職場のオフィス環境に満足していますか?)	43
ナ 設問 40 (快適な職場環境では何が必要だと思いますか?(複数選択可))	45
ニ 設問 41～42 (庁内LANをはじめ様々な業務システムやツールがありますが、業務を行う上で十分だと思いますか?)	46
ヌ 設問 43～44 (職場において、キャリアアップや様々なハラスメント相談などに対応できる仕組みが整備されていますが、十分だと思いますか?)	48
5. 各自治体の調査結果について	
(1) 愛媛県の状況について	50
①年齢、性別による回答状況について	

ア 設問 2～設問 3 (年齢、性別)	50
②女性の活躍について	
イ 設問 4 (職場内で女性職員が増えたと思いますか?)	50
ウ 設問 5～6 (職場内で性別や年齢、役職に関わらずコミュニケーションは円滑に図られていると思いますか?) ...	52
エ 設問 7～8 (今の職場で女性は活躍できていると思いますか?)	53
オ 設問 9～10 (女性が活躍できる環境をさらに充実させる必要は、「ない」と思いますか?)	55
カ 設問 11 (女性が活躍できる職場環境では何が重要だと思いますか?)	56
キ 設問 12～13 (女性の管理職への登用は進んでいると思いますか?)	59
ク 設問 14～15 (職場において、女性の活躍や管理職登用に妨げになるものは「ない」と思いますか?) ...	60
ケ 設問 16～17 (職場は、子育てをするうえで仕事と家庭を両立しやすい環境だと思いますか?)	62
コ 設問 18～19 (職場に保育施設があれば、今よりも働きやすくなると思いますか?) ...	63
サ 設問 20～21 (職場に保育施設以外は、特に新たな設備・制度は必要ないと思いますか?) ...	65
シ 設問 22～23 (産休・育休等休暇制度の活用が自身のキャリア形成に与える影響はないと思いますか?)	66
ス 設問 24～25 (女性職員に対する職場での教育・研修環境は整っていると思いますか?)	68
セ 設問 26～27 (女性職員の能力・スキルの向上について、組織としての支援は十分だと思いますか?) ...	69
③働きやすさについて	
ソ 設問 28～29 (職場では時差出勤やテレワークなど多様な働き方の制度が整っていると思いますか?) ...	71
タ 設問 30～31 (職場の福利厚生(過重労働対策、メンタル相談ほか)制度は整っていると思いますか?) ...	72
チ 設問 32～33 (職場において休暇(年休、夏季休暇)は取得しやすいですか?)	74
ツ 設問 34～35 (産休・育休等休暇制度は、十分に活用できていますか?)	75
テ 設問 36～37 (職場内におけるワークシェアリングなど、休暇を取得しやすい取り組みは進んでいると思いますか?)	77
④職場環境について	
ト 設問 38～39 (職場のオフィス環境に満足していますか?)	78
ナ 設問 40 (快適な職場環境では何が必要だと思いますか?(複数選択可))	80
ニ 設問 41～42 (庁内LANをはじめ様々な業務システムやツールがありますが、業務を行う上で十分だと思いますか?)	80
ヌ 設問 43～44 (職場において、キャリアアップや様々なハラスメント相談などに対応できる仕組みが整備されていますが、十分だと思いますか?)	81
(2) 新居浜市の状況について.....	83
①年齢、性別による回答状況について	
ア 設問 2～設問 3 (年齢、性別)	83
②女性の活躍について	
イ 設問 4 (職場内で女性職員が増えたと思いますか?)	83
ウ 設問 5～6 (職場内で性別や年齢、役職に関わらずコミュニケーションは円滑に図られていると思いますか?) ...	85
エ 設問 7～8 (今の職場で女性は活躍できていると思いますか?)	85
オ 設問 9～10 (女性が活躍できる環境をさらに充実させる必要は、「ない」と思いますか?)	88
カ 設問 11 (女性が活躍できる職場環境では何が重要だと思いますか?)	90
キ 設問 12～13 (女性の管理職への登用は進んでいると思いますか?)	92
ク 設問 14～15 (職場において、女性の活躍や管理職登用に妨げになるものは「ない」と思いますか?) ...	93
ケ 設問 16～17 (職場は、子育てをするうえで仕事と家庭を両立しやすい環境だと思いますか?)	95
コ 設問 18～19 (職場に保育施設があれば、今よりも働きやすくなると思いますか?) ...	96

サ	設問 20～21 (職場に保育施設以外は、特に新たな設備・制度は必要ないと思いますか?)	…98
シ	設問 22～23 (産休・育休等休暇制度の活用が自身のキャリア形成に与える影響はないと思いますか?)	…99
ス	設問 24～25 (女性職員に対する職場での教育・研修環境は整っていると思いますか?)	…101
セ	設問 26～27 (女性職員の能力・スキルの向上について、組織としての支援は十分だと思いますか?)	…102
③働きやすさについて		
ソ	設問 28～29 (職場では時差出勤やテレワークなど多様な働き方の制度が整っていると思いますか?)	…104
タ	設問 30～31 (職場の福利厚生(過重労働対策、メンタル相談ほか)制度は整っていると思いますか?)	…105
チ	設問 32～33 (職場において休暇(年休、夏季休暇)は取得しやすいですか?)	…107
ツ	設問 34～35 (産休・育休等休暇制度は、十分に活用できていますか?)	…108
テ	設問 36～37 (職場内におけるワークシェアリングなど、休暇を取得しやすい取り組みは進んでいると思いますか?)	…110
④職場環境について		
ト	設問 38～39 (職場のオフィス環境に満足していますか?)	…111
ナ	設問 40 (快適な職場環境では何が重要だと思いますか?(複数選択可))	…113
ニ	設問 41～42 (庁内LANをはじめ様々な業務システムやツールがありますが、業務を行う上で十分だと思いますか?)	…113
ヌ	設問 43～44 (職場において、キャリアアップや様々なハラスメント相談などに対応できる仕組みが整備されていますが、十分だと思いますか?)	…114
(3) 松前町の状況について…116		
①年齢、性別による回答状況について		
ア	設問 2～設問 3 (年齢、性別)	…116
②女性の活躍について		
イ	設問 4 (職場内で女性職員が増えたと思いますか?)	…116
ウ	設問 5～6 (職場内で性別や年齢、役職に関わらずコミュニケーションは円滑に図られていると思いますか?)	…118
エ	設問 7～8 (今の職場で女性は活躍できていると思いますか?)	…119
オ	設問 9～10 (女性が活躍できる環境をさらに充実させる必要は、「ない」と思いますか?)	…121
カ	設問 11 (女性が活躍できる職場環境では何が重要だと思いますか?)	…123
キ	設問 12～13 (女性の管理職への登用は進んでいると思いますか?)	…125
ク	設問 14～15 (職場において、女性の活躍や管理職登用に妨げになるものは「ない」と思いますか?)	…126
ケ	設問 16～17 (職場は、子育てをするうえで仕事と家庭を両立しやすい環境だと思いますか?)	…128
コ	設問 18～19 (職場に保育施設があれば、今よりも働きやすくなると思いますか?)	…129
サ	設問 20～21 (職場に保育施設以外は、特に新たな設備・制度は必要ないと思いますか?)	…131
シ	設問 22～23 (産休・育休等休暇制度の活用が自身のキャリア形成に与える影響はないと思いますか?)	…132
ス	設問 24～25 (女性職員に対する職場での教育・研修環境は整っていると思いますか?)	…134
セ	設問 26～27 (女性職員の能力・スキルの向上について、組織としての支援は十分だと思いますか?)	…135
③働きやすさについて		
ソ	設問 28～29 (職場では時差出勤やテレワークなど多様な働き方の制度が整っていると思いますか?)	…137
タ	設問 30～31 (職場の福利厚生(過重労働対策、メンタル相談ほか)制度は整っていると思いますか?)	…138
チ	設問 32～33 (職場において休暇(年休、夏季休暇)は取得しやすいですか?)	…140
ツ	設問 34～35 (産休・育休等休暇制度は、十分に活用できていますか?)	…141
テ	設問 36～37 (職場内におけるワークシェアリングなど、休暇を取得しやすい取り組みは進んでいると思いますか?)	…143
④職場環境について		
ト	設問 38～39 (職場のオフィス環境に満足していますか?)	…144

ナ	設問 40 (快適な職場環境では何が必要と思いますか? (複数選択可))	146
ニ	設問 41~42 (庁内LANをはじめ様々な業務システムやツールがありますが、業務を行う上で十分だと思いますか?)	146
ヌ	設問 43~44 (職場において、キャリアアップや様々なハラスメント相談などに対応できる仕組みが整備されていますが、十分だと思いますか?)	147
(4)	八幡浜市の状況について	149
①	年齢、性別による回答状況について	
ア	設問 2~設問 3 (年齢、性別)	149
②	女性の活躍について	
イ	設問 4 (職場内で女性職員が増えたと思いますか?)	149
ウ	設問 5~6 (職場内で性別や年齢、役職に関わらずコミュニケーションは円滑に図られていると思いますか?)	151
エ	設問 7~8 (今の職場で女性は活躍できていると思いますか?)	152
オ	設問 9~10 (女性が活躍できる環境をさらに充実させる必要は、「ない」と思いますか?)	154
カ	設問 11 (女性が活躍できる職場環境では何が重要だと思いますか?)	156
キ	設問 12~13 (女性の管理職への登用は進んでいると思いますか?)	158
ク	設問 14~15 (職場において、女性の活躍や管理職登用に妨げになるものは「ない」と思いますか?)	159
ケ	設問 16~17 (職場は、子育てをするうえで仕事と家庭を両立しやすい環境だと思いますか?)	161
コ	設問 18~19 (職場に保育施設があれば、今よりも働きやすくなると思いますか?)	162
サ	設問 20~21 (職場に保育施設以外は、特に新たな設備・制度は必要ないと思いますか?)	164
シ	設問 22~23 (産休・育休等休暇制度の活用が自身のキャリア形成に与える影響はないと思いますか?)	165
ス	設問 24~25 (女性職員に対する職場での教育・研修環境は整っていると思いますか?)	167
セ	設問 26~27 (女性職員の能力・スキルの向上について、組織としての支援は十分だと思いますか?)	168
③	働きやすさについて	
ソ	設問 28~29 (職場では時差出勤やテレワークなど多様な働き方の制度が整っていると思いますか?)	170
タ	設問 30~31 (職場の福利厚生(過重労働対策、メンタル相談ほか)制度は整っていると思いますか?)	171
チ	設問 32~33 (職場において休暇(年休、夏季休暇)は取得しやすいですか?)	173
ツ	設問 34~35 (産休・育休等休暇制度は、十分に活用できていますか?)	174
テ	設問 36~37 (職場内におけるワークシェアリングなど、休暇を取得しやすい取り組みは進んでいると思いますか?)	176
④	職場環境について	
ト	設問 38~39 (職場のオフィス環境に満足していますか?)	177
ナ	設問 40 (快適な職場環境では何が必要と思いますか? (複数選択可))	179
ニ	設問 41~42 (庁内LANをはじめ様々な業務システムやツールがありますが、業務を行う上で十分だと思いますか?)	179
ヌ	設問 43~44 (職場において、キャリアアップや様々なハラスメント相談などに対応できる仕組みが整備されていますが、十分だと思いますか?)	180
6.	課題及び対策について	182
(1)	女性の活躍について	182
(2)	働きやすさについて	188
(3)	職場環境について	191
7.	おわりに	193

1. 調査の目的

ここ数年のうちに、新型コロナ対策などの影響もあって、多様な働き方なども含めて、働き方改革は大きく進んだ一方で、全国的に人口は減少フェーズに入り、働き手の確保もこれまでにない非常に厳しい状況となりつつあります。また、多くの事業所では、これまで男性が占めていたポジションにも女性が進出し、職員構成における男女比も大きく変わりつつあります。

このような社会情勢の中、県においては、平成27年に策定した職員向けの「愛顔の子育て・女性活躍サポートプラン」を本年3月に改定したほか、平成24年策定の「愛媛県人材育成方針」についても、内容を充実させた「愛媛県人材育成・確保方針」として改定したところであり、今後は、これまで以上に女性の活躍が必要不可欠な職場になっていくだけでなく、少子化の時代において、出産や子育てにも力点をおいた、女性が働きやすく、男性も協力しやすい環境を作っていく必要があります。

また、近年は海外情勢や災害の多発、物価高騰も続くなどインフレ傾向にあり、生活費に加え子育てに必要な保育費や教育費などの家計の負担も増す中、夫婦で仕事を持ちながら安心して子育てができる安定的な社会の実現に向け、働きやすさを追求し、長く勤めたいと思える、選ばれる職場になるために、組織として様々な取り組みをしていかなければならない状況にあると考えます。

そのような取り組みに少しでも繋げていくため、今回、職員の皆様にアンケート調査を実施することとしました。アンケートの内容は、全体的な傾向を把握することを基本に、選択肢の設定に当たっては、一部の設問を除きどちらかの方向性を選択するような形をとっており、問いに対し、「はい」又は「どちらかと言えばそう思う」を肯定的な回答として、「いいえ」又は「どちらかと言えばそう思わない」を否定的な回答として扱い、傾向を分析、整理しています。また、整理に当たっては、全体の回答状況と合わせて、性別、年代別の状況の分析結果を記載することとしています。

調査に当たっては、東中南予から各1市町にもご協力を頂いており、本県だけでなく、市町職員の皆様のご意見も参考とさせていただくこととしました。

なお、今回、業務多忙の中、アンケートにご協力を頂きました職員の皆様に心から感謝申し上げます。あくまで自主研究であるということをご理解いただき、アンケートにお答えいただく際に、アンケートの各項目について趣旨が十分に伝わらなかったことや、拙いまとめ方に終始しましたこと、ご容赦いただければと思います。

2. 調査方法・内容

調査は、一般行政職員を対象としたアンケート方式で実施しています。また、実施に当たり、県だけでなく、東予（新居浜市）、中予（松前町）、南予（八幡浜市）の各1市町にも協力をいただき、同様のアンケートを実施しました。アンケートの内容には、基本的に3つの項目が含まれています。

【項目】

- ① 女性の活躍
- ② 働きやすさ

③ 職場環境について

質問は、それぞれの項目に関して、職員の方々がどのように感じているか、その傾向を把握するための基礎的な調査であり、特に問題意識を強く持たれている方には具体的な理由を求める形式としております。

3. 調査期間

令和6年11月25日（月）から令和6年12月13日（金）までの19日間
（※県、市町とも同時に実施）

4. 調査結果について

（1）全体の回答状況について

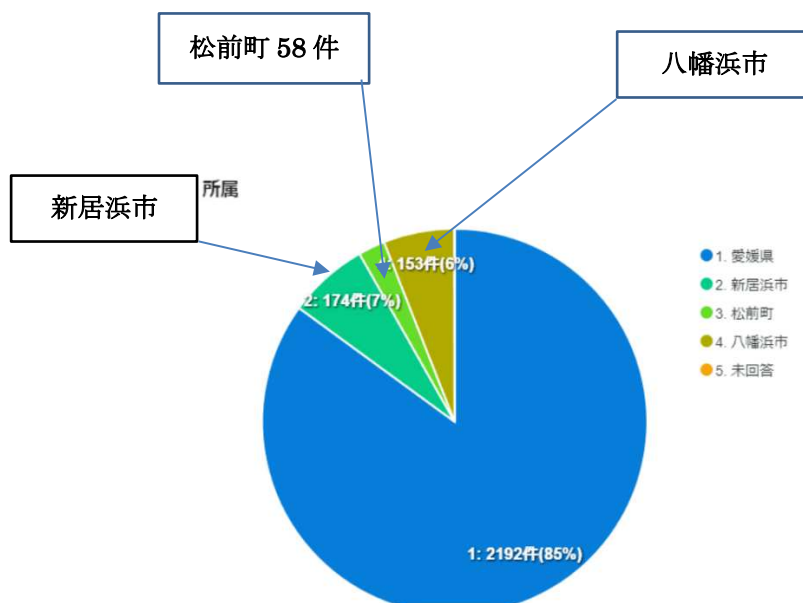
①所属、年齢、性別による回答状況について

ア 設問1～設問3（所属、年齢、性別）

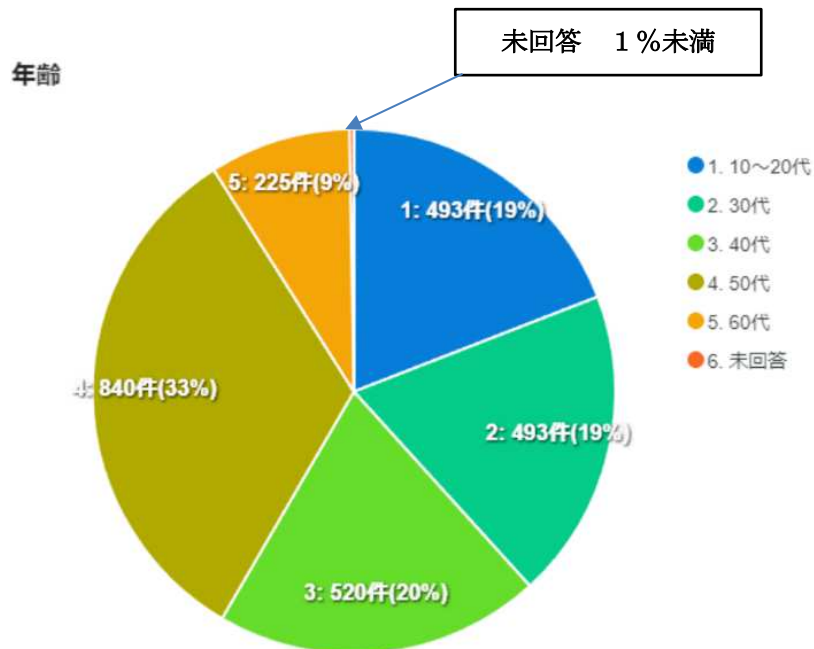
今回、県及び各市町の調査対象（母数）は正職員（一般行政職員）を基本とし、一般的なアンケートの回答数の目安として30%から40%程度の回答目標を設定したところ、以下の表のとおり、総回答数は2,577件、回答率は約50.0%となり、また、4自治体とも目標とする回答数を確保することができた。

自治体名	※調査対象数（人）	回答数（件）	回答率（%）
愛媛県	4,200	2,192	52.1
新居浜市	500	174	34.8
松前町	150	58	38.6
八幡浜市	300	153	51.0
合計	5,150	2,577	50.0

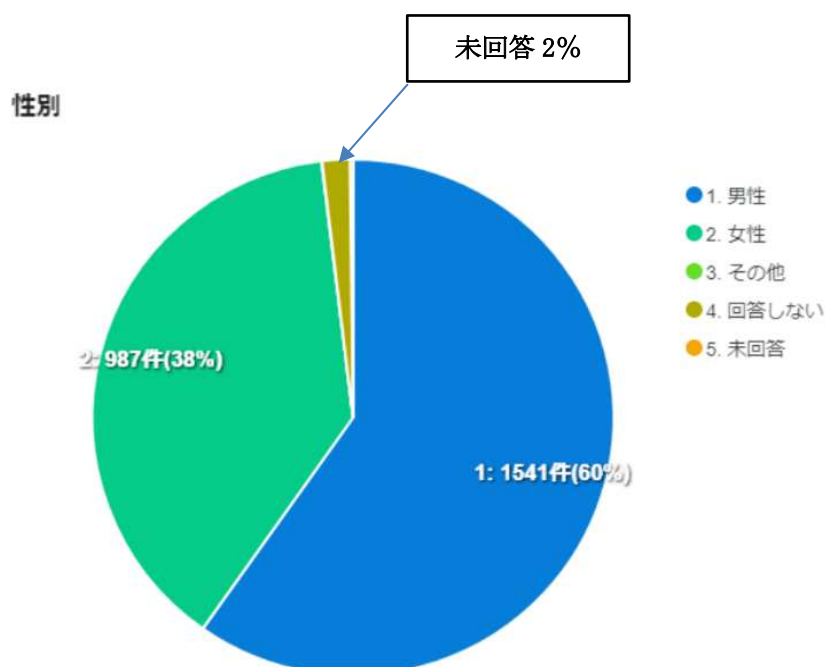
※調査対象数は県・市町の一般行政職員の公表データを参考におおよその人数で設定している。



回答いただいた方の年齢層については、50歳代の割合がやや多いものの、結果としては概ね各世代に分散して回答を頂いた。なお、60代の回答については愛媛県が回答の大半を占めており、市町の回答数が極端に少ないこともあって、傾向をつかむ上では参考にし難いことから、市町の回答に関しては参考に留めることとする。



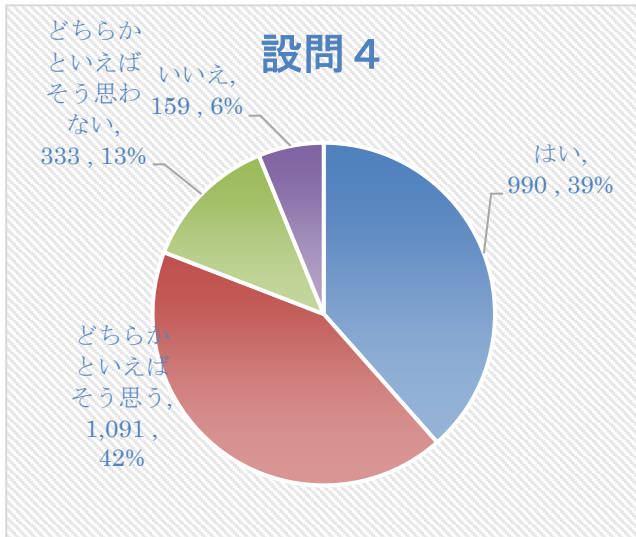
また、回答者の性別の状況については、全体の回答数に対し、男性が60%、女性が38%となっており、男女比は概ね3：2となった。



(2) 女性の活躍について

イ 設問4 (職場内で女性が増えたと思いますか?)

問いに対し、「はい」もしくは「どちらかといえばそう思う」と肯定的な回答数は、全体では2,081件(約81%)となった。また一方で、「そうは思わない」もしくは「いいえ」といった否定的な回答数は、492件(約19%)だった。かなり多くの方が肯定的に感じているものの、否定的に感じている方も少なくない結果となった。



設問4	愛媛県		新居浜市		松前町		八幡浜市		合計	割合
はい	855	1,772	69	136	22	53	44	120	990	81%
どちらかといえばそう思う	917		67		31		76		1,091	
どちらかといえば思わない	282	416	26	38	5	5	20	33	333	19%
いいえ	134		12		0		13		159	
計	2,188		174		58		153		2,573	

当該設問における、性別による回答数(性別不明なものは除外)については、次表のとおりとなった。回答総数は2,524件で男性1,536人、女性988人となっている。性別に関わらず、多くの職員が職場内で女性が増えたと感じている結果となった。

自治体別にみると、女性職員が増えたと肯定的な回答割合が高かったのは松前町で、男性は85.7%、女性は93.5%と、どちらも今回対象の4自治体の中で最も高かった。逆に割合が低かったのは、男性では新居浜市で70.0%、女性職員では八幡浜市で79.6%だった。全体的にみて、著しい偏りは認められなかった。

設問4

自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	うち男性(件数)		うち女性(件数)	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない
県	2,192	2,148	98.0	1,337	62.2%	811	37.8%
				1,065	79.7%	272	20.3%
新居浜市	174	172	98.9	80	46.5%	92	53.5%
				56	70.0%	24	30.0%
松前町	58	52	89.7	21	40.4%	31	59.6%
				18	85.7%	3	14.3%
八幡浜市	153	152	99.3	98	64.5%	54	35.5%
				76	77.6%	22	22.4%
合計	2,577	2,524	97.9	1,536	60.9%	988	39.1%
				1,215	79.1%	321	20.9%

また、設問における年代別の回答数（年代不明なものは除外）については次表のとおり回答総数は2,566件であった。各年代とも全体の傾向に近い回答結果となっている。

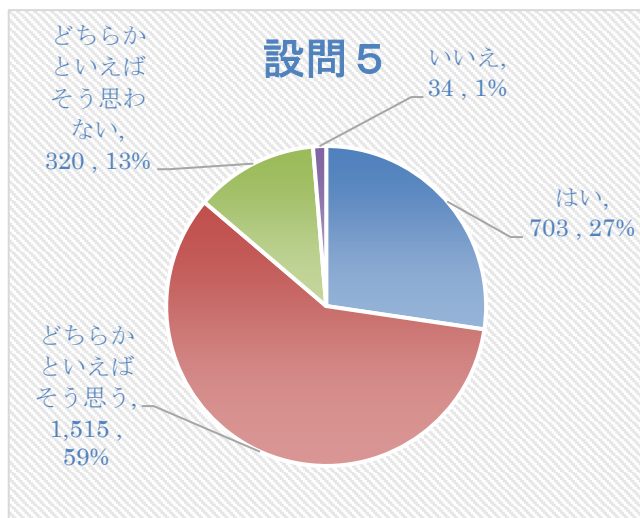
自治体別では、全体的にややバラツキがあり、愛媛県は全体の傾向と大きな差はないが、新居浜市は30代から40代にかけて肯定的な回答割合がやや低め、松前町は60代を除き、各年代とも高め、八幡浜市は40代、50代以外はやや低め、という結果になった。

設問4

自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代~20代		30代		40代		50代		60代											
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない										
県	2,192	2,183	99.6	421	19.3%	408	18.7%	419	19.2%	733	33.6%	202	9.3%										
				339	80.5%	82	19.5%	310	76.0%	98	24.0%	340	81.1%	79	18.9%	611	83.4%	122	16.6%	168	83.2%	34	16.8%
新居浜市	174	174	100.0	30	17.2%	27	15.5%	39	22.4%	65	37.4%	13	7.5%										
				24	80.0%	6	20.0%	17	63.0%	10	37.0%	29	74.4%	10	25.6%	56	86.2%	9	13.8%	10	76.9%	3	23.1%
松前町	58	57	98.3	16	28.1%	18	31.6%	10	17.5%	11	19.3%	2	3.5%										
				15	93.8%	1	6.3%	17	94.4%	1	5.6%	10	100.0%	0	0.0%	9	81.8%	2	18.2%	1	50.0%	1	50.0%
八幡浜市	153	152	99.3	26	17.1%	39	25.7%	50	32.9%	29	19.1%	8	5.3%										
				18	69.2%	8	30.8%	30	76.9%	9	23.1%	41	82.0%	9	18.0%	25	86.2%	4	13.8%	5	62.5%	3	37.5%
合計	2,577	2,566	99.6	493	19.2%	492	19.2%	518	20.2%	838	32.7%	225	8.8%										
				396	80.3%	97	19.7%	374	76.0%	118	24.0%	420	81.1%	98	18.9%	701	83.7%	137	16.3%	184	81.8%	41	18.2%

ウ 設問5～6（職場内で性別や年齢、役職に関わらずコミュニケーションは円滑に図られていると思いますか？）

問いに対し、肯定的な回答数は、全体では2,218件（約86%）となった。また一方で、否定的な回答数は、354件（約14%）だった。全体的にみて、かなり多くの方が良好なコミュニケーションを図れていると感じている結果となった。



設問5	愛媛県		新居浜市		松前町		八幡浜市		合計		割合
はい	611	1,902	44	141	7	38	41	137	703	2,218	86%
どちらかといえばそう思う	1,291		97		31		96		1,515		
どちらかといえばそう思わない	259	286	30	32	17	20	14	16	320	354	14%
いいえ	27		2		3		2		34		
計	2,188		173		58		153		2,572		

なお、「いいえ」を選択した方は全体を通して34件あった。主な意見は次のとおりである。（※各自治体意見数の偏りが大きいいためひとくくりにしている。）

【回答者からの主な意見】

- 仕事の相談でさえもしやすい雰囲気ではない。
- コミュニケーション面談しかコミュニケーションがない。
- 年齢、役職間で心理的な隔たりがあり、コミュニケーションにも隔たりがあるように感じる。
- 小さなコミュニケーションや雑談が少なく、柔軟性にやや欠ける気がする。
- 報告、連絡、相談が職場内でできていない印象。管理職だけで話が決まる、それに伴う仕事量の増加などのしわ寄せは下の者に回ってくる、意見をあげても途中で止まるのか、全く改善されていないように感じる。
- 職場内での個人情報管理が十分でないと感じる。
- 係やグループを超えた会話が少ないと感じる。
- 男性が主導的なように感じる。
- 世代間のギャップを感じており、うまくコミュニケーションを図れていない。
- 上司が本気になって部下の気持ちに寄り添って来ていないように思う。

当該設問における性別による回答数（性別不明なものは除外）については、次表のとおりとなった。回答総数は2,523件で、男性1,539人、女性984人となっている。性別に関わらず、職場での円滑なコミュニケーションについては良好と肯定的に考えている方が多い結果となった。

自治体別にみると、肯定的な回答割合が最も高かったのは八幡浜市で、男性は91.8%、女性は85.2%と、どちらも4自治体の中では最も高かった。逆に低かったのは松前町で、男性は62.5%、女性は75.0%と、逆に4自治体の中では最も低かった。なお、愛媛県や新居浜市は、性別による極端な偏りもなく、全体の傾向に近い結果となっている。

設問5

自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	うち男性(件数)				うち女性(件数)			
				はい、そう思う		いいえ、そう思わない		はい、そう思う		いいえ、そう思わない	
県	2,192	2,148	98.0	1,337		62.2%		811		37.8%	
				1,194	89.3%	143	10.7%	681	84.0%	130	16.0%
新居浜市	174	171	98.3	80		46.8%		91		53.2%	
				66	82.5%	14	17.5%	73	80.2%	18	19.8%
松前町	58	52	89.7	24		46.2%		28		53.8%	
				15	62.5%	9	37.5%	21	75.0%	7	25.0%
八幡浜市	153	152	99.3	98		64.5%		54		35.5%	
				90	91.8%	8	8.2%	46	85.2%	8	14.8%
合計	2,577	2,523	97.9	1,539		61.0%		984		39.0%	
				1,365	88.7%	174	11.3%	821	83.4%	163	16.6%

また、設問における年代別の回答数（年代不明なものは除外）については、次表のとおりとなった。回答総数は2,565件で、10代～20代が肯定的な回答割合が90.4%とやや高かったが、他の年代も80.0%を超えており、全般的に肯定的な方の割合が高く、また、各年代の回答状況に大きな偏りはなかった。

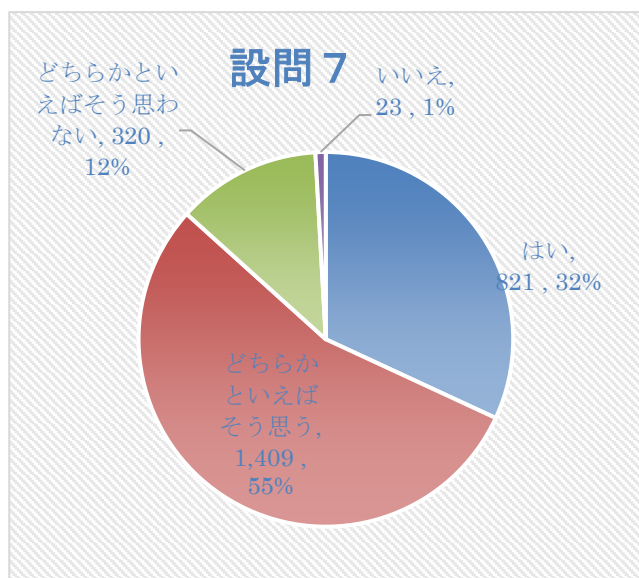
自治体別では、全体の傾向と比較すると、特に松前町が肯定的な回答割合が低い傾向であり、各年代とも肯定的な回答割合が4自治体の中では最も低かった。愛媛県、新居浜市、八幡浜市は、概ね全体と同じ傾向であり、有意な差異は認められなかった。

設問5

自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代～20代		30代		40代		50代		60代							
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない						
県	2,192	2,183	99.6	421	19.3%	409	18.7%	419	19.2%	733	33.6%	201	9.2%						
				383	91.0%	38	9.0%	346	84.6%	63	15.4%	352	84.0%	67	16.0%	643	87.7%	90	12.3%
新居浜市	174	173	99.4	29	16.8%	27	15.6%	39	22.5%	65	37.6%	13	7.5%						
				26	89.7%	3	10.3%	25	92.6%	2	7.4%	31	79.5%	8	20.5%	51	78.5%	14	21.5%
松前町	58	57	98.3	16	28.1%	18	31.6%	10	17.5%	11	19.3%	2	3.5%						
				12	75.0%	4	25.0%	13	72.2%	5	27.8%	5	50.0%	5	50.0%	6	54.5%	5	45.5%
八幡浜市	153	152	99.3	26	17.1%	39	25.7%	50	32.9%	29	19.1%	8	5.3%						
				24	92.3%	2	7.7%	38	97.4%	1	2.6%	42	84.0%	8	16.0%	26	89.7%	3	10.3%
合計	2,577	2,565	99.5	492	19.2%	493	19.2%	518	20.2%	838	32.7%	224	8.7%						
				445	90.4%	47	9.6%	422	85.6%	71	14.4%	430	83.0%	88	17.0%	726	86.6%	112	13.4%

エ 設問7～8（今の職場で女性は活躍できていると思いますか？）

問いに対し、肯定的な回答数は、全体では2,230件（約87%）となった。また否定的な回答数は343件（約13%）だった。かなり多くの方が、女性が活躍できていると肯定的に感じている結果となった。



設問7	愛媛県		新居浜市		松前町		八幡浜市		合計		割合
はい	715	1,920	44	138	15	41	47	131	821	2,230	87%
どちらかといえばそう思う	1,205		94		26		84		1,409		
どちらかといえばそう思わない	246	268	35	36	17	17	22	22	320	343	13%
いいえ	22		1		0		0		23		
計	2,188		174		58		153		2,573		

なお、「いいえ」を選択した方は全体を通して23件あった。主な意見は次のとおりである。(※各自治体意見数の偏りが大きいとみられるためひとくくりにはしていない。)

【回答者からの主な意見】

- 女性には過酷な職場である。
- 目立って活躍していると感じない。
- 50代の職員に関して言えば、20代のころ、結婚したら職場を辞める女性が多く、今50代の女性の管理職は極めて少ないと思う。
- 資格を持たず、現場を知らない人ばかりが管理職につくことには疑問。
- 育休などで同期より昇進が遅れたり、子供の急な病気等の家庭の問題は依然として女性に対応するケースが多く職場での活躍が限定されている。
- 子育てから復帰した職員含めて、ロールモデルとなっている職員の庁内周知が不十分。また、女性の働き方ごとに応じた道、研修体制、人材育成方針が無い。
- 管理職に女性が少ないため女性の意見が反映しづらい。

当該設問における性別による回答数(性別不明なものは除外)については、次表のとおりとなった。回答総数は2,524件で男性1,538人、女性986人となっている。肯定的にとらえている方が全体の約87%に対し、男性88.0%、女性85.2%と性別による大きな偏りはなかった。

自治体別にみると、愛媛県は男女とも全体的な傾向近い結果となったが、他の3自治体は全体の傾向よりもやや肯定的な回答割合が低い結果となった。男女とも、概ね80%前後であるが、松前町の女性がやや低く、67.9%という結果となった。

設問7

自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	うち男性(件数)				うち女性(件数)			
				はい、そう思う		いいえ、そう思わない		はい、そう思う		いいえ、そう思わない	
県	2,192	2,148	98.0	1,336		62.2%		812		37.8%	
				1,191	89.1%	145	10.9%	699	86.1%	113	13.9%
新居浜市	174	172	98.9	80		46.5%		92		53.5%	
				62	77.5%	18	22.5%	74	80.4%	18	19.6%
松前町	58	52	89.7	24		46.2%		28		53.8%	
				19	79.2%	5	20.8%	19	67.9%	9	32.1%
八幡浜市	153	152	99.3	98		64.5%		54		35.5%	
				82	83.7%	16	16.3%	48	88.9%	6	11.1%
合計	2,577	2,524	97.9	1,538		60.9%		986		39.1%	
				1,354	88.0%	184	12.0%	840	85.2%	146	14.8%

また、設問における年代別の回答数(年代不明なものは除外)については、次表のとおりであり、回答総数は2,566件であった。全体では、各年代とも概ね85%前後の方が肯定的にとらえており、年代による大きな偏りはなかった。

自治体別でみると、女性の活躍を肯定的にとらえていたのは愛媛県で、全ての年代で85%を超えていた。新居浜市は40代が全体よりもやや低いものの、他の年代は全体の傾

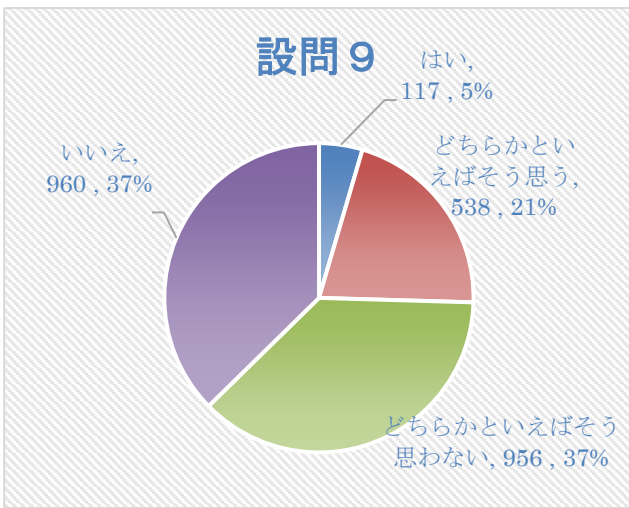
向に近い結果であった。松前町は、30代の割合が94.4%とやや高い一方で、その他の年代は全体の傾向や他の自治体と比較しても、やや低めの傾向であった。八幡浜市は、50代、60代以外は、全体の傾向に近かった。

設問7

自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代~20代		30代		40代		50代		60代							
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない						
県	2,192	2,183	99.6	419	19.2%	409	18.7%	419	19.2%	735	33.7%	201	9.2%						
				371	88.5%	48	11.5%	360	88.0%	49	12.0%	358	85.4%	61	14.6%	647	88.0%	88	12.0%
新居浜市	174	174	100.0	30	17.2%	27	15.5%	39	22.4%	65	37.4%	13	7.5%						
				24	80.0%	6	20.0%	23	85.2%	4	14.8%	28	71.8%	11	28.2%	52	80.0%	13	20.0%
松前町	58	57	98.3	16	28.1%	18	31.6%	10	17.5%	11	19.3%	2	3.5%						
				10	62.5%	6	37.5%	17	94.4%	1	5.6%	7	70.0%	3	30.0%	6	54.5%	5	45.5%
八幡浜市	153	152	99.3	26	17.1%	39	25.7%	50	32.9%	29	19.1%	8	5.3%						
				22	84.6%	4	15.4%	37	94.9%	2	5.1%	44	88.0%	6	12.0%	22	75.9%	7	24.1%
合計	2,577	2,566	99.6	491	19.1%	493	19.2%	518	20.2%	840	32.7%	224	8.7%						
				427	87.0%	64	13.0%	437	88.6%	56	11.4%	437	84.4%	81	15.6%	727	86.5%	113	13.5%

オ 設問9~10 (女性が活躍できる環境をさらに充実させる必要は、「ない」と思いますか?)

前の設問に関連した問いに対し、肯定的な回答数は、全体では655件(約25%)となった。また一方で、否定的な回答数は、1,916件(約75%)だった。多くの方が、女性の活躍できる環境を充実すべきと感じている結果となった。



設問9	愛媛県		新居浜市		松前町		八幡浜市		合計	割合	
はい	97	558	13	45	4	16	3	36	117	655	25%
どちらかといえばそう思う	461		32		12		33		538		
どちらかといえばそう思わない	828	1,629	48	129	20	41	60	117	956	1,916	75%
いいえ	801		81		21		57		960		
計	2,187		174		57		153		2,571		

なお、「いいえ」を選択した方が全体で960件あったが、具体的な意見はなかった。

【回答者からの主な意見】

意見なし

当該設問における性別による回答数（性別不明なものは除外）については、次表のとおりとなった。回答総数は2,522件で男性1,537人、女性985人となっている。性別に関わらず、否定的（環境充実の必要性を感じている方）な回答割合が高いものの、男性は71.5%、女性は80.2%と、女性の方がやや高い結果となった。

自治体別にみると、4自治体とも全体に概ね近い傾向を示しているが、否定的な回答割合が最も高かったのは、男性では八幡浜市で76.5%、女性では松前町で81.5%であった。逆に低かったのは男性では松前町で62.5%、女性では八幡浜市で75.9%だった。

設問9

自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	うち男性(件数)				うち女性(件数)			
				はい、そう思う		いいえ、そう思わない		はい、そう思う		いいえ、そう思わない	
県	2,192	2,147	97.9	1,335		62.2%		812		37.8%	
				381	28.5%	954	71.5%	158	19.5%	654	80.5%
新居浜市	174	172	98.9	80		46.5%		92		53.5%	
				25	31.3%	55	68.8%	19	20.7%	73	79.3%
松前町	58	51	87.9	24		47.1%		27		52.9%	
				9	37.5%	15	62.5%	5	18.5%	22	81.5%
八幡浜市	153	152	99.3	98		64.5%		54		35.5%	
				23	23.5%	75	76.5%	13	24.1%	41	75.9%
合計	2,577	2,522	97.9	1,537		60.9%		985		39.1%	
				438	28.5%	1,099	71.5%	195	19.8%	790	80.2%

また、設問における年代別の回答数（年代不明なものは除外）については、次表のとおりであり、回答総数は2,564件であった。全体的には、いずれの年代も否定的（環境充実の必要性を感じている方）な回答の割合が70%を超えており、年代による偏りは認められなかった。

また、自治体別では、愛媛県、八幡浜市は、全年代とも概ね全体の傾向に近かった。新居浜市は、30代が他の年代よりも否定的な回答割合が低く、また松前町は、30代、40代が全体及び他の自治体と比較しても低かった。

設問9

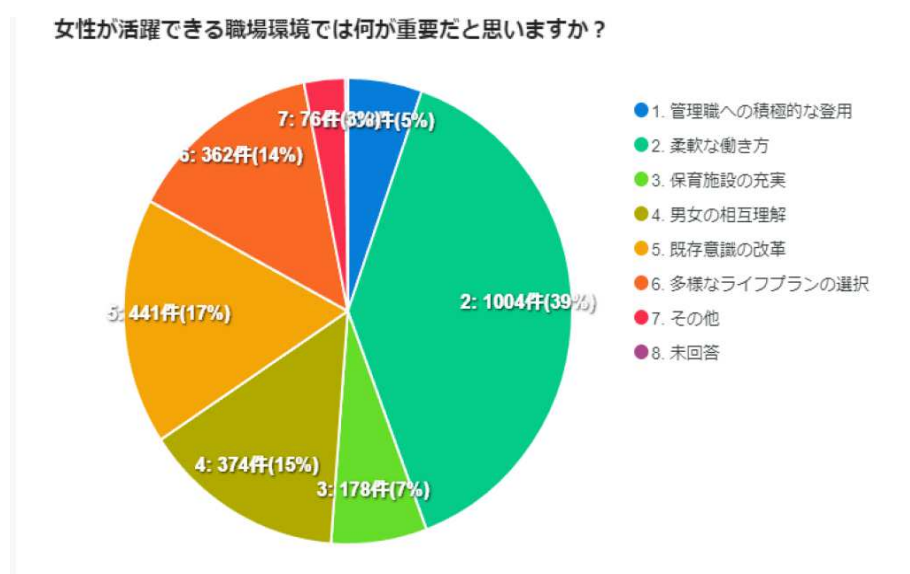
自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代~20代		30代		40代		50代		60代							
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない						
県	2,192	2,182	99.5	420	19.2%	408	18.7%	420	19.2%	733	33.6%	201	9.2%						
				99	23.6%	321	76.4%	111	27.2%	297	72.8%	112	26.7%	308	73.3%	176	24.0%	557	76.0%
新居浜市	174	174	100.0	30	17.2%	27	15.5%	39	22.4%	65	37.4%	13	7.5%						
				8	26.7%	22	73.3%	9	33.3%	18	66.7%	6	15.4%	33	84.6%	15	23.1%	50	76.9%
松前町	58	56	96.6	16	28.6%	18	32.1%	9	16.1%	11	19.6%	2	3.6%						
				3	18.8%	13	81.3%	9	50.0%	9	50.0%	4	44.4%	5	55.6%	0	0.0%	11	100.0%
八幡浜市	153	152	99.3	26	17.1%	39	25.7%	50	32.9%	29	19.1%	8	5.3%						
				7	26.9%	19	73.1%	8	20.5%	31	79.5%	12	24.0%	38	76.0%	6	20.7%	23	79.3%
合計	2,577	2,564	99.5	492	19.2%	492	19.2%	518	20.2%	838	32.7%	224	8.7%						
				117	23.8%	375	76.2%	137	27.8%	355	72.2%	134	25.9%	384	74.1%	197	23.5%	641	76.5%

カ 設問 1 1 (女性が活躍できる職場環境では何が重要だと思いますか?)

問いに対し、全体を通して、女性が活躍するために最も望まれたのは「柔軟な働き方」で、約39%の方から回答があり、他の項目と比較しても突出する結果となっており、続く2～4位の項目についてはほぼ横並びで大きな差異はなかった。上位は次の4項目である。

- 1 柔軟な働き方 (39%)
- 2 既存意識の改革 (17%)
- 3 男女の相互理解 (15%)
- 4 多様なライフプラン (14%)

管理職への登用や保育施設の充実といった項目に関しては優先順位が低い結果となった。



各自治体における項目の順位については次表のとおりである。4自治体とも「柔軟な働き方」がトップとなった。また、上位4項目に関しては、各自治体の中での順位は若干異なるものの、基本的に職員の中では優先順位の高い項目であることが分かった。

なお、「その他」に回答された方から、65件の意見が寄せられた。

設問11 各自治体の状況

順位	愛媛県	新居浜市	松前町	八幡浜市
1	柔軟な働き方 849	柔軟な働き方 73	柔軟な働き方 18	柔軟な働き方 63
2	既存意識の改革 365	既存意識の改革 33	既存意識の改革 17	男女の相互理解 30
3	男女の相互理解 315	多様なライフプランの選択 25	多様なライフプランの選択 8	既存意識の改革 26
4	多様なライフプランの選択 314	男女の相互理解 22	男女の相互理解 7	多様なライフプランの選択 15
5	保育施設の充実 160	管理職への積極的な登用 9	その他 4	管理職への積極的な登用 10
6	管理職への積極的な登用 118	保育施設の充実 8	保育施設の充実 3	保育施設の充実 7
7	その他 66	その他 4	管理職への積極的な登用 1	その他 2
	合計 2,187	174	58	153

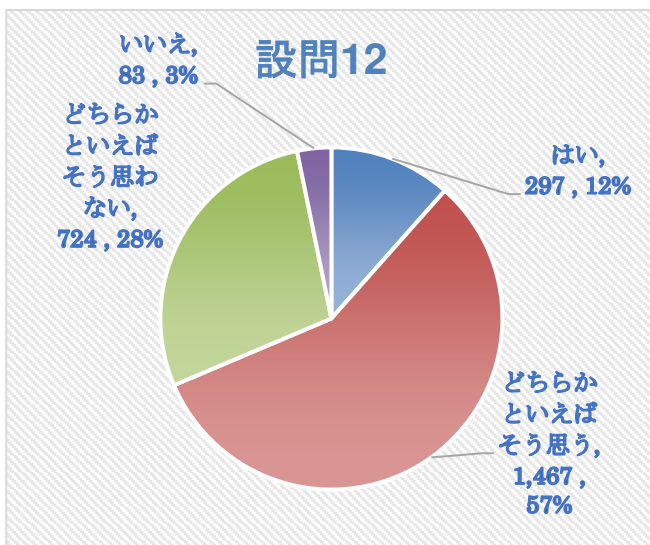
【回答者からの主な意見（「その他」と回答した方）】

○性別に寄らずキャリア形成できる職務経験、予算や議会など汎用的な経験。

- 男性の超勤縮減（負荷のかからない取り組み）や職員1人当たりの業務量削減。
- 男女だけでなく個人の多様な背景への相互理解。
- 女性の活躍、女性だからなど特別視しない環境の整備。
- 適正な人員配置（これまで具体的な根拠が明確でない）

キ 設問12～13（女性の管理職への登用は進んでいると思いますか？）

問いに対し、肯定的な回答数は、全体では1,764件（約69%）となった。また一方で、否定的な回答数は、807件（約31%）だった。全体的には、多くの方が、登用が進んでいると感じている結果となった。



設問12	愛媛県		新居浜市		松前町		八幡浜市		合計	割合	
はい	262	1,530	16	119	7	38	12	77	297	1,764	69%
どちらかといえばそう思う	1,268		103		31		65		1,467		
どちらかといえばそう思わない	595	657	46	55	16	19	67	76	724		
いいえ	62		9		3		9		83		
計	2,187		174		57		153		2,571		

なお、「いいえ」を選択した方は全体を通して83件あった。主な意見は次のとおりである。（※各自治体意見数の偏りが大きいいためひとくくりにしている。）

【回答者からの主な意見】

- 定年前でさえ管理職になっていない女性職員が多い。
- 同じ職種で管理職まで続けることができている女性職員が少ない。
- 所属の上司は全員男性で、他の課をみても同じ状況。登用は進んでいないと思う。
- 新任部局長などの紹介で「女性」、「初」といったフレーズで紹介されることが少なく自然体ではないように感じられる。
- 民間企業と比較して、実際の数値として少ないと思う。
- 県の部長級は大多数が男性。以前の女性採用率は低かった影響もあると思う。部長職になる女性も、仕事一筋（結婚・出産を考えず）の方ばかりになると、「産休・育休」がブランクと判断される、という諦めに繋がる可能性がある。

- 最近の状況においても、まだまだ役付職員（係長級以上）の割合は低い。
- 子育て経験のある女性職員や育休取得経験のある男性職員を積極的に登用できるようになればよいと思う。
- 単身の方が登用されやすいと感じる。
- 承認や登用の基準が勤務年数中心となっているのが気になる。
- 管理職の責任が重く、長時間勤務が必要になる場面が多くある。若手職員を定時退庁ため、管理職が仕事をかぶっている状況。このような状況では女性も管理職になろう、という雰囲気にならないのではないか。
- 管理職あるいは監督職への登用を望まない女性職員は以前に比べて増えているように感じる。
- 女性職員の採用が増えたのは最近であり、登用していくのはまだまだ先である。
- 女性職員が少ないし、管理職も少ない。また、管理職になることを望んでいない方もいる。

当該設問における性別による回答数（性別不明なものは除外）については、次表のとおりとなった。回答総数は2,522件で男性1,538人、女性984人となっている。肯定的に感じている方の割合について、全体では、性別に関わらず概ね70%の方が、女性登用が進んでいると感じているとの結果となった。

自治体別にみると、肯定的に感じている方の割合が最も高かったのは、男性では愛媛県で71.5%、女性では八幡浜市で75.9%であった。逆に低かったのは八幡浜市の男性で35.7%と他の自治体と比較しても極端に低かった。女性に関しては各自治体とも約70%と全体的な傾向とも概ね同様で、大きな差はなかった。

設問12

自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	うち男性(件数)				うち女性(件数)			
				はい、そう思う		いいえ、そう思わない		はい、そう思う		いいえ、そう思わない	
県	2,192	2,147	97.9	1,337		62.3%		810		37.7%	
				956	71.5%	381	28.5%	548	67.7%	262	32.3%
新居浜市	174	172	98.9	80		46.5%		92		53.5%	
				54	67.5%	26	32.5%	63	68.5%	29	31.5%
松前町	58	51	87.9	23		45.1%		28		54.9%	
				16	69.6%	7	30.4%	19	67.9%	9	32.1%
八幡浜市	153	152	99.3	98		64.5%		54		35.5%	
				35	35.7%	63	64.3%	41	75.9%	13	24.1%
合計	2,577	2,522	97.9	1,538		61.0%		984		39.0%	
				1,061	69.0%	477	31.0%	671	68.2%	313	31.8%

また、設問における年代別の回答数（年代不明なものは除外）については、次表のとおりであり、回答総数は2,564件であった。全体的には、各年代の肯定的な回答割合は全体の傾向と概ね同様の結果であった。

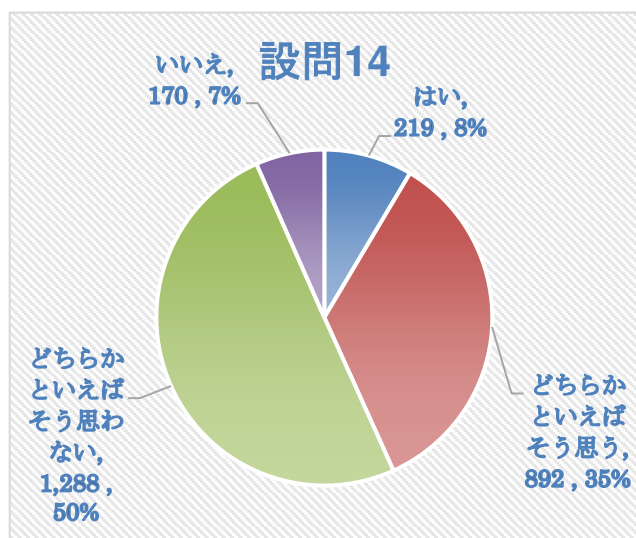
自治体別では、愛媛県、新居浜市、松前町の3自治体は、各年代において女性の管理職登用を肯定的にとらえているものの、八幡浜市のみ、30代から60代の幅広い世代で、否定的な方の割合が高かった。

設問12

自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代~20代		30代		40代		50代		60代							
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない						
県	2,192	2,182	99.5	421	19.3%	409	18.7%	420	19.2%	731	33.5%	201	9.2%						
				291	69.1%	130	30.9%	284	69.4%	125	30.6%	302	71.9%	118	28.1%	514	70.3%	217	29.7%
新居浜市	174	174	100.0	30	17.2%	27	15.5%	39	22.4%	65	37.4%	13	7.5%						
				20	66.7%	10	33.3%	18	66.7%	9	33.3%	27	69.2%	12	30.8%	46	70.8%	19	29.2%
松前町	58	56	96.6	16	28.6%	18	32.1%	9	16.1%	11	19.6%	2	3.6%						
				10	62.5%	6	37.5%	13	72.2%	5	27.8%	8	88.9%	1	11.1%	7	63.6%	4	36.4%
八幡浜市	153	152	99.3	26	17.1%	39	25.7%	50	32.9%	29	19.1%	8	5.3%						
				18	69.2%	8	30.8%	21	53.8%	18	46.2%	24	48.0%	26	52.0%	10	34.5%	19	65.5%
合計	2,577	2,564	99.5	493	19.2%	493	19.2%	518	20.2%	836	32.6%	224	8.7%						
				339	68.8%	154	31.2%	336	68.2%	157	31.8%	361	69.7%	157	30.3%	577	69.0%	259	31.0%

ク 設問14～15（職場において、女性の活躍や管理職登用の妨げになるものは「ない」と思いますか？）

問いに対し、肯定的な回答数は、全体では1,111件（約43%）で、否定的な回答数は、1,458件（約57%）だった。女性の活躍や登用に「妨げ」があると、否定的に感じている方の割合が過半数を超える結果となった。



設問14	愛媛県		新居浜市		松前町		八幡浜市		合計	割合	
はい	186	972	11	56	10	25	12	58	219	1,111	43%
どちらかといえばそう思う	786		45		15		46		892		
どちらかといえばそう思わない	1,071	1,213	99	117	30	33	88	95	1,288	1,458	57%
いいえ	142		18		3		7		170		
計	2,185		173		58		153		2,569		

なお、「いいえ」を選択した方は全体を通して170件あった。主な意見は次のとおりである。（※各自自治体意見数の偏りが大きいためひとくくりにはしている。）

【回答者からの主な意見】

○長時間労働による仕事と家庭の両立が難しい。

- 男性の育休取得日数は女性よりも少ない。(産休・育休によるキャリアへの影響)
- 仕事の関係先が男性の強い業界であったり、所属の中堅職員が男性ばかりだったり
と性別を理由に理解しあえなかったり不当に軽んじられることが多いと感じる。
- 子どもを望む以上は、ある程度 20 代後半から 30 代の間のキャリア (仕事上での活躍) は諦めないといけないと感じる。
- 保健・福祉部門の課長・主幹には女性が多く、土木や総務部門には少ないなど、人材の配置に男女の偏りが見られる。経験できる部署の幅に男女差があると、女性のキャリアアップの妨げになるのではないかと感じる。
- 自分の私生活と仕事を天秤にかけると転職を選択する人は多いと思う。
- 愛媛県の異動先に係る公募条件では入庁 6 年目 (大卒なら 28 歳) であり、多くの女性が出産・子育てを考える時期と重なる。特に出産は妊孕性も考える必要があり、理想のキャリアとライフプランの間での葛藤は、男性よりも多くなると思う。
- 男性、女性とも意識改革ができていない。様々な制度が整っても、職員の意識や職場の雰囲気、業務量など、多くの問題があると感じる。
- 管理職世代の女性に企画や事業部門での経験がある職員が少ないと感じる。
- 管理職登用される部署やポストは男性優先に感じる。
- 管理職を敬遠する女性職員もいると思う。
- 子どもが幼いうちは誰でも残業はしづらい。働き手が十分確保でき、残業があまりない社会になれば問題は解決しないと思う。両立できず退職される方もいる。
- 保健士、保育士、栄養士などの専門職は、能力的に劣っていないと思うが管理職に上がる年齢が遅く、意思決定の機会に関与しにくいと思う。
- 夫婦のどちらかが仕事、もう一方は家庭に重きをおかないと職場にも迷惑がかかるし生活全体も立ち行かない、また精神的なゆとりもなくなるように思う。
- 介護や子育てで時間が取られると管理職はできないと思いつむ風潮があると感じる。
- 政策決定に携わるセクションは残業や不規則な業務が多い傾向にあり、子育て中の女性が登用されづらい現状だと思う。
- 「女性の活躍＝管理職登用」と言われると非常に疑問。男性が管理職に就きやすいことが女性の活躍を阻害していると考え自身が、女性の活躍等の妨げだと感じる。産休や育休等が管理職登用に影響を与えているのであればそれも妨げだと思う。

当該設問における性別による回答数 (性別不明なものは除外) については、次表のとおりであり、回答総数は 2, 520 件で、内訳は男性 1, 538 人、女性 982 人となっている。全体的には、女性は 67.9%の方が否定的 (妨げになるものがある) と認識しており、一方で同様に否定的な回答をした男性は、49.7%と相対的に低かった。

自治体別にみると、愛媛県と松前町は、男性では肯定側と否定側の回答が概ね同数だったのに対し、女性では否定的な回答をする方の割合が高かった。また、新居浜市と八幡浜市は、性別に関わらず、否定的に感じている方の割合が高かった。

設問14

自治体名	全体(件)	回答数	割合 (%)	うち男性(件数)				うち女性(件数)			
				はい、そう思う		いいえ、そう思わない		はい、そう思う		いいえ、そう思わない	
県	2,192	2,145	97.9	1,336		62.3%		809		37.7%	
				695	52.0%	641	48.0%	259	32.0%	550	68.0%
新居浜市	174	171	98.3	80		46.8%		91		53.2%	
				28	35.0%	52	65.0%	27	29.7%	64	70.3%
松前町	58	52	89.7	24		46.2%		28		53.8%	
				12	50.0%	12	50.0%	11	39.3%	17	60.7%
八幡浜市	153	152	99.3	98		64.5%		54		35.5%	
				39	39.8%	59	60.2%	18	33.3%	36	66.7%
合計	2,577	2,520	97.8	1,538		61.0%		982		39.0%	
				774	50.3%	764	49.7%	315	32.1%	667	67.9%

また、設問における年代別の回答数（年代不明なものは除外）については、次表のとおりであり、回答総数は2,562件であった。全体的には、各年代とも概ね40～50%程度が肯定的（妨げになるものがある）、残る50～60%程度が否定的（妨げになるものがない）な回答であり、全体の傾向と概ね同様の結果となった。

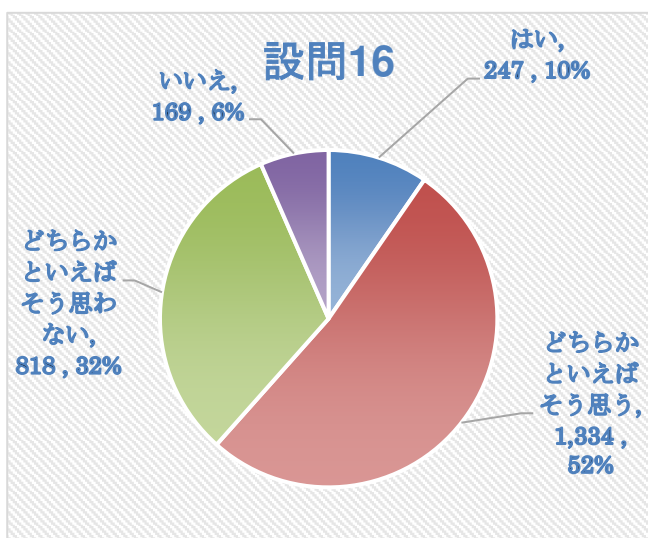
自治体別では、全体的にややバラツキは認められるものの、基本的には各自治体とも何等か妨げになるものがあると、否定的な回答が多くを占める結果となっており、新居浜市の30代については、否定的な回答割合が77.8%他と比較しても特に高かった。

設問14

自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代～20代		30代		40代		50代		60代							
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない						
県	2,192	2,180	99.5	418	19.2%	408	18.7%	420	19.3%	732	33.6%	202	9.3%						
				171	40.9%	247	59.1%	171	41.9%	237	58.1%	171	40.7%	249	59.3%	357	48.8%	375	51.2%
新居浜市	174	173	99.4	30	17.3%	27	15.6%	38	22.0%	65	37.6%	13	7.5%						
				12	40.0%	18	60.0%	6	22.2%	21	77.8%	13	34.2%	25	65.8%	21	32.3%	44	67.7%
松前町	58	57	98.3	16	28.1%	18	31.6%	10	17.5%	11	19.3%	2	3.5%						
				7	43.8%	9	56.3%	9	50.0%	9	50.0%	4	40.0%	6	60.0%	5	45.5%	6	54.5%
八幡浜市	153	152	99.3	26	17.1%	39	25.7%	50	32.9%	29	19.1%	8	5.3%						
				9	34.6%	17	65.4%	17	43.6%	22	56.4%	21	42.0%	29	58.0%	8	27.6%	21	72.4%
合計	2,577	2,562	99.4	490	19.1%	492	19.2%	518	20.2%	837	32.7%	225	8.8%						
				199	40.6%	291	59.4%	203	41.3%	289	58.7%	209	40.3%	309	59.7%	391	46.7%	446	53.3%

ケ 設問16～17（職場は、子育てをするうえで仕事と家庭を両立しやすい環境だと思いますか？）

問いに対し、肯定的な回答数は、全体では1,581件（約62%）となった。また一方で、否定的な回答数は987件（約38%）であった。全体的には両立しやすい環境であると感じている方のほうが多かったものの、そうではないと感じている方も少なくない、という結果となった。



設問16	愛媛県		新居浜市		松前町		八幡浜市		合計	割合	
はい	202	1,329	23	116	5	22	17	114	247	1,581	62%
どちらかといえばそう思う	1,127		93		17		97		1,334		
どちらかといえばそう思わない	708	856	47	57	27	35	36	39	818	987	38%
いいえ	148		10		8		3		169		
計	2,185		173		57		153		2,568		

なお、「いいえ」を選択した方は全体を通して169件あった。主な意見は次のとおりである。（※各自治体意見数の偏りが大きいいためひとくくりにはしている。）

【回答者からの主な意見】

- 業務の属人化や一人で完結する業務が少なく、予算や議会等で突発的な対応が必要な場合、家庭よりも仕事を優先しがち。
- 未だに残業が当たり前の風潮が根強く残っており、育児や家庭の事情で早く帰宅することが後ろめたく感じる環境だと感じる。（残業が多い、長時間労働、人手不足）
- 担当業務量が多く残業せざるを得ない状況が続いており子育てに支障がでている。
- 通勤だけで1～2.5時間弱かかる場合もあり、なかなか仕事と家庭の両立はできない。
- 子どもの障がいや不登校などでサポートが要るようになった場合に対応できるような制度がほしい。
- 小さな子供は流行性の様々な病気にかかるので子の看護休暇年5日では厳しい。仕事上でも職場に迷惑が掛かるような気がして精神的にも負担に感じる。
- 制度上では育児休暇が取得できるが、実際問題として業務量は減らず人員も増えないので、休暇を取得した職員の業務を他の職員が負担することになり、満足な育児休暇が取れないのではないかと感じる。
- 子育て世代（係長級）の残業時間が多いと感じる。
- 育休を取得した職員の仕事が残る職員に引き継がれても、管理職や周りの人間のフォローが殆どないと感じる。（周囲の理解が十分でない。）
- 子育て等に関する様々な時短制度はあるが、年齢による線引きもあり思うような勤務時間にできない場合もある。子の養育期間に限らず、また、周囲に遠慮することもなく、もっとフレキシブルに働ける仕組みが必要だと感じる。
- 超勤縮減、有給取得で働く時間が減らされているが、ただ仕事をこなす時間が減っているだけなので両立しやすいとは感じない。
- 子育ては、育児休暇中、幼児期だけで終わるものではなく就学後も継続する。今の子育て支援は幼児期中心であり、女性はライフステージにより体調変化も大きく、長期的な視点で環境整備が必要だと感じる。
- 休暇制度の充実で子育てとの両立がしやすい環境となった一方で、独身や子育てが終わった職員からすると、休暇中の職員の穴埋めをせざるを得ず、また増員と言って会計年度任用職員なのでおのずと業務の処理には限界があり、負担が増す職員もいると思う。
- 独身者ですが、かなりハードな働き方をしている。自分が子育てをすることになると思うと、離職も選択肢になると思う。（休日や時間外問わず過酷な職場もある。）
- 未だに、産休・育休への理解が十分でないと感じる。またフレキシブルな働き方ができる制度がない。

当該設問における性別による回答数（性別不明なものは除外）については、次表のとおり回答総数は2,519件で、男性1,536人、女性983人となっている。全体としては、肯定的な回答割合は、男性が60.9%、女性は62.9%と全体の傾向とほぼ同じで、有意な差異は認められなかった。

自治体別では、愛媛県と新居浜市が全体の傾向とほぼ同じ、松前町は、肯定的な回答割合が男性33.3%、女性44.4%と4自治体で最も低かった。また、逆に最も高かったのは八幡浜市で、男性では74.5%、女性では74.1%であった。

設問16

自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	うち男性(件数)				うち女性(件数)			
				はい、そう思う		いいえ、そう思わない		はい、そう思う		いいえ、そう思わない	
県	2,192	2,145	97.9	1,335				810			
				60.1%		39.9%		62.3%		37.7%	
新居浜市	174	171	98.3	79				92			
				67.1%		32.9%		66.3%		33.7%	
松前町	58	51	87.9	24				27			
				33.3%		66.7%		44.4%		55.6%	
八幡浜市	153	152	99.3	98				54			
				74.5%		25.5%		74.1%		25.9%	
合計	2,577	2,519	97.7	1,536				983			
				60.9%		39.1%		62.9%		37.1%	

また、設問における年代別の回答数（年代不明なものは除外）については、次表のとおりであり、回答総数は2,562件であった。全体的には、30代が全体の傾向及び他の年代と比較して、若干ではあるが肯定的な回答割合が低かった。

自治体別では、全体的にバラツキは認められるものの、愛媛県、新居浜市、八幡浜市では全ての年代で肯定的な回答割合が高かったが、松前町のみ、全年代を通して否定的な回答割合が高かった。

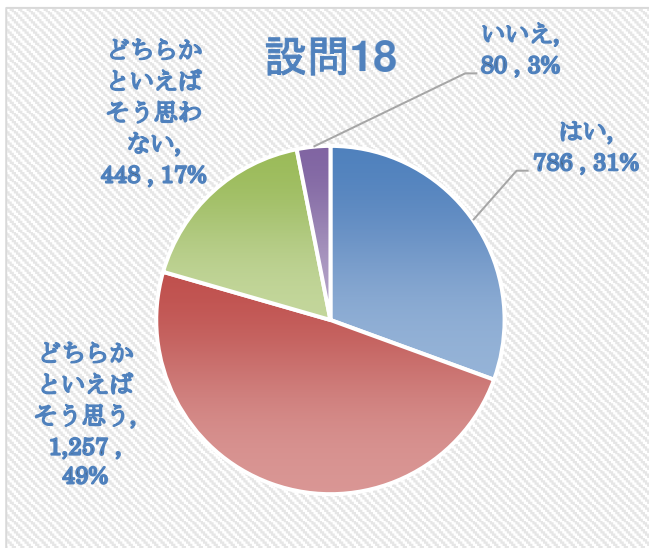
設問16

自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代~20代		30代		40代		50代		60代	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない
県	2,192	2,180	99.5	420		408		419		731		202	
				59.5%	40.5%	55.9%	44.1%	60.9%	39.1%	63.6%	36.4%	62.9%	37.1%
新居浜市	174	173	99.4	30		27		38		65		13	
				70.0%	30.0%	74.1%	25.9%	55.3%	44.7%	69.2%	30.8%	69.2%	30.8%
松前町	58	56	96.6	16		18		9		11		2	
				43.8%	56.3%	27.8%	72.2%	44.4%	55.6%	45.5%	54.5%	0.0%	100.0%
八幡浜市	153	153	100.0	26		39		50		29		9	
				76.9%	23.1%	76.9%	23.1%	74.0%	26.0%	72.4%	27.6%	66.7%	33.3%
合計	2,577	2,562	99.4	492		492		516		836		226	
				60.6%	39.4%	57.5%	42.5%	61.4%	38.6%	64.1%	35.9%	62.8%	37.2%

コ 設問18～19（職場に保育施設があれば、今よりも働きやすくなると思いますか？）

問いに対し、肯定的な回答数は、全体では2,043件（約79%）となった。また一方で、否定的な回答数は528件（約21%）であった。保育施設については、かなり多くの方が、職場に保育施設があれば働きやすくなる、と感じている方が多いという結果となった。

なお、先の質問（設問11）との関連では、女性が活躍できる環境に必要なものとしては、保育施設はあまり優先順位が高くない、という結果となっている。



設問18	愛媛県		新居浜市		松前町		八幡浜市		合計	割合	
はい	677	1,752	43	130	16	41	50	120	786	2,043	79%
どちらかといえばそう思う	1,075		87		25		70		1,257		
どちらかといえばそう思わない	374	437	35	41	14	17	25	33	448	528	21%
いいえ	63		6		3		8		80		
計	2,189		171		58		153		2,571		

また、「いいえ」を選択した方は全体を通して80件あった。主な意見は次のとおりである。（※各自治体意見数の偏りが大きいためひとくくりにはしていない。）

【回答者からの主な意見】

- 保育施設は、自宅から近くにある認可保育施設に通わせたい。
- 職場内保育施設は一般的に小規模であり、園庭や体育館等が設置されていないなど、子どもの将来を考えると、時間やコスト面で無理をしても大規模な保育園への入園をより希望したい。
- 職場に保育施設があっても、特に働きやすさに関係はしないと感じる。
- 親のコミュニティが職場だけで完結してしまいそうに感じる。（職場と離れて気分転換もできない）
- 保育園や幼稚園は、受けられる教育を考慮して選択する方もいると思う。（単に利便性だけではない。）
- 一見よさそうに思えるが、現実的にはいろいろ課題があると思うので非現実的に思える。
- 地域の保育の充実の方が重要と感じる。

- 子育てに関しては、保育施設だけで完結するわけではない。子どもに何かあったときに休みやすい環境の方が重要と考える。
- 勤務時間を変更したりテレワークを活用するなど、勤務体制を柔軟にすることで対応可能と考える。利用期間も幼少期のみに限られ、維持管理費用がかかるように思える。
- 保育施設は、子育てをしている職員の特権であり、働く女性全てがそうではない。子育てを施設に任せて親は仕事に専念という風潮にならないかと思う。
- 設置に関しては、設置・維持費用や保育士不足の問題なども踏まえて検討すべきと考える。

当該設問における性別による回答数（性別不明なものは除外）については、次表のとおり回答総数は2,522件で、男性1,540人、女性982人となっている。肯定的に感じている方の割合を性別にみると、男性は80.6%、女性は78.3%と、性別による大きな差異はなかった。また、全体の傾向とも概ね同様だった。

自治体別では、肯定的な回答割合が高かったのは、男女とも愛媛県で、男性81.2%、女性は79.2%であった。新居浜市や八幡浜市も、愛媛県より若干低いものの、概ね同様の結果であった。松前町は、女性は全体の傾向に近いが、男性は62.5%とやや低かった。

設問18

自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	うち男性(件数)				うち女性(件数)			
				はい、そう思う		いいえ、そう思わない		はい、そう思う		いいえ、そう思わない	
県	2,192	2,149	98.0	1,338		62.3%		811		37.7%	
				1,086	81.2%	252	18.8%	642	79.2%	169	20.8%
新居浜市	174	169	97.1	80		47.3%		89		52.7%	
				62	77.5%	18	22.5%	66	74.2%	23	25.8%
松前町	58	52	89.7	24		46.2%		28		53.8%	
				15	62.5%	9	37.5%	20	71.4%	8	28.6%
八幡浜市	153	152	99.3	98		64.5%		54		35.5%	
				79	80.6%	19	19.4%	41	75.9%	13	24.1%
合計	2,577	2,522	97.9	1,540		61.1%		982		38.9%	
				1,242	80.6%	298	19.4%	769	78.3%	213	21.7%

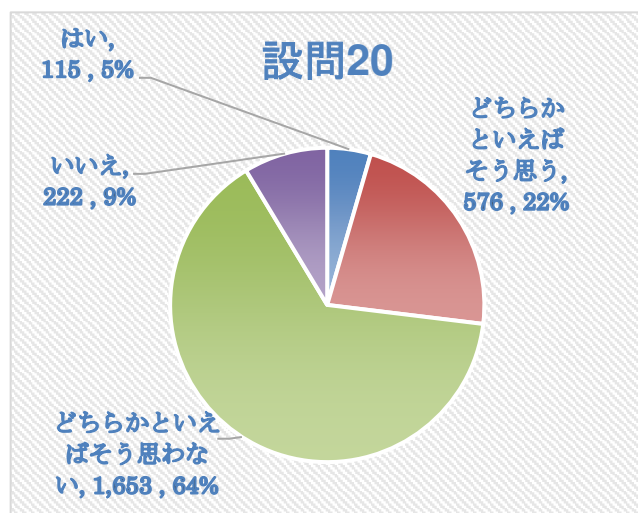
また、設問における年代別の回答数（年代不明なものは除外）については、次表のとおりであり、回答総数は2,564件であった。

自治体別では、全体的にバラツキは認められるものの、4自治体とも肯定的にとらえている方の割合が高かった。愛媛県、新居浜市、八幡浜市は、各年代とも概ね70%から80%程度が肯定的な回答であったが、松前町は10～20代、40代で60%程度と、他の自治体に比べて相対的に低かった。

設問18

自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代～20代		30代		40代		50代		60代							
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない						
県	2,192	2,184	99.6	421	19.3%	408	18.7%	419	19.2%	734	33.6%	202	9.2%						
				369	87.6%	52	12.4%	336	82.4%	72	17.6%	315	75.2%	104	24.8%	566	77.1%	168	22.9%
新居浜市	174	171	98.3	30	17.5%	27	15.8%	38	22.2%	63	36.8%	13	7.6%						
				24	80.0%	6	20.0%	20	74.1%	7	25.9%	30	78.9%	8	21.1%	45	71.4%	18	28.6%
松前町	58	57	98.3	16	28.1%	18	31.6%	10	17.5%	11	19.3%	2	3.5%						
				10	62.5%	6	37.5%	14	77.8%	4	22.2%	6	80.0%	4	40.0%	9	81.8%	2	18.2%
八幡浜市	153	152	99.3	26	17.1%	39	25.7%	50	32.9%	29	19.1%	8	5.3%						
				22	84.6%	4	15.4%	32	82.1%	7	17.9%	35	70.0%	15	30.0%	25	86.2%	4	13.8%
合計	2,577	2,564	99.5	493	19.2%	492	19.2%	517	20.2%	837	32.6%	225	8.8%						
				425	86.2%	68	13.8%	402	81.7%	90	18.3%	386	74.7%	131	25.3%	645	77.1%	192	22.9%

サ 設問20～21（職場に保育施設以外は、特に新たな設備・制度は必要ないと思いますか？）
 問いに対し、肯定的な回答数は、全体では691件（約27％）で、否定的な回答数は1,875件（約73％）であった。多くの方が保育施設以外の何らかの設備や制度が必要と感じているとの結果となった。



設問20	愛媛県		新居浜市		松前町		八幡浜市		合計	割合	
はい	101	599	4	37	6	19	4	36	115	691	27%
どちらかといえばそう思う	498		33		13		32		576		
どちらかといえばそう思わない	1,401	1,584	118	135	34	39	100	117	1,653	1,875	73%
いいえ	183		17		5		17		222		
計	2,183		172		58		153		2,566		

なお、「いいえ」を選択した方は全体を通して222件あった。主な意見は次のとおりである。（※各自治体意見数の偏りが大きいためひとくくりにはしている。）

【回答者からの主な意見】

- 育休・産休をとった職員の仕事を代わりに行う周囲への金銭面及び精神面のより手厚いサポート制度。
- 保育施設も大事だが、短時間勤務制度や部分休業取得の対象拡大などがあれば、更に働きやすくなるのではないかと思う。
- 育児に係る経済的サポートや看護休暇の日数を増やしてほしい。
- 病児保育への対応について（施設設置やベビーシッターの利用推進など）
- トイレスペースは空調が聞いていないので冬は寒すぎる。特に女性の生理的特徴にも配慮すべきと考える。換気を控えてほしいし暖房をつけてほしい。
- 体調が悪いときや、体調管理のために横になれる女性だけのスペースがほしい。
- 子育て期間中は長距離通勤や単身赴任の必要がない事務所だけの異動にしてほしい。
- 男性の育児休暇の長期化が必要と思います。（1年以上）
- 県庁は最新設備や制度、利用できる福利厚生など選択できるが、それ以外の所属では普通に働いたり、選択どころか利用できるものがなかったりなど快適な環境だとは思いづらいように思う。
- 産休・育休による昇級・昇進の停滞の解消。管理職に対する移住制限の解消。

- 保育時間休暇の取得は基本的に自己申請ではなく、取得が当たり前であるような職場の理解が必要であると感じる。(簡単に取得できそうな雰囲気にはないと感じる。)
- 「女性の活躍」と言われるのはしんどい。家庭優先の考えの人もいると思うので、もっと多様な働き方・考え方が尊重される職場になればいいと思う。
- 夏休みなどの長期休暇期間限定でもいいので、就学児(学童)を対象とした保育施設などがあればいいと思う。
- 希望する勤務体制を柔軟に選択できる制度が必要と感じる。
- 子育てや育児のための時間を確保するためテレワークをベースとし、必要最低限の出勤で良いような環境・制度があればよいのではないかと考えます。
- 子どもに関わりたい時期(小学生位まで)は、休職等できる制度があれば離職者も減るのではないかとと思う。
- 共済組合で、仕事と家庭の両立支援の一環で家事支援サービスの利用補助や団体割引など検討できないか。
- 女性専用の更衣室、ロッカー、シャワールーム、リラックススペース。
- 職場に保育所があると、子どものことが気になる。

当該設問における性別による回答数(性別不明なものは除外)については、次表のとおり回答総数は2,517件で、男性1,536人、女性981人となっている。肯定的な回答割合を性別にみると、全体としては、否定的な回答が多くを占めており、男性は69.3%、女性は79.3%となっている。また、男性よりも女性の方が、やや否定的な回答割合が高かった。

自治体別にみると、女性に関しては、否定的な回答割合が4自治体とも全体の傾向と概ね同様又はそれ以上の結果であった。一方で男性は、女性に比べ全般的に否定的な回答割合が低い傾向にあるが、それでも新居浜市と八幡浜市は比較的高かった。愛媛県はやや低め、松前町は4自治体で最も低く50.0%だった。

設問20

自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	うち男性(件数)				うち女性(件数)			
				はい、そう思う		いいえ、そう思わない		はい、そう思う		いいえ、そう思わない	
県	2,192	2,143	97.8	1,335		62.3%		808		37.7%	
				414	31.0%	921	69.0%	172	21.3%	636	78.7%
新居浜市	174	170	97.7	79		46.5%		91		53.5%	
				18	22.8%	61	77.2%	19	20.9%	72	79.1%
松前町	58	52	89.7	24		46.2%		28		53.8%	
				12	50.0%	12	50.0%	5	17.9%	23	82.1%
八幡浜市	153	152	99.3	98		64.5%		54		35.5%	
				28	28.6%	70	71.4%	7	13.0%	47	87.0%
合計	2,577	2,517	97.7	1,536		61.0%		981		39.0%	
				472	30.7%	1,064	69.3%	203	20.7%	778	79.3%

また、設問における年代別の回答数(年代不明なものは除外)については、次表のとおりであり、回答総数は2,559件であった。全体的に見ると、各年代とも、全体の傾向と概ね同様で有意な差は認められなかった。

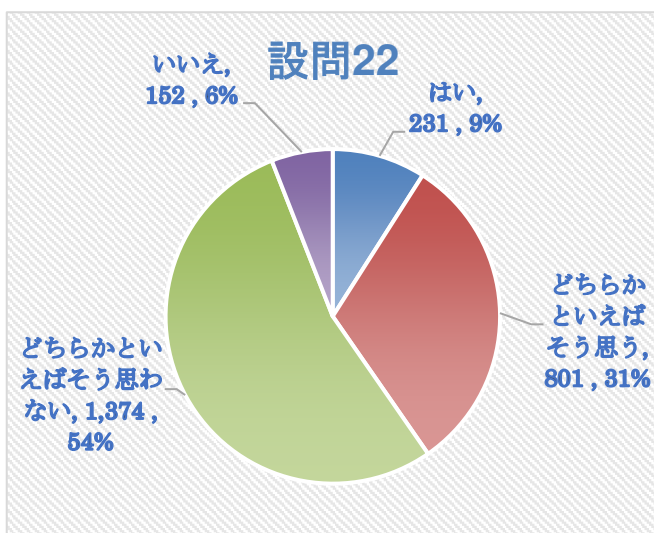
自治体別では、全体的にかなりバラツキがあるが、特に新居浜市の40代や60代、松前町、八幡浜市の10～20代では否定的な回答割合が90%前後と高い数値を示す一方で、松前町の40代は逆に、肯定的な回答割合が否定的な方の回答割合を上回る結果となった。

設問20

自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代～20代		30代		40代		50代		60代							
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない						
県	2,192	2,178	99.4	420	19.3%	407	18.7%	420	19.3%	731	33.6%	200	9.2%						
				104	24.8%	316	75.2%	104	25.6%	303	74.4%	114	27.1%	306	72.9%	210	28.7%	521	71.3%
新居浜市	174	172	98.9	29	16.9%	27	15.7%	39	22.7%	64	37.2%	13	7.6%						
				7	24.1%	22	75.9%	8	29.6%	19	70.4%	4	10.3%	35	89.7%	17	26.6%	47	73.4%
松前町	58	57	98.3	16	28.1%	18	31.6%	10	17.5%	11	19.3%	2	3.5%						
				2	12.5%	14	87.5%	7	38.9%	11	61.1%	6	60.0%	4	40.0%	3	27.3%	8	72.7%
八幡浜市	153	152	99.3	26	17.1%	39	25.7%	50	32.9%	29	19.1%	8	5.3%						
				2	7.7%	24	92.3%	10	25.6%	29	74.4%	11	22.0%	39	78.0%	9	31.0%	20	69.0%
合計	2,577	2,559	99.3	491	19.2%	491	19.2%	519	20.3%	835	32.6%	223	8.7%						
				115	23.4%	376	76.6%	129	26.3%	362	73.7%	135	26.0%	384	74.0%	239	28.6%	596	71.4%

シ 設問22～23（産休・育休等の休暇制度の活用が、自身のキャリア形成に与える影響は「ない」と思いますか？）

問いに対し、肯定的な回答数は、全体では1,032件（約40%）で、否定的な回答数は1,526件（約60%）であった。休暇制度活用がキャリアに与える影響があると認識している方が、過半数を超える結果となった。



設問22	愛媛県		新居浜市		松前町		八幡浜市		合計		割合
はい	201	892	10	59	6	24	14	57	231	1,032	40%
どちらかといえばそう思う	691		49		18		43		801		
どちらかといえばそう思わない	1,161	1,285	101	112	25	34	87	95	1,374	1,526	60%
いいえ	124		11		9		8		152		
計	2,177		171		58		152		2,558		

なお、「いいえ」を選択した方は全体を通して152件あった。主な意見は次のとおりである。(※各自治体意見数の偏りが大きいいためひとくくりにはしている。)

【回答者からの主な意見】

- 産休・育休等休暇制度を使った人と使っていない人と比べるとキャリアアップが遅くなるように感じる。
- 実際に育休等で休むとキャリア形成は男性と比べて遅れを取るの明らかだと思う。
- どうしても休みが増えたり早退も多くなるのでキャリア形成に影響が出るのも仕方ないと思う。
- 産休・育休を取得すると、勤務したい職場があつて愛媛県に就職したのに、自分のやりたい仕事や、まだ経験できていない勤務地を経験せぬままに終わってしまうのではないかと、実際にとっても悩んだことがある。
- 子育てのために自身のキャリアを犠牲にしているという意識があり、納得している自分がある。そのような中で短時間勤務などの働き方を選択しても配属先によっては、必ずしも自分の業務負担を考慮してくれていないと感じる。職員のニーズにあった働き方の選択をさせてもらえれば、自身のキャリア形成に対して前向きに考えられる。
- 休暇明けに配属される職場がある意味固定されていると聞くので、本人の希望より母親であることを優先されて配属決定がなされるように感じる。
- 休職している期間は、仕事のスキルや経験は得られない。
- 広い意味でのキャリア形成を考えると、産休育休中に地域や色々な人とつながることで、地域社会がよくみえるようになり良い影響があつた。
- 子どものための休暇取得が人口減少時代のキャリアデザインの軸になって欲しい。

当該設問における性別による回答数(性別不明なものは除外)については、次表のとおり回答総数は2,509件で、男性1,532人、女性977人となっている。「キャリアに影響はない」と肯定的に感じている方の割合を性別にみると、全体では、男性は45.3%、女性は32.5%と、男性よりも女性の方が低く、女性の方が自身のキャリアへの影響を強く感じている結果となった。

自治体別にみると、影響がないと肯定的な回答割合が最も高かったのは、男性では愛媛県で46.4%、女性では松前町で42.9%であった。その他は、各自治体とも肯定的な方は40%前後、否定的な方が60%前後と、全体の傾向と概ね同様の結果となっている。

設問22

自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	うち男性(件数)				うち女性(件数)			
				はい、そう思う		いいえ、そう思わない		はい、そう思う		いいえ、そう思わない	
県	2,192	2,137	97.5	1,331		62.3%		806		37.7%	
				618	46.4%	713	53.6%	258	32.0%	548	68.0%
新居浜市	174	169	97.1	80		47.3%		89		52.7%	
				31	38.8%	49	61.3%	27	30.3%	62	69.7%
松前町	58	52	89.7	24		46.2%		28		53.8%	
				9	37.5%	15	62.5%	12	42.9%	16	57.1%
八幡浜市	153	151	98.7	97		64.2%		54		35.8%	
				36	37.1%	61	62.9%	21	38.9%	33	61.1%
合計	2,577	2,509	97.4	1,532		61.1%		977		38.9%	
				694	45.3%	838	54.7%	318	32.5%	659	67.5%

また、設問における年代別の回答数（年代不明なものは除外）については、次表のとおりであり、回答総数は2,552件であった。全体では、全年代を通して、設問に対し否定的（キャリア形成に影響がある）な回答が多かったほか、10代～20代では肯定的な方が30%程度だったのに対し、年代が上がるにつれその割合は上昇し、50代では約50%になるなど、年齢が上がるにつれてキャリアに影響があると認識する傾向が認められた。

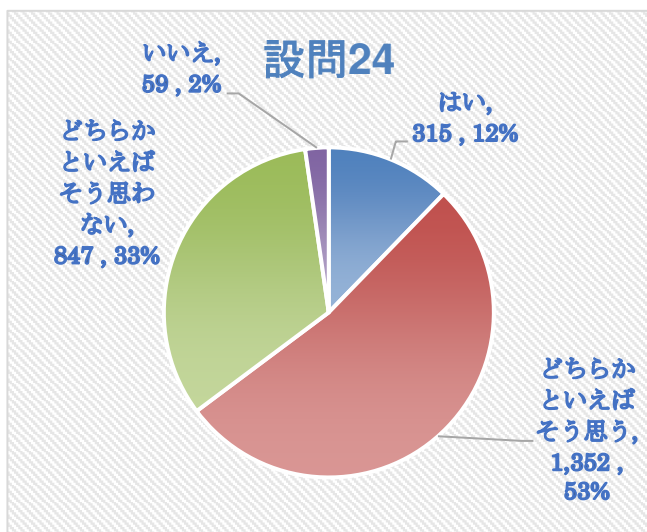
自治体別では、愛媛県は、全体を通して、肯定、否定とも全体の傾向に近い結果となった。新居浜市は、10～30代が否定的な割合が最も高く、年齢を追うごとにその割合が低下したが、50代までは他の自治体よりも相対的に高い傾向であった。松前町は40代、八幡浜市は50代が否定的な回答の割合が高かったが、その他の年代は全体の傾向に近かった。

設問22

自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代～20代		30代		40代		50代		60代							
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない						
県	2,192	2,172	99.1	419	19.3%	407	18.7%	416	19.2%	730	33.6%	200	9.2%						
				127	30.3%	292	69.7%	145	35.6%	262	64.4%	178	42.8%	238	57.2%	360	49.3%	370	50.7%
新居浜市	174	171	98.3	29	17.0%	27	15.8%	39	22.8%	63	36.8%	13	7.6%						
				5	17.2%	24	82.8%	7	25.9%	20	74.1%	12	30.8%	27	69.2%	28	44.4%	35	55.6%
松前町	58	57	98.3	16	28.1%	18	31.6%	10	17.5%	11	19.3%	2	3.5%						
				6	37.5%	10	62.5%	7	38.9%	11	61.1%	3	30.0%	7	70.0%	6	54.5%	5	45.5%
八幡浜市	153	152	99.3	26	17.1%	39	25.7%	50	32.9%	28	18.4%	9	5.9%						
				8	30.8%	18	69.2%	15	38.5%	24	61.5%	22	44.0%	28	56.0%	8	28.6%	20	71.4%
合計	2,577	2,552	99.0	490	19.2%	491	19.2%	515	20.2%	832	32.6%	224	8.8%						
				146	29.8%	344	70.2%	174	35.4%	317	64.6%	215	41.7%	300	58.3%	402	48.3%	430	51.7%

ス 設問24～25（女性職員に対する職場での教育・研修環境は整っていると思いますか？）

問いに対し、肯定的な回答数は、全体では1,667件（約65%）で、否定的な回答数は906件（約35%）であった。環境が整っているという肯定的な回答が否定的な回答を上回ったものの、否定的な回答も少なくないという結果となった。



設問24	愛媛県		新居浜市		松前町		八幡浜市		合計	割合	
はい	280	1,453	17	96	8	29	10	89	315	1,667	65%
どちらかといえばそう思う	1,173		79		21		79		1,352		
どちらかといえばそう思わない	691	735	74	78	24	29	58	64	847	906	35%
いいえ	44		4		5		6		59		
計	2,188		174		58		153		2,573		

なお、「いいえ」を選択した方は全体を通して59件あった。主な意見は次のとおりである。（※各自治体意見数の偏りが大きいいためひとくくりにはしている。）

【回答者からの主な意見】

- 女性職員や女性管理職が増え始めたのはここ近年のことかと思うので、ロールモデルが確立しておらず、なかなかニーズに合った研修や教育が実施できないのではと思う。
- そもそも女性職員に対する教育・研修が必要なのか。女性だけをクローズアップする理由を逆に聞きたい。
- 女性職員に関係なく、研修は不足していると感じる。
- 女性に特化したものがあると感じたことがない。また、真の女性活躍のためには女性に対する教育だけではなく、男性や育児等の経験がない人に対する理解促進が必要だと感じる。
- ステージアップ研修の名簿から毎年外されています。男性や子供のいない女性の同期や同年代の方ばかりが選ばれており、育児が足を引っ張っているのではないかと不安です。
- 女性職員に限らず、専門職としての教育・研修環境は整っていない。日常業務が多忙過ぎるため、研修に時間を十分に割けない状況である。
- 育休を取得する際の「出生時休暇計画」について、男性用と女性用では記載項目が大きく異なっており、男性用は「休みを1月以上とりましょう」、女性用は「休みをとりましょう、復帰後の勤務形態も考えましょう」という感じである。男性も育休を取得する際に、女性用と同様、「家族の支援体制・復帰後の勤務形態・キャリアアップのための支援」を育休取得時に考えたほうが男性・女性の相互理解につながると考える。
- 女性職員の活躍には、女性職員のエンパワメントより男性の意識改革が必要と感じる。
- 性別に関わらず、人を育てる意識が低いように思う。

当該設問における性別による回答数（性別不明なものは除外）については、次表のとおり回答総数は2,524件で、男性1,542人、女性982人となっている。「職場での教育・研修環境が整っている」と肯定的に感じている方の割合を性別にみると、男性は67.1%、女性は61.5%と、男性のほうが女性よりも肯定的な回答割合がやや高い結果となった。

自治体別にみると、肯定的な回答割合が最も高かったのは男女とも愛媛県で全体の傾向と概ね同様の結果であった。他の3市町は、男女とも全体の傾向と比較すると肯定的な回答割合が低く、否定的な回答が高いという、やや異なる結果となった。

設問24

自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	うち男性(件数)		うち女性(件数)	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない
県	2,192	2,148	98.0	1,338	62.3%	810	37.7%
				915	68.4%	423	31.6%
新居浜市	174	172	98.9	80	46.5%	92	53.5%
				47	58.8%	33	41.3%
松前町	58	52	89.7	24	46.2%	28	53.8%
				12	50.0%	12	50.0%
八幡浜市	153	152	99.3	100	65.8%	52	34.2%
				60	60.0%	40	40.0%
合計	2,577	2,524	97.9	1,542	61.1%	982	38.9%
				1,034	67.1%	508	32.9%
						604	61.5%
						378	38.5%

また、設問における年代別の回答数（年代不明なものは除外）については、次表のとおりであり、回答総数は2,567件であった。年代ごとに見てみると、いずれの年代も全体の傾向と概ね同様で大きな差異は認められなかった。

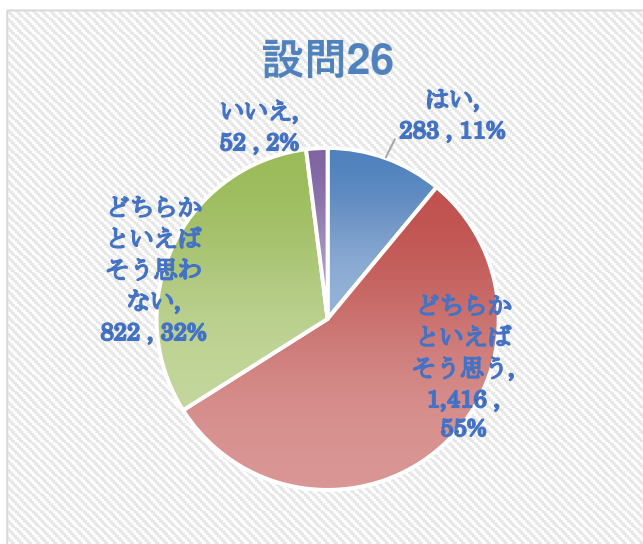
自治体別では、全体的にかなりバラツキはあるものの、愛媛県は概ね全体の傾向と同様、新居浜市や松前町は50代が肯定的な回答割合が低め、八幡浜市は、愛媛県と同様に全体の傾向には近いが、全般的に肯定的な回答割合がやや低め、という結果となった。

設問24

自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代~20代		30代		40代		50代		60代							
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない						
県	2,192	2,183	99.6	420	19.2%	408	18.7%	418	19.1%	735	33.7%	202	9.3%						
				285	67.9%	135	32.1%	260	63.7%	148	36.3%	270	64.6%	148	35.4%	507	69.0%	228	31.0%
新居浜市	174	174	100.0	30	17.2%	27	15.5%	39	22.4%	65	37.4%	13	7.5%						
				18	60.0%	12	40.0%	15	55.6%	12	44.4%	23	59.0%	16	41.0%	30	46.2%	35	53.8%
松前町	58	57	98.3	16	28.1%	18	31.6%	10	17.5%	11	19.3%	2	3.5%						
				8	50.0%	8	50.0%	10	55.6%	8	44.4%	6	60.0%	4	40.0%	5	45.5%	6	54.5%
八幡浜市	153	153	100.0	26	17.0%	39	25.5%	50	32.7%	29	19.0%	9	5.9%						
				15	57.7%	11	42.3%	22	56.4%	17	43.6%	29	58.0%	21	42.0%	18	62.1%	11	37.9%
合計	2,577	2,567	99.6	492	19.2%	492	19.2%	517	20.1%	840	32.7%	226	8.8%						
				326	66.3%	166	33.7%	307	62.4%	185	37.6%	328	63.4%	189	36.6%	560	66.7%	280	33.3%

セ 設問26～27（女性職員の能力・スキルの向上について、組織としての支援は十分だと思いますか？）

問いに対し、肯定的な回答数は、全体では1,699件（約66%）で、否定的な回答数は874件（約34%）であった。組織の支援が十分だと肯定的な回答が否定的な回答を上回ったものの、否定的な回答も少なくないという結果となった。



設問26	愛媛県	新居浜市	松前町	八幡浜市	合計	割合
はい	245	16	9	13	283	66%
どちらかといえばそう思う	1,243	79	20	74	1,416	
どちらかといえばそう思わない	662	74	24	62	822	34%
いいえ	40	4	4	4	52	
計	2,190	173	57	153	2,573	

なお、「いいえ」を選択した方は全体を通して52件あった。主な意見は次のとおりである。（※各自治体意見数の偏りが大きいいためひとくくりにはしている。）

【回答者からの主な意見】

- 研修所の研修等については通所が原則であり、時間もフルタイムを前提にスケジュールリングされる等、育児などのために時短勤務者をしている職員等への配慮が必要と考える。
- 能力・スキルの向上については県研修所の研修はあるが不十分と感じる。全体的な総論は県研修所で学べるが、実務の業務については個々での努力である。
- 研修に関しては性別に関わらず平等であると思う。
- 女性職員だけに能力・スキルの向上へ支援が必要という考えではなく、全職員に対して必要ではないかを感じる。（性別で分けるべきではない。）
- 個々の職員の能力・スキルの向上は、組織側の機会の提供以上に、本人のマインドや人生観が重要。その上で、女性職員、特に出産や子育てで長期間職場から離れる職員に対するスキル向上の制度についても、現状の制度よりも更に実効性がある制度を検討することは、組織にとって重要なテーマの一つだと思う。
- 女性の方にも、もともとスキルが高い職員は多いと考えるし、考え方も男性より多彩なものがあるのではないかと考える。
- 研修があっても、受ける時間や余裕がない。

当該設問における性別による回答数（性別不明なものは除外）については、次表のとおり回答総数は2,524件で、男性1,539人、女性985人となっている。「能力・スキル向上に係る組織の支援」を肯定的に感じている方の割合を性別にみると、男性は69.3%、女性は61.3%と、男性の方が若干ではあるが、女性よりも肯定的に感じているとの結果となった。

自治体別にみると、肯定的な回答割合が最も高かったのは、男性、女性とも愛媛県で、それぞれ71.4%、62.4%であった。他の3自治体は、いずれも肯定的な回答割合が否定的な回答割合を上回ったもののいずれも50%台で、愛媛県と比較すると相対的に10～15%程度低かった。

設問26

自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	うち男性(件数)				うち女性(件数)			
				はい、そう思う		いいえ、そう思わない		はい、そう思う		いいえ、そう思わない	
県	2,192	2,150	98.1	1,338		62.2%		812		37.8%	
				956	71.4%	382	28.6%	507	62.4%	305	37.6%
新居浜市	174	171	98.3	79		46.2%		92		53.8%	
				44	55.7%	35	44.3%	50	54.3%	42	45.7%
松前町	58	51	87.9	24		47.1%		27		52.9%	
				13	54.2%	11	45.8%	15	55.6%	12	44.4%
八幡浜市	153	152	99.3	98		64.5%		54		35.5%	
				54	55.1%	44	44.9%	32	59.3%	22	40.7%
合計	2,577	2,524	97.9	1,539		61.0%		985		39.0%	
				1,067	69.3%	472	30.7%	604	61.3%	381	38.7%

また、設問における年代別の回答数（年代不明なものは除外）については、次表のとおりであり、回答総数は2,566件であった。全体的には、各年代とも全体の傾向と大きな差異はなかった。

自治体別では、全体的にバラツキはあるものの、4自治体とも全体的に見て肯定的な回答割合が高いが、愛媛県を除く3自治体では、50代が共通して肯定的な回答よりも否定的な回答が上回る結果となった。また、新居浜市は60代も否定的だった。

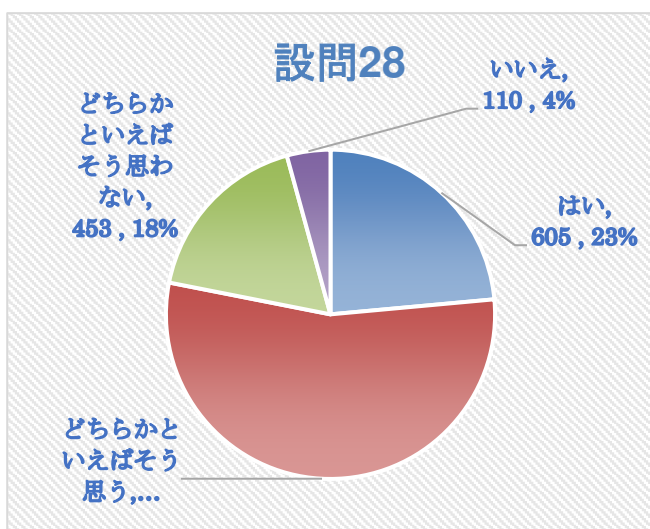
設問26

自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代~20代		30代		40代		50代		60代							
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない						
県	2,192	2,185	99.7	420	19.2%	409	18.7%	419	19.2%	735	33.6%	202	9.2%						
				298	71.0%	122	29.0%	274	67.0%	135	33.0%	267	63.7%	152	36.3%	504	68.6%	231	31.4%
新居浜市	174	173	99.4	30	17.3%	27	15.6%	38	22.0%	65	37.6%	13	7.5%						
				20	66.7%	10	33.3%	15	55.6%	12	44.4%	23	60.5%	15	39.5%	24	36.9%	41	63.1%
松前町	58	56	96.6	16	28.6%	18	32.1%	9	16.1%	11	19.6%	2	3.6%						
				9	56.3%	7	43.8%	9	50.0%	9	50.0%	5	55.6%	4	44.4%	5	45.5%	6	54.5%
八幡浜市	153	152	99.3	26	17.1%	39	25.7%	50	32.9%	29	19.1%	8	5.3%						
				17	65.4%	9	34.6%	23	59.0%	16	41.0%	28	56.0%	22	44.0%	14	48.3%	15	51.7%
合計	2,577	2,566	99.6	492	19.2%	493	19.2%	516	20.1%	840	32.7%	225	8.8%						
				344	69.9%	148	30.1%	321	65.1%	172	34.9%	323	62.6%	193	37.4%	547	65.1%	293	34.9%

(3) 働きやすさについて

ソ 設問28～29（職場では時差出勤やテレワークなど多様な働き方の制度が整っていると思いますか？）

問いに対し、肯定的な回答数は、全体では2,007件（約78%）で、否定的な回答数は563件（約22%）であった。かなり多くの方が、多様な働き方の制度が整っていると感じている結果となった。



設問28	愛媛県		新居浜市		松前町		八幡浜市		合計		割合
はい	581	1,836	10	68	0	4	14	99	605	2,007	78%
どちらかといえばそう思う	1,255		58		22		85		1,402		
どちらかといえばそう思わない	293	351	92	105	53	54	46	54	453	563	22%
いいえ	58		13		31		8		110		
計	2,187		173		57		153		2,570		

なお、「いいえ」を選択した方は全体を通して110件あった。主な意見は次のとおりである。（※各自治体意見数の偏りが大きいいためひとくくりにしている。）

【回答者からの主な意見】

- 制度があっても、ルールの統一や管理が行き届いていないため、活用すべき人が活用すべきタイミングで正しく活用できているようには思えない。
- 担当業務によっては制度をうまく使えない場合がある。（対面や電話対応が主業務のものや書類（紙）を扱う仕事、出張が多い仕事など）
- 時差勤務について相談した際、子育てや介護以外で自己都合による時差勤務は認められないと言われたことがある。
- 時差出勤について、申請したが自己都合を理由に所属での理解を得られなかったことがあり、取得しにくい雰囲気がある。
- テレワークについては、利用すること自体が良くないものとされる風潮がある。
- 制度をとりあえず作っているだけで、積極的な導入を進めているとは感じない。運用・利用しやすさの検証などもされていない。
- 時差出勤、テレワークなどの制度が未整備である。また仮にあったとして、特にテレワークに関しては実施の環境が整っていない。

当該設問における性別による回答数（性別不明なものは除外）については、次表のとおり回答総数は2,521件で、男性1,536人、女性985人となっている。「多様な働き方の制度が整っている」と肯定的に感じている方の割合を性別にみると、男性は81.1%、女性は74.1%と、女性よりも男性の方がやや肯定的に感じている結果となった。

自治体別にみると、自治体により大きな差が認められ、「多様な働き方の制度が整っている」と肯定的に感じている方の割合が最も高かったのは、男性、女性とも愛媛県で、それぞれ86.4%、80.4%であった。次いで八幡浜市が、男性61.2%、女性72.2%と高い結果となった一方で、新居浜市は肯定的な回答割合は男性、女性とも約40%程度、松前町は、男性が4.2%、女性が11.1%と極端に低い結果となった。

設問28

自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	うち男性(件数)				うち女性(件数)			
				はい、そう思う		いいえ、そう思わない		はい、そう思う		いいえ、そう思わない	
県	2,192	2,147	97.9	1,335		62.2%		812		37.8%	
				1,153	86.4%	182	13.6%	653	80.4%	159	19.6%
新居浜市	174	171	98.3	79		46.2%		92		53.8%	
				31	39.2%	48	60.8%	35	38.0%	57	62.0%
松前町	58	51	87.9	24		47.1%		27		52.9%	
				1	4.2%	23	95.8%	3	11.1%	24	88.9%
八幡浜市	153	152	99.3	98		64.5%		54		35.5%	
				60	61.2%	38	38.8%	39	72.2%	15	27.8%
合計	2,577	2,521	97.8	1,536		60.9%		985		39.1%	
				1,245	81.1%	291	18.9%	730	74.1%	255	25.9%

また、設問における年代別の回答数（年代不明なものは除外）については、次表のとおりであり、回答総数は2,563件であった。全体的には、どの年代も肯定的な回答が70%を超える結果となった。

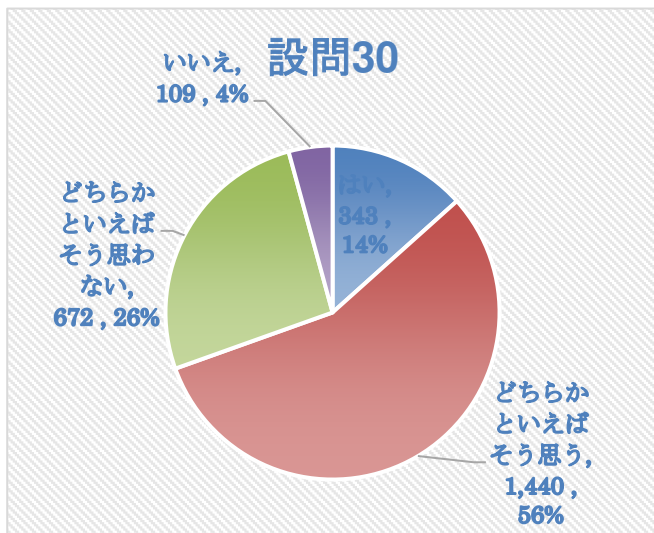
自治体別では、先の性別の結果と同様に自治体により大きな差が認められ、傾向としては性別の結果に近い形となった。肯定的な回答割合が最も高かったのは愛媛県で、全年代を通じて約80%から90%という結果となった。次いで八幡浜市が、全年代を通じて概ね50%～60%程度。新居浜市は、全年代を通じて概ね30%～40%程度で、最後に松前町であるが、全年代を通じて10%以下と極端に低い結果となった。

設問28

自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代～20代		30代		40代		50代		60代							
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない						
県	2,192	2,182	99.5	420	19.2%	407	18.7%	420	19.2%	734	33.6%	201	9.2%						
				335	79.8%	85	20.2%	328	80.6%	79	19.4%	341	81.2%	79	18.8%	646	88.0%	88	12.0%
新居浜市	174	173	99.4	29	16.8%	27	15.6%	39	22.5%	65	37.6%	13	7.5%						
				9	31.0%	20	69.0%	7	25.9%	20	74.1%	17	43.6%	22	56.4%	31	47.7%	34	52.3%
松前町	58	56	96.6	16	28.6%	18	32.1%	10	17.9%	10	17.9%	2	3.6%						
				1	6.3%	15	93.8%	1	5.6%	17	94.4%	1	10.0%	9	90.0%	1	10.0%	9	90.0%
八幡浜市	153	152	99.3	26	17.1%	39	25.7%	50	32.9%	29	19.1%	8	5.3%						
				17	65.4%	9	34.6%	24	61.5%	15	38.5%	35	70.0%	15	30.0%	19	65.5%	10	34.5%
合計	2,577	2,563	99.5	491	19.2%	491	19.2%	519	20.2%	838	32.7%	224	8.7%						
				362	73.7%	129	26.3%	360	73.3%	131	26.7%	394	75.9%	125	24.1%	697	83.2%	141	16.8%

タ 設問30～31（職場の福利厚生（過重労働対策、メンタル相談ほか）制度は整っていると思いますか？）

問いに対し、肯定的な回答数は、全体では1,783件（約70%）で、否定的な回答数は781件（約30%）であった。多くの方が、福利厚生制度が整っていると感じている結果となった。



設問30	愛媛県		新居浜市		松前町		八幡浜市		合計		割合
はい	315	1,569	9	86	3	19	16	109	343	1,783	70%
どちらかといえばそう思う	1,254		77		16		93		1,440		
どちらかといえばそう思わない	526	611	83	88	26	39	37	43	672	781	30%
いいえ	85		5		13		6		109		
計	2,180		174		58		152		2,564		

なお、「いいえ」を選択した方は全体を通して109件あった。主な意見は次のとおりである。（※各自治体意見数の偏りが大きいいためひとくくりにしている。）

【回答者からの主な意見】

- 定期的に行われる管理職との面談でも業務のことが中心で本音を話す気になれない。
- 残業時間数も減っておらず、現状では改善が難しい状況にあるうえ面談は形だけに終わっているような印象を受ける。
- メンタル相談等の制度はあることは知っているが、周りの目が気になり利用しづらいと感じる。
- メンタル相談室を利用したが、あまりよい対応ではなかった記憶があり、今後は利用したくないと思った。
- 管理職等の対応がモラハラに近いように感じたことがある。体調を崩している職員に対し、特段の配慮もなく、かなりきつい言葉をかけていたのを見たことがある。
- 職場内に、大声で怒鳴る・個人を否定する発言をされる方がいるが、誰も諫めようとせず職場の雰囲気はかなり悪いと感じている。管理職は適切に対応してほしいと思う。
- 地方局勤務だが、県庁の残業が当たり前で、業務量が多すぎのようを感じる。将来県庁勤務の可能性はあるが、現状を見ると育児と仕事を両立できる気がしないので将来が不安を感じる。
- 過重労働に関してはマネジメントできているとは言い難いように思う。まず労働力が足りていないし、超勤100時間超の際の面談も形式的に感じる。
- メンタル相談体制はあるかもしれないが、カスタマーハラスメント対策が全くできておらず、今後もハードクレーマーへの対応が解消できないように感じている。
- 人員不足で過重労働が減る気配がなく、対策が十分でないばかりか、更に仕事を増やそうとする管理職もいるなど、改善されない。
- 比較的若い年代の方の休職者や退職者が多いので対策が十分ではないと感じる。
- 便宜上、実施しているだけで何の解決にもなっていないと感じる。人員不足で、過酷な労働をしなくては仕事が前に進まない。

当該設問における性別による回答数（性別不明なものは除外）については、次表のとおり回答総数は2,515件で、男性1,532人、女性983人となっている。「福利厚生制度が整っている」と肯定的に感じている方の回答割合をみると、男性は72.0%、女性は66.7%であった。男女とも概ね全体の傾向に近い結果となった。

自治体別では、愛媛県と八幡浜市は概ね全体の傾向と同様の結果であるが、新居浜市は、男女とも肯定、否定が半数程度に、また、松前町は4自治体の中で最も低く、男性が29.2%、女性が42.9%と、全体の傾向とも大きく乖離した結果となった。

設問30

自治体名	全体(件)	回答数	割合 (%)	うち男性(件数)				うち女性(件数)			
				はい、そう思う		いいえ、そう思わない		はい、そう思う		いいえ、そう思わない	
県	2,192	2,140	97.6	1,331		62.2%		809		37.8%	
				985	74.0%	346	26.0%	562	69.5%	247	30.5%
新居浜市	174	172	98.9	80		46.5%		92		53.5%	
				41	51.3%	39	48.8%	44	47.8%	48	52.2%
松前町	58	52	89.7	24		46.2%		28		53.8%	
				7	29.2%	17	70.8%	12	42.9%	16	57.1%
八幡浜市	153	151	98.7	97		64.2%		54		35.8%	
				70	72.2%	27	27.8%	38	70.4%	16	29.6%
合計	2,577	2,515	97.6	1,532		60.9%		983		39.1%	
				1,103	72.0%	429	28.0%	656	66.7%	327	33.3%

また、設問における年代別の回答数（年代不明なものは除外）については、次表のとおり

であり、回答総数は2,557件であった。各年代とも、肯定的な回答割合は、概ね60%～70%前後となっており、全体の傾向とも近い結果となった。

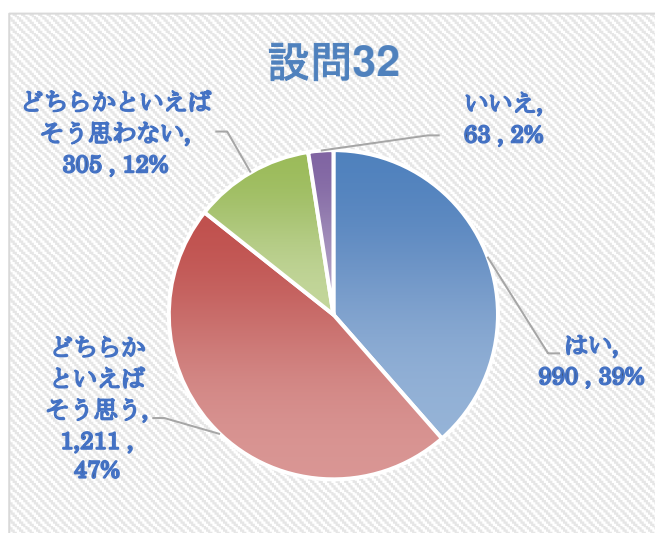
自治体別では、先の性別の状況とも同じく、愛媛県と八幡浜市が全体の傾向と概ね同様で、新居浜市は、各年代とも肯定、否定が概ね半数程度に、また、松前町は4自治体の中で最も低く、全ての年代で否定的な回答割合が高く、全体の傾向とも大きく乖離した結果となった。

設問30

自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代~20代		30代		40代		50代		60代							
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない						
県	2,192	2,175	99.2	418	19.2%	407	18.7%	419	19.3%	729	33.5%	202	9.3%						
				299	71.5%	119	28.5%	266	65.4%	141	34.6%	295	70.4%	124	29.6%	552	75.7%	177	24.3%
新居浜市	174	174	100.0	30	17.2%	27	15.5%	39	22.4%	65	37.4%	13	7.5%						
				17	56.7%	13	43.3%	12	44.4%	15	55.6%	18	46.2%	21	53.8%	32	49.2%	33	50.8%
松前町	58	57	98.3	16	28.1%	18	31.6%	10	17.5%	11	19.3%	2	3.5%						
				5	31.3%	11	68.8%	7	38.9%	11	61.1%	3	30.0%	7	70.0%	4	36.4%	7	63.6%
八幡浜市	153	151	98.7	26	17.2%	38	25.2%	50	33.1%	29	19.2%	8	5.3%						
				19	73.1%	7	26.9%	28	73.7%	10	26.3%	36	72.0%	14	28.0%	21	72.4%	8	27.6%
合計	2,577	2,557	99.2	490	19.2%	490	19.2%	518	20.3%	834	32.6%	225	8.8%						
				340	69.4%	150	30.6%	313	63.9%	177	36.1%	352	68.0%	166	32.0%	609	73.0%	225	27.0%

チ 設問32～33（職場において休暇（年休、夏季休暇）は取得しやすいですか？）

問いに対し、肯定的な回答数は、全体では2,201件（約86%）で、否定的な回答数は368件（約14%）であった。かなり多くの方が、休暇が取得しやすいと感じている結果となった。



設問32	愛媛県		新居浜市		松前町		八幡浜市		合計		割合
はい	863	1,889	61	137	15	39	51	136	990	2,201	86%
どちらかといえばそう思う	1,026		76		24		85		1,211		
どちらかといえばそう思わない	248	298	29	35	13	18	15	17	305	368	14%
いいえ	50		6		5		2		63		
計	2,187		172		57		153		2,569		

なお、「いいえ」を選択した方は全体を通して63件あった。主な意見は次のとおりである。(※各自治体意見数の偏りが大きいいためひとくくりにはしている。)

【回答者からの主な意見】

- 夏季休暇の単位時間が1日なのは非常に取得に苦労している。時間単位とはいわないが、半日取得にできないか考えてほしい。
- 仕事量が多く、人手不足も重なり、また、自分が休む際に他の職員に業務をお願いしておく必要がある、といったこともあって休みづらい状況である。
- 業務繁忙で休暇を取得する代わりに、結果的に休日出勤しなければならないといった矛盾を感じている。
- 病休取得職員が多いので、その職員の業務のフォローなど休暇が取りにくい状況。
- 窓口業務と出張がメインの業務であり、職員数も少ないので休みづらい。
- 上位の職になると調整業務や各種対応に追われ取得ができない。部下も忙しい状況の中休みを取りづらい状況。
- 自分や家族の病気以外は休暇をとりにくい。
- 休日出勤を時間外扱いでなく振替にされるため、振替の取得を修正しないとイケないため休暇が取りにくいのが実情。
- 夏季休暇日数が増えたのはいいが、業務のやりくりには支障が出ている。

当該設問における性別による回答数(性別不明なものは除外)については、次表のとおり回答総数は2,520件で、男性1,538人、女性982人となっている。「休暇が取得しやすい」と肯定的に感じている方の回答割合を性別にみると、男性は86.3%、女性は85.0%と、性別による大きな差異はなかった。

自治体別にみると、肯定的な回答割合が最も高かったのは、男性は八幡浜市で90.8%、女性は愛媛県で86.0%であった。愛媛県と八幡浜市は、肯定的な回答割合が高い。新居浜市は、先の2自治体よりも、男女とも肯定的な回答割合がやや低いものの、全体の傾向には近い結果であった。最後に松前町であるが、男性が69.6%、女性が71.4%と4自治体の中では最も低い結果となった。

設問32

自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	うち男性(件数)				うち女性(件数)			
				はい、そう思う		いいえ、そう思わない		はい、そう思う		いいえ、そう思わない	
県	2,192	2,147	97.9	1,337		62.3%		810		37.7%	
				1,160	86.8%	177	13.2%	697	86.0%	113	14.0%
新居浜市	174	170	97.7	80		47.1%		90		52.9%	
				63	78.8%	17	21.3%	72	80.0%	18	20.0%
松前町	58	51	87.9	23		45.1%		28		54.9%	
				16	69.6%	7	30.4%	20	71.4%	8	28.6%
八幡浜市	153	152	99.3	98		64.5%		54		35.5%	
				89	90.8%	9	9.2%	46	85.2%	8	14.8%
合計	2,577	2,520	97.8	1,538		61.0%		982		39.0%	
				1,328	86.3%	210	13.7%	835	85.0%	147	15.0%

また、設問における年代別の回答数(年代不明なものは除外)については、次表のとおりであり、回答総数は2,562件であった。全ての年代とも全体の傾向と概ね同様の結果と

なった。

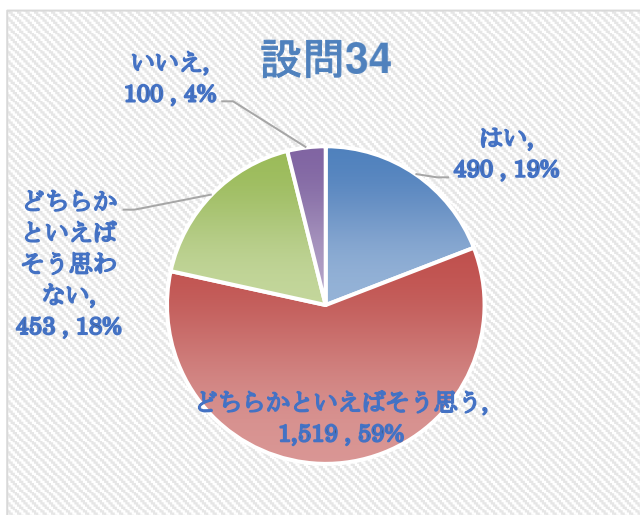
自治体別では、全体的にバラツキがあるものの、全体の傾向に概ね近い結果となったのは愛媛県、新居浜市、八幡浜市で、一部には若干低い年代も認められるが、70%を超えており、大きな差異、というまでには至っていない。一方で、松前町は、10代～20代が66.7%、50代、60代が50%台で、相対的にかなり低い結果となった。

設問32

自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代～20代		30代		40代		50代		60代							
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない						
県	2,192	2,182	99.5	420	19.2%	409	18.7%	419	19.2%	732	33.5%	202	9.3%						
				363	86.4%	57	13.6%	352	86.1%	57	13.9%	345	82.3%	74	17.7%	636	86.9%	96	13.1%
新居浜市	174	172	98.9	29	16.9%	27	15.7%	39	22.7%	64	37.2%	13	7.6%						
				26	89.7%	3	10.3%	20	74.1%	7	25.9%	33	84.6%	6	15.4%	47	73.4%	17	26.6%
松前町	58	56	96.6	15	26.8%	18	32.1%	10	17.9%	11	19.6%	2	3.6%						
				10	66.7%	5	33.3%	14	77.8%	4	22.2%	8	80.0%	2	20.0%	6	54.5%	5	45.5%
八幡浜市	153	152	99.3	26	17.1%	39	25.7%	50	32.9%	29	19.1%	8	5.3%						
				23	88.5%	3	11.5%	37	94.9%	2	5.1%	42	84.0%	8	16.0%	27	93.1%	2	6.9%
合計	2,577	2,562	99.4	490	19.1%	493	19.2%	518	20.2%	836	32.6%	225	8.8%						
				422	86.1%	68	13.9%	423	85.8%	70	14.2%	428	82.6%	90	17.4%	716	85.6%	120	14.4%

ツ 設問34～35（産休・育休等休暇制度は、十分に活用できていますか？）

問いに対し、肯定的な回答数は、全体では2,009件（約78%）で、否定的な回答数は553件（約22%）であった。かなり多くの方が休暇制度を活用できていると感じている結果となった。



設問34	愛媛県		新居浜市		松前町		八幡浜市		合計		割合
はい	416	1,722	38	133	10	37	26	117	490	2,009	78%
どちらかといえばそう思う	1,306		95		27		91		1,519		
どちらかといえばそう思わない	378	457	31	39	16	21	28	36	453	553	22%
いいえ	79		8		5		8		100		
計	2,179		172		58		153		2,562		

なお、「いいえ」を選択した方は全体を通して100件あった。主な意見は次のとおりである。（※各自治体意見数の偏りが大きいためひとくくりになっている。）

【回答者からの主な意見】

- 休暇制度を活用しづらいわけではないが、男性職員と女性職員で出産・育児に関する休暇の取得期間に差があると思う。
- 取得したという実績作りのため、本来の趣旨とは異なる状況のように感じるほか、男性にあっては、現状では長期取得は難しいように感じる。
- 取得を推進する一方で、サポートに必要な人員を十分に確保すべきと考える。代替職員もいない中取得率を向上させるのは難しい。
- 男性の産休・育休の日数がかかなり短く育休や産休と呼べるのかと疑問に感じる。
- 業務量が多く、超勤も多いことから取得が難しい。
- 人員不足で取得をためらうケースもあると思われる。また、長期取得も現状では難しいほか、取得しにくい雰囲気もあると思う。

当該設問における性別による回答数（性別不明なものは除外）については、次表のとおり回答総数は2,514件で、男性1,535人、女性979人となっている。「産休・育休制度を活用できている」と肯定的に感じている方の回答割合を性別にみると、男性は77.2%、女性は81.0%と、男性よりも女性の方がやや高かった。

自治体別にみると、肯定的な回答割合が最も高かったのは、男性は愛媛県で78.2%、女性は八幡浜市で85.5%であった。愛媛県、新居浜市、八幡浜市は、全体の傾向とも近い結果となっている。逆に、肯定的な回答割合が低かったのは松前町で、男性が66.7%、女性が67.9%と4自治体の中で、最も低い結果となった。

設問34

自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	うち男性(件数)				うち女性(件数)			
				はい、そう思う		いいえ、そう思わない		はい、そう思う		いいえ、そう思わない	
県	2,192	2,139	97.6	1,333		62.3%		806		37.7%	
				1,043	78.2%	290	21.8%	652	80.9%	154	19.1%
新居浜市	174	170	97.7	80		47.1%		90		52.9%	
				56	70.0%	24	30.0%	75	83.3%	15	16.7%
松前町	58	52	89.7	24		46.2%		28		53.8%	
				16	66.7%	8	33.3%	19	67.9%	9	32.1%
八幡浜市	153	153	100.0	98		64.1%		55		35.9%	
				70	71.4%	28	28.6%	47	85.5%	8	14.5%
合計	2,577	2,514	97.6	1,535		61.1%		979		38.9%	
				1,185	77.2%	350	22.8%	793	81.0%	186	19.0%

また、設問における年代別の回答数（年代不明なものは除外）については、次表のとおりであり、回答総数は2,555件であった。全ての年代で、全体の傾向と概ね近い結果となっているが、30代は、肯定的な回答割合が、全体と比較してもやや低めであった。

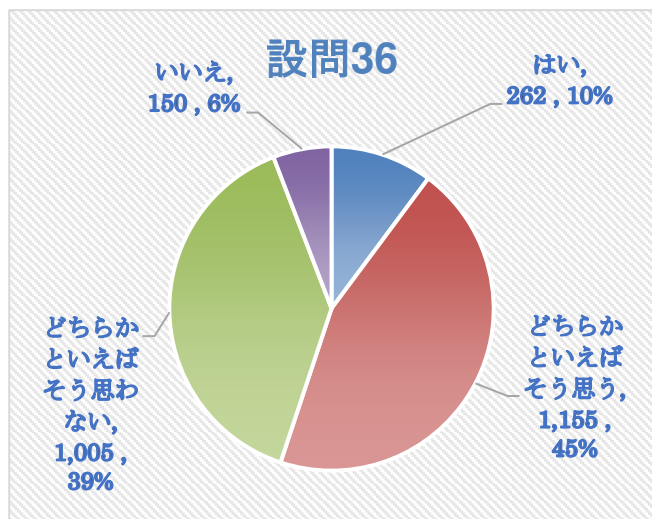
自治体別では、ややバラツキはあるが、全体の傾向に近い結果となったのは愛媛県、新居浜市、八幡浜市であった。八幡浜市は、30代がやや肯定的な回答割合が低く69.2%であった。また、松前町は、全体的に肯定的な回答割合が低い傾向にあったものの、30代のみやや高めで72.2%であった。

設問34

自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代~20代		30代		40代		50代		60代							
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない						
県	2,192	2,174	99.2	419	19.3%	409	18.8%	417	19.2%	730	33.6%	199	9.2%						
				319	76.1%	100	23.9%	297	72.6%	112	27.4%	326	78.2%	91	21.8%	608	83.3%	122	16.7%
新居浜市	174	172	98.9	29	16.9%	27	15.7%	39	22.7%	64	37.2%	13	7.6%						
				21	72.4%	8	27.6%	19	70.4%	8	29.6%	31	79.5%	8	20.5%	52	81.3%	12	18.8%
松前町	58	57	98.3	16	28.1%	18	31.6%	10	17.5%	11	19.3%	2	3.5%						
				9	56.3%	7	43.8%	13	72.2%	5	27.8%	7	70.0%	3	30.0%	7	63.6%	4	36.4%
八幡浜市	153	152	99.3	26	17.1%	39	25.7%	50	32.9%	29	19.1%	8	5.3%						
				22	84.6%	4	15.4%	27	69.2%	12	30.8%	37	74.0%	13	26.0%	25	86.2%	4	13.8%
合計	2,577	2,555	99.1	490	19.2%	493	19.3%	516	20.2%	834	32.6%	222	8.7%						
				371	75.7%	119	24.3%	356	72.2%	137	27.8%	401	77.7%	115	22.3%	692	83.0%	142	17.0%

テ 設問36～37（職場内におけるワークシェアリングなど、休暇を取得しやすい取り組みは進んでいると思いますか？）

問いに対し、肯定的な回答数は、全体では1,417件（約55%）で、否定的な回答数は1,155件（約45%）であった。取り組みが進んでいると、肯定的に感じている方が過半数を超えたものの、否定的に感じている方も多いという結果となった。



設問36	愛媛県		新居浜市		松前町		八幡浜市		合計	割合	
はい	230	1,258	22	78	1	17	9	64	262	1,417	55%
どちらかといえばそう思う	1,028		56		16		55		1,155		
どちらかといえばそう思わない	813	929	84	96	31	41	77	89	1,005	1,155	45%
いいえ	116		12		10		12		150		
計	2,187		174		58		153		2,572		

なお、「いいえ」を選択した方は全体を通して150件あった。主な意見は次のとおりである。（※各自治体意見数の偏りが大きいためひとくくりになっている。）

【回答者からの主な意見】

- 業務が属人化していることに加え、引継ぎやデータ管理の方法まで属人化しているといった問題がある。また、専門性のある業務も分担が難しい。
- 人員不足の上、業務量に偏りがある。気兼ねなく休むのは難しい。
- 「担当者でないと分からない」業務が多い。ワークシェアリングには情報共有が不可欠。属人化を防ぐ仕組みの構築が必要と思うが改善が進まない。

- 自分の仕事は自分で片づけることを基本に考える人が殆どで、ワークシェアリングの認識を持つ職員は少数だと思う。言葉自体初めて聞いたという方もいる。
- 所属における実業務量の把握が十分でないだけでなく過少に評価されていると思われるふしもあり、改善が進みそうにない。係間でも業務量に差がありすぎても調整されない。
- 制度はあり、取得はできるが、その分のしわ寄せが来るだけなので意味がないように感じる。
- 管理職が係長以下で処理する業務を処理したり、臨時職員の連続雇用により効率性がアップすることなどの副次効果として超勤時間は減っているかもしれないが、制度的に業務軽減に取り組んでいるとは言い難い。
- 仕事が人（個人）について回っており、係や課内での共有・分担という考えが根付いていない。

当該設問における性別による回答数（性別不明なものは除外）については、次表のとおり回答総数は2,523件で、男性1,539人、女性984人となっている。全体傾向と全体の性別傾向については、概ね近い結果となっている。性別による大きな差異は認められなかった。

自治体別にみると、肯定的に感じている方の回答割合が最も高かったのは、男性、女性とも愛媛県で、それぞれ59.5%、55.2%であった。新居浜市、松前町、八幡浜市は、全体傾向及び全体の性別傾向とは逆の結果となった。3市町は、否定的な回答数の方が過半数を超えており、特に松前町は、肯定的な回答割合が30%前後で、4自治体の中では男女とも、最も低かった。

設問36

自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	うち男性(件数)				うち女性(件数)			
				はい、そう思う		いいえ、そう思わない		はい、そう思う		いいえ、そう思わない	
県	2,192	2,147	97.9	1,337		62.3%		810		37.7%	
				795	59.5%	542	40.5%	447	55.2%	363	44.8%
新居浜市	174	172	98.9	80		46.5%		92		53.5%	
				34	42.5%	46	57.5%	44	47.8%	48	52.2%
松前町	58	52	89.7	24		46.2%		28		53.8%	
				7	29.2%	17	70.8%	9	32.1%	19	67.9%
八幡浜市	153	152	99.3	98		64.5%		54		35.5%	
				38	38.8%	60	61.2%	26	48.1%	28	51.9%
合計	2,577	2,523	97.9	1,539		61.0%		984		39.0%	
				874	56.8%	665	43.2%	526	53.5%	458	46.5%

また、設問における年代別の回答数（年代不明なものは除外）については、次表のとおりであり、回答総数は2,565件であった。肯定的に感じている方の割合は、各年代でバラツキはあるものの、概ね50%～60%程度で、全体の傾向とも近い結果となった。

自治体別も同様に、各年代でややバラツキはあるが、概ね全体の傾向に沿っているのは愛媛県のみで、新居浜市は10～20代以外の年代は40%程度、松前町は、40代以外は20%～30%程度、八幡浜市は、10～20代及び50代を除き30%程度と、市町においては休暇取得に関するワークシェアの取組みに対して、評価が低い結果となった。

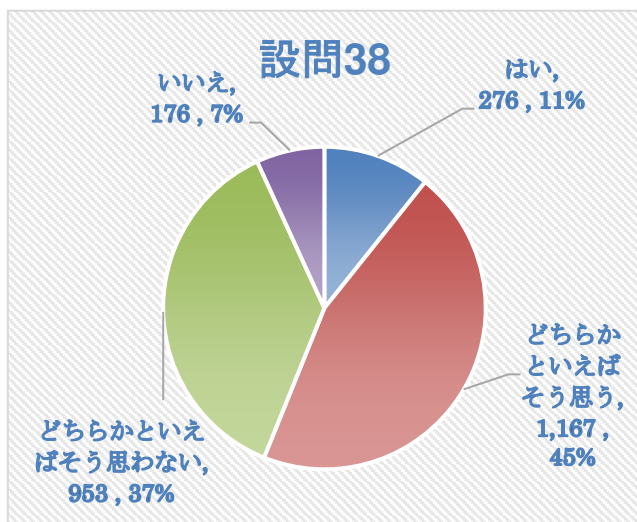
設問36

自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代~20代		30代		40代		50代		60代							
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない						
県	2,192	2,182	99.5	421	19.3%	408	18.7%	420	19.2%	732	33.5%	201	9.2%						
				249	59.1%	172	40.9%	209	51.2%	199	48.8%	230	54.8%	190	45.2%	436	59.6%	296	40.4%
新居浜市	174	174	100.0	30	17.2%	27	15.5%	39	22.4%	65	37.4%	13	7.5%						
				19	63.3%	11	36.7%	10	37.0%	17	63.0%	16	41.0%	23	59.0%	27	41.5%	38	58.5%
松前町	58	57	98.3	16	28.1%	18	31.6%	10	17.5%	11	19.3%	2	3.5%						
				5	31.3%	11	68.8%	3	16.7%	15	83.3%	5	50.0%	5	50.0%	4	36.4%	7	63.6%
八幡浜市	153	152	99.3	26	17.1%	39	25.7%	50	32.9%	29	19.1%	8	5.3%						
				19	73.1%	7	26.9%	14	35.9%	25	64.1%	15	30.0%	35	70.0%	14	48.3%	15	51.7%
合計	2,577	2,565	99.5	493	19.2%	492	19.2%	519	20.2%	837	32.6%	224	8.7%						
				292	59.2%	201	40.8%	236	48.0%	256	52.0%	266	51.3%	253	48.7%	481	57.5%	356	42.5%

(4) 職場環境について

ト 設問38~39 (職場のオフィス環境に満足していますか?)

問いに対し、肯定的な回答数は、全体では1,443件(約56%)で、否定的な回答数は1,129件(約44%)であった。肯定的な回答が一応過半数を超えたものの、否定的に感じている方も多いという結果となった。



設問38	愛媛県		新居浜市		松前町		八幡浜市		合計		割合
はい	229	1,232	29	105	3	24	15	82	276	1,443	56%
どちらかといえばそう思う	1,003		76		21		67		1,167		
どちらかといえばそう思わない	799	956	62	69	28	34	64	70	953	1,129	44%
いいえ	157		7		6		6		176		
計	2,188		174		58		152		2,572		

なお、「いいえ」を選択した方は全体を通して176件あった。主な意見は次のとおりである。(※各自治体の意見数の偏りが大きいためひとくくりにしている。)

【回答者からの主な意見】

- 施設・設備の整備・管理が十分でない。(執務室が暗い、冷暖房の効きが悪い、机や椅子が古い、トイレ環境、ロッカーや更衣室がない、会議室が足りない、建物の老朽化など)

- 書類が多すぎる。きちんと整理ができていない（保管場所がない）。
- デジタル機器の能力不足と制限の多さを感じる。PCのスペックアップ、クラウドストレージの容量増加などやってほしい。
- 建物が老朽化による雨漏りがしばしば起きている。
- 本庁は個人用の携帯電話（PHS）だが地方局では固定電話で個人用はない。
- 施設維持管理に係る予算が削減されている。
- 空調設備の運転ルールに縛られ、柔軟な運用がなされていない。
- 時間外の電話対応、勤務時間前の来庁者対応などが負担。

当該設問における性別による回答数（性別不明なものは除外）については、次表のとおり回答総数は2,523件で、男性1,537人、女性986人となっている。「オフィス環境に満足」と肯定的に感じている方の回答割合は、男性は57.9%、女性は54.2%であり、全体の傾向と概ね同様であり、性別による大きな差異は認められなかった。

自治体別にみると、肯定的に感じている方の回答割合が最も高かったのは、男性では新居浜市で67.5%、女性では愛媛県で54.7%であった。最も低かったのは、男性では松前町で37.5%、女性では松前町と八幡浜市がともに50.0%であった。女性では自治体による差が殆どなかったが、男性は差異が大きかった。

設問38

自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	うち男性(件数)				うち女性(件数)			
				はい、そう思う		いいえ、そう思わない		はい、そう思う		いいえ、そう思わない	
県	2,192	2,148	98.0	1,336		62.2%		812		37.8%	
				773	57.9%	563	42.1%	444	54.7%	368	45.3%
新居浜市	174	172	98.9	80		46.5%		92		53.5%	
				54	67.5%	26	32.5%	49	53.3%	43	46.7%
松前町	58	52	89.7	24		46.2%		28		53.8%	
				9	37.5%	15	62.5%	14	50.0%	14	50.0%
八幡浜市	153	151	98.7	97		64.2%		54		35.8%	
				54	55.7%	43	44.3%	27	50.0%	27	50.0%
合計	2,577	2,523	97.9	1,537		60.9%		986		39.1%	
				890	57.9%	647	42.1%	534	54.2%	452	45.8%

また、設問における年代別の回答数（年代不明なものは除外）については、次表のとおりであり、回答総数は2,565件であった。肯定的な回答割合は、各年代を通じて概ね50%～60%程度となっているものの、30代、40代は、他の年代よりやや低めであった。

自治体別では、全体的にかなりバラツキがあり、肯定的な回答割合について、愛媛県では、年代全体の傾向と同様に30代、40代がやや低めであった。新居浜市は、50代を除き、全体的に60%から70%と高かった。松前町は、50代を除き全体的に30%から40%程度と低かった。八幡浜市は、40代がやや低いものの、ほかの世代では50%～60%程度であった。

設問38

自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代~20代		30代		40代		50代		60代							
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない						
県	2,192	2,183	99.6	420	19.2%	408	18.7%	420	19.2%	733	33.6%	202	9.3%						
				246	58.6%	174	41.4%	200	49.0%	208	51.0%	205	48.8%	215	51.2%	444	60.6%	289	39.4%
新居浜市	174	174	100.0	30	17.2%	27	15.5%	39	22.4%	65	37.4%	13	7.5%						
				22	73.3%	8	26.7%	17	63.0%	10	37.0%	26	66.7%	13	33.3%	31	47.7%	34	52.3%
松前町	58	57	98.3	16	28.1%	18	31.6%	10	17.5%	11	19.3%	2	3.5%						
				5	31.3%	11	68.8%	7	38.9%	11	61.1%	4	40.0%	6	60.0%	7	63.6%	4	36.4%
八幡浜市	153	151	98.7	26	17.2%	39	25.8%	49	32.5%	29	19.2%	8	5.3%						
				16	61.5%	10	38.5%	21	53.8%	18	46.2%	22	44.9%	27	55.1%	18	62.1%	11	37.9%
合計	2,577	2,565	99.5	492	19.2%	492	19.2%	518	20.2%	838	32.7%	225	8.8%						
				289	58.7%	203	41.3%	245	49.8%	247	50.2%	257	49.6%	261	50.4%	500	59.7%	338	40.3%

ナ 設問40（快適な職場環境では何が必要としますか？）

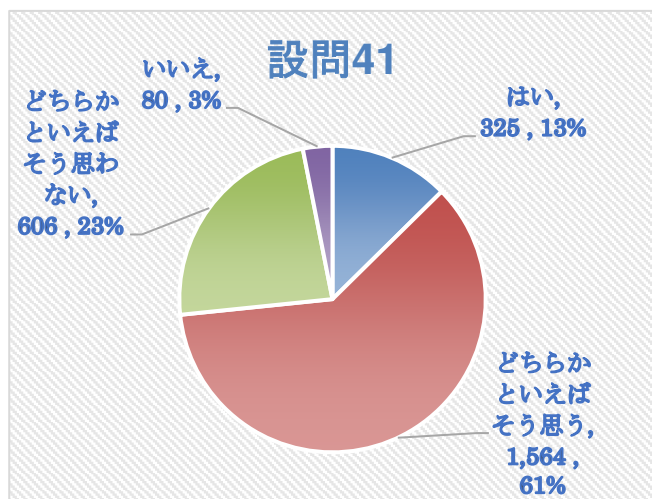
問いに対し、以下の通りの結果得られた。「職場環境で最も求められているもの」は冷暖房（空調）であり、全体の74%の方から回答を得るなど、他の項目と比較しても圧倒的に重要度が高い結果となった。次いで、作業スペース、休憩室、トイレ、照明など主に執務室環境によるもの概ね回答者の半数の方から回答があり、上位を占めた。また、机やイスなど、職員が直接使用する机・椅子など事務機器などに関する要望も多い。全てをいきなり満足することは難しいと思われるが、職員の要望として、快適な職場に求められているものであることから、この結果をぜひ参考にしていただきたい。

快適な職場環境では何が必要としますか（複数選択可）



二 設問4 1～4 2（庁内LANをはじめ様々な業務システムやツールなどがありますが、業務を行う上で十分だと思いますか？）

問いに対し、肯定的な回答数は、全体では1, 8 8 9件（約7 3%）となった。また一方で、否定的な回答数は6 8 6件（約2 7%）であった。多くの方が、現時点における業務ツール等の整備状況について一定の満足感が得られているという結果となった。



設問41	愛媛県		新居浜市		松前町		八幡浜市		合計	割合	
はい	284	1,639	24	119	6	34	11	97	325	1,889	73%
どちらかといえばそう思う	1,355		95		28		86		1,564		
どちらかといえばそう思わない	486	551	49	55	18	24	53	56	606	686	27%
いいえ	65		6		6		3		80		
計	2,190		174		58		153		2,575		

なお、「いいえ」を選択した方は全体を通して80件あった。主な意見は次のとおりである。（※各自治体の意見数の偏りが大きいためひとくくりにしている。）

【回答者からの主な意見】

- パソコンのスペックが低く、エクセル等でデータ処理する際に、支障が出ることもある。（フリーズすることが多い）
- 旅費システムの入力作業に時間がかかりすぎる。庁内システムの中で一番使いづらいつと感じる。
- 庶務関係の事務については、どの課室でも共通する手続等が多いと思うので、共通のマニュアルが整備されていてほしいと感じる。
- ツールには満足しているが、職員端末のハードディスクにデータを保存するのではなくサーバーで集中管理すべき。出張で持ち出す際の破損・データ漏洩や、職場には鍵付きロッカー等で端末を保管できないことを考えると、リスク管理上問題ではないか。
- 回線スピードが遅い。インターネットは特に使いにくい。また、通信環境が悪い職場もある。
- 多種多様なシステムがあるが、バラバラと導入されているので、連携できるようにしてほしい。
- 全般的にシステムが使いづらい。使いにくいツールも多い。制限が多すぎてツールの活用ができない。

- RPAなどの導入を進めてほしい。
- 勤怠管理などが紙媒体で行われており、改善すべき。
- 庁外で端末を持ち出して使えるようにすべき。
- もっとデジタルによる業務改革を進めるべき。

当該設問における性別による回答数（性別不明なものは除外）については、次表のとおり回答総数は2,526件で、男性1,540人、女性986人となっている。「業務システムやツールは十分」と肯定的な回答割合は、男性は72.4%、女性は75.4%となっており、全体の傾向と概ね同様で、性別による大きな差異は認められなかった。

自治体別にみると、「業務システムやツールは十分」と肯定的に感じている方の回答割合が最も高かったのは、男性、女性とも愛媛県で、それぞれ74.4%、76.5%であった。最も低かったのは、男性、女性とも松前町で、それぞれ33.3%、64.3%であった。新居浜市と八幡浜市は、男性が60%代、女性が70%代で、男性が若干低いものの、全体の傾向と近く、性別に関わらず一定の満足感が得られている、という結果となった。

設問41

自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	うち男性(件数)				うち女性(件数)			
				はい、そう思う		いいえ、そう思わない		はい、そう思う		いいえ、そう思わない	
県	2,192	2,150	98.1	1,338		62.2%		812		37.8%	
				995	74.4%	343	25.6%	621	76.5%	191	23.5%
新居浜市	174	172	98.9	80		46.5%		92		53.5%	
				53	66.3%	27	33.8%	66	71.7%	26	28.3%
松前町	58	52	89.7	24		46.2%		28		53.8%	
				8	33.3%	16	66.7%	18	64.3%	10	35.7%
八幡浜市	153	152	99.3	98		64.5%		54		35.5%	
				59	60.2%	39	39.8%	38	70.4%	16	29.6%
合計	2,577	2,526	98.0	1,540		61.0%		986		39.0%	
				1,115	72.4%	425	27.6%	743	75.4%	243	24.6%

また、設問における年代別の回答数（年代不明なものは除外）については、次表のとおりであり、回答総数は2,568件であった。全体的には、「業務システムやツールは十分」と肯定的に感じている方の回答割合は、各年代を通じて概ね70%程度で、全体の傾向とも近い結果となった。

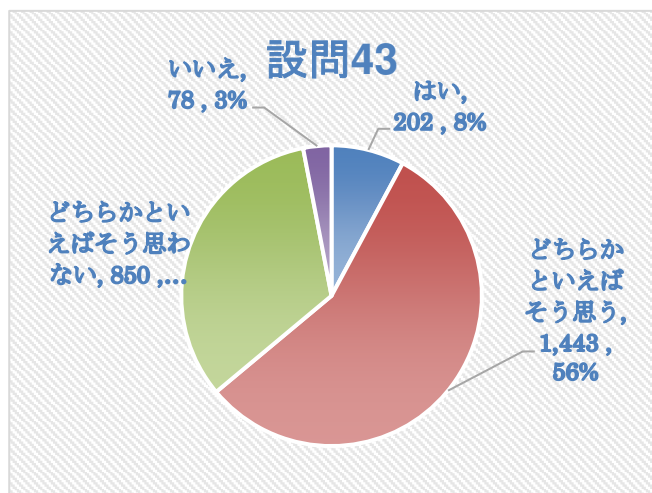
自治体別では、愛媛県は、全年代を通じて全体の傾向と概ね同様の結果となっている。新居浜市では、肯定的な回答割合が、10～20代で86.7%と高い一方で、30代が55.6%とやや低い。松前町では、新居浜市と同様に10～20代が87.5%と高い一方で、30代が33.3%、40代が20.0%とかなり低い。八幡浜市は、50代が75.9%と高い一方で、他の年代ではやや低めとなっている。

設問41

自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代~20代		30代		40代		50代		60代							
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない						
県	2,192	2,185	99.7	420	19.2%	409	18.7%	420	19.2%	734	33.6%	202	9.2%						
				318	75.7%	102	24.3%	298	72.9%	111	27.1%	317	75.5%	103	24.5%	546	74.4%	188	25.6%
新居浜市	174	174	100.0	30	17.2%	27	15.5%	39	22.4%	65	37.4%	13	7.5%						
				26	86.7%	4	13.3%	15	55.6%	12	44.4%	28	71.8%	11	28.2%	41	63.1%	24	36.9%
松前町	58	57	98.3	16	28.1%	18	31.6%	10	17.5%	11	19.3%	2	3.5%						
				14	87.5%	2	12.5%	6	33.3%	12	66.7%	2	20.0%	8	80.0%	5	45.5%	6	54.5%
八幡浜市	153	152	99.3	26	17.1%	39	25.7%	50	32.9%	29	19.1%	8	5.3%						
				16	61.5%	10	38.5%	24	61.5%	15	38.5%	30	60.0%	20	40.0%	22	75.9%	7	24.1%
合計	2,577	2,568	99.7	492	19.2%	493	19.2%	519	20.2%	839	32.7%	225	8.8%						
				374	76.0%	118	24.0%	343	69.6%	150	30.4%	377	72.6%	142	27.4%	614	73.2%	225	26.8%

又 設問43（職場において、キャリアアップや様々なハラスメント相談などに対応できる仕組みが整備されていますが、十分だと思いますか？）

問いに対し、肯定的な回答数は、全体では1,645件（約64%）で、否定的な回答数は928件（約36%）であった。多くの方が、キャリアアップ等の相談対応の仕組みが十分と感じているという結果となった一方で、否定的な回答も少なくない結果となった。



設問43	愛媛県		新居浜市		松前町		八幡浜市		合計	割合	
はい	172	1,456	16	79	6	24	8	86	202	1,645	64%
どちらかといえばそう思う	1,284		63		18		78		1,443		
どちらかといえばそう思わない	673	733	87	94	27	34	63	67	850	928	36%
いいえ	60		7		7		4		78		
計	2,189		173		58		153		2,573		

なお、「いいえ」を選択した方は全体を通して78件あった。主な意見は次のとおりである。（※各自治体の意見数の偏りが大きいためひとくくりにはしていない。）

【回答者からの主な意見】

- ハラスメントに関して、職員が相談員として窓口になっている現状では気軽に相談というわけにはいかないと感じる。また、相談することで、違った目（トラブルを起こしやすい職員として）で見られるのが心配。外部専門家を活用すべきではないか。
- 小さな所属では、職員も少ないし、プライバシーが守られているかも分からない。相談しやすい環境とは言えない。
- 所属における管理職が本当の意味で相談対応してくれるのか形だけのものなのか疑問に感じている。
- ハラスメントに関する相談窓口が勤務時間中なので相談できない。
- 窓口はあるが、利用率は低いのではないかと感じる。利用を妨げる要因など、現状分析をしてほしい。
- カスタマーハラスメントに対する所属の対応に積極性を感じない。苦情対応を相談できる専門部署の設置を望む。
- キャリアアップについては、目に見える形（経験だけではなくて、資格や免許など）でのキャリア育成は十分でないと感じる。
- キャリアアップに関する人材育成センターの研修会やオンライン研修などを開いて

いただけるのでとてもありがたく感じている。
○キャリアアップの仕組みはないと思う。

なお、当該設問における性別による回答数（性別不明なものは除外）については、次表のとおり回答総数は2,530件で、男性1,539人、女性991人となっている。「相談対応の仕組みは十分」と肯定的に感じている方の回答割合を性別にみると、男性は67.8%、女性は58.7%と、男性が女性を大きく上回った。

自治体別にみると、「相談対応の仕組みは十分」と肯定的に感じている方の回答割合が最も高かったのは、男性、女性とも愛媛県で、それぞれ70.4%、61.2%であった。最も低かったのは、男性は新居浜市で43.8%、女性は松前町で42.9%であった。愛媛県以外の3市町は、男性、女性とも概ね50%程度という結果となった。県と市町では結果が異なるものの、全体的に男性の方が「相談対応の仕組みは十分」と感じている結果となった。

設問43

自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	うち男性(件数)				うち女性(件数)			
				はい、そう思う		いいえ、そう思わない		はい、そう思う		いいえ、そう思わない	
県	2,192	2,149	98.0	1,337				812			
				941 70.4%		396 29.6%		497 61.2%		315 38.8%	
新居浜市	174	171	98.3	80				91			
				35 43.8%		45 56.3%		43 47.3%		48 52.7%	
松前町	58	52	89.7	24				28			
				12 50.0%		12 50.0%		12 42.9%		16 57.1%	
八幡浜市	153	158	103.3	98				60			
				56 57.1%		42 42.9%		30 50.0%		30 50.0%	
合計	2,577	2,530	98.2	1,539				991			
				1,044 67.8%		495 32.2%		582 58.7%		409 41.3%	

また、設問における年代別の回答数（年代不明なものは除外）については、次表のとおりであり、回答総数は2,566件であった。全体的には、「相談対応の仕組みは十分」と肯定的に感じている方の回答割合は、各年代を通じて概ね60%程度となっている。

自治体別では、愛媛県は全年代を通じて概ね60~70%程度となっているが、新居浜市では、10~20代が70.0%と突出して高い一方で、30代から50代にかけては40%程度とやや低い。松前町は、50代が18.2%と突出して低く、10~20代も43.8%とやや低い。八幡浜市は、60代が37.5%とやや低い一方で、他の世代では概ね50%から60%程度であった。

設問43

自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代~20代		30代		40代		50代		60代	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない
県	2,192	2,184	99.6	421 19.3%		408 18.7%		419 19.2%		734 33.6%		202 9.2%	
				291 69.1%	130 30.9%	250 61.3%	158 38.7%	263 62.8%	156 37.2%	509 69.3%	225 30.7%	139 68.8%	63 31.2%
新居浜市	174	173	99.4	30 17.3%		27 15.6%		39 22.5%		64 37.0%		13 7.5%	
				21 70.0%	9 30.0%	11 40.7%	16 59.3%	15 38.5%	24 61.5%	24 37.5%	40 62.5%	8 61.5%	5 38.5%
松前町	58	57	98.3	16 28.1%		18 31.6%		10 17.5%		11 19.3%		2 3.5%	
				7 43.8%	9 56.3%	9 50.0%	9 50.0%	6 60.0%	4 40.0%	2 18.2%	9 81.8%	0 0.0%	2 100.0%
八幡浜市	153	152	99.3	26 17.1%		39 25.7%		50 32.9%		29 19.1%		8 5.3%	
				14 53.8%	12 46.2%	26 66.7%	13 33.3%	27 54.0%	23 46.0%	16 55.2%	13 44.8%	3 37.5%	5 62.5%
合計	2,577	2,566	99.6	493 19.2%		492 19.2%		518 20.2%		838 32.7%		225 8.8%	
				333 67.5%	160 32.5%	296 60.2%	196 39.8%	311 60.0%	207 40.0%	551 65.8%	287 34.2%	150 66.7%	75 33.3%

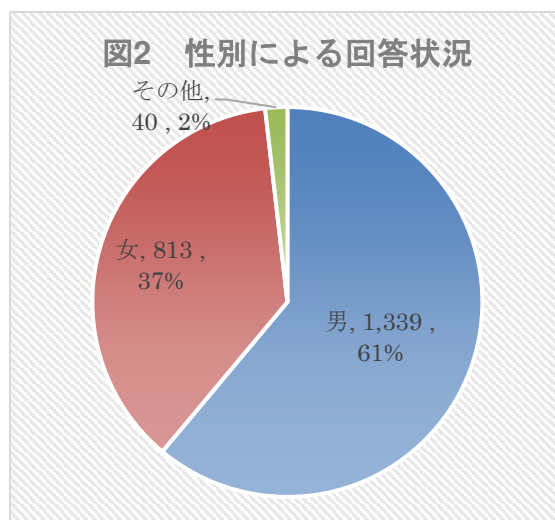
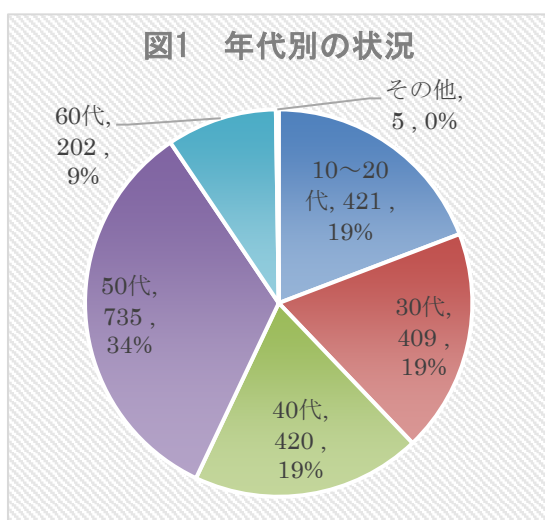
5. 各自治体の調査結果について

(1) 愛媛県の状況について

①年齢、性別による回答状況について

ア 設問2～設問3（年齢、性別）

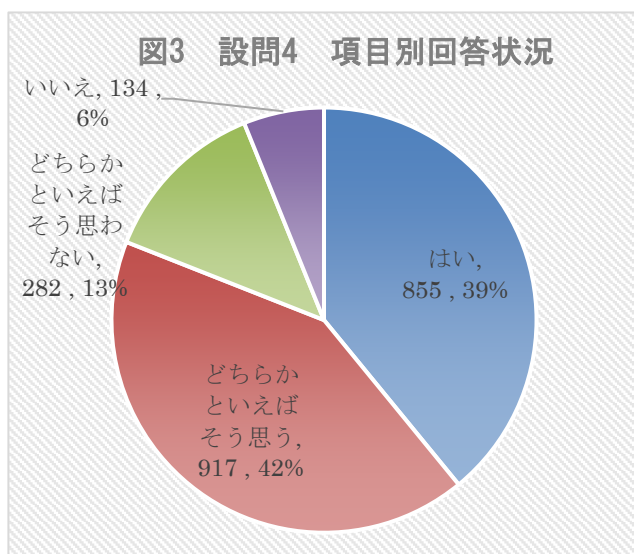
愛媛県における全体の回答者数は2,192件で、回答者の年代別、男女等別の回答数の状況は図1、図2のとおりとなった。特定の年代及び性別に偏らず、幅広い世代等の職員から回答を頂いた。



②女性の活躍について

イ 設問4（職場内で女性職員が増えたと思いますか？）

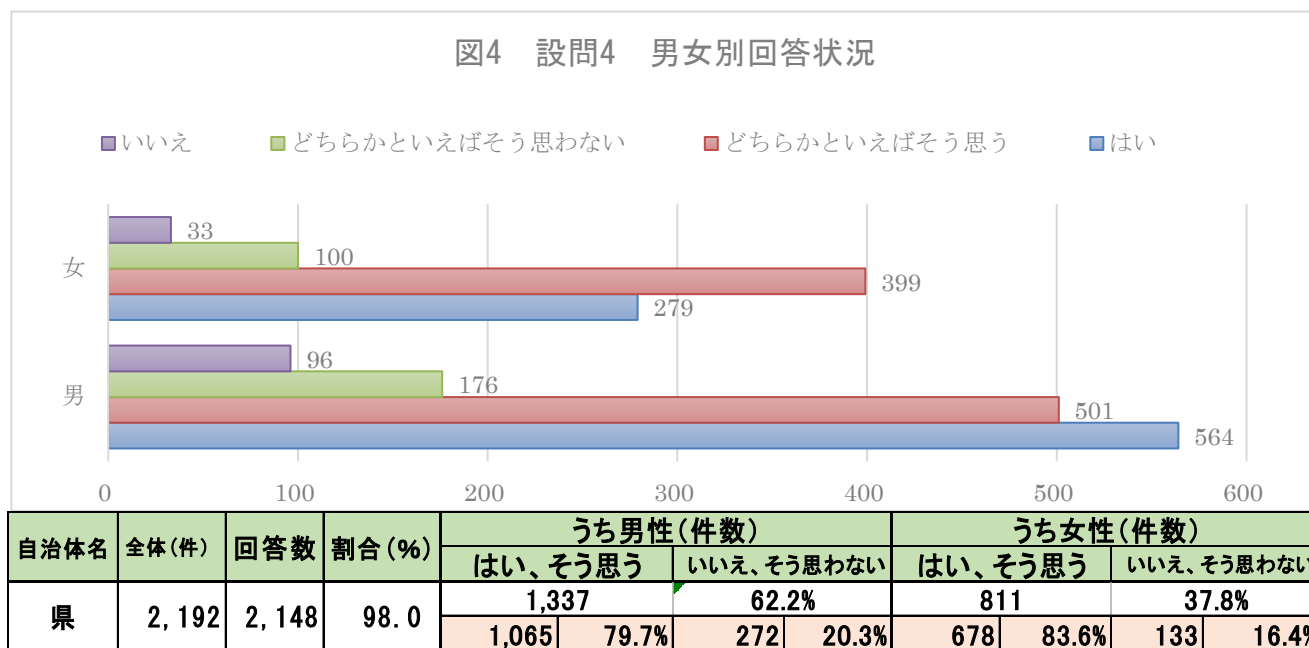
図3のとおり、設問に対する回答数は2,188件（全体2,192件）で、問いに対し、肯定的な回答数が全体の81%占め、否定的な回答数は約19%だった。ほとんどの職員が、女性職員の割合が増えていると感じている結果となった。



次に、図4により性別による状況を見てみると、女性の方が男性よりも肯定的な回答割合が高い結果となった。回答項目別でみると、男性の方が女性よりも、より明確な肯定的な回答（「はい」を選択）が多かった。

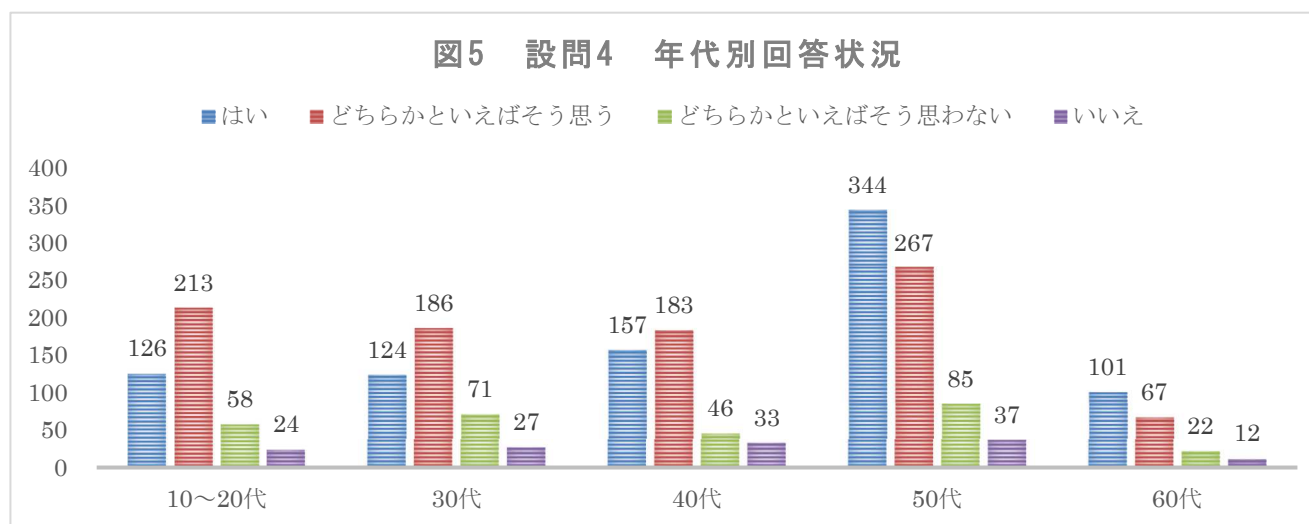
なお、女性の割合が増えたと感じていない職員も一定数いることから、職場の状況や職種などの影響等により、単純に女性の割合が増えた感じられない部署もあると考えられる。

図4 設問4 男女別回答状況



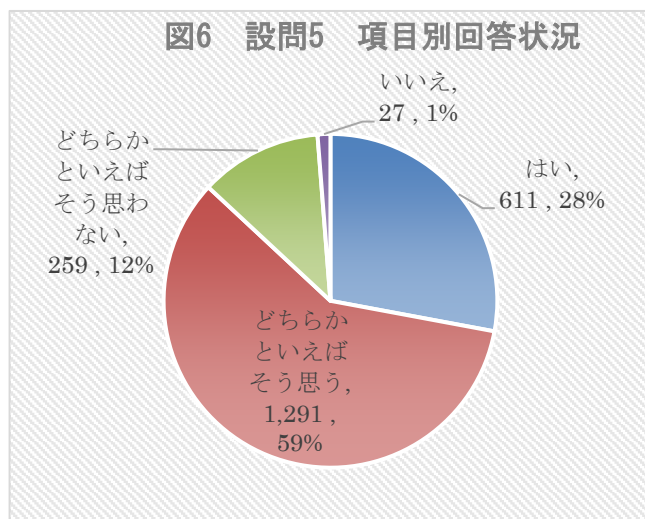
次に、図5により、各年代別の状況を見てみると、どの年代も約80%の方が、女性が増えた回答するなど全体の傾向と概ね同様であり、また、年代による大きな偏りも認められなかった。50代、60代の方のほうが、より肯定的な回答が多かった。

図5 設問4 年代別回答状況

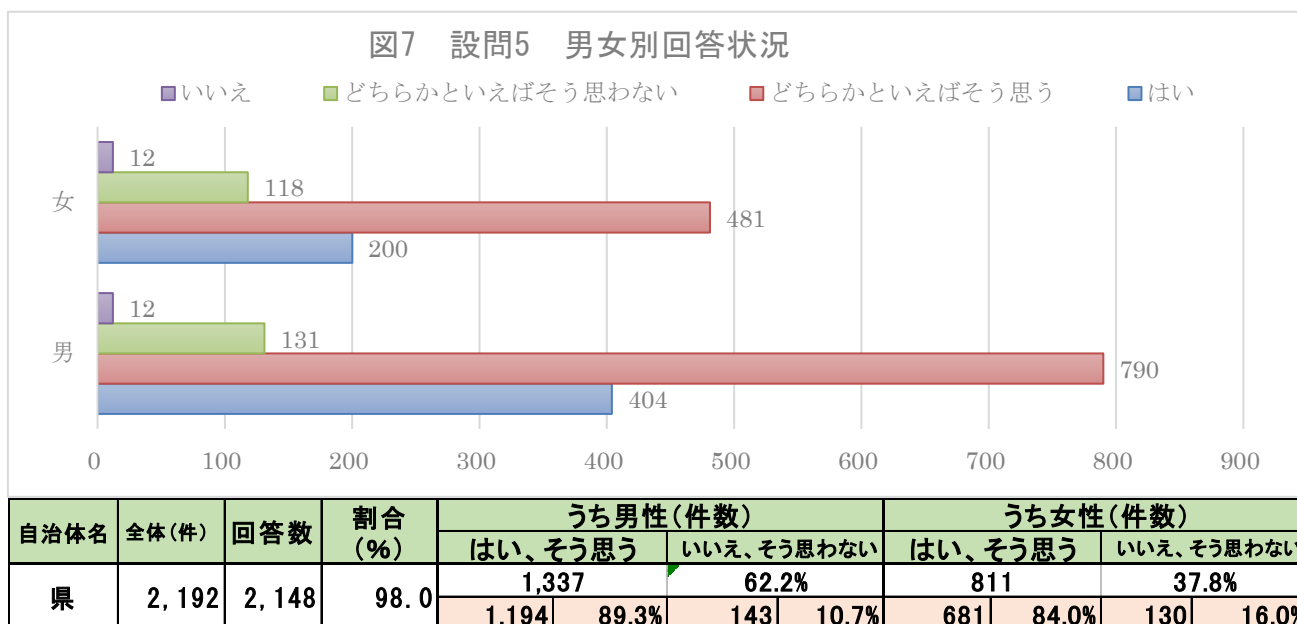


ウ 設問5～6（職場内で性別や年齢、役職に関わらずコミュニケーションは円滑に図られていると思いますか？）

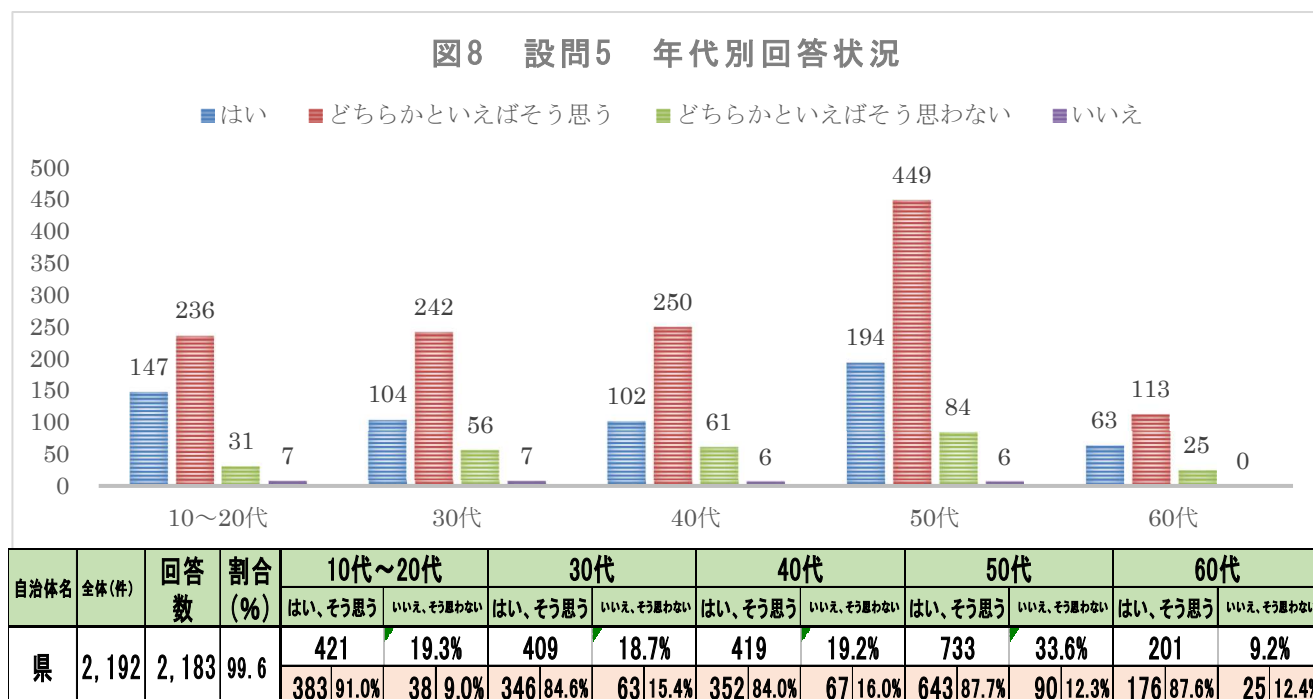
設問に対する回答数は2,188件（全体2,192件）で、問いに対し、図6のとおり、肯定的な回答割合が87%で、否定的な回答割合は約13%であった。殆どの職員が円滑なコミュニケーションが図られていると感じている結果となった。



次に、図7により、性別による状況を見てみると、性別に関わらず全体の傾向と概ね同様の結果であった。女性の方が肯定的な回答がやや少なく、否定的な方の回答が多かったものの、性別による大きな偏りは特に認められなかった。

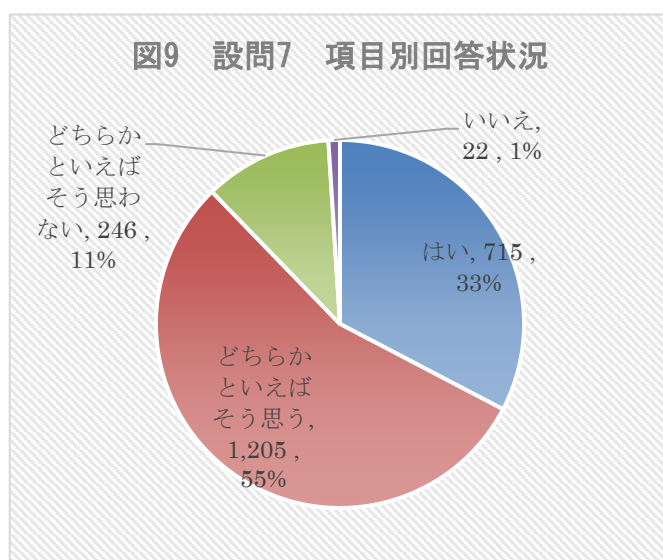


次に、図8により、各年代別の状況を見てみると、各年代とも全体と概ね同様の傾向であり、10～20代がやや肯定的な回答割合が高かったものの、特に年代による大きな偏りは認められなかった。



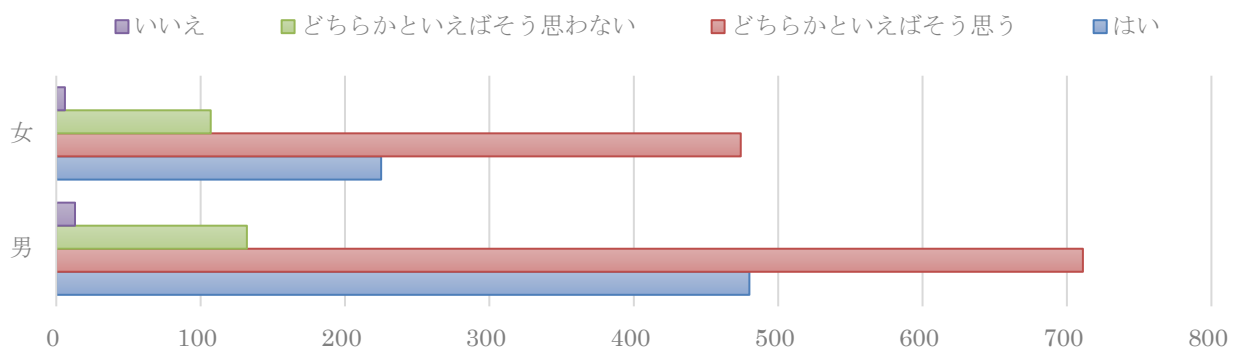
エ 設問7～8（今の職場で女性は活躍できていると思いますか？）

設問に対する回答数は2,188件（全体2,192件）で、問いに対し、図9のとおり、肯定的な回答割合が約88%で、否定的な回答割合は約12%と、殆どの職員が、女性が活躍できていると感じているとの結果となった。



次に、図 10 により、性別による状況を見てみると、全体の傾向と概ね同様であり、性別による偏りは特に認められなかった。

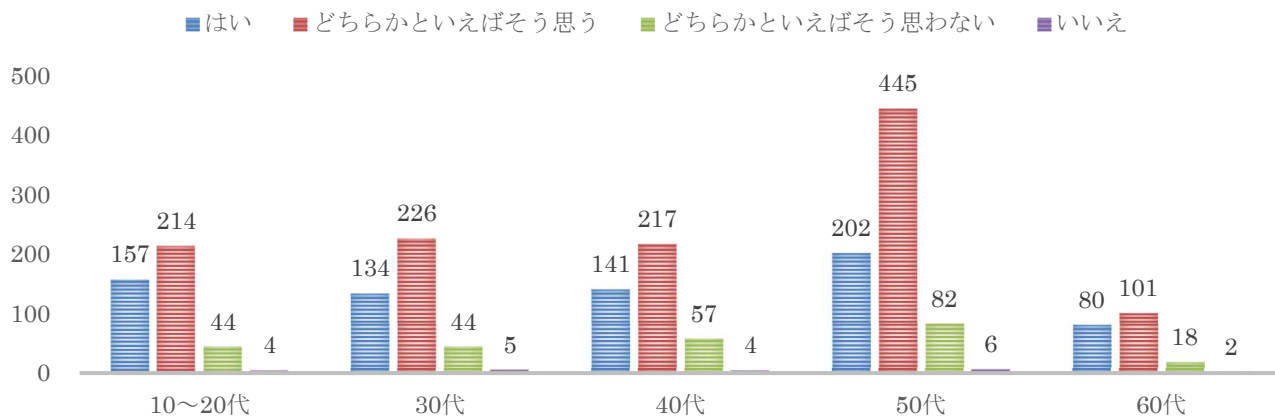
図10 設問7 項目別回答状況



自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	うち男性(件数)		うち女性(件数)	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない
県	2,192	2,148	98.0	1,336	62.2%	812	37.8%
				1,191	89.1%	145	10.9%
				699	86.1%	113	13.9%

次に、図 11 により、各年代別の状況を見てみると、各世代とも全体の傾向と概ね同様であり、特に年代による偏りは認められなかった。

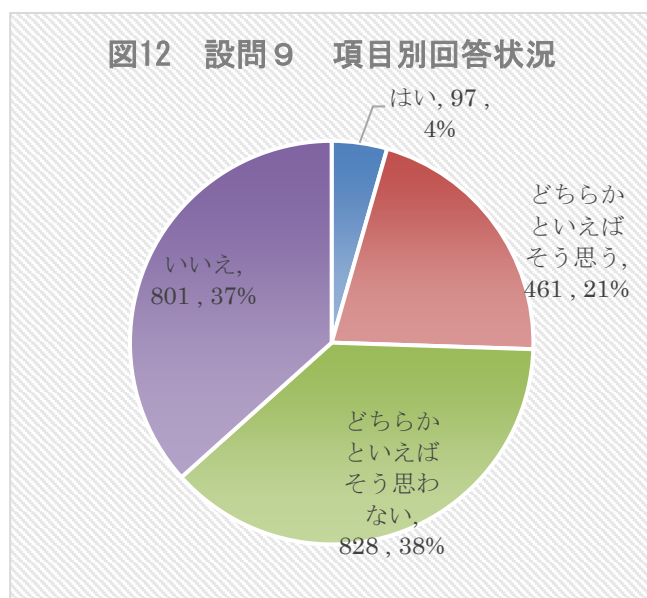
図11 設問7 年代別回答状況



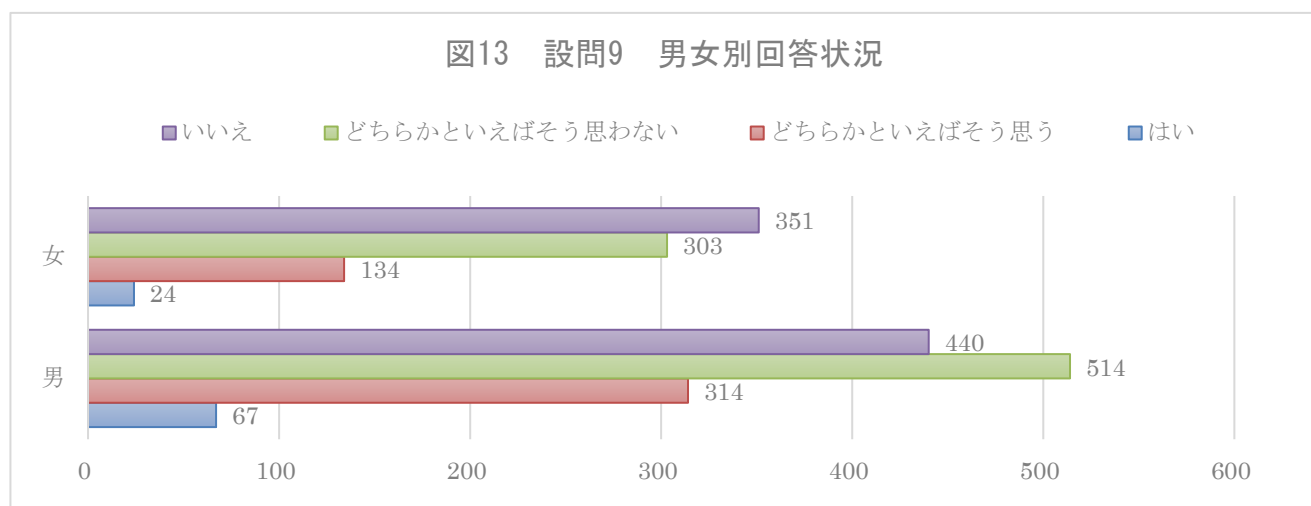
自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代~20代		30代		40代		50代		60代	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない
県	2,192	2,183	99.6	419	19.2%	409	18.7%	419	19.2%	735	33.7%	201	9.2%
				371	88.5%	48	11.5%	360	88.0%	49	12.0%	358	85.4%
				61	14.6%	647	88.0%	88	12.0%	181	90.0%	20	10.0%

オ 設問9～10（女性が活躍できる環境をさらに充実させる必要は、「ない」と思いますか？）

設問に対する回答数は2, 187件（全体2, 192件）で、問いに対し、図12のとおり、肯定的な回答が約25%、否定的な回答が約75%と、多くの職員が、「女性が活躍できる環境の充実」が必要と感じている結果となった。



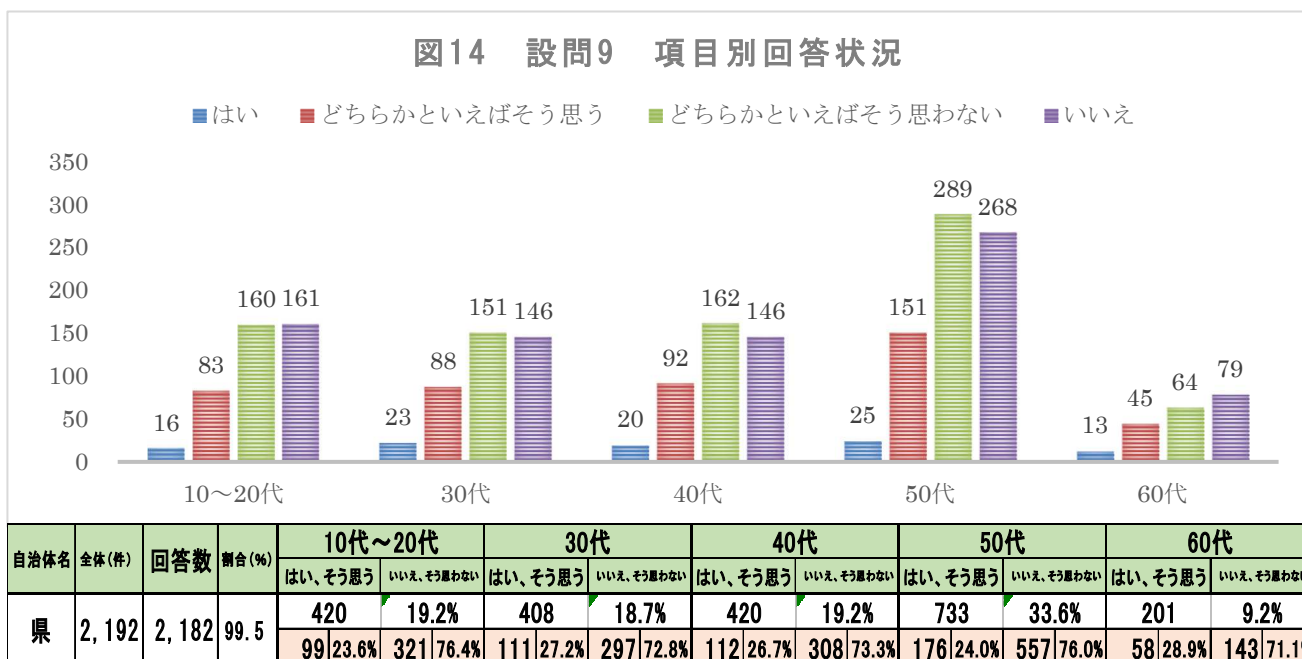
次に、図13により、性別による状況を見てみると、性別に関わらず否定的な回答を選択した方が多かったが、女性の方が、やや否定的な回答割合が高かった。



自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	うち男性(件数)		うち女性(件数)	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない
県	2,192	2,147	97.9	1,335	62.2%	812	37.8%
				381	28.5%	954	71.5%
						158	19.5%
						654	80.5%

次に、図14により各年代別の状況を見てみると、各年代とも全体の傾向と概ね同様であるが、10～20代及び50代は、他の年代と比較すると否定的な回答割合がやや高かった。

図14 設問9 項目別回答状況



カ 設問11 (女性が活躍できる職場環境では何が重要だと思いますか?)

設問に対する回答数は2,187件(全体2,192件)で、問いに対し、女性が活躍できる環境で最も望まれるのは、図15のとおり、「柔軟な働き方」という結果となった。約39%の方から回答があるなど突出しており、続く2～4位はあまり大きな差はなかった。上位は次の4項目となった。

- 1 柔軟な働き方 (39%)【男性1位 女性1位】
- 2 既存意識の改革 (17%)【男性3位 女性3位】
- 3 男女の相互理解 (15%)【男性2位 女性4位】
- 4 多様なライフプラン (14%)【男性4位 女性2位】

なお、管理職への登用や保育施設の充実といった項目に関しては、回答者の中での優先順位は低いという結果となった。

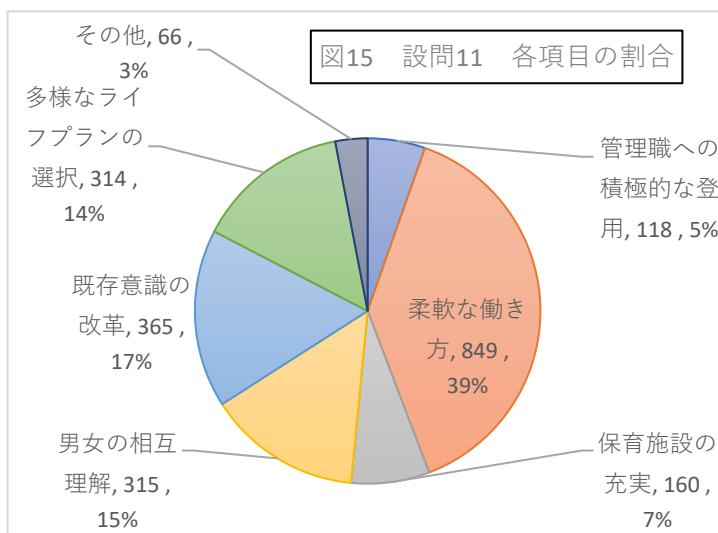


図 15-1、15-2 及び図 16 により、男女別の回答内訳をみると、男女とも全体の傾向と概ね同様の傾向を示しているが、上記 4 項目の中では、女性の方が「多様なライフプラン」を、また、男性は「男女の相互理解」を、それぞれ選択した方の割合がやや高かった。

なお、「その他」を選択した方について 65 件の意見を頂いたが、主なものは、

- 超過勤務、加重労働の削減（業務量の縮減）
- 余裕のある人員配置
- 男女の働き方のイコールフットイング
- 女性の更なる積極的な採用

などであった。

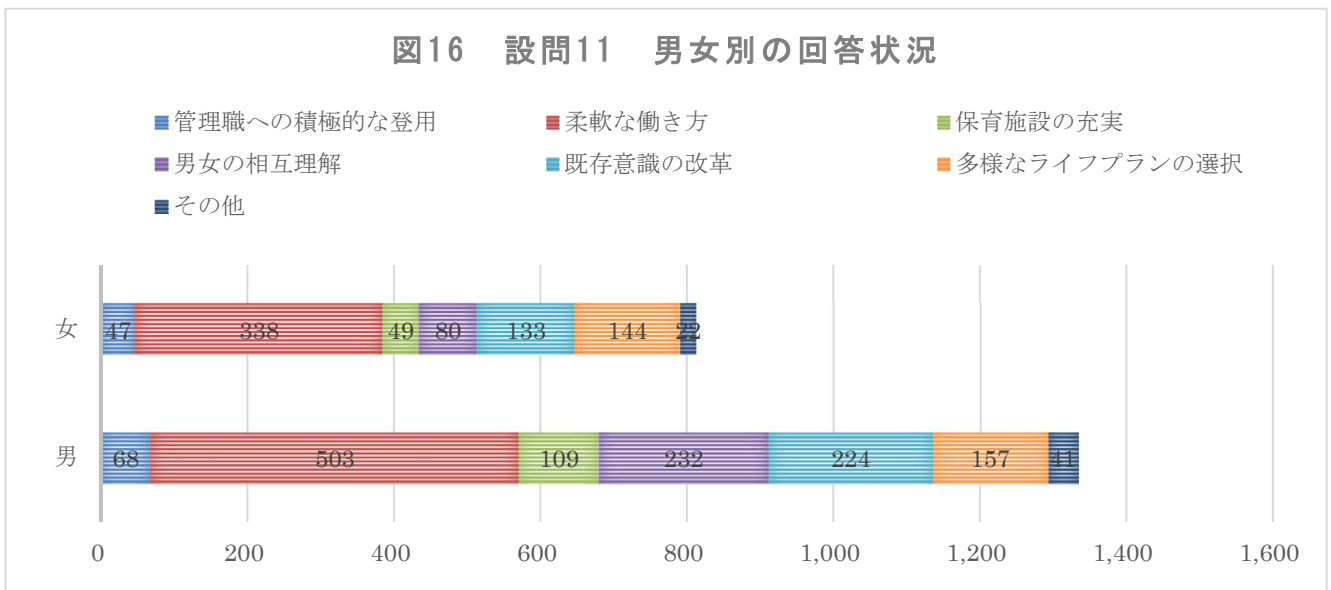
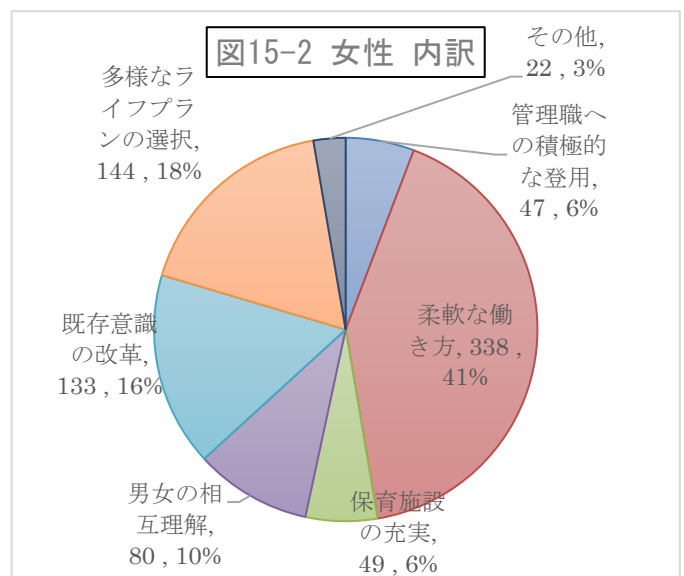
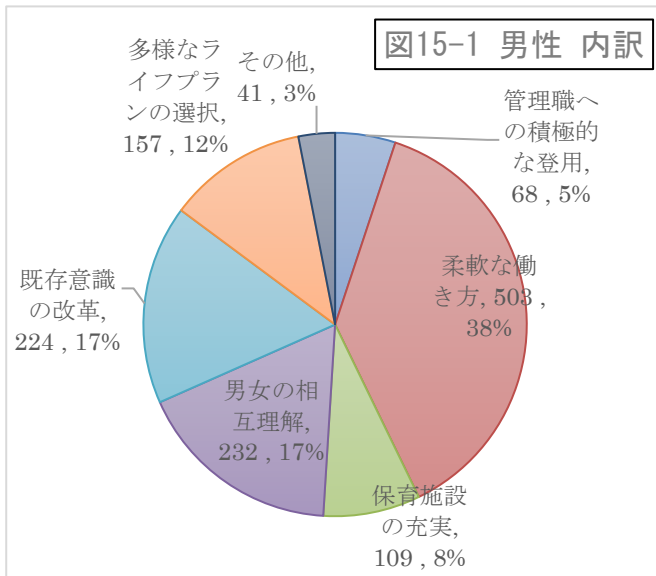
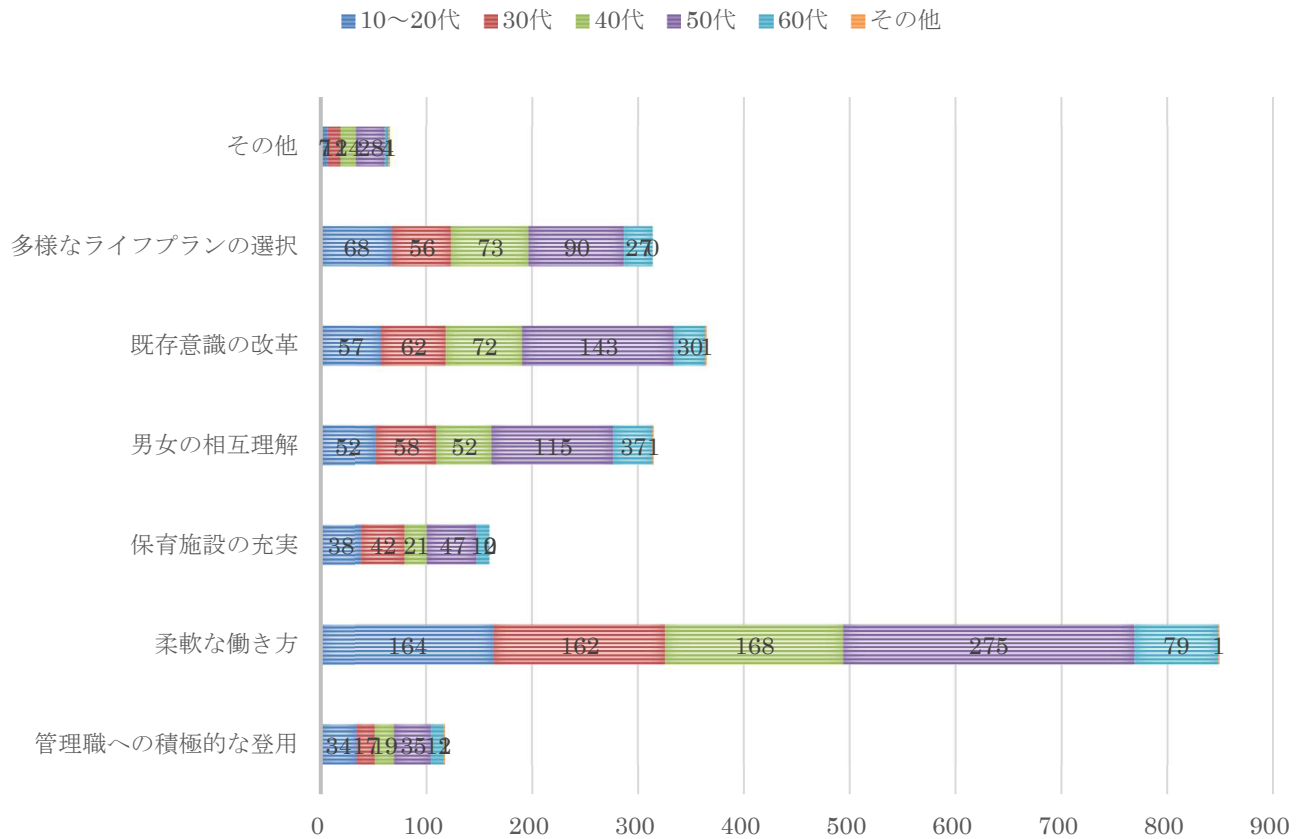


図16-1のとおり、各年代別の状況を見てみると、全ての年代において「柔軟な働き方」に回答が集中する結果となった。

図16-1 設問11 項目別の回答状況



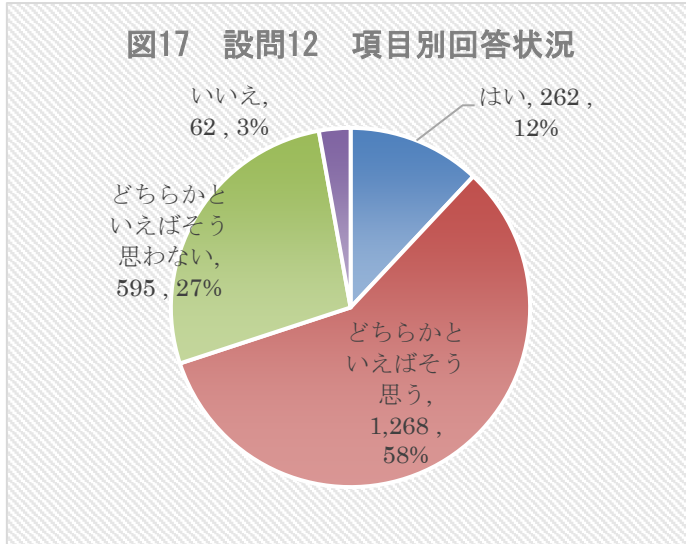
	管理職への積極的な登用	柔軟な働き方	保育施設の充実	男女の相互理解	既存意識の改革	多様なライフプランの選択	その他
■10~20代	34	164	38	52	57	68	7
■30代	17	162	42	58	62	56	12
■40代	19	168	21	52	72	73	14
■50代	35	275	47	115	143	90	28
■60代	12	79	12	37	30	27	4
■その他	1	1	0	1	1	0	1

118	849	160	315	365	314	66
-----	-----	-----	-----	-----	-----	----

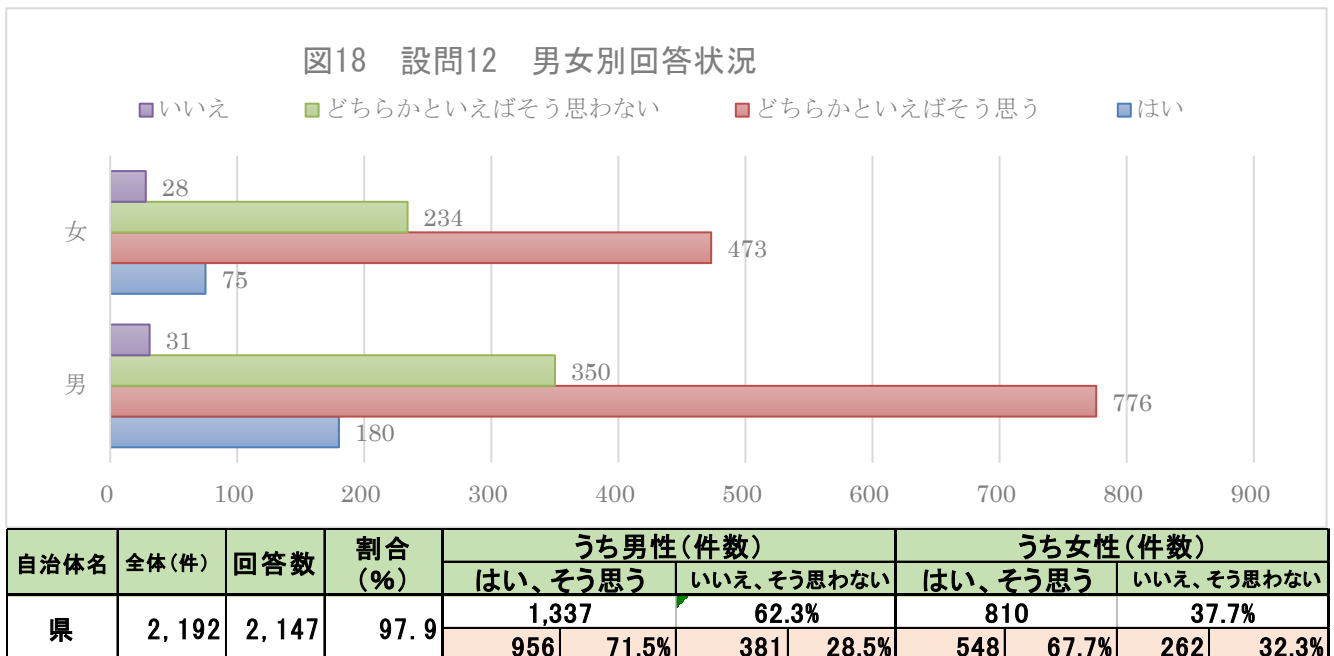
※対象者数2,192人に対し、未回答者5人を除く

キ 設問 12～13（女性の管理職への登用は進んでいると思いますか？）

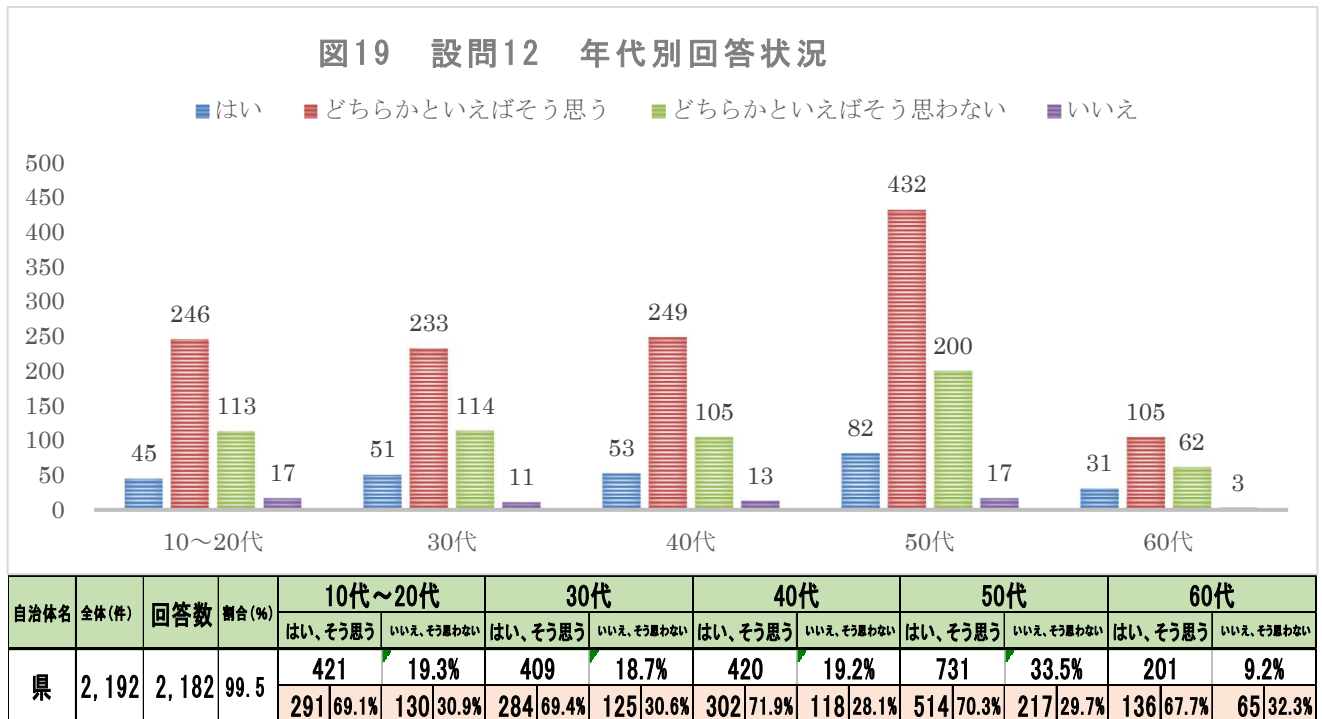
設問に対する回答数は2, 187件（全体2, 192件）で、問いに対し、図17のとおり、肯定的な回答割合が約70%で、否定的な回答割合は、約30%という結果となった。多くの職員が女性の管理職登用が進んでいると感じている。



次に、図18のとおり、性別による状況を見てみると、全体の傾向と概ね同様ではあるが、女性の方が男性よりもやや否定的な回答割合が高かった。

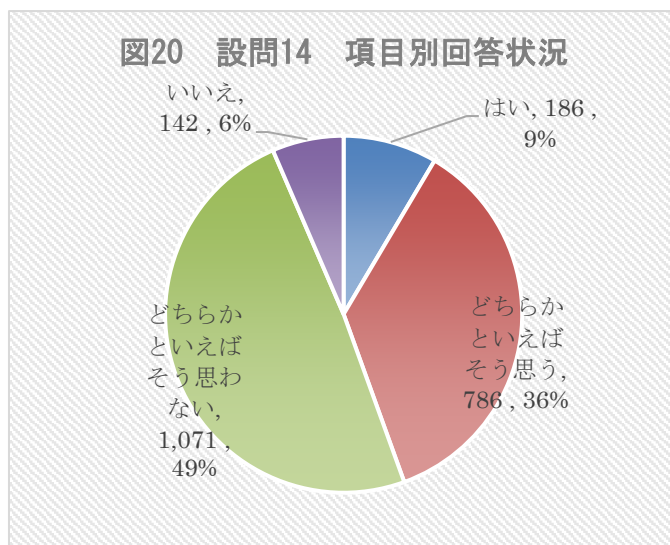


次に、図 19 のとおり、年代別による状況を見てみると、各年代とも全体の傾向と概ね同様の結果であり、大きな偏りはなかった。



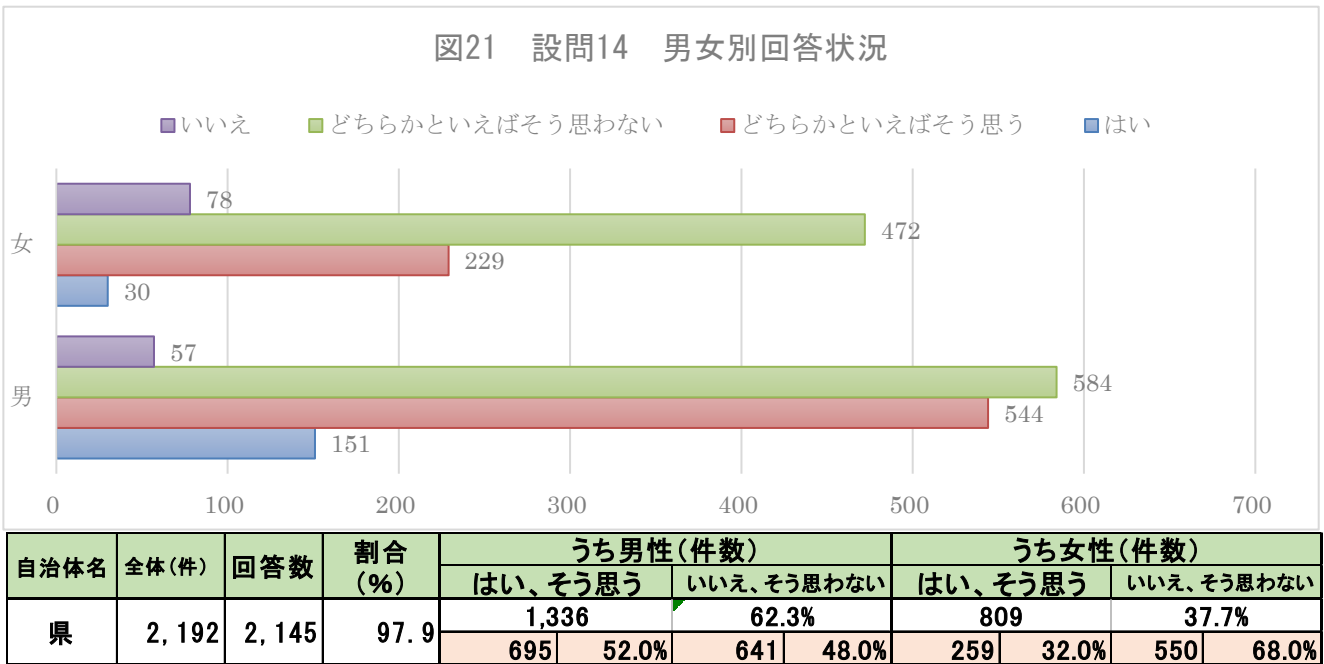
ク 設問 14～15（職場において、女性の活躍や管理職登用に妨げになるものは「ない」と思いますか？）

設問に対する回答数は2,185件（全体2,192件）で、問いに対し、図 20 を見ると、肯定的な回答を選択した方が約 45%、否定的な回答を選択した方が約 55%と、管理職登用に妨げとなるものが「ある」と答えた方が過半数を占める結果となった。



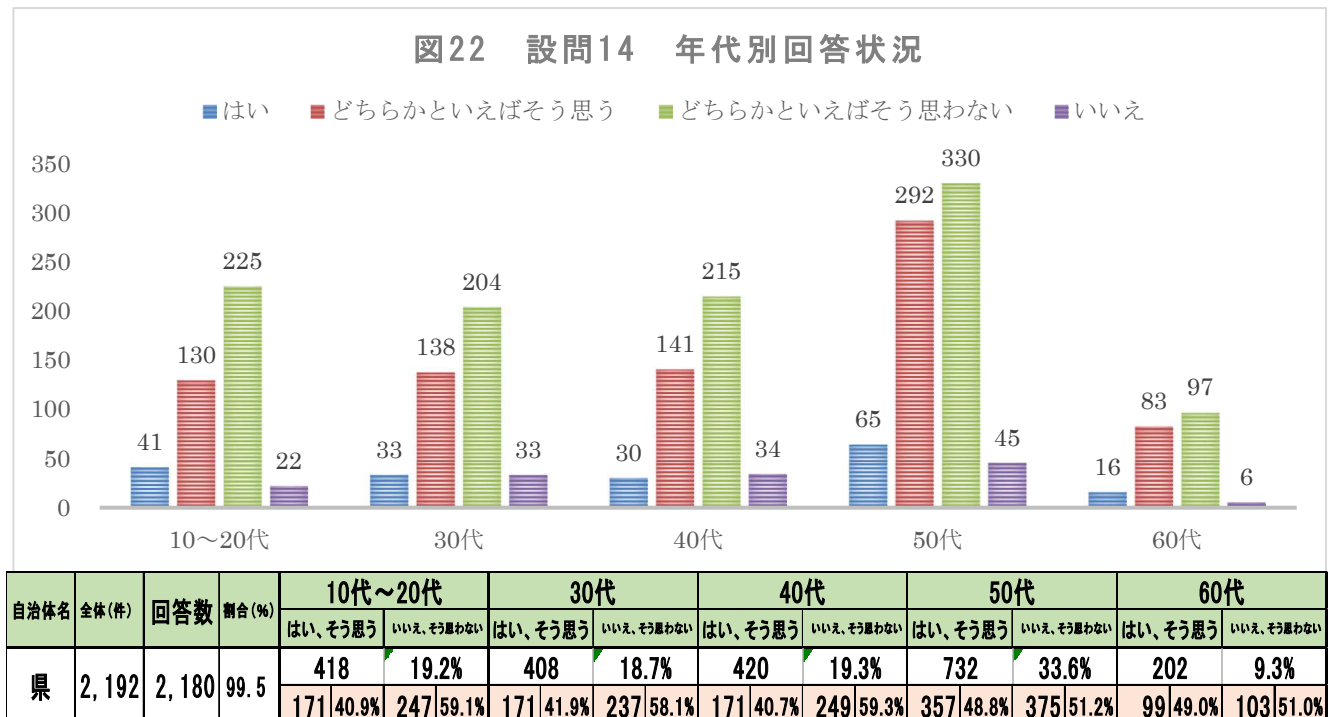
次に、図 21 により、性別による状況を見てみると、明らかに男女差があり、男性は肯定的な回答が過半数を超えているが、一方で女性は、否定的な回答が約 70% と、女性登用に対する何らかの妨げがあると認識している方が多かった。

図21 設問14 男女別回答状況



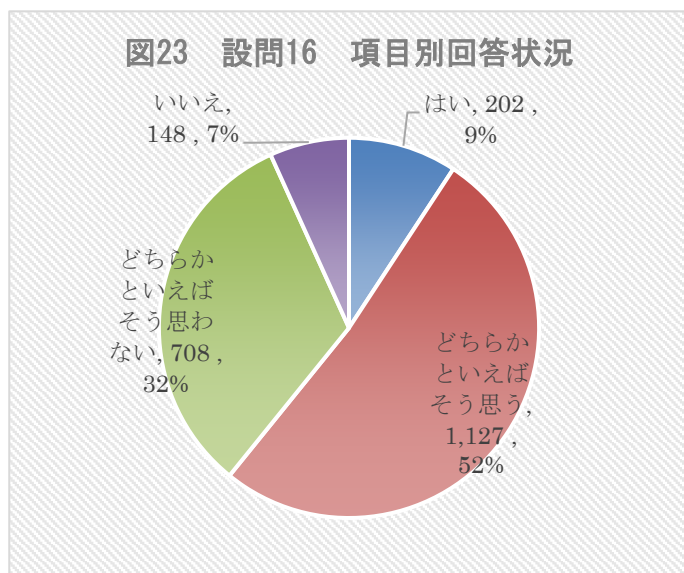
次に、図 22 により、年代別の状況を見てみると、10代から40代までは否定的な回答割合が高く、一方で、50代及び60代は肯定的な回答割合が高くなる、という結果となり、若い世代の方が、女性登用への妨げになるものに対して認識されている方が多かった。

図22 設問14 年代別回答状況

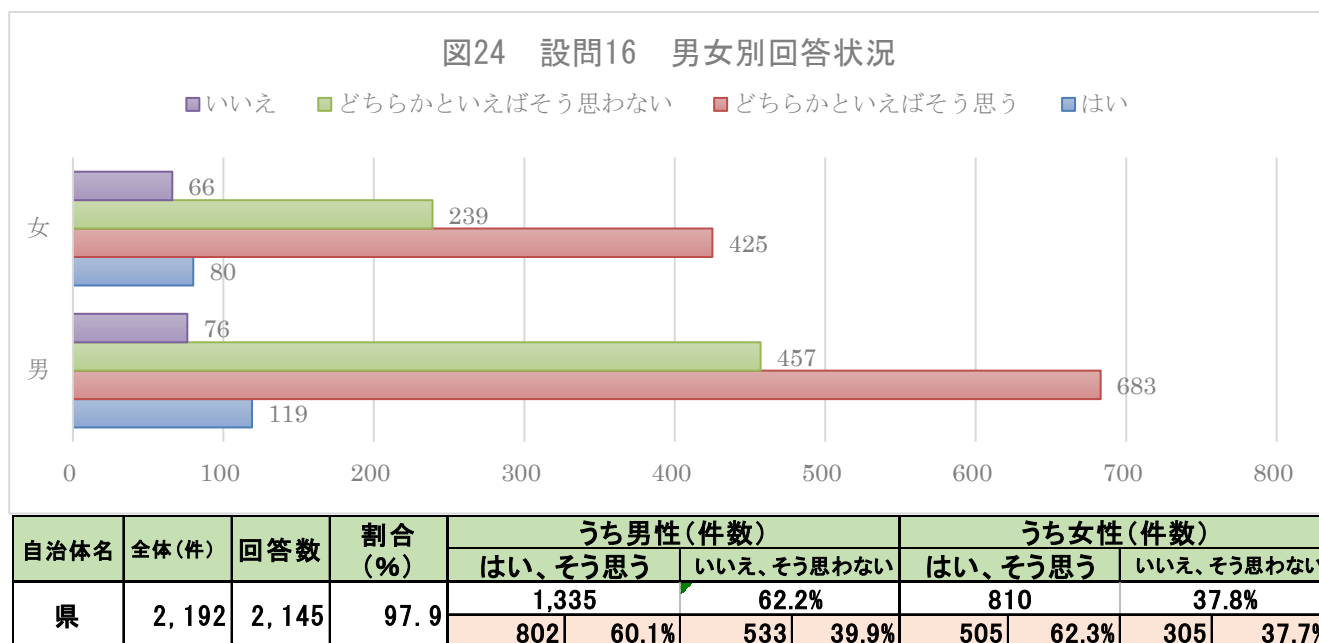


ケ 設問 16～17（職場は、子育てをするうえで仕事と家庭を両立しやすい環境だと思いますか？）

設問に対する回答数は 2, 1 8 5 件（全体 2, 1 9 2 件）で、問いに対し、図 23 のとおり、両立しやすい環境である、と肯定的な回答割合は約 6 1 %、否定的な回答割合は約 3 9 %という結果となった。

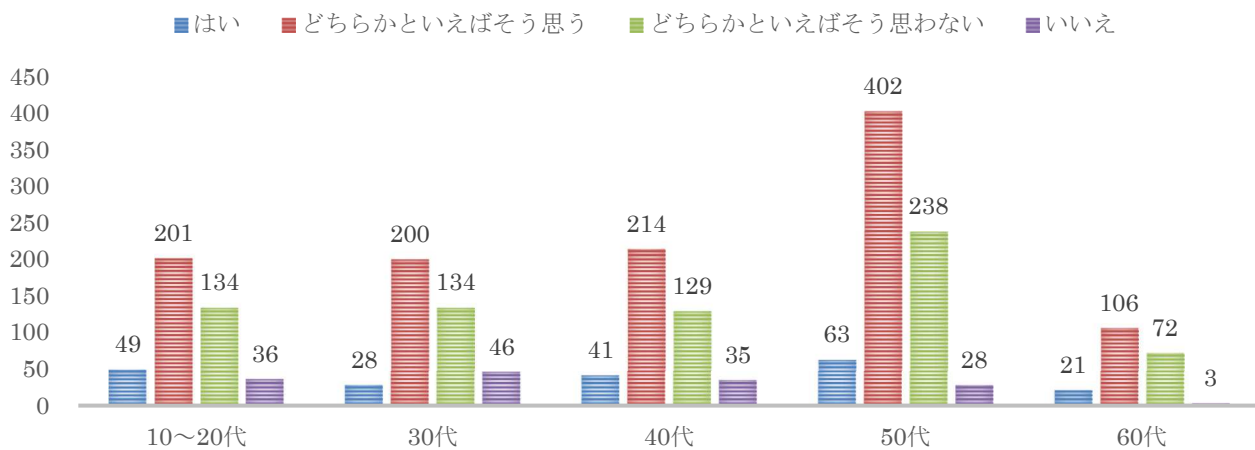


次に、図 24 により、性別による状況を見てみると、全体の傾向と同様、男女とも肯定的な回答割合が高かったほか、性別による大きな差はなかった。



次に、図 25 により、年代別の状況を見てみると、若干の差はあるが、各年代とも全体の傾向と概ね同様で、肯定的な回答割合が高かったが、30代のみ、他の年代と比較してやや肯定的な回答割合が低く、否定的な回答割合が高かった。

図25 設問16 年代別回答状況

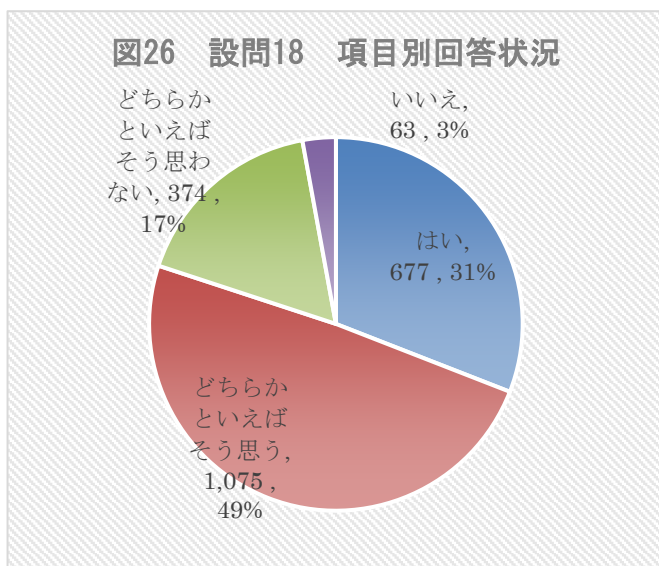


自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代～20代		30代		40代		50代		60代	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない		
県	2,192	2,180	99.5	420	19.3%	408	18.7%	419	19.2%	731	33.5%	202	9.3%
				250	59.5%	170	40.5%	228	55.9%	180	44.1%	255	60.9%
				164	39.1%	465	63.6%	266	36.4%	127	62.9%	75	37.1%

コ 設問 18～19 (職場に保育施設があれば、今よりも働きやすくなると思いますか?)

設問に対する回答数は2,189件(全体2,192件)で、問いに対し、図26のとおり、肯定的な回答が約80%で、否定的な回答が約20%という結果となった。かなり多くの方が、保育施設があれば働きやすくなるという認識であった。

図26 設問18 項目別回答状況



次に、図 27 により、性別による回答状況を見てみると、性別に関わらず、全体の傾向と概ね同様の結果となった。性別による差異は認められなかった。

図27 設問18 男女別回答状況

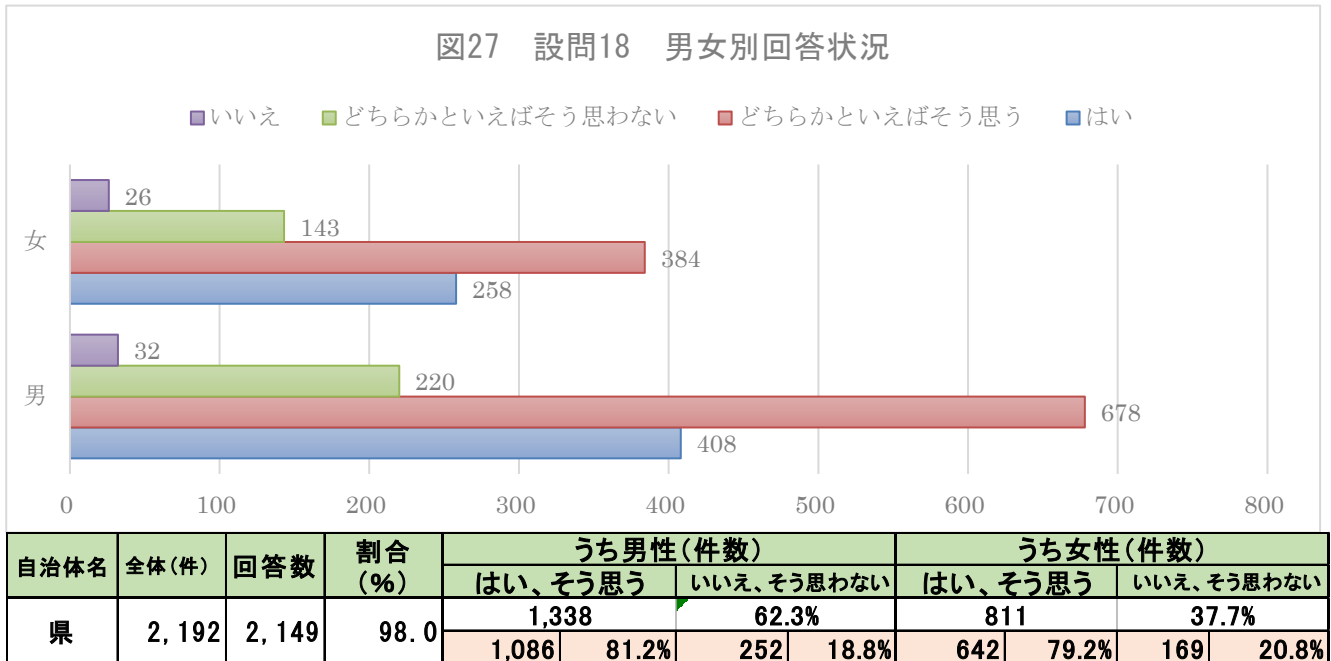
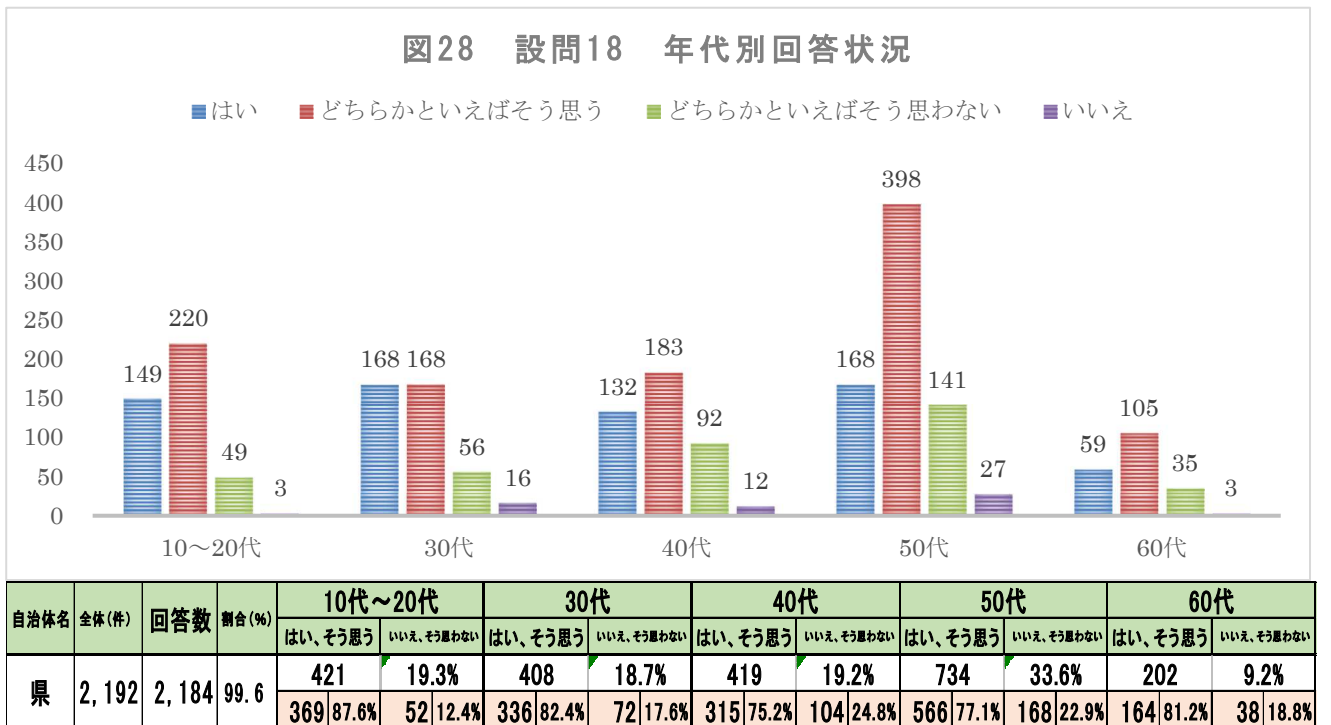


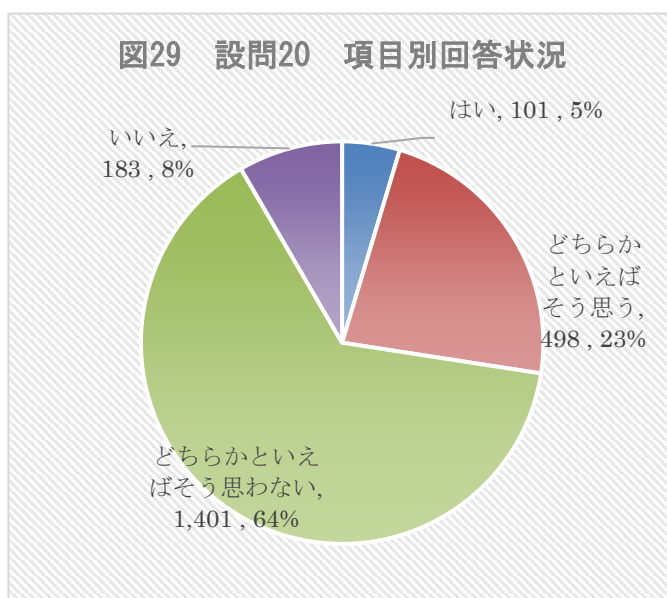
図 28 により、各年代別の状況を見てみると、若干のバラツキはあるものの、全体の傾向と概ね同様の結果であった。10～20代、30代が、やや肯定的な回答割合が高かった一方で、40代や50代については否定的な回答割合がやや高かった。

図28 設問18 年代別回答状況



サ 設問 20～21（職場に保育施設以外は、特に新たな設備・制度は必要ないと思いますか？）

設問に対する回答数は2, 183件（全体2, 192件）で、問いに対し、図 29 のとおり、肯定的な回答割合は約 28%、否定的な回答割合は約 72% で、どちらかといえば、設備・制度などの整備が必要と認識されている方の割合が高いという結果となった。



次に、図 30 のとおり男女別の回答状況を見ると、全体の傾向と同様に、性別に関わらず否定的な回答割合が高いという結果となったが、女性の方が、男性に比べて否定的な方の割合が高かった。

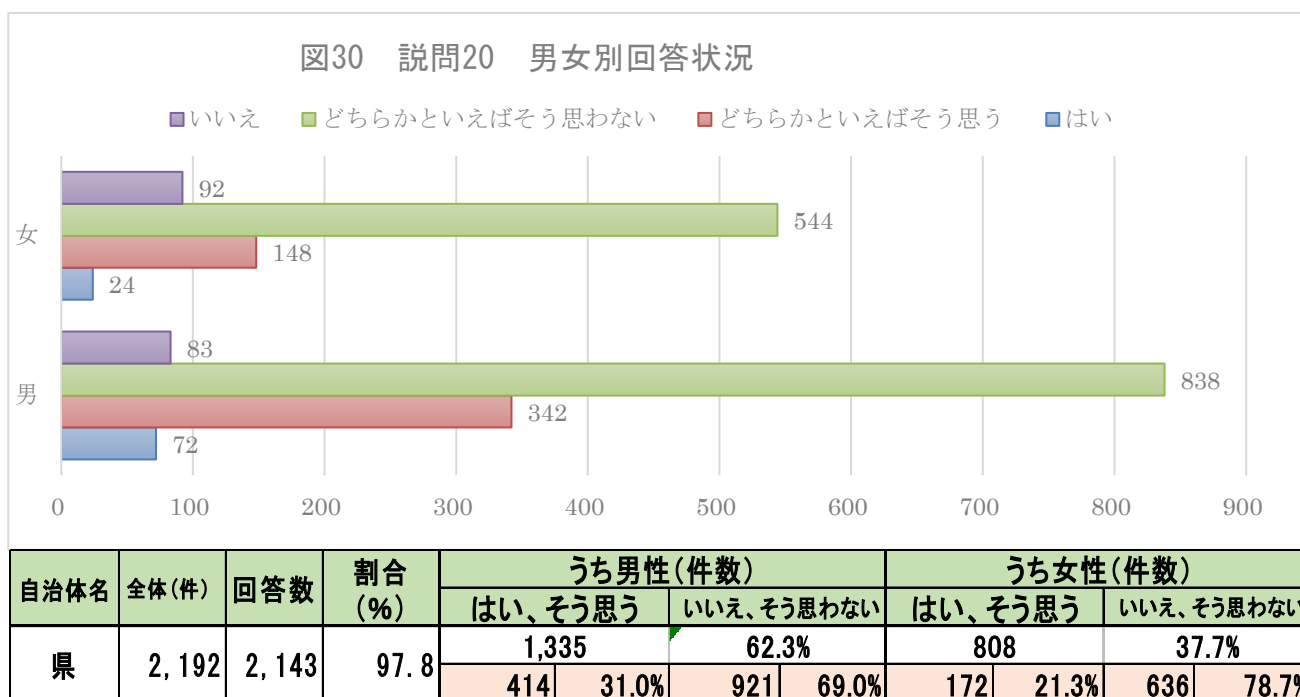
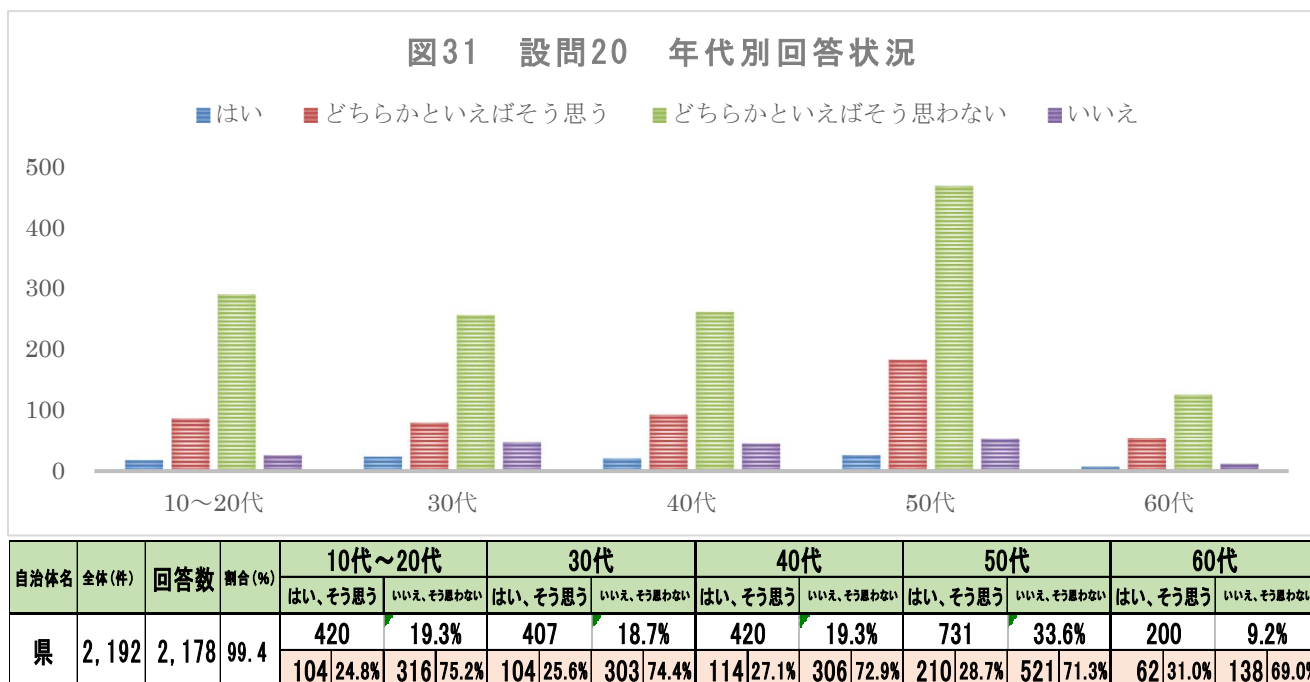


図 31 により、各年代別の状況を見てみると、10代～30代は否定的な回答割合が若干高かったが、年齢が上がるにつれて、肯定的な回答割合が高くなる一方で、否定的な回答割合が低下する傾向が認められた。



シ 設問 22～23（産休・育休等休暇制度の活用が自身のキャリア形成に与える影響はないと思いますか？）

設問に対する回答数は2, 177件（全体2, 192件）で、問いに対し、図 32 のとおり、肯定的な回答割合が41%であった一方で、否定的な回答割合は59%と、半数以上の方は「自身のキャリア形成に影響がある」と認識している結果となった。

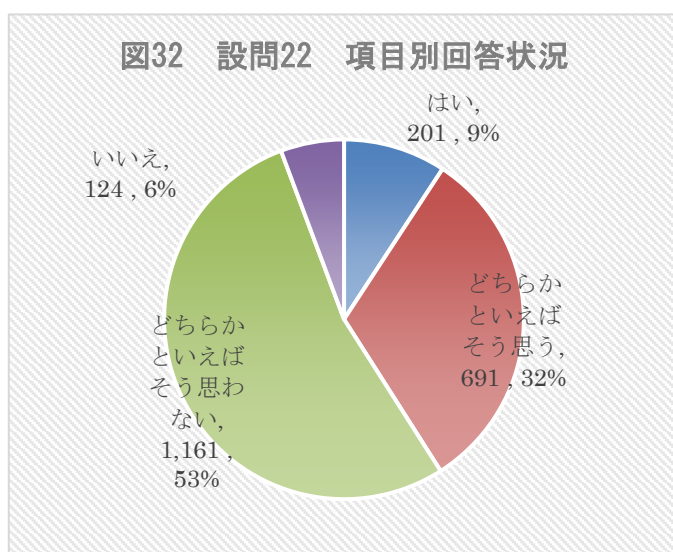


図 33 により、性別による回答状況を見ると、相対的に、男性の方が肯定的な回答割合が高かったのに対し、女性は否定的な回答割合が高いという結果となった。女性の方が、制度の活用が自身のキャリア形成に影響があると、より強く認識している結果となった。

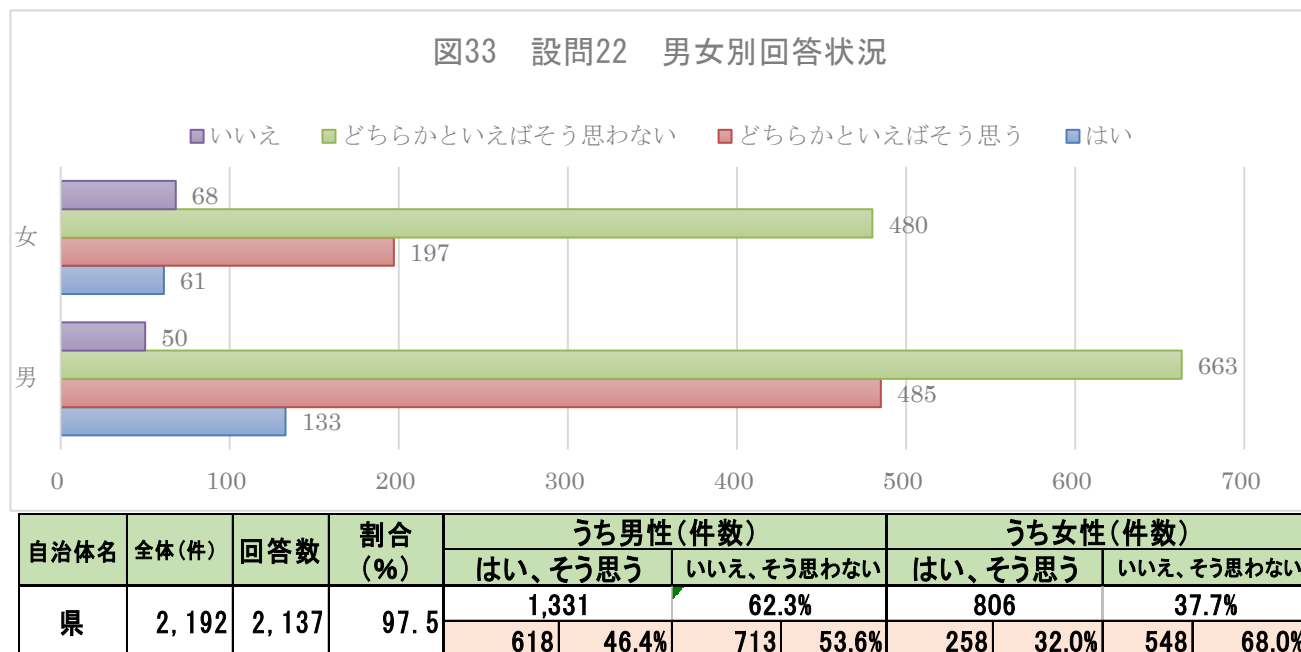
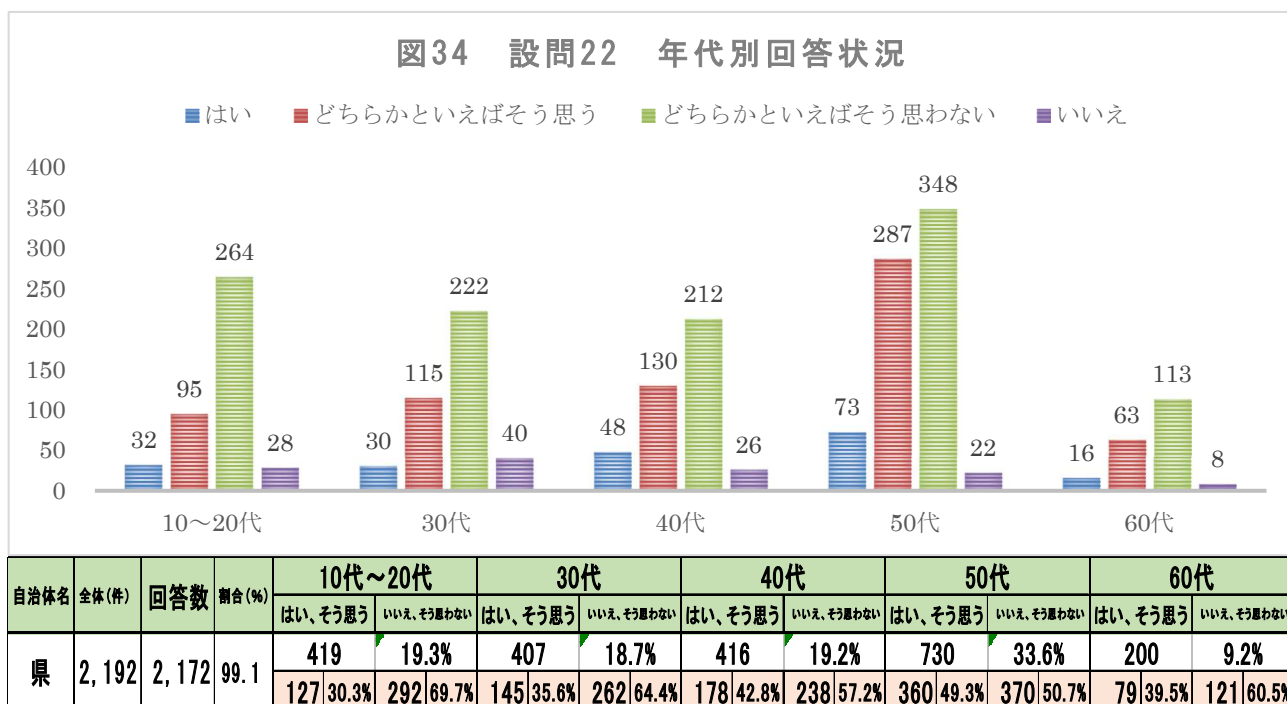


図 34 により、各年代別の状況を見てみると、各年代でバラツキがあるものの、全体的には否定的な回答割合が高かった。特に否定的な回答割合が高かったのは10～20代で、他の年代と比べてもと突出して高かった。また年代が高くなるにつれて、否定的な回答割合は下がる傾向（60代は除く）が認められた。



ス 設問 24～25（女性職員に対する職場での教育・研修環境は整っていると思いますか？）
 設問に対する回答数は2, 188件（全体2, 192件）で、問いに対し、図35のとおり、肯定的な回答割合は約67%、否定的な回答割合は約33%という結果であり、3人に2人は「整っている」と感じている結果となった。

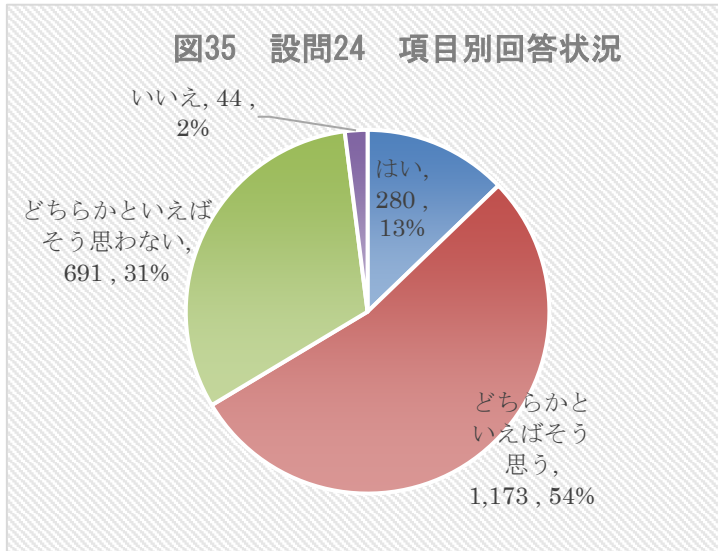


図36により、性別の状況を見ると、性別に関わらず全体の傾向と概ね同様の結果ではあるが、男性では肯定的な回答割合が約68%で全体よりやや高かったが、女性の方は、否定的な回答割合が全体よりもやや高かった。

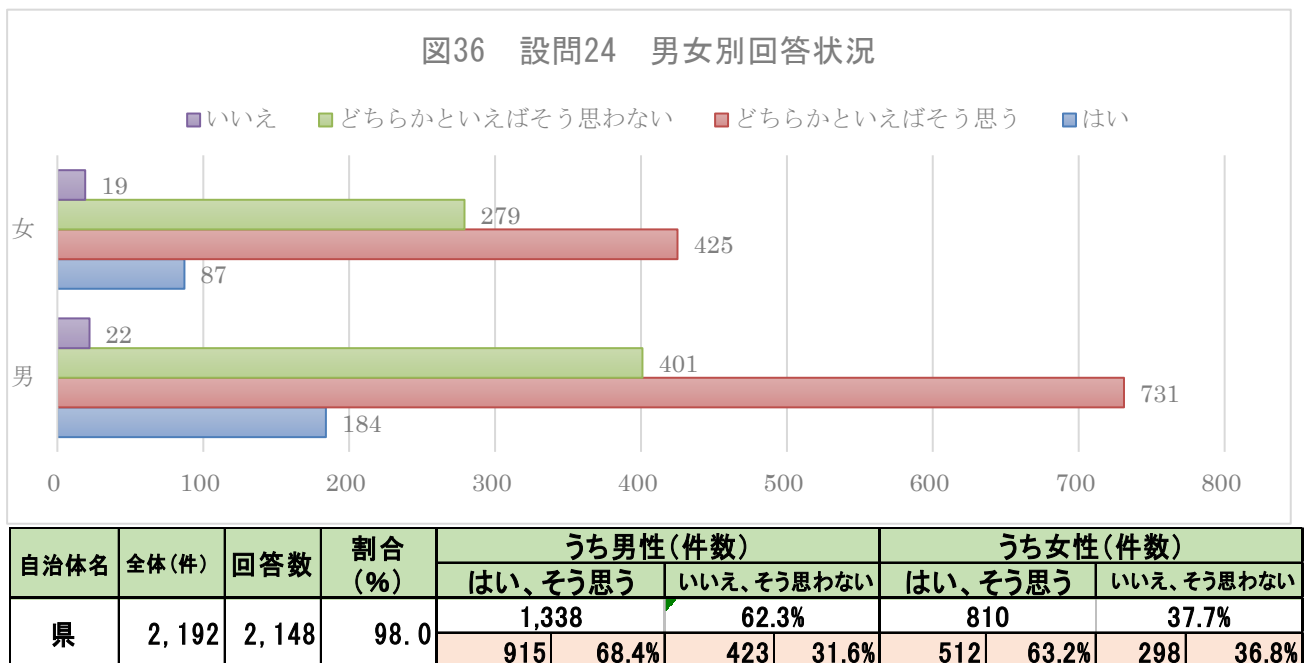
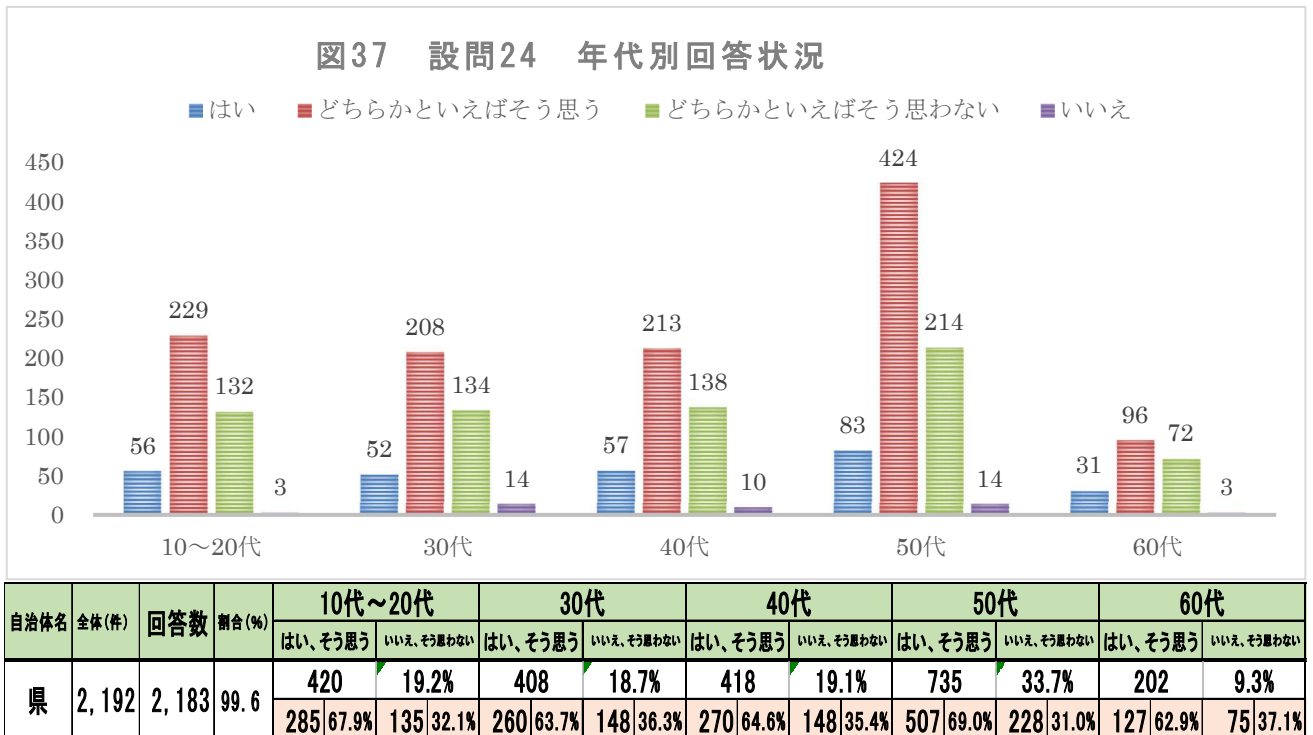


図 37 のとおり、各年代別の状況を見てみると、各年代とも全体の傾向と概ね同様ではあるが、30代、40代、60代が、全体よりもやや否定的な回答割合が高かった。



セ 設問 26～27（女性職員の能力・スキルの向上について、組織としての支援は十分だと思いますか？）

設問に対する回答数は 2, 188 件（全体 2, 192 件）で、問いに対し、図 38 のとおり、肯定的な回答をした方の割合は、約 68%、否定的な回答割合は約 32% という結果となった。

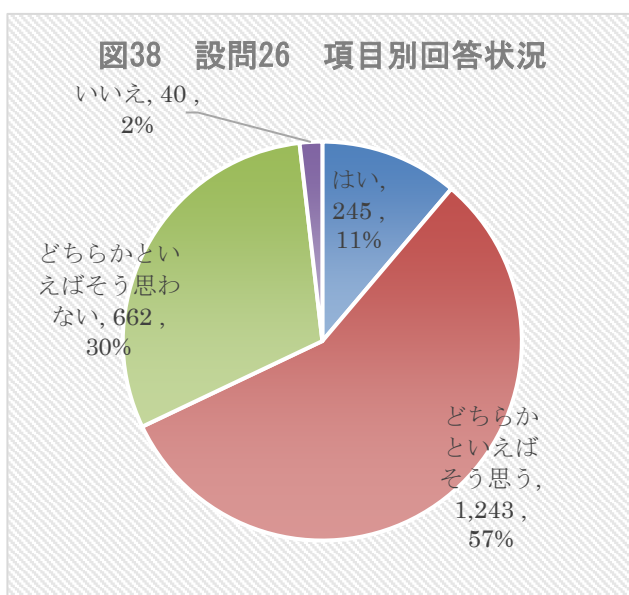


図 39 のとおり、性別による回答状況を見ると、男性では肯定的な回答割合が、約 71% で全体よりやや高かった一方で、女性の方は、否定的な回答割合が約 38% と、全体よりもやや高かった。

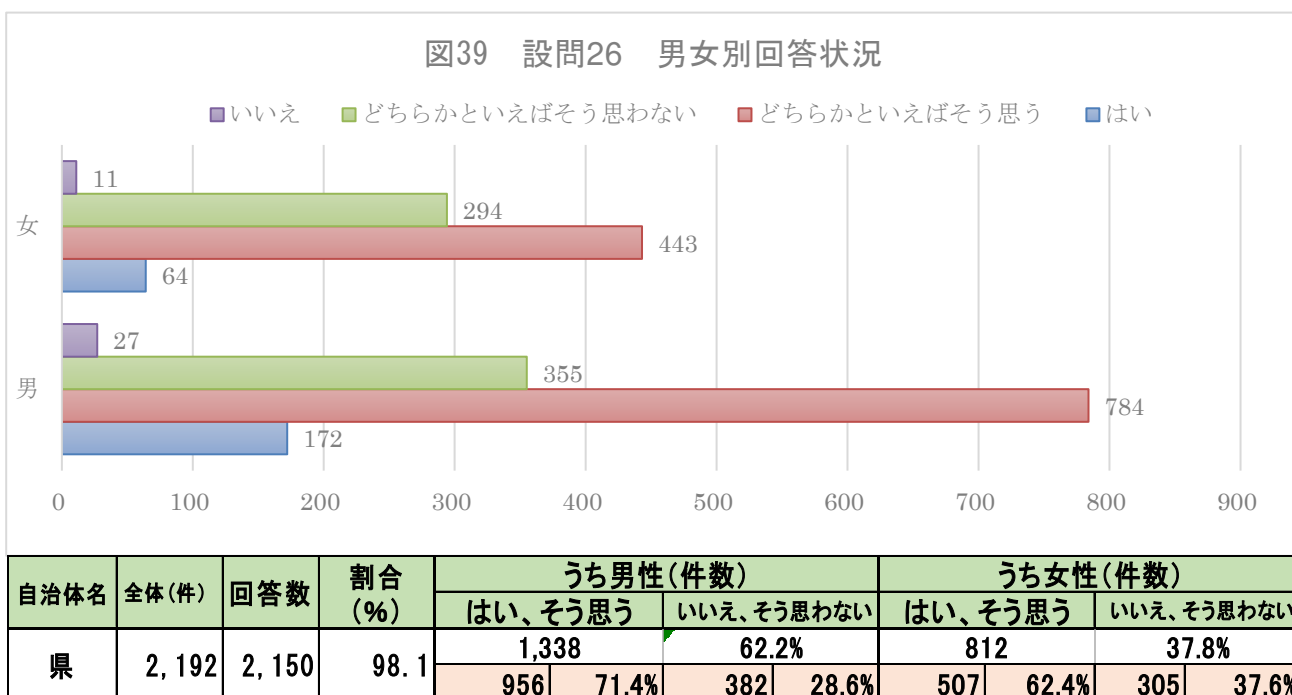
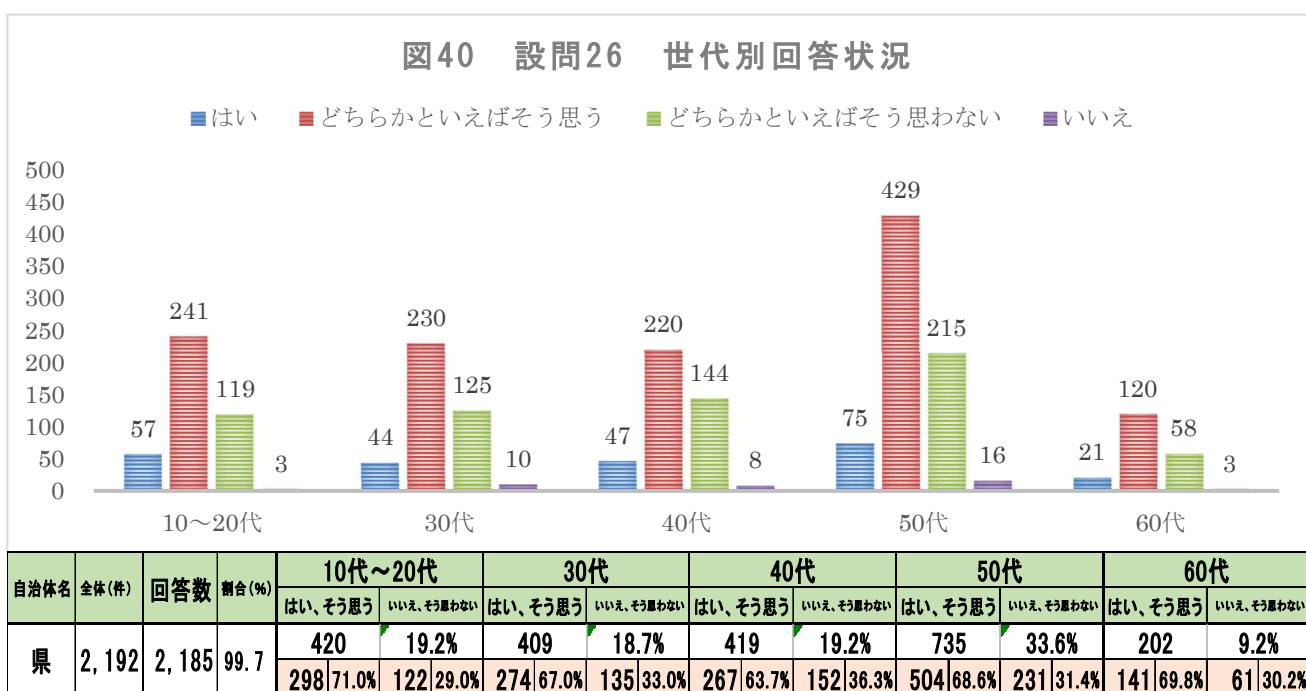


図 40 のとおり、各年代別の状況を見てみると、各年代とも概ね全体の傾向と同様の傾向ではあったが、肯定的に回答した方の割合が、全体と比較してやや低かったのは 40代で約 64% であった。



③働きやすさについて

ソ 設問 28～29（職場では時差出勤やテレワークなど多様な働き方の制度が整っていると思いますか？）

設問に対する回答数は2,187件（全体2,192件）で、問いに対し、図41のとおり、肯定的な回答割合は約84%で、否定的な回答割合は、約16%であった。多くの方が、制度が整っていると感じており、制度の充実感が高いと思われる。

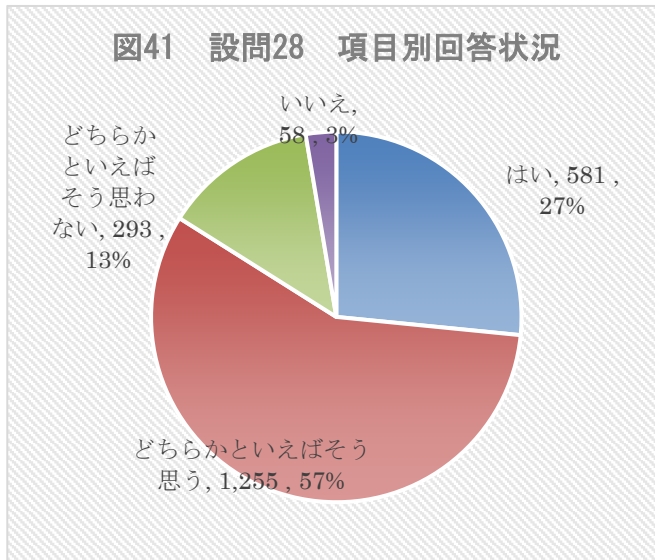


図42のとおり、性別の状況を見てみると、男性では肯定的な回答割合が約86%で全体よりやや高かった一方で、女性の方は、否定的な回答割合が約20%と、全体よりもやや高かった。

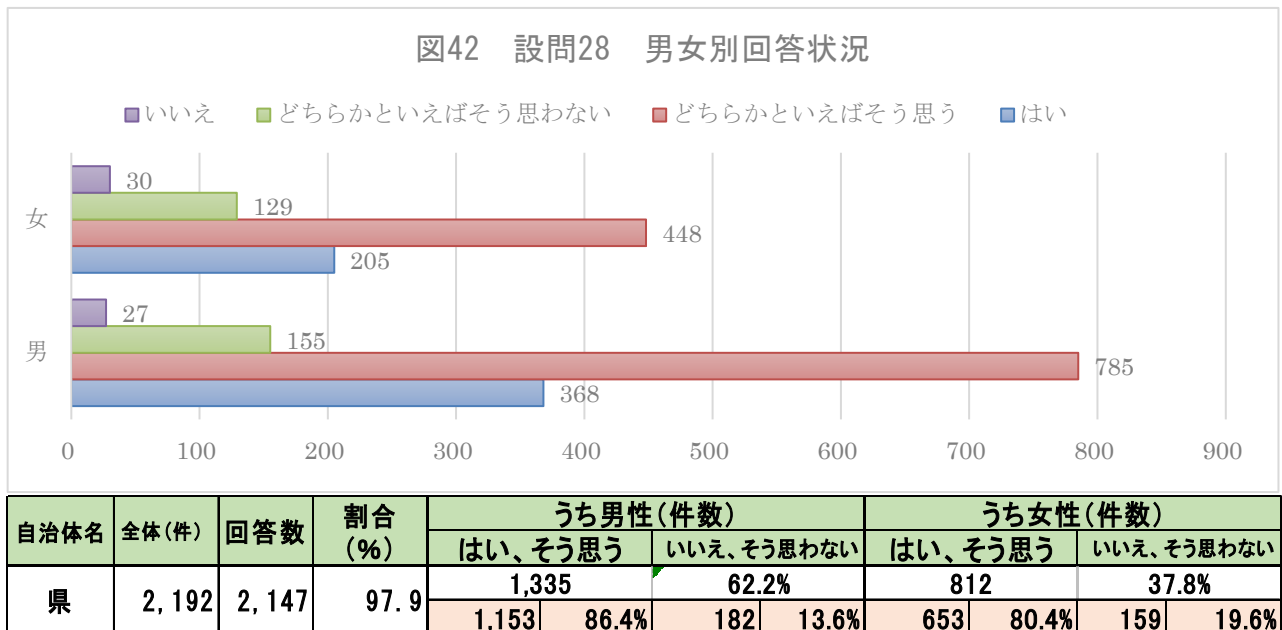
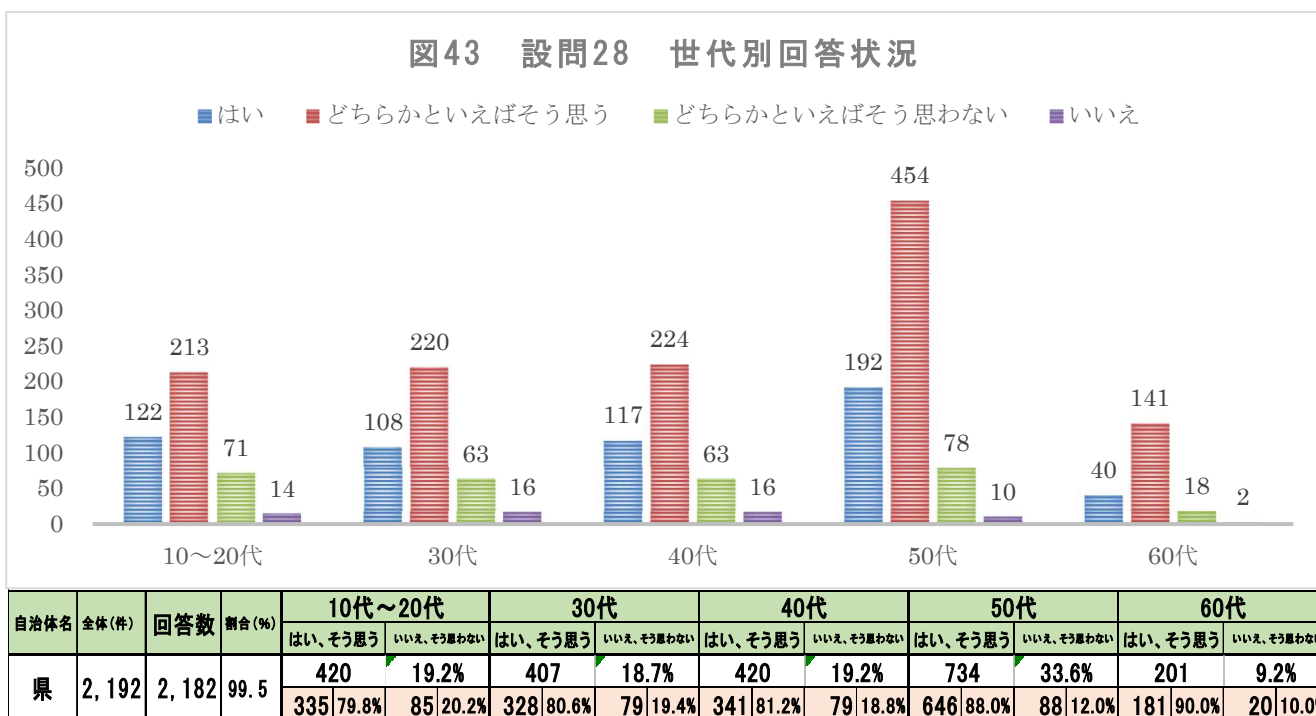


図43のとおり、各年代別の状況を見てみると、全体と比較すると、どの年代も傾向的には概ね同様ではあるが、10代～40代にかけては、肯定的な回答割合が低かった一方で、50代以降になると逆に高かった。

図43 設問28 世代別回答状況



タ 設問30～31（職場の福利厚生（過重労働対策、メンタル相談ほか）制度は整っていると思いますか？）

設問に対する回答数は2,187件（全体2,192件）で、図44のとおり、問いに対し、制度が整っていると、肯定的な回答割合は約72%で、否定的な回答割合は約28%であった。

図44 設問30 項目別回答状況

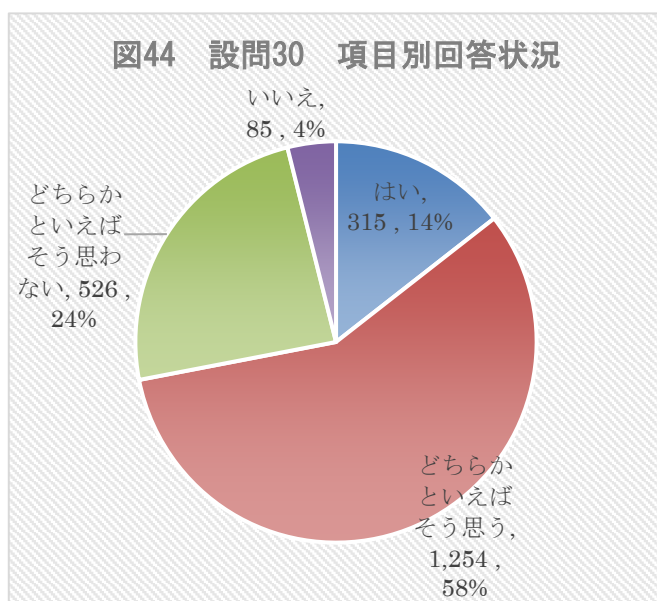


図45のとおり、性別の状況を見ると、性別に関わらず全体の傾向と概ね同様の結果ではあるが、男性では肯定的な回答割合が約74.0%とやや高かった一方で、女性は69.5%と、男性よりも肯定的な回答割合がやや低い結果となった。

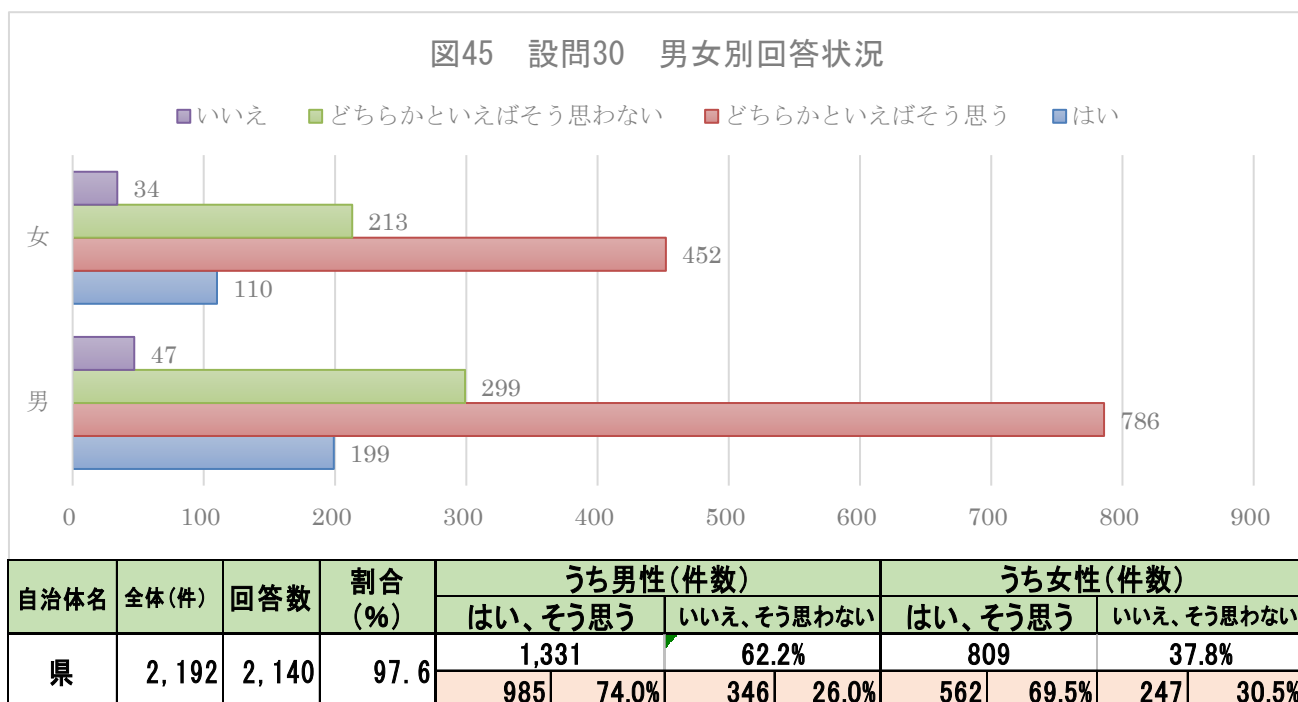
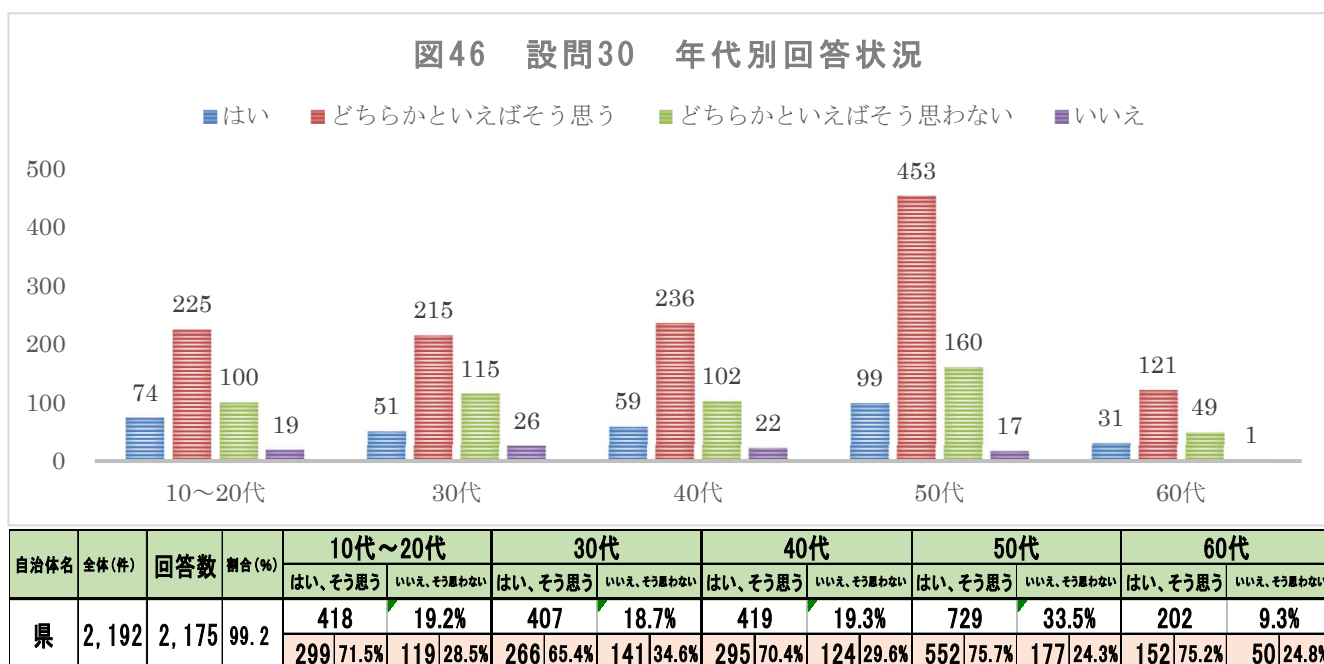


図46のとおり、各年代別の状況を見てみると、各年代とも全体の傾向と概ね同様の結果ではあったが、30代が肯定的な回答割合が約65%とやや低かった。

また、逆に50代以降は、肯定的な回答割合が約75%と、他の年代よりも高かった。



チ 設問 32～33（職場において休暇（年休、夏季休暇）は取得しやすいですか？）

設問に対する回答数は2, 187件（全体2, 192件）で、図47のとおり、問いに対し、休暇を取得しやすいと、肯定的な回答割合は約87%で、否定的な回答割合は約13%であった。

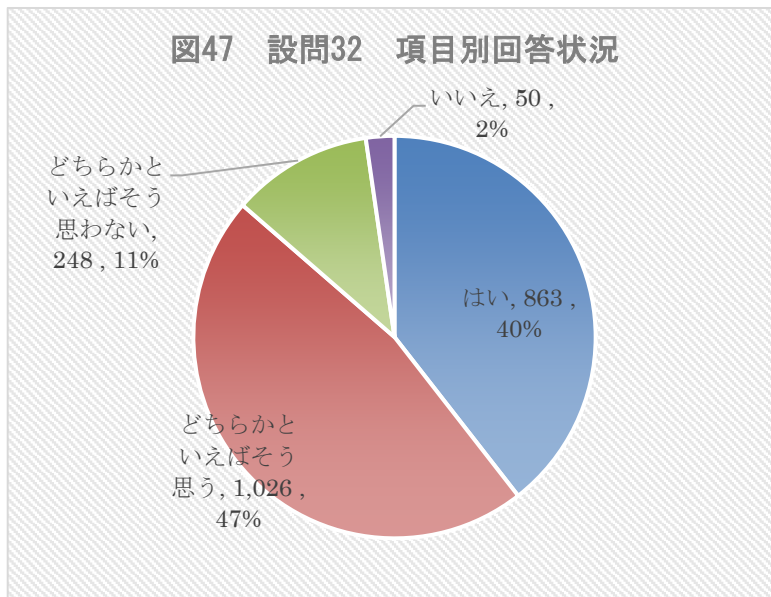


図48のとおり、性別の状況を見ると、性別に関わらず、全体の傾向と概ね同様の結果となっており、特段の差異は認められなかった。

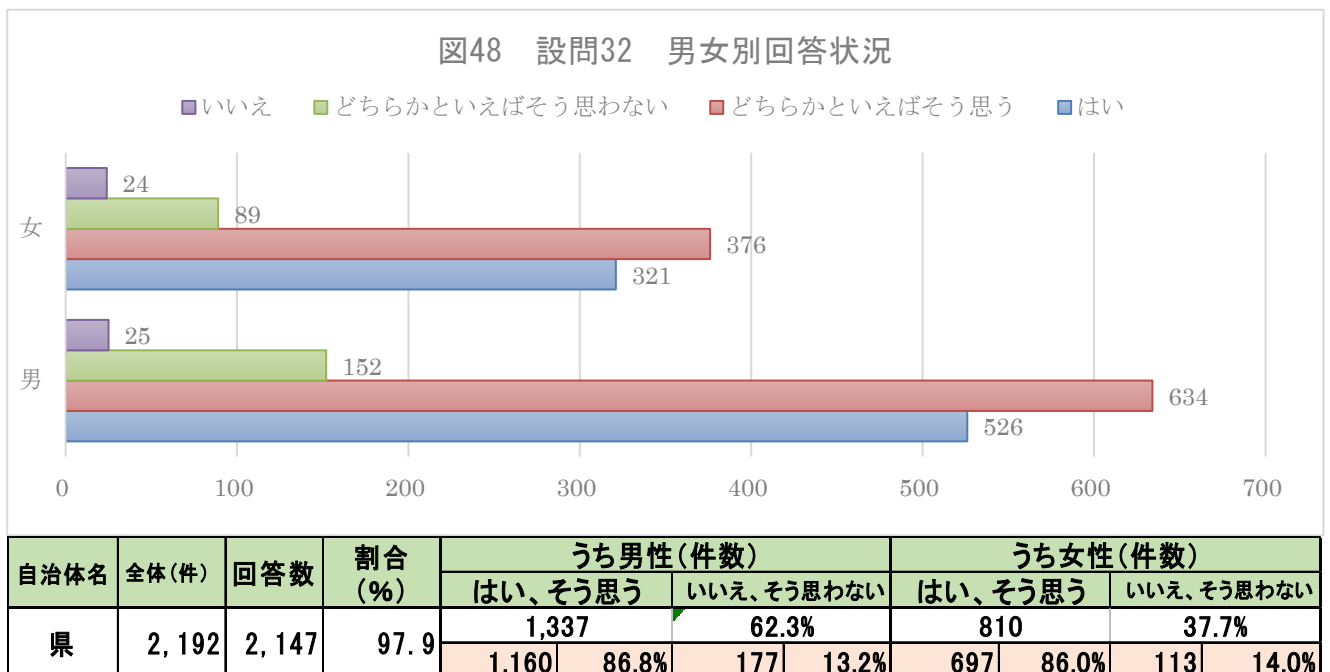
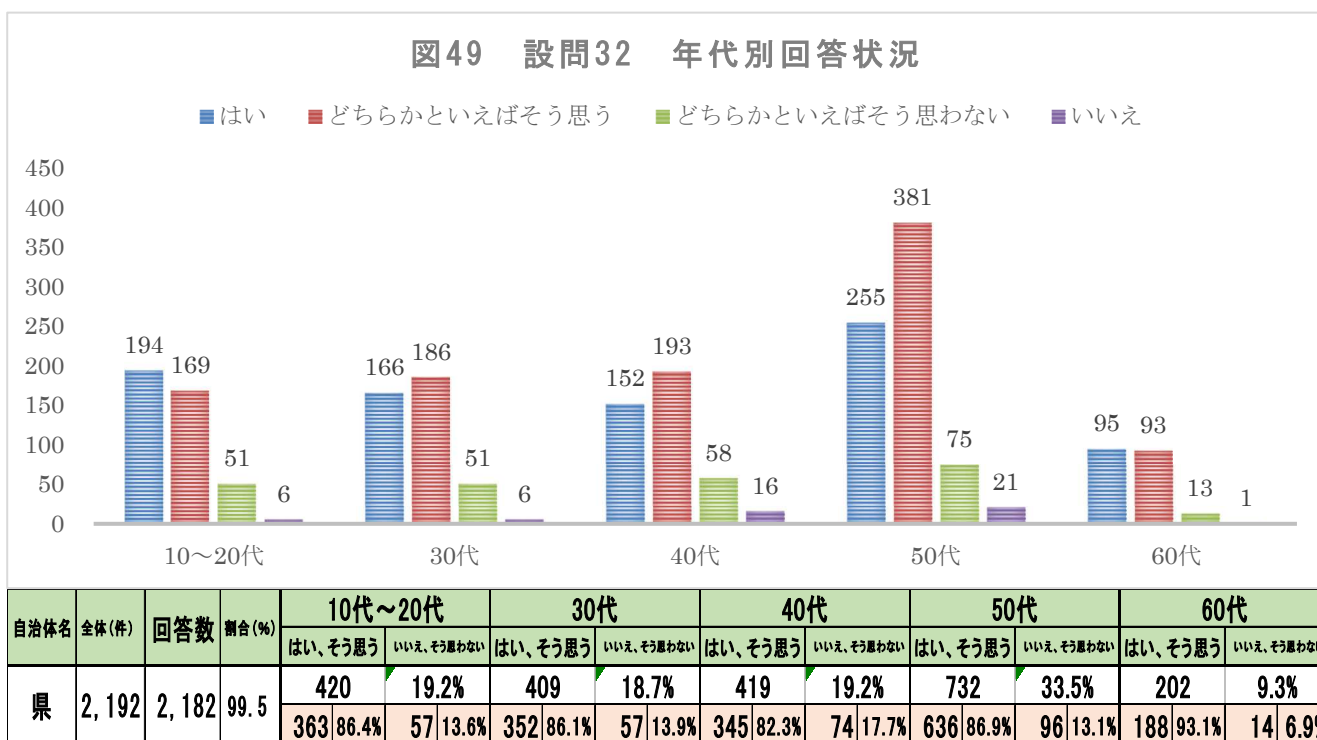


図 49 のとおり、各年代別の状況を見てみると、各年代とも全体の傾向と概ね同様の結果であったが、40代は肯定的な方の割合が約82%とやや低く、一方で60代では、約93%とかなり高かった。

図49 設問32 年代別回答状況



ツ 設問 34~35 (産休・育休等休暇制度は、十分に活用できていますか?)

設問に対する回答数は2, 179件(全体2, 192件)で、問いに対し、図50のとおり、制度の活用ができていると、肯定的な回答割合が約79%で、活用活用できていないと否定的な回答割合は約21%であった。

図50 設問34 項目別回答状況

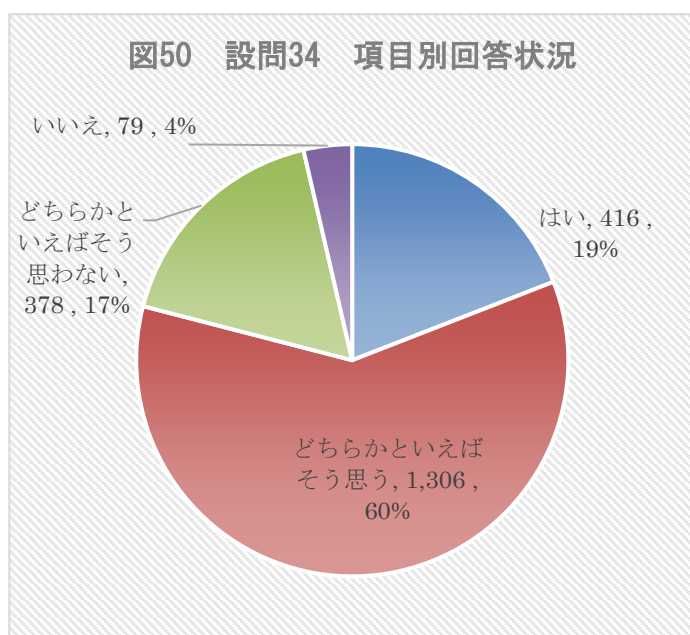
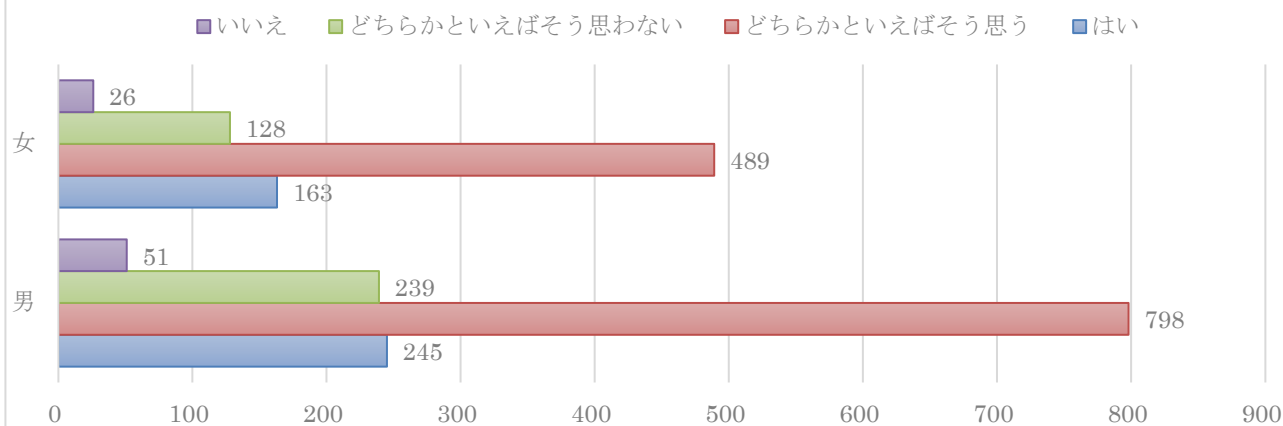


図 51 のとおり、性別の状況を見ると、性別に関わらず全体の傾向と概ね同様の結果となっており、特段の差異は認められなかった。

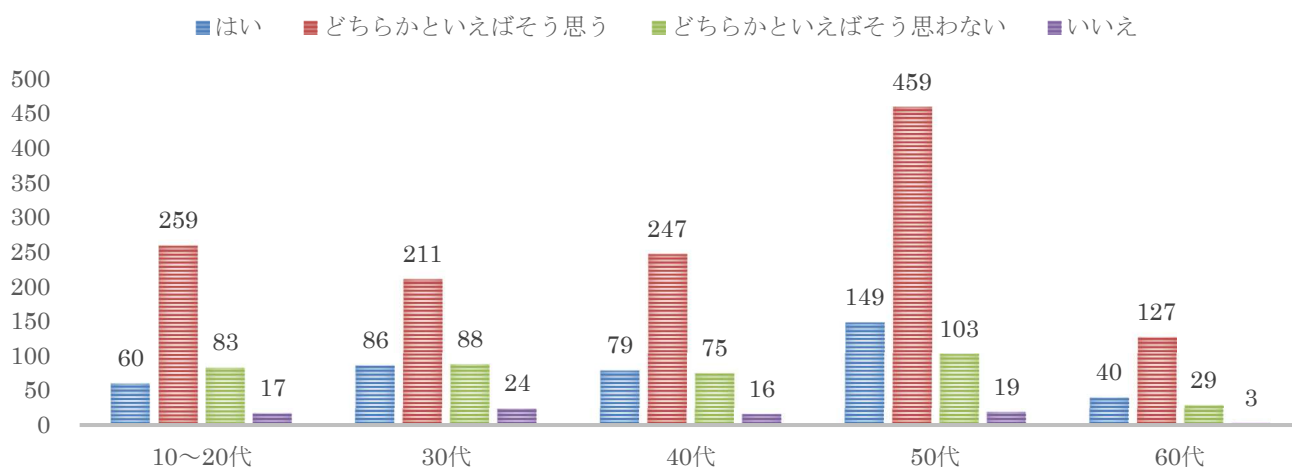
図51 設問34 男女別回答状況



自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	うち男性(件数)		うち女性(件数)	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない
県	2,192	2,139	97.6	1,333	62.3%	806	37.7%
				1,043	78.2%	154	19.1%

図 52 のとおり、各年代別の状況を見てみると、各年代とも全体の傾向と概ね同様ではあるが、10～30代で肯定的な回答割合がやや低かった。また、50代以降は、逆にやや高めであった。

図52 設問34 年代別回答状況



自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代～20代		30代		40代		50代		60代	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない		
県	2,192	2,174	99.2	419	19.3%	409	18.8%	417	19.2%	730	33.6%	199	9.2%
				319	76.1%	100	23.9%	297	72.6%	112	27.4%	326	78.2%

テ 設問 36～37（職場内におけるワークシェアリングなど、休暇を取得しやすい取り組みは進んでいると思いますか？）

設問に対する回答数は2, 187件（全体2, 192件）で、問いに対し、図53のとおり、肯定的な回答割合は全体で約58%、否定的な回答割合は約42%という結果となった。

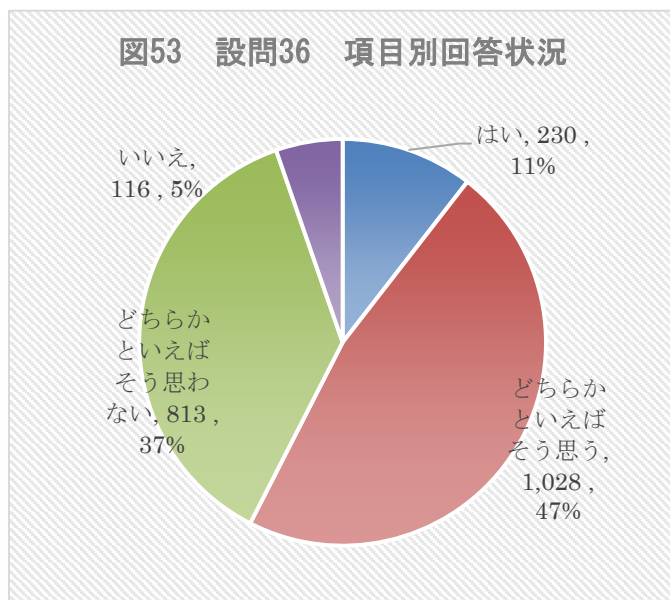


図54のとおり、性別の状況を見ると、性別に関わらず全体の傾向と概ね同様の結果であったが、若干ではあるものの、男性の方が肯定的な回答割合が、約60%であったのに対し、女性は約55%と、男性よりも女性の方が否定的な方の割合が高かった。

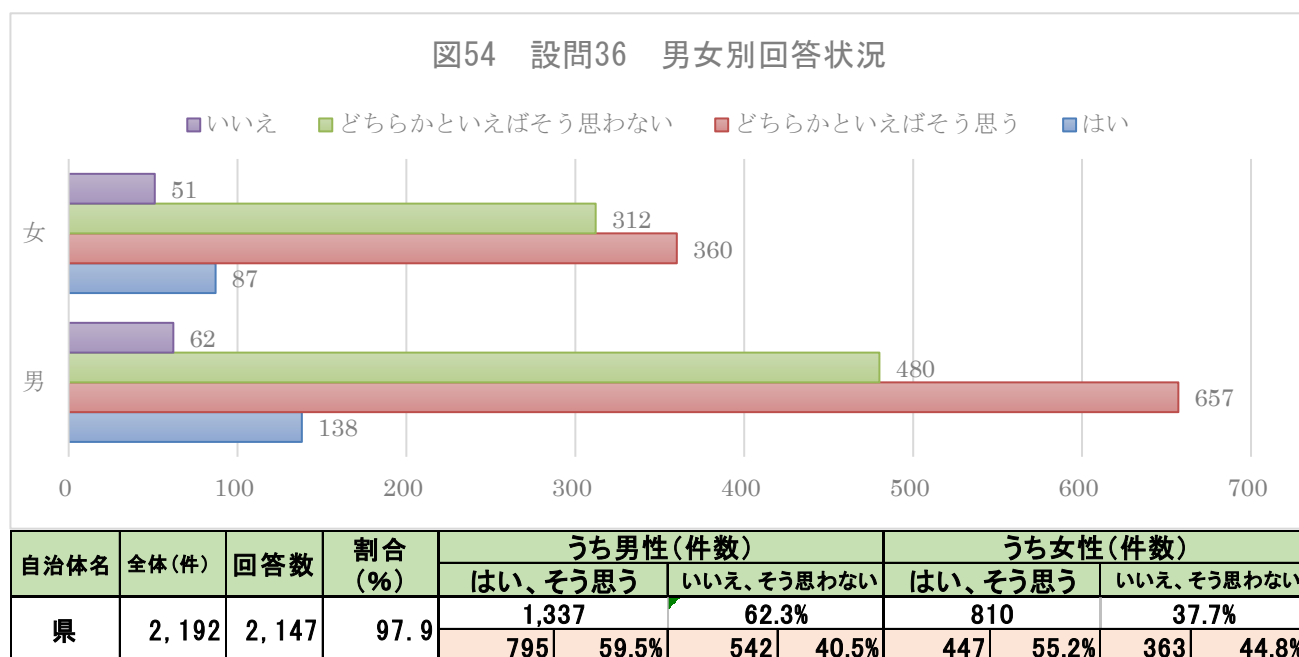
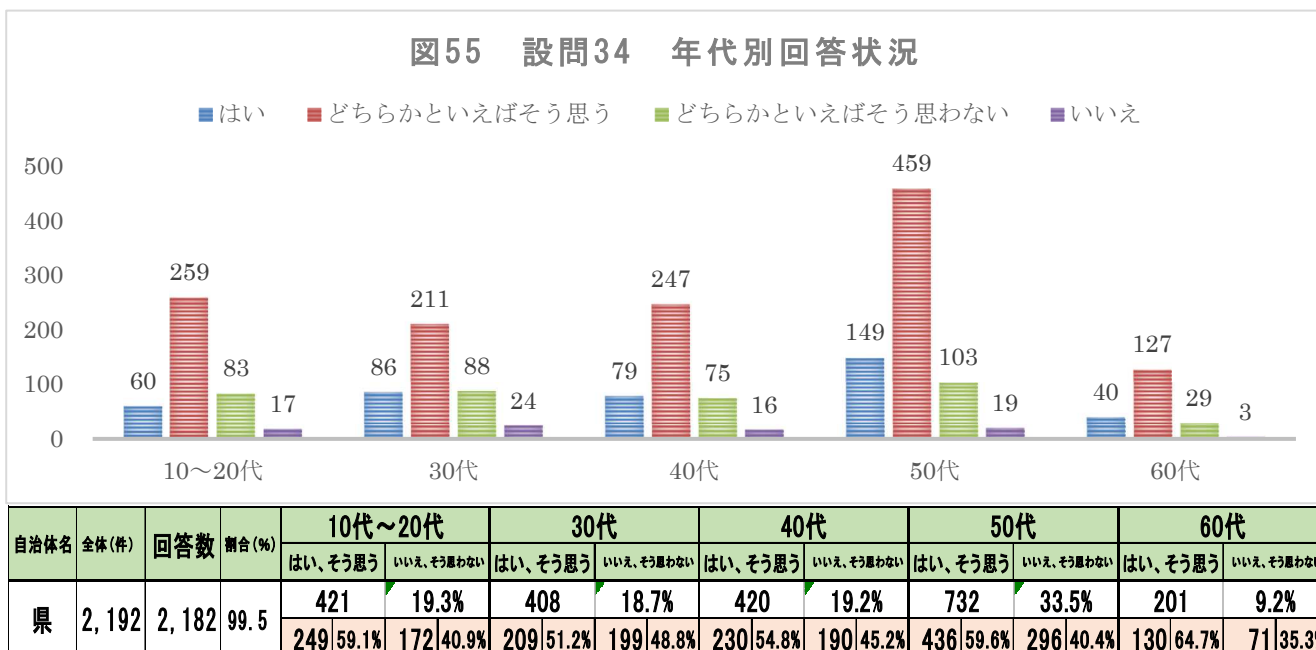


図 55 のとおり、各年代別の状況を見てみると、各年代とも全体の傾向と概ね同様の結果であったが、全体と比較すると、30～40代で肯定的な回答割合がやや低かった一方で、10～20代及び50代以降は、逆に高かった。

図55 設問34 年代別回答状況



④職場環境について

ト 設問 38～39 (職場のオフィス環境に満足していますか?)

設問に対する回答数は2,188件(全体2,192件)で、問いに対し、図 56 のとおり、肯定的な回答割合は約56%、否定的な回答割合は、約44%という結果となった。

図56 設問38 項目別回答状況

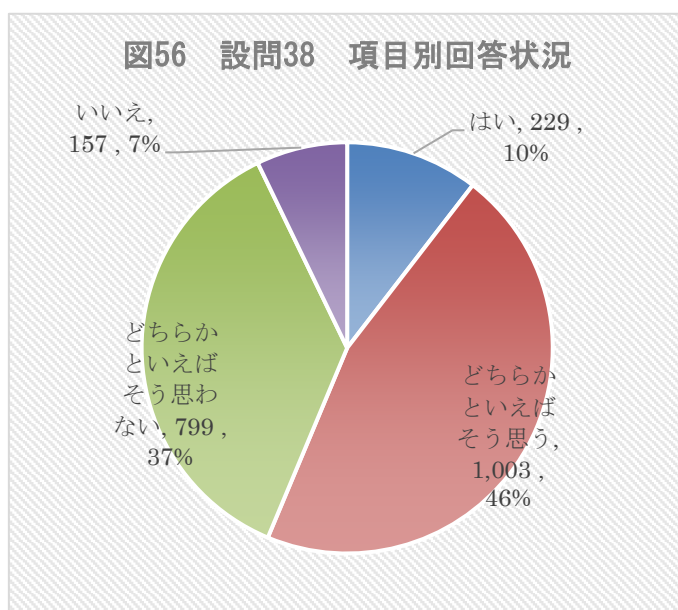
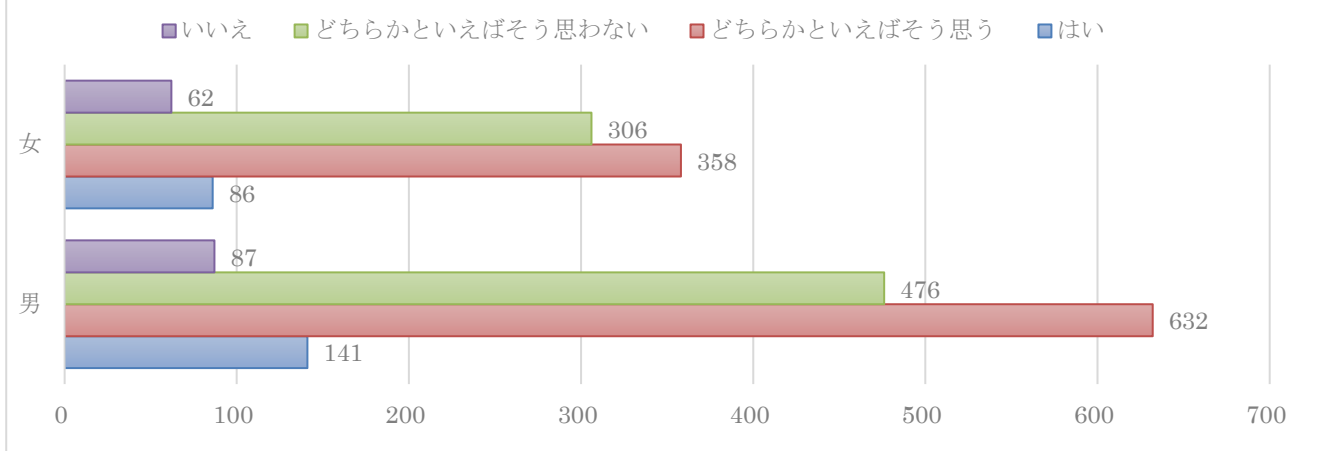


図 57 のとおり、性別の状況を見ると、性別に関わらず概ね全体の傾向と同様の結果であったが、若干ではあるものの、肯定的な回答割合が、男性では、約58%、

女性では約55%と、満足度は男子の方がやや高く、女性の方がやや低いと感じている結果となった。

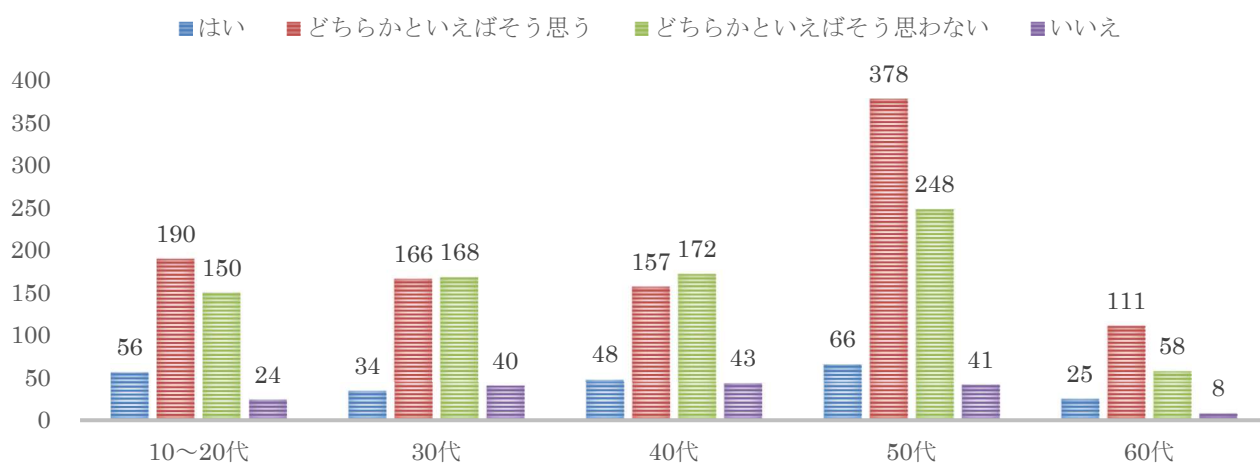
図57 設問38 男女別回答状況



自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	うち男性(件数)		うち女性(件数)	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない
県	2,192	2,148	98.0	1,336	62.2%	812	37.8%
				773	57.9%	444	54.7%
				563	42.1%	368	45.3%

図58のとおり、各年代別の状況を見てみると、全体と比較して、肯定的な回答割合が低かったのは、30代、40代の約49%で、逆に高かったのは60代の約67%、50代の約61%であった。特に30代から40代の中堅層の職員の満足度が低い結果となった。

図58 設問38 年代別回答状況



自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代~20代		30代		40代		50代		60代	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない		
県	2,192	2,183	99.6	420	19.2%	408	18.7%	420	19.2%	733	33.6%	202	9.3%
				246	58.6%	174	41.4%	200	49.0%	208	51.0%	205	48.8%
				215	51.2%	215	51.2%	444	60.6%	289	39.4%	136	67.3%
				66	32.7%	66	32.7%						

ナ 設問 40（快適な職場環境では何が必要と思いますか？（複数選択可））

※全体の総括の回答状況を参照（P45）

二 設問 41～42（庁内LANをはじめ様々な業務システムやツールがありますが、業務を行う上で十分だと思いますか？）

設問に対する回答数は2, 190件（全体2, 192件）で、問いに対し、図59のとおり、肯定的な回答割合は約75%、否定的な回答割合は約25%で、全体的には、多くの職員から肯定的な評価を受けている結果となった。

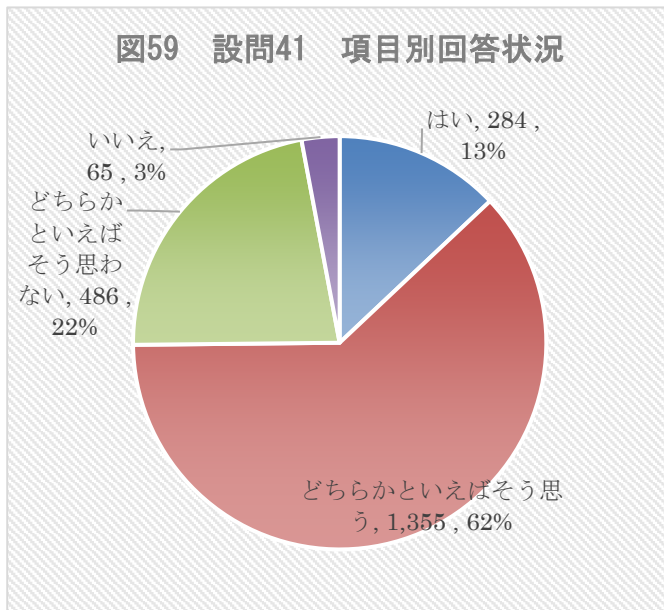


図 60 のとおり、性別の状況を見ると、性別に関わらず、概ね全体の傾向と同様の結果であり、男女間で特段の意識差は認められなかった。

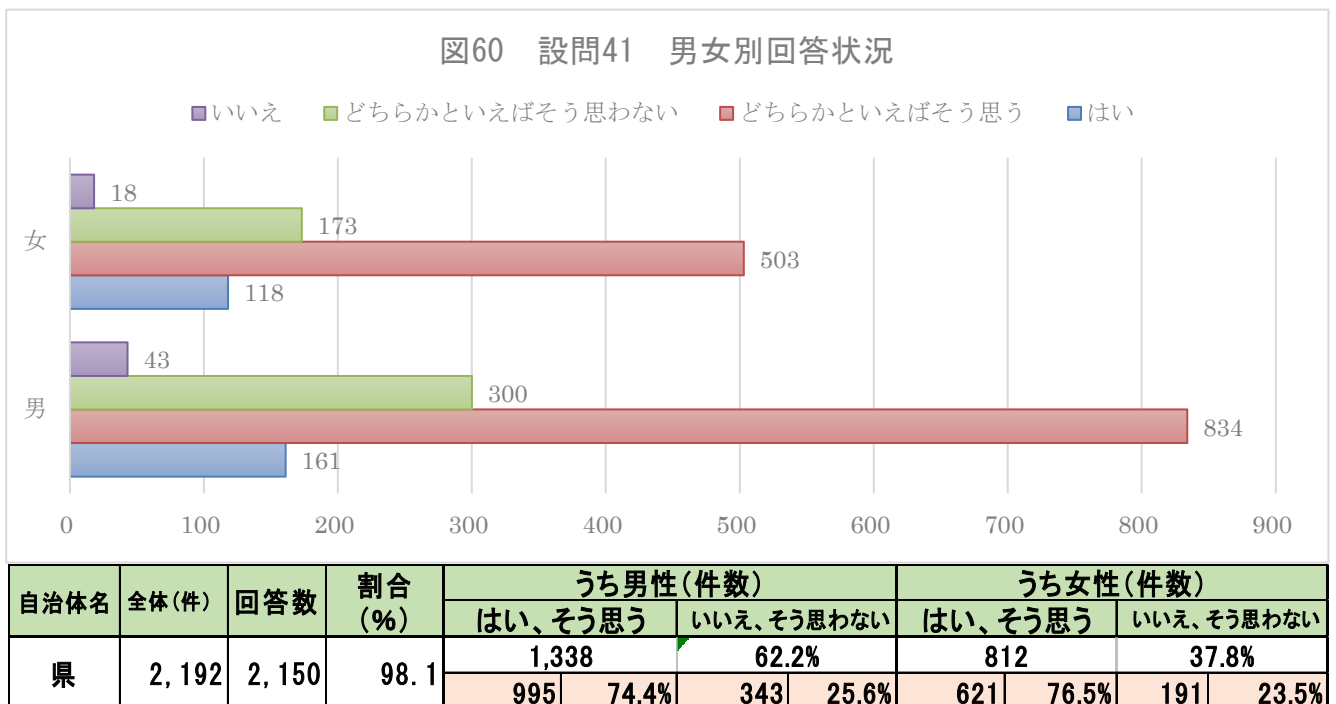
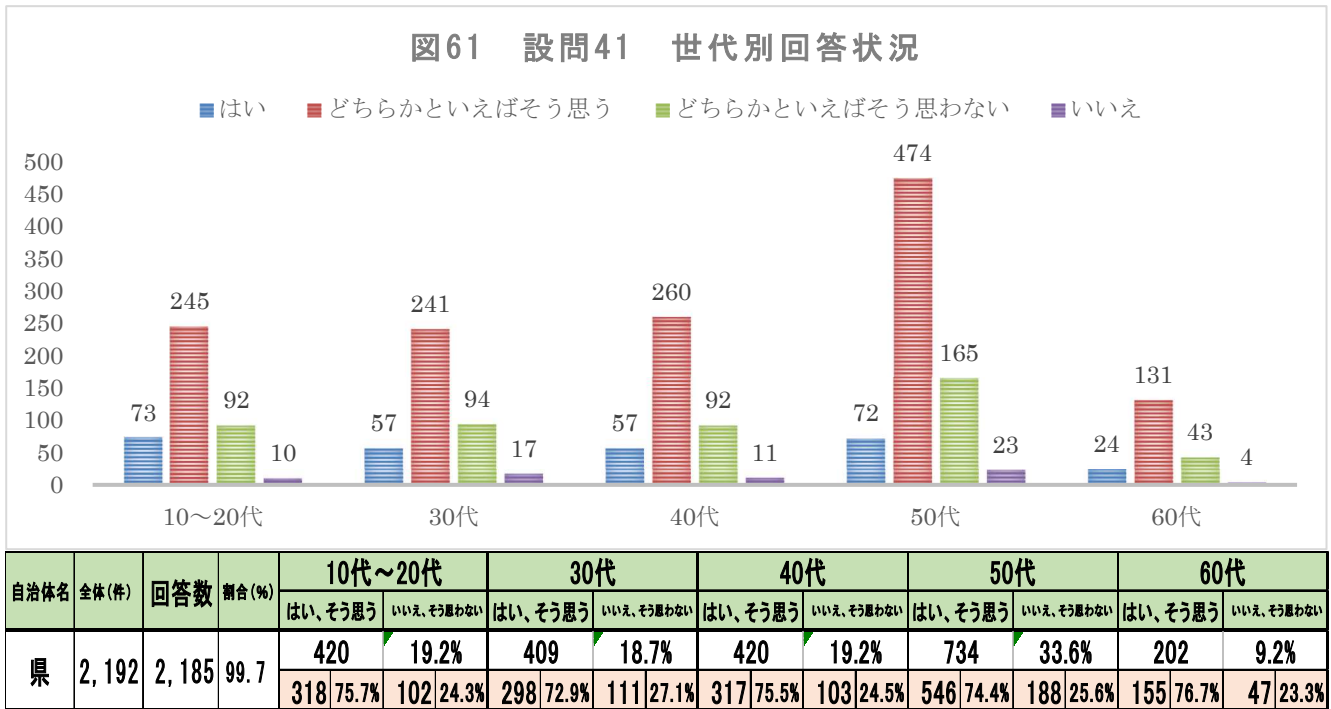


図 61 のとおり、各年代別の状況を見てみると、各年代とも全体の傾向と概ね同様の結果であり、世代間での認識の差はなかった。

図 61 設問 41 世代別回答状況



又 設問 43 (職場において、キャリアアップや様々なハラスメント相談などに対応できる仕組みが整備されていますが、十分だと思いますか?)

設問に対する回答数は2, 189件(全体2, 192件)で、問いに対し、図 62 のとおり、肯定的な回答割合は約66%、否定的な回答割合は約34%で、全体的には、多くの職員から肯定的な評価を受けている一方で、一定数の方からは低い評価もあるという結果となった。

図 62 設問 43 項目別回答状況

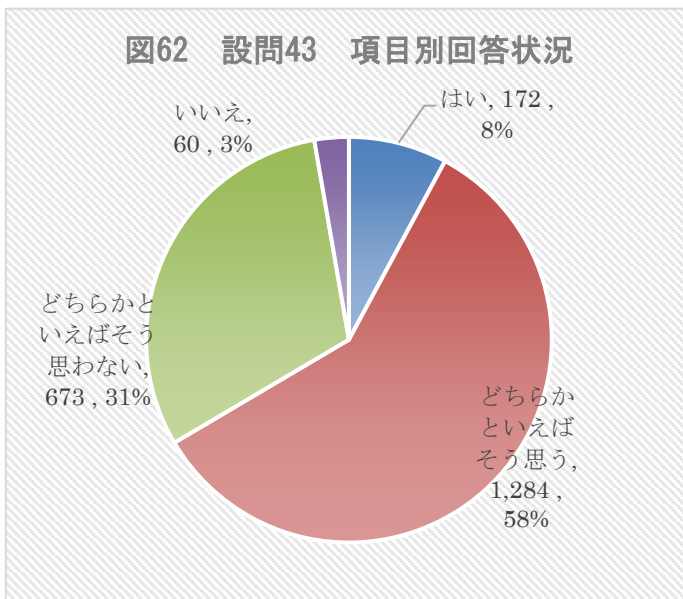
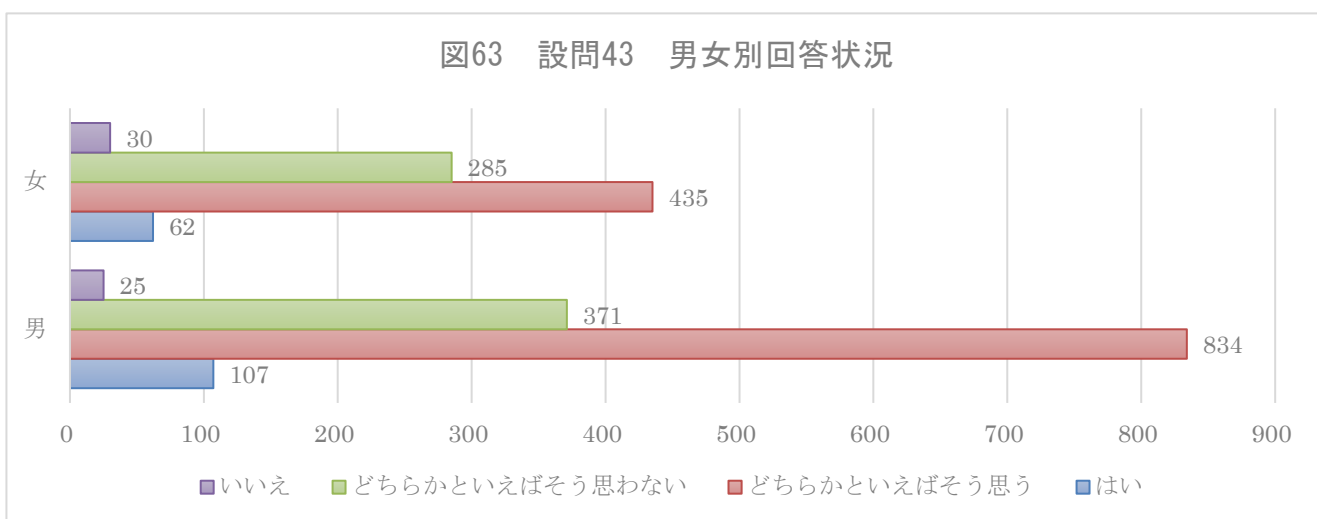


図 63 のとおり、性別の状況を見ると、概ね全体の傾向と同様の結果であり、男女間で特段の意識の差は認められなかった。

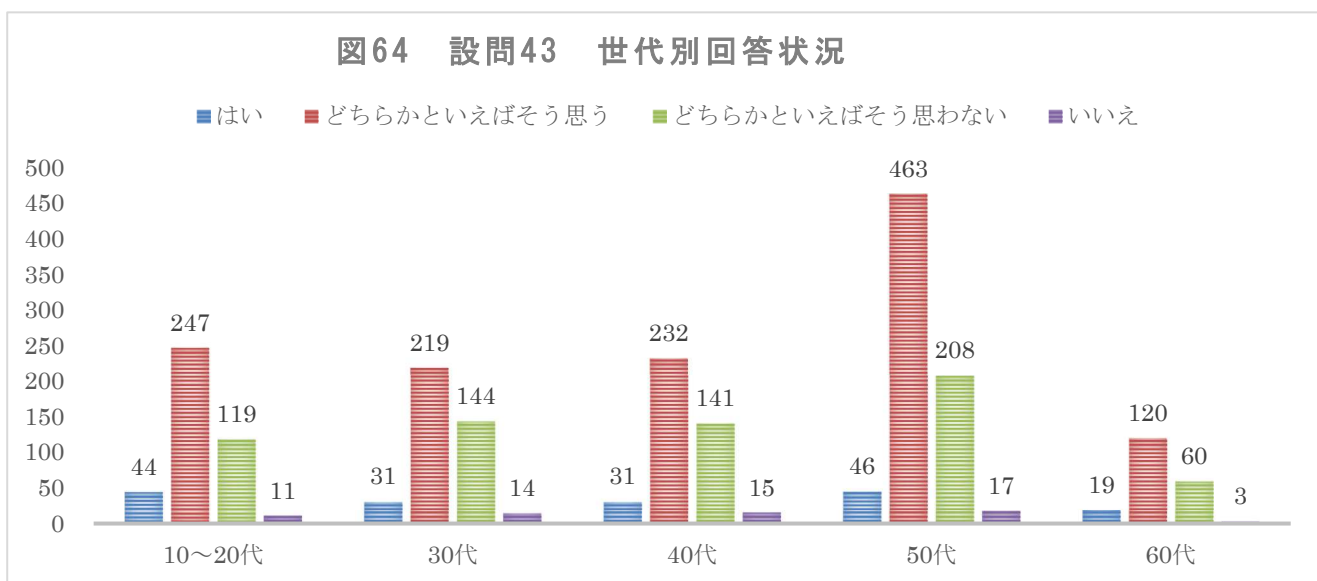
図63 設問43 男女別回答状況



自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	うち男性(件数)		うち女性(件数)	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない
県	2,192	2,149	98.0	1,337	62.2%	812	37.8%
				941	70.4%	396	29.6%
				497	61.2%	315	38.8%

図 64 のとおり、各年代別の状況を見てみると、全体と比較して、肯定的な回答割合が高かったのは、10～20代、50代以降で、いずれも約70%程度と全体の傾向よりやや高めであった。低かったのは、30代の約61%、40代の約63%で、30代から40代の中堅層の職員の満足度がやや低い結果となった。

図64 設問43 世代別回答状況



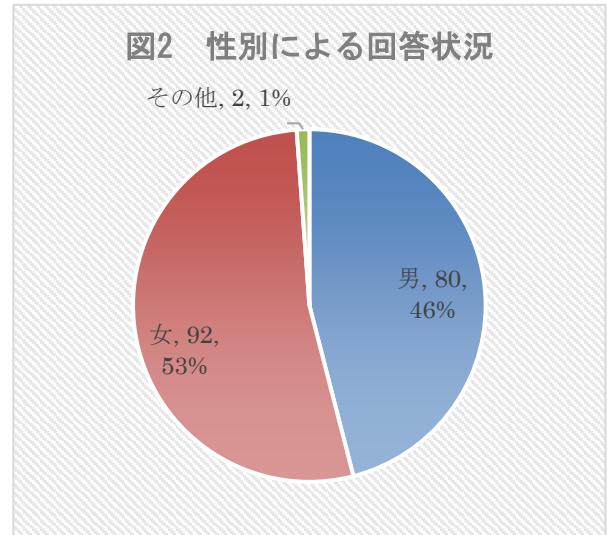
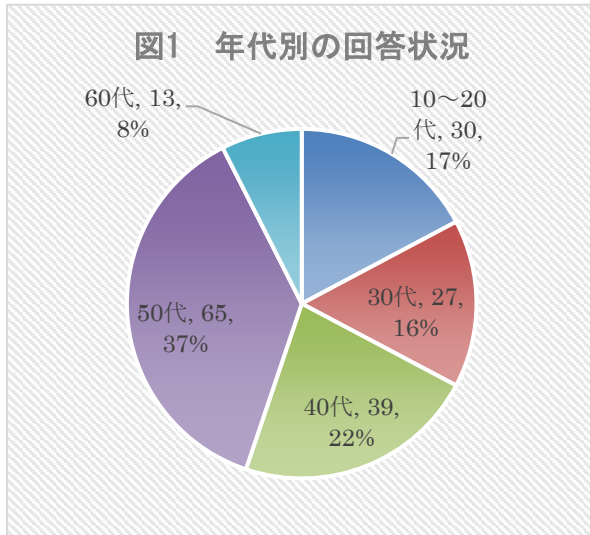
自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代～20代		30代		40代		50代		60代	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない		
県	2,192	2,184	99.6	421	19.3%	408	18.7%	419	19.2%	734	33.6%	202	9.2%
				291	69.1%	130	30.9%	250	61.3%	158	38.7%	263	62.8%
				156	37.2%	509	69.3%	225	30.7%	139	68.8%	63	31.2%

(2) 新居浜市の状況について

①年齢、性別による回答状況について

ア 設問2～設問3（年齢、性別）

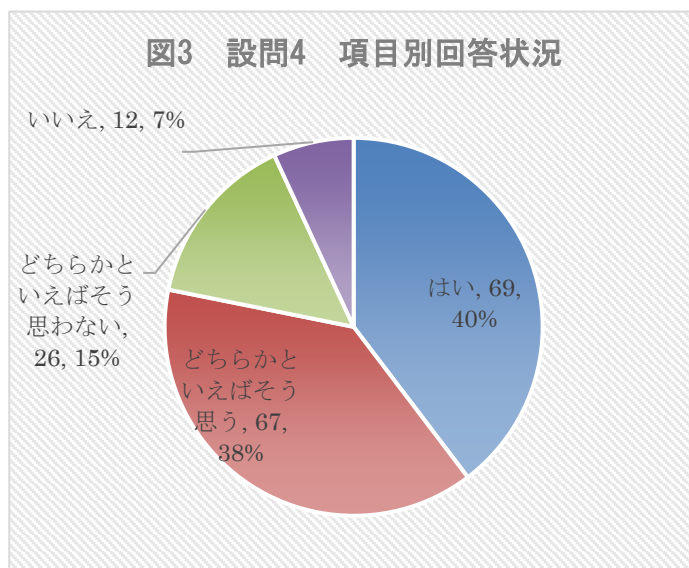
新居浜市における全体の回答者数は174件で、回答者の年代別、男女等別の回答数の状況は図1、図2のとおりとなった。50代の方の回答がやや多いものの、幅広い世代等の職員から回答を頂いた。



②女性の活躍について

イ 設問4（職場内で女性職員が増えたと思いますか？）

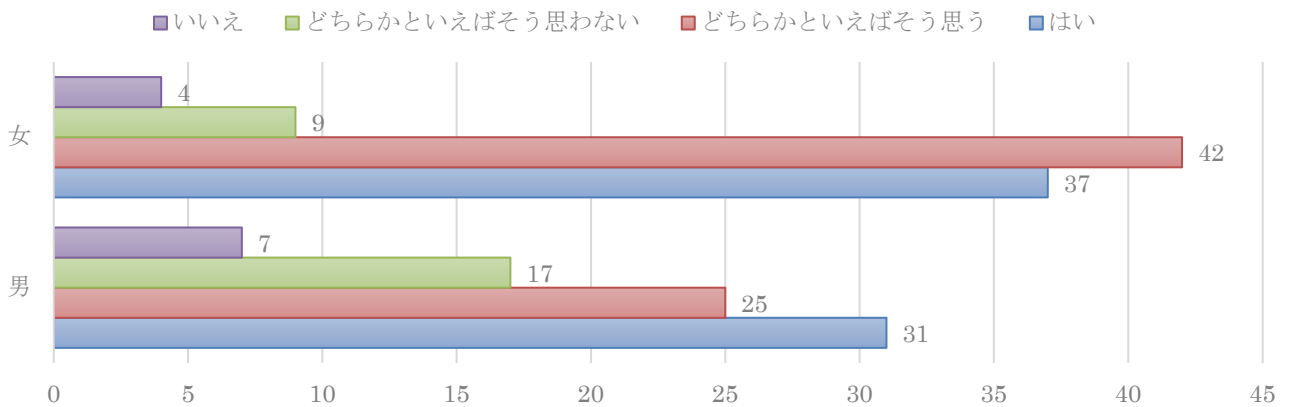
図3のとおり、設問に対する回答数は174件（全体174件）で、問いに対し、肯定的に回答された方が、全体の約78%占め、否定的な回答割合は約22%だった。多くの職員が、女性職員の割合が増えていると感じている。



次に、図4により性別による状況を見てみると、肯定的な回答をされた男性は、70%であったが、女性は約86%となっており、男女間での意識にやや差異が認められた。

なお、女性の割合が増えたと感じていない職員も一定数いることから、職場の状況や職種などの影響等により、単純に女性の割合が増えた感じられない部署もあると考えられる。

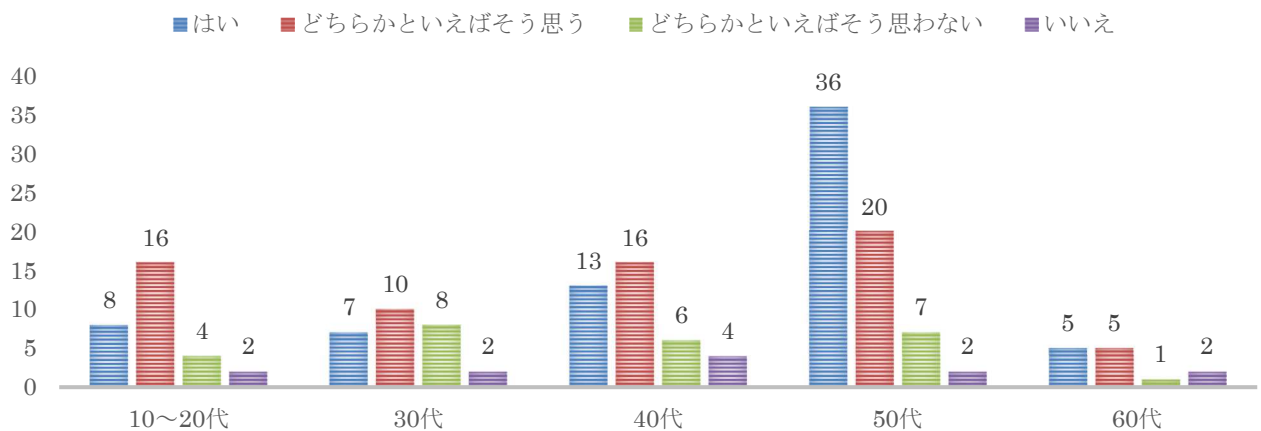
図4 設問4 男女別回答状況



自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	うち男性(件数)				うち女性(件数)			
				はい、そう思う		いいえ、そう思わない		はい、そう思う		いいえ、そう思わない	
新居浜市	174	172	98.9	80		46.5%		92		53.5%	
				56	70.0%	24	30.0%	79	85.9%	13	14.1%

図5により、各年代別の状況を見てみると、各年代でバラツキがあり、肯定的な回答割合が高かったのは50代で約86%であった。最も低かったのは30代で約63%であった。全体の傾向からみて、30代、40代が肯定的な回答割合が低かった。

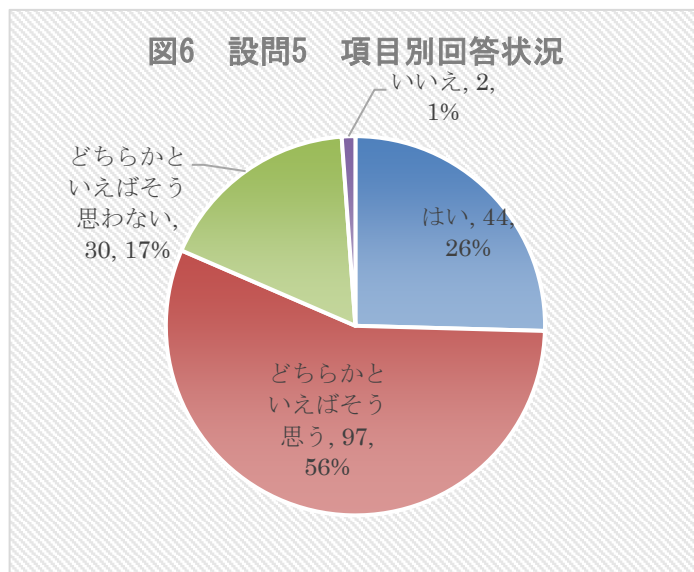
図5 設問4 年代別回答状況



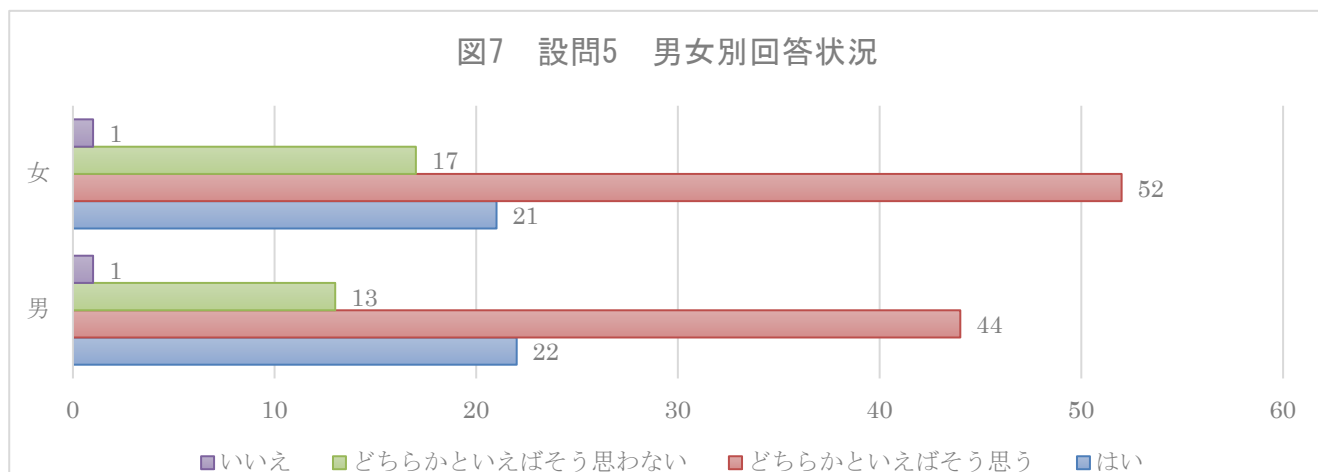
自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代~20代		30代		40代		50代		60代							
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない								
新居浜市	174	174	100.0	30		27		39		65		13							
				24	80.0%	6	20.0%	17	63.0%	10	37.0%	29	74.4%	10	25.6%	56	86.2%	9	13.8%

ウ 設問5～6（職場内で性別や年齢、役職に関わらずコミュニケーションは円滑に図られていると思いますか?）

設問に対する回答数は173件（全体174件）で、問いに対し、図6のとおり、肯定的な回答割合が82%で、否定的な回答割合は約12%であった。多くの職員が円滑なコミュニケーションが図られていると感じているとの結果となった。全体的には良い傾向であると思われるが、今後、改善を検討していくべき職場も残されているということも、認識しておく必要がある。



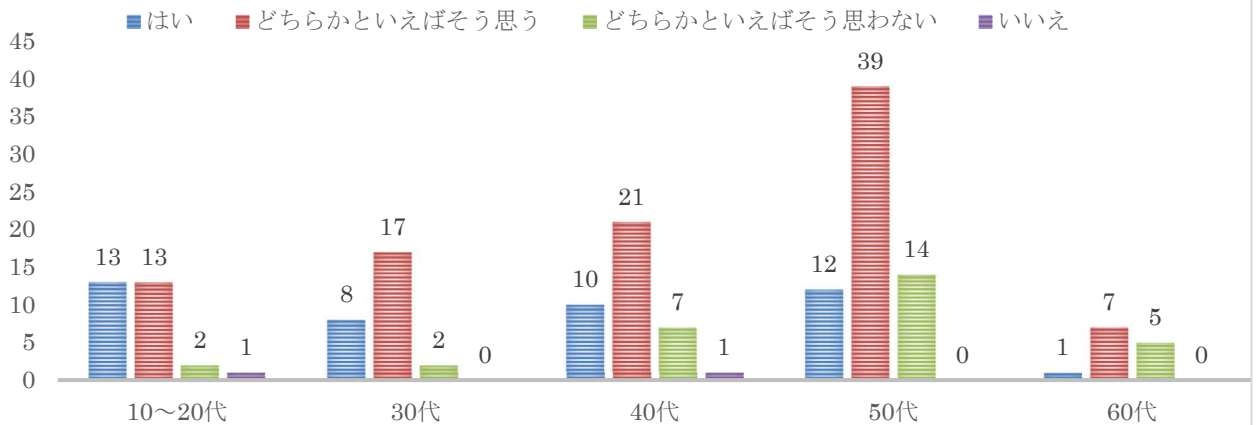
次に、図7により、性別による状況を見てみると、全体の傾向と概ね同様の結果となり、性別による大きな偏りは特に認められなかった。



自治体名	全体(件)	回答数	割合 (%)	うち男性(件数)		うち女性(件数)	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない
新居浜市	174	171	98.3	80	46.8%	91	53.2%
				66	82.5%	73	80.2%
						14	17.5%
						18	19.8%

次に、図8により各年代別の状況を見てみると、10～20代（約90%）、30代（約93%）が肯定的な回答割合が高かった。また、40代以降では、年代を追うごとに否定的な回答をされる方の割合が徐々に高くなる、といった傾向が認められた。

図8 設問5 年代別回答状況

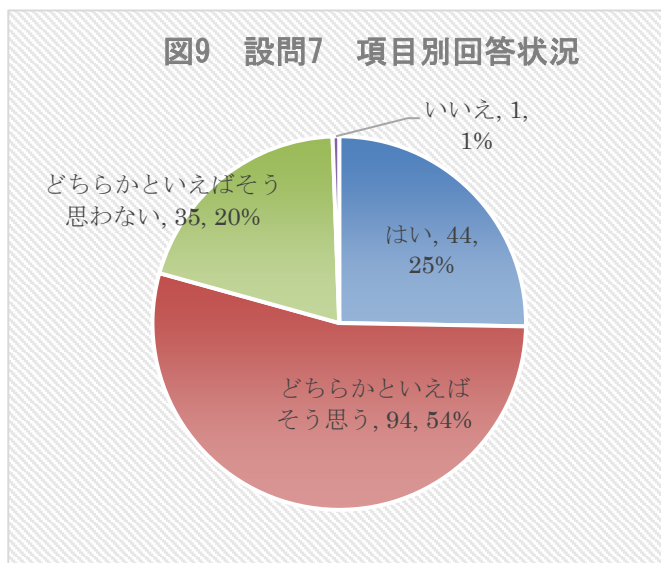


自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代～20代		30代		40代		50代		60代							
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない								
新居浜市	174	173	99.4	29	16.8%	27	15.6%	39	22.5%	65	37.6%	13	7.5%						
				26	89.7%	3	10.3%	25	92.6%	2	7.4%	31	79.5%	8	20.5%	51	78.5%	14	21.5%

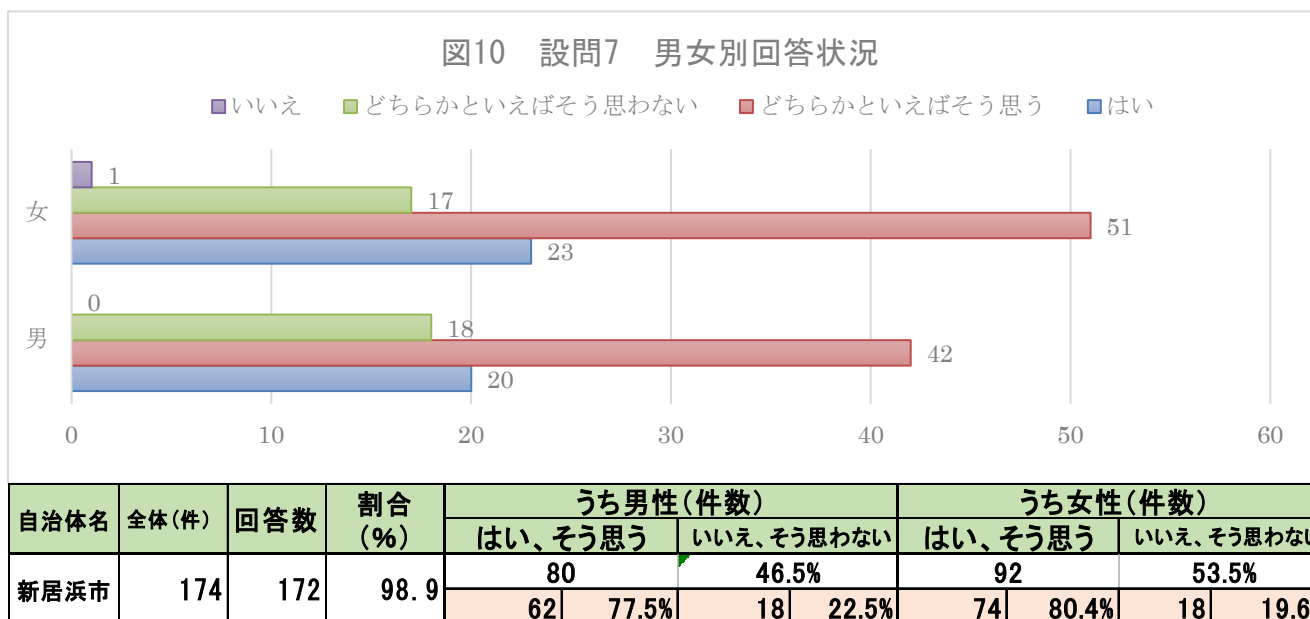
エ 設問7～8（今の職場で女性は活躍できていると思いますか？）

設問に対する回答数は174件（全体174件）で、問いに対し、図9のとおり、肯定的な回答割合が約79%で、否定的な回答割合は、約21%と多くの職員が、女性が活躍できていると感じている結果となった。全体的には良い傾向であるが、否定的な回答も一定数あるということは認識しておく必要がある。

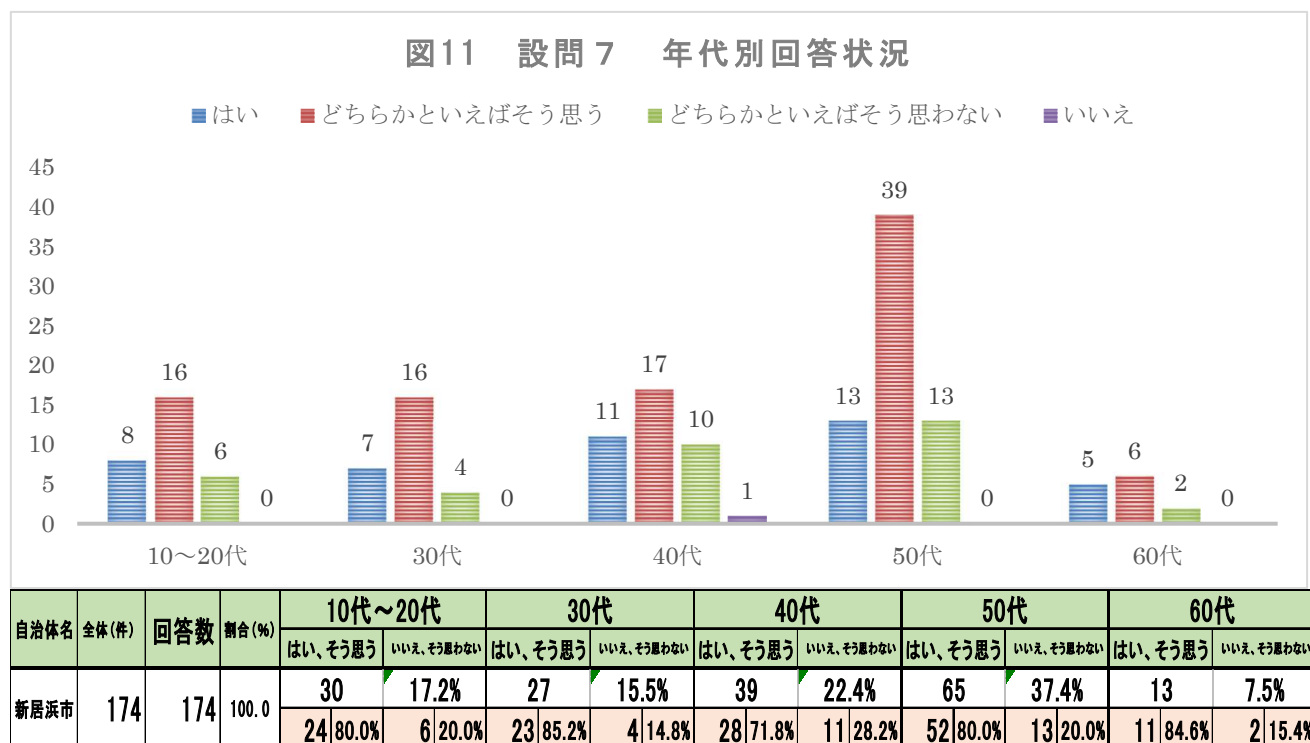
図9 設問7 項目別回答状況



次に、図 10 により、性別による状況を見てみると、全体の傾向と概ね同様であり、性別による偏りは特に認められなかった。

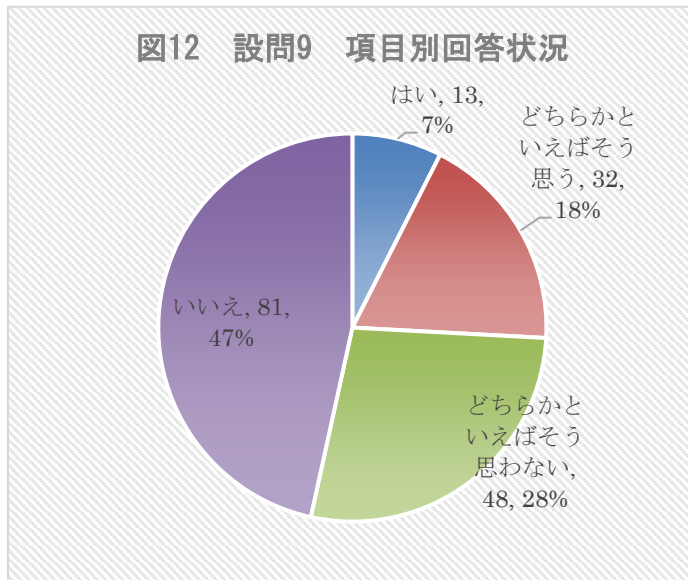


次に、図 11 により、各年代別の状況を見てみると、各年代でバラツキはあるが、全体と比較して肯定的な方の割合が高かったのは30代(約85%)で、低かったのは40代(約72%)となっており、若干ではあるが、世代間のギャップが認められた。

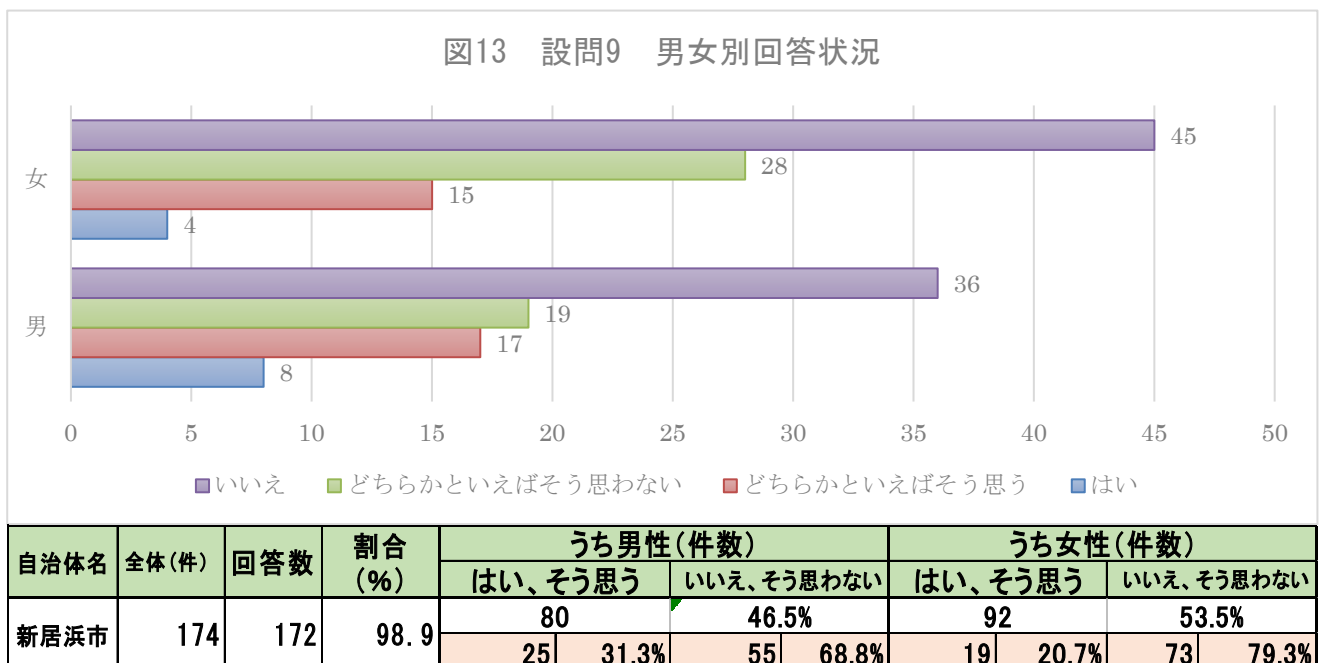


オ 設問9～10（女性が活躍できる環境をさらに充実させる必要は、「ない」と思いますか？）

設問に対する回答数は174件（全体174件）で、問いに対し、図12のとおり、肯定的な回答が約25%、否定的な回答が約75%と、多くの職員は「女性が活躍できる環境の充実」が必要と感じている、という結果となった。

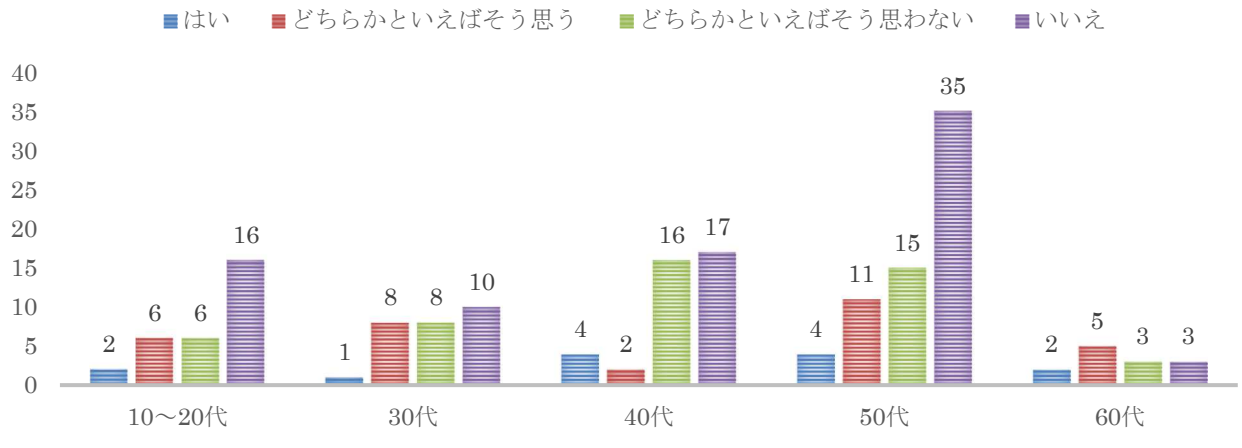


次に、図13により、性別による状況を見てみると、性別に関わらず否定的な回答を選択した方が多かったが、女性の方が、やや否定的な回答割合が高かった。



次に、図14により各年代別の状況を見てみると、各年代でバラツキがあり、全体の傾向と比較して、肯定的な回答割合が高かったのは30代の33.3%及び60代の53.8%だった一方で、否定的な回答割合が高かったのは40代の約84.6%であった。

図14 設問9 年代別回答状況



自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代~20代		30代		40代		50代		60代	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない		
新居浜市	174	174	100.0	30 8 26.7%	17 22 73.3%	27 9 33.3%	15 18 66.7%	39 6 15.4%	33 33 84.6%	65 15 23.1%	50 50 76.9%	13 7 53.8%	7 6 46.2%

カ 設問 11（女性が活躍できる職場環境では何が重要だと思いますか？）

設問に対する回答数は174件（全体174件）で、問いに対し、女性が活躍できる環境で最も望まれるのは、図15のとおり、「柔軟な働き方」という結果となった。全体の約42%の方が回答されるなど突出した結果となった。続く第2位は「既存意識の改革」で19%、3、4位はあまり大きな差はなかったが、上位は、次の4項目となった。

- | | | | |
|---|-----------|-------|-------------|
| 1 | 柔軟な働き方 | (42%) | 【男性1位 女性1位】 |
| 2 | 既存意識の改革 | (19%) | 【男性2位 女性3位】 |
| 3 | 多様なライフプラン | (14%) | 【男性4位 女性2位】 |
| 4 | 男女の相互理解 | (13%) | 【男性3位 女性4位】 |

なお、「管理職への登用」（5%）や「保育施設の充実」（5%）といった項目については、上位の選択肢と比べて優先順位が低いという結果となった。

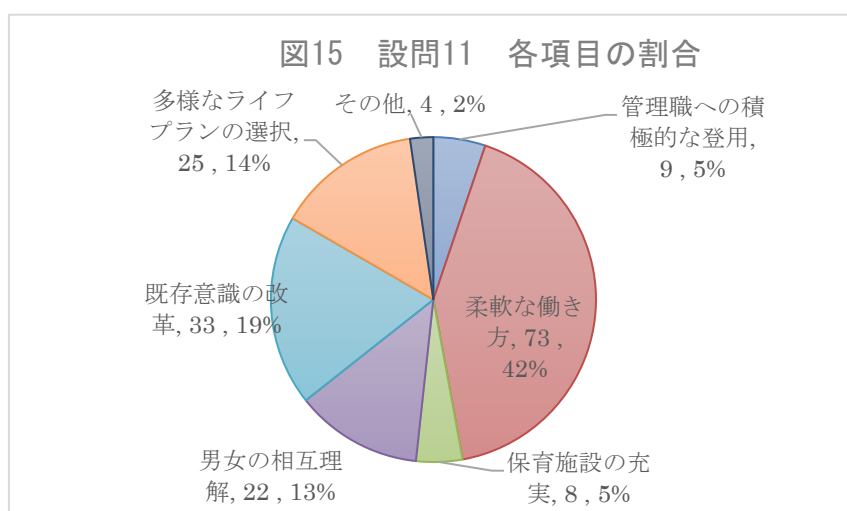


図15-1、図15-2、図16により、男女別の回答内訳をみると、回答結果の傾向については若干の違いが認められた。1位の「柔軟な働き方」以外は、男性では「既存意識の改革」や「男女の相互理解」を、また女性では、「多様なライフプラン」を、それぞれ選択した方の割合が高かった。

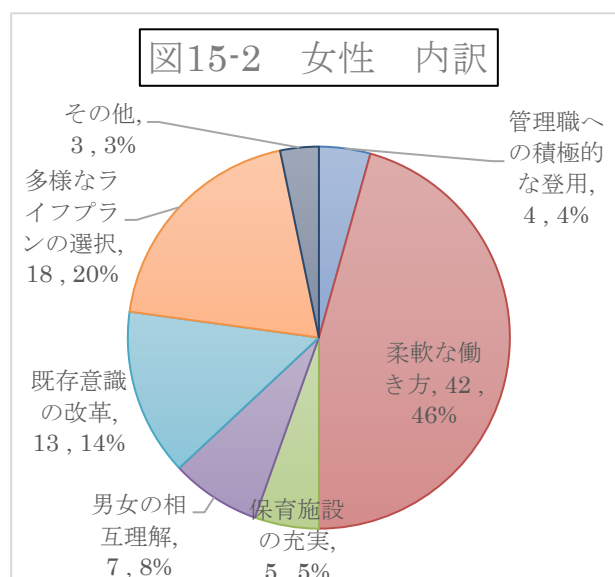
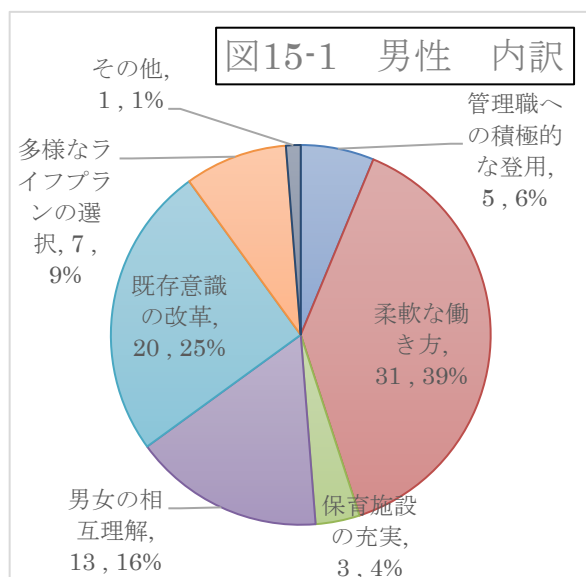
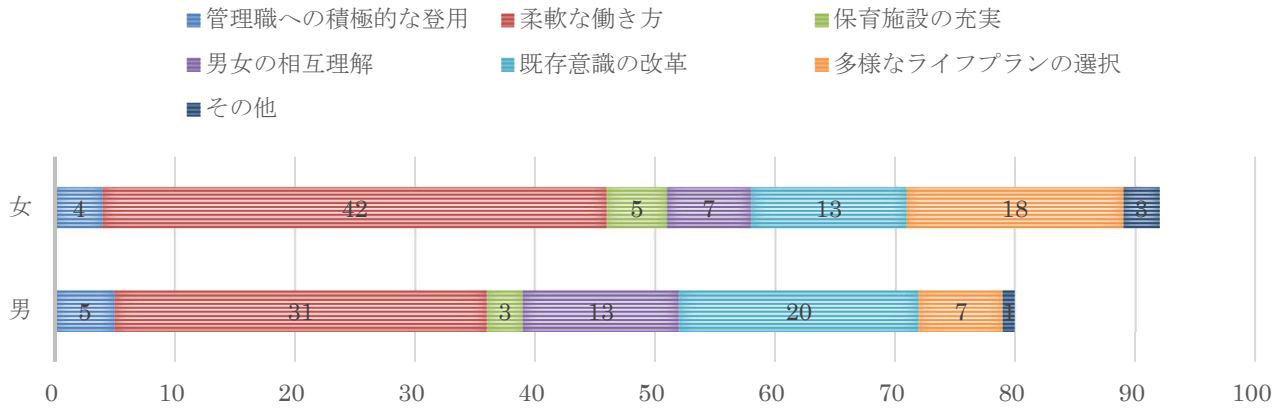
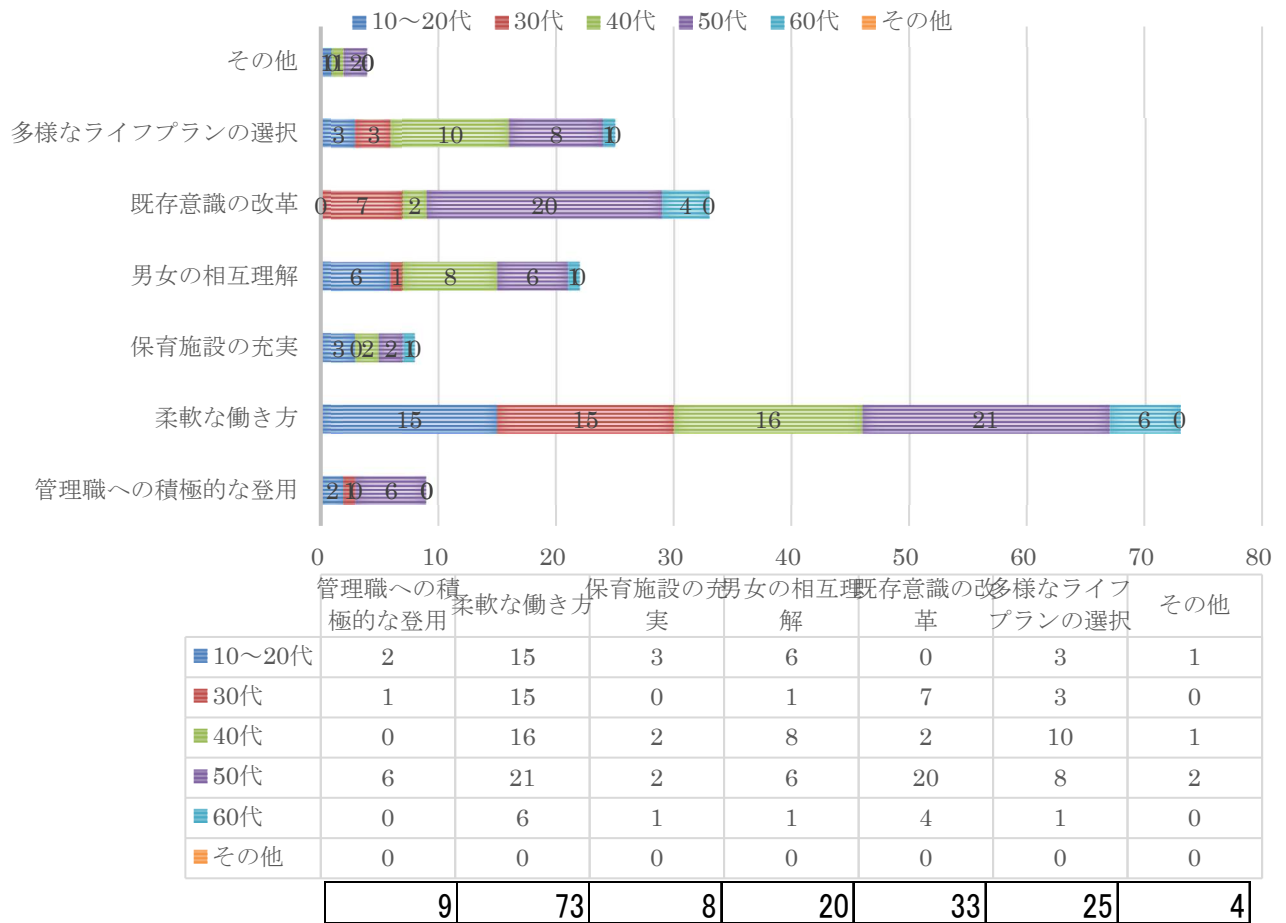


図16 設問11 男女別の回答状況



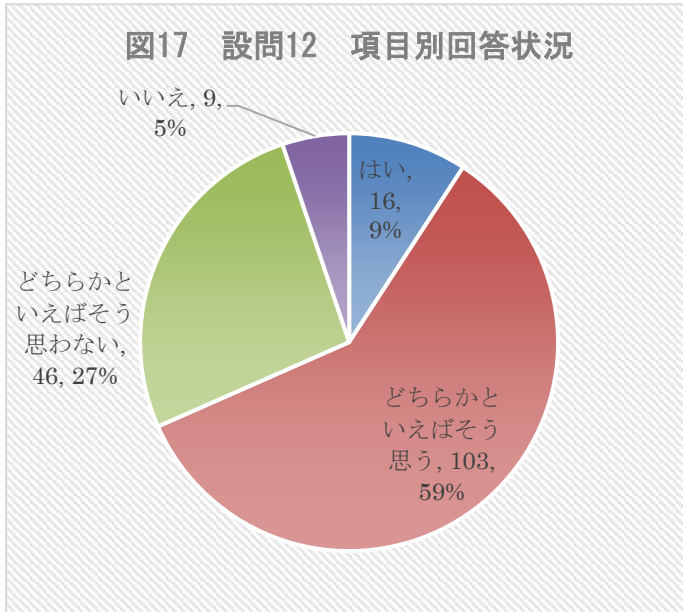
また、図16-1のとおり、各年代の回答数についても、「柔軟な働き方」については、どの年代からも多くの回答が集中する結果となった。

図16-1 設問11 項目別の回答状況

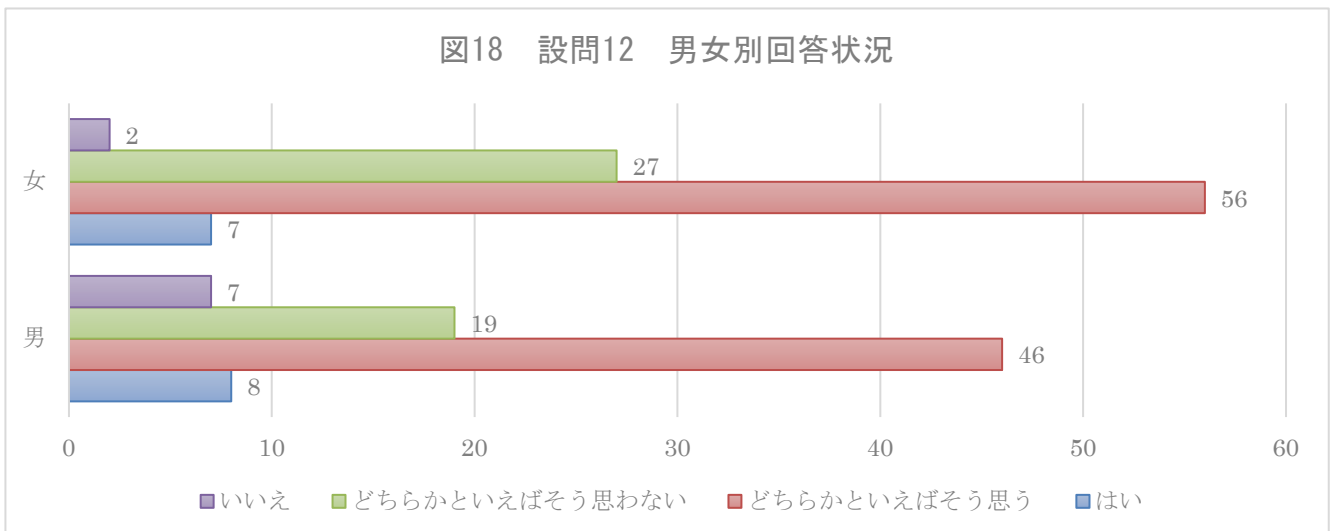


キ 設問 12～13（女性の管理職への登用は進んでいると思いますか？）

設問に対する回答数は174件（全体174件）で、問いに対し、図17のとおり、肯定的な回答割合が約70%で、否定的な回答割合は、約30%という結果であり、比較的多くの職員が、女性の管理職登用が進んでいると感じている。



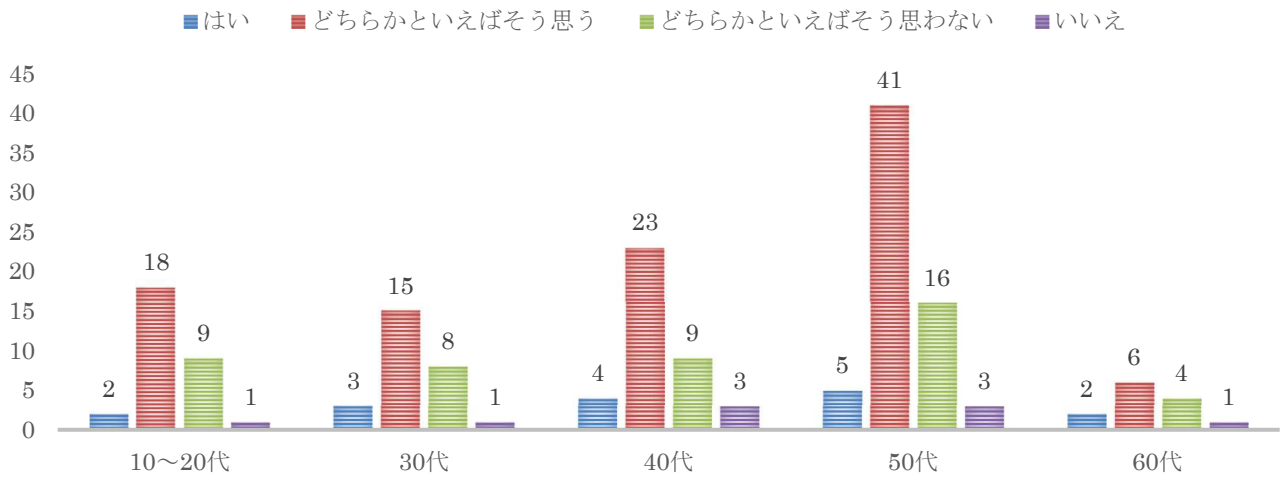
次に、図18のとおり、性別による状況を見てみると、全体の傾向と概ね同様であり、性別による特段の差異はなかった。



自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	うち男性(件数)		うち女性(件数)	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない
新居浜市	174	172	98.9	80	46.5%	92	53.5%
				54	67.5%	63	68.5%
						29	31.5%

次に、図 19 のとおり、年代別による状況を見てみると、各年代とも全体の傾向と概ね同様であり、60代が若干、肯定的な回答割合が他の年代よりも低く、否定的な回答割合が高かった。

図19 設問12 年代別回答状況

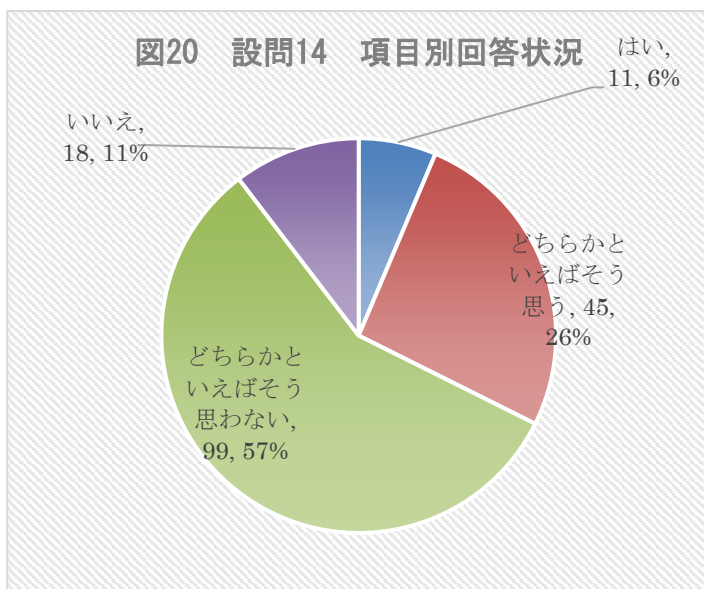


自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代～20代		30代		40代		50代		60代	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない		
新居浜市	174	174	100.0	30	17.2%	27	15.5%	39	22.4%	65	37.4%	13	7.5%
				20	66.7%	10	33.3%	18	66.7%	9	33.3%	27	69.2%
				12	30.8%	46	70.8%	19	29.2%	8	61.5%	5	38.5%

ク 設問 14～15（職場において、女性の活躍や管理職登用に妨げになるものは「ない」と思いますか？）

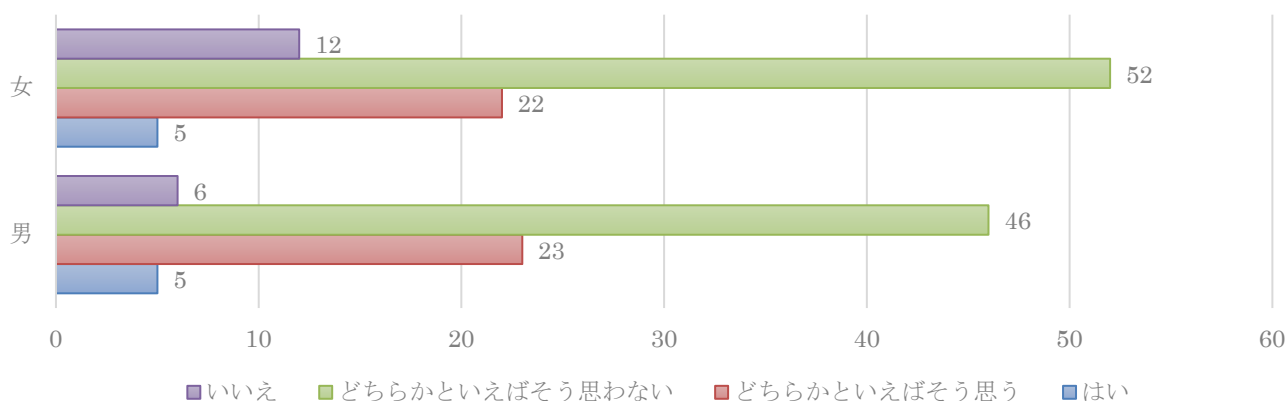
設問に対する回答数は173件（全体174件）で、問いに対し、図 20 を見ると、肯定的な回答を選択した方が約32%、否定的な回答を選択した方が約68%と、多くの方が管理職登用に妨げとなるものが「ある」と感じている結果となった。

図20 設問14 項目別回答状況



次に、図 21 により、性別による状況を見てみると、若干の男女差が認められ、全体と比較すると、男性では肯定的な方の割合が 35.0%と、女性の 29.7%よりも若干上回り、一方で女性は、否定的な回答が 70.3%と、男性の 65.0%を上回るなど、女性の方が、登用に対する何らかの妨げがあると認識している方の割合が高かった。

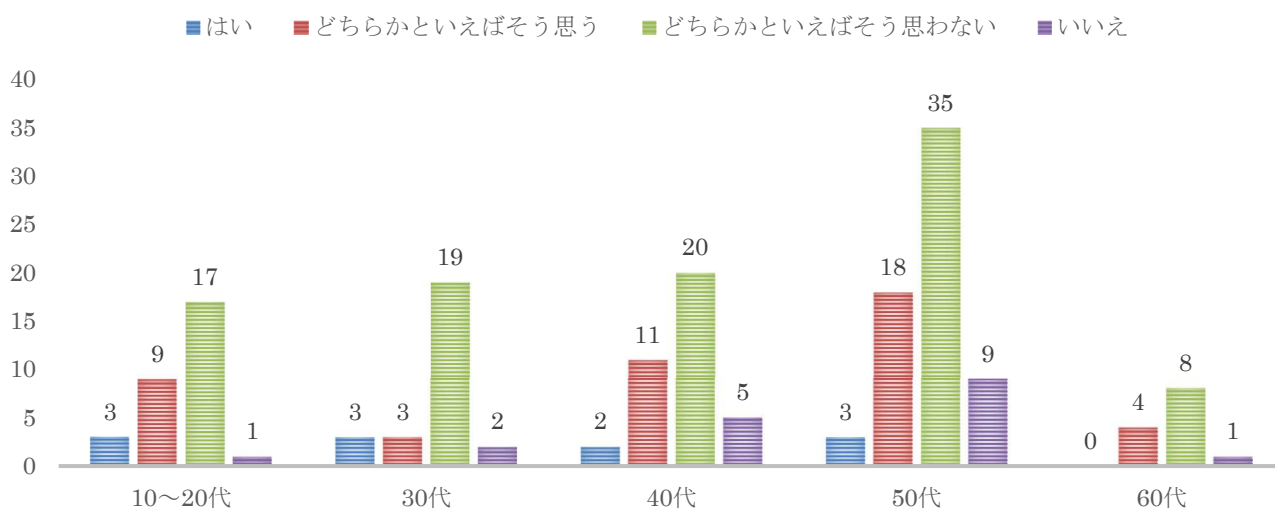
図21 設問14 男女別回答状況



自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	うち男性(件数)		うち女性(件数)	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない
新居浜市	174	171	98.3	80	46.8%	91	53.2%
				28	35.0%	52	65.0%

次に、図 22 により、年代別の状況を見てみると、概ね全体の傾向に近い結果となっているが、30代は、やや肯定よりも否定的な回答割合が高く、女性登用への妨げになるものが「ある」と認識されている方が多かった。

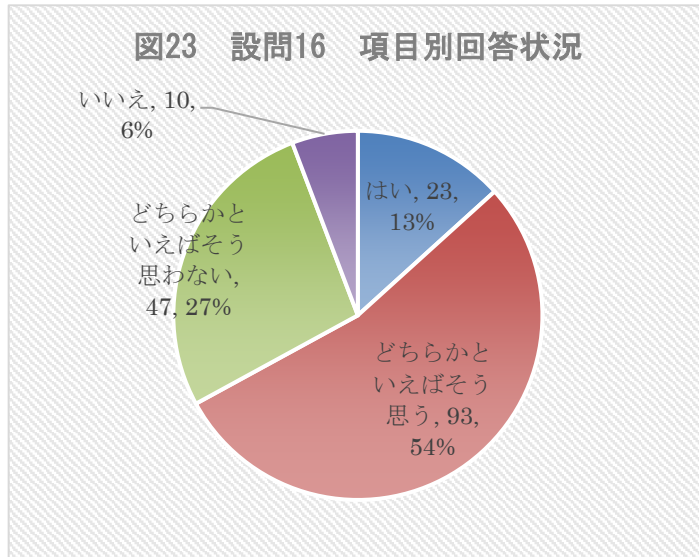
図22 設問14 年代別回答状況



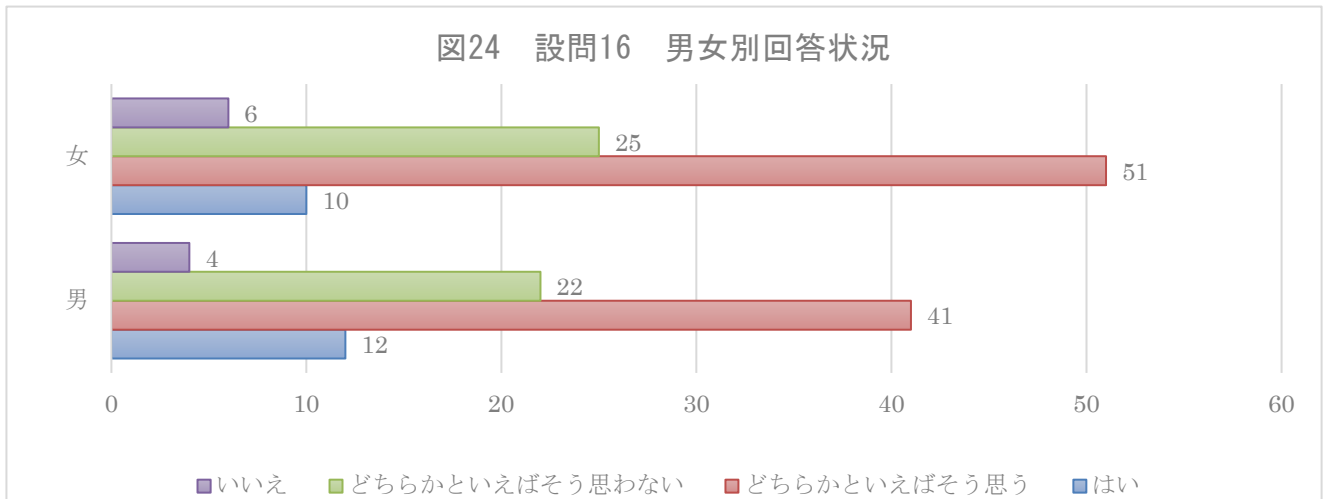
自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代~20代		30代		40代		50代		60代							
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない								
新居浜市	174	173	99.4	30	17.3%	27	15.6%	38	22.0%	65	37.6%	13	7.5%						
				12	40.0%	18	60.0%	6	22.2%	21	77.8%	13	34.2%	25	65.8%	21	32.3%	44	67.7%

ケ 設問 16～17（職場は、子育てをするうえで仕事と家庭を両立しやすい環境だと思いますか？）

設問に対する回答数は173件（全体174件）で、問いに対し、図23のとおり、肯定的な回答割合は約67%、否定的な回答割合は約33%という結果となった。多くの方から肯定的な回答があった一方で、否定的な方の割合も少なくない、という結果となった。



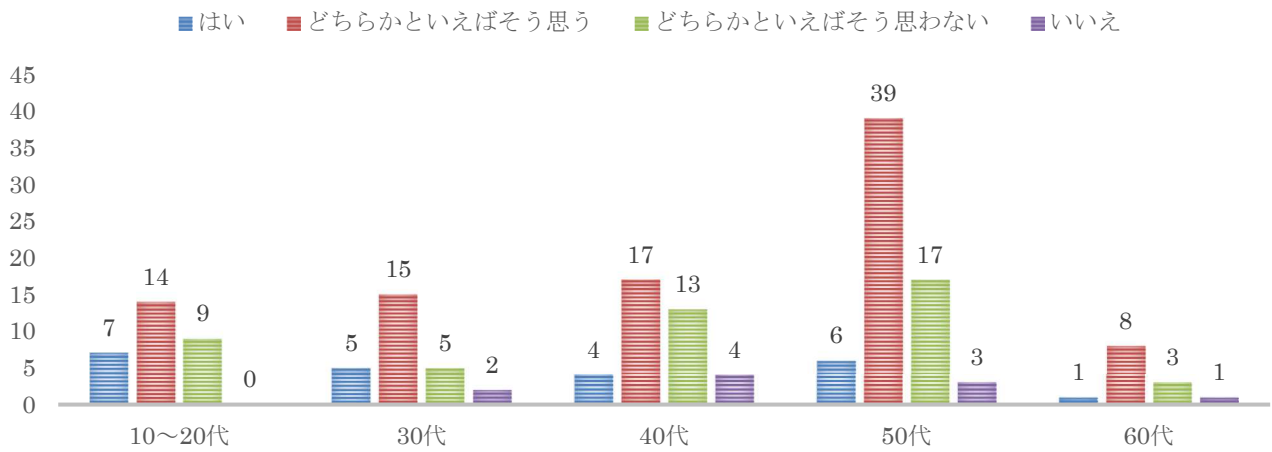
次に、図24により、性別の状況を見ると、全体の傾向と同様、男女とも肯定的な回答割合が高かったほか、性別による大きな差はなかった。



自治体名	全体(件)	回答数	割合 (%)	うち男性(件数)		うち女性(件数)	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない
新居浜市	174	171	98.3	79	46.2%	92	53.8%
				53	67.1%	26	32.9%

次に、図 25 により、年代別の状況を見てみると、全体と比較して、各年代の中でも 40代が肯定的な回答割合が最も低く、その逆で否定的な回答割合が最も高かった。その他の年代については、概ね全体と同じような結果であったものの、若干ではあるが、30代以下の若年層の方が肯定的な回答割合がやや高かった

図 25 設問 16 年代別回答状況

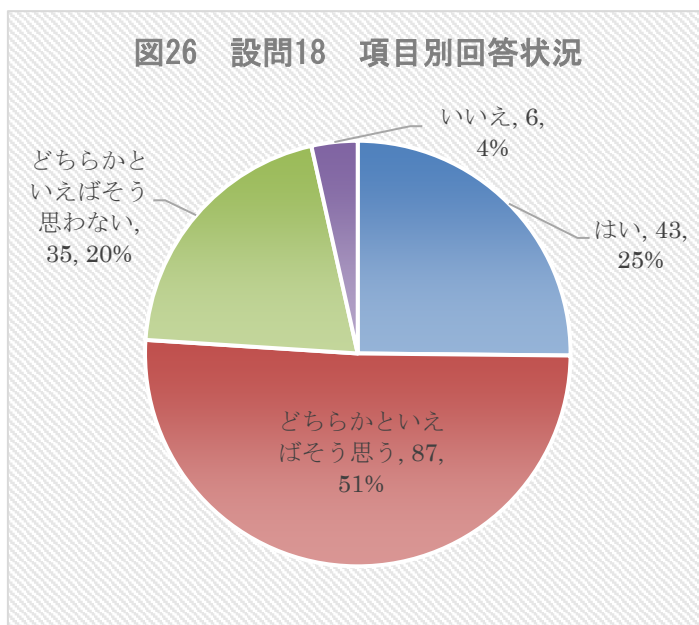


自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代~20代		30代		40代		50代		60代	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない		
新居浜市	174	173	99.4	30	17.3%	27	15.6%	38	22.0%	65	37.6%	13	7.5%
				21	70.0%	9	30.0%	20	74.1%	7	25.9%	21	55.3%
				17	44.7%	45	69.2%	20	30.8%	9	69.2%	4	30.8%

コ 設問 18~19 (職場に保育施設があれば、今よりも働きやすくなると思いますか?)

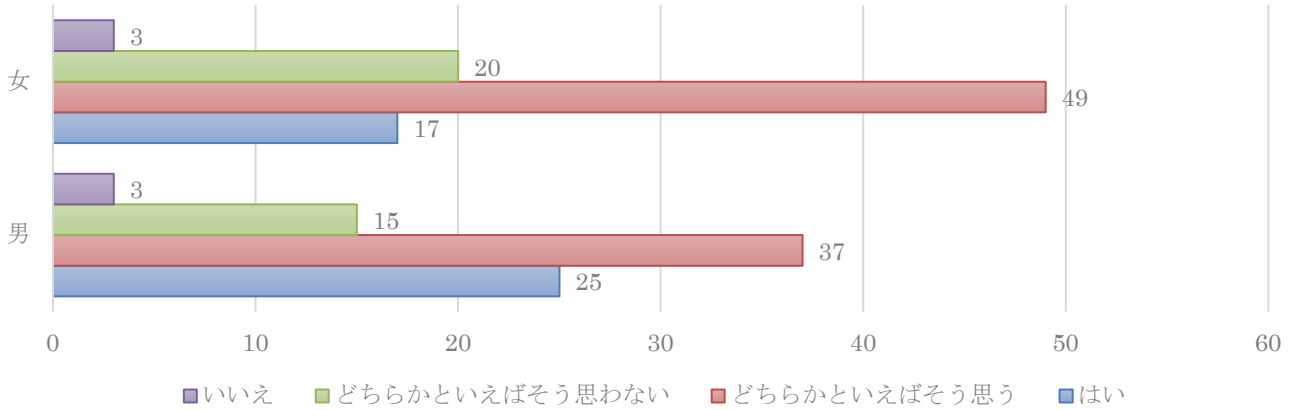
設問に対する回答数は 171 件 (全体 174 件) で、問いに対し、図 26 のとおり、肯定的な回答が約 76% で、否定的な回答が約 24% という結果となった。多くの方が、保育施設があれば、働きやすくなるという認識であった。

図 26 設問 18 項目別回答状況



次に、図 27 により、性別の状況を見ると、全体の傾向と比べて、男性は肯定的な回答割合が若干高く、一方で女性は肯定的な回答割合が若干低いという結果となった。男性の方が、若干ではあるが保育施設があった方が働きやすくなる考えているものの、男女の意識の違い大きな差はなかった。

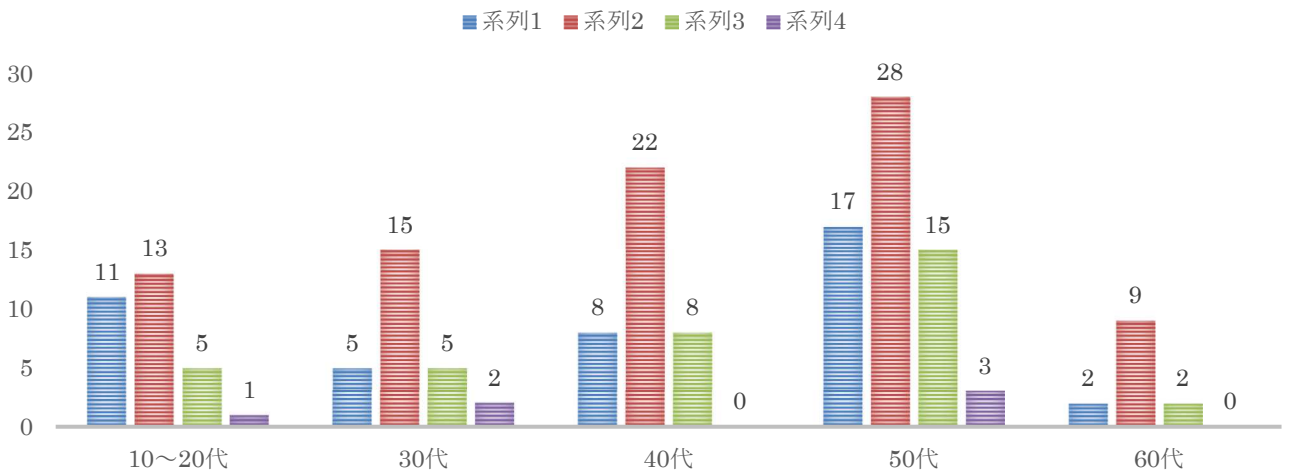
図27 設問18 男女別回答状況



自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	うち男性(件数)		うち女性(件数)	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない
新居浜市	174	169	97.1	80	47.3%	89	52.7%
				62	77.5%	18	22.5%

図 28 により、年代別の状況を見てみると、若干のバラツキはあるものの、全体の傾向と概ね同様であった。10～20代や60代が、肯定的な回答の割合がやや高かったものの、その他の年代と比べても、特に偏りというものはなかった。

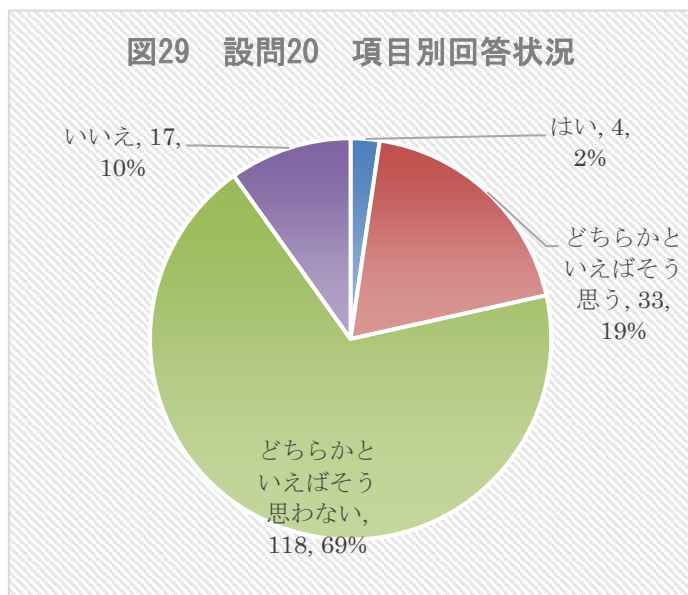
図28 設問18 項目別回答状況



自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代～20代		30代		40代		50代		60代							
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない						
新居浜市	174	171	98.3	30	17.5%	27	15.8%	38	22.2%	63	36.8%	13	7.6%						
				24	80.0%	6	20.0%	20	74.1%	7	25.9%	30	78.9%	8	21.1%	45	71.4%	18	28.6%

サ 設問 20～21（職場に保育施設以外は、特に新たな設備・制度は必要ないと思いますか？）

設問に対する回答数は172件（全体174件）で、問いに対し、図29のとおり、肯定的な回答割合は約21%、否定的な回答割合は約79%で、どちらかといえば、設備・制度などの整備が必要と認識されている方の割合が高いという結果となった。



次に、図30のとおり、性別の状況を見ると、全体の傾向と同様に、性別に関わらず否定的な回答割合が多いほか、特に男女間での感じ方に大きな差異はなかった。

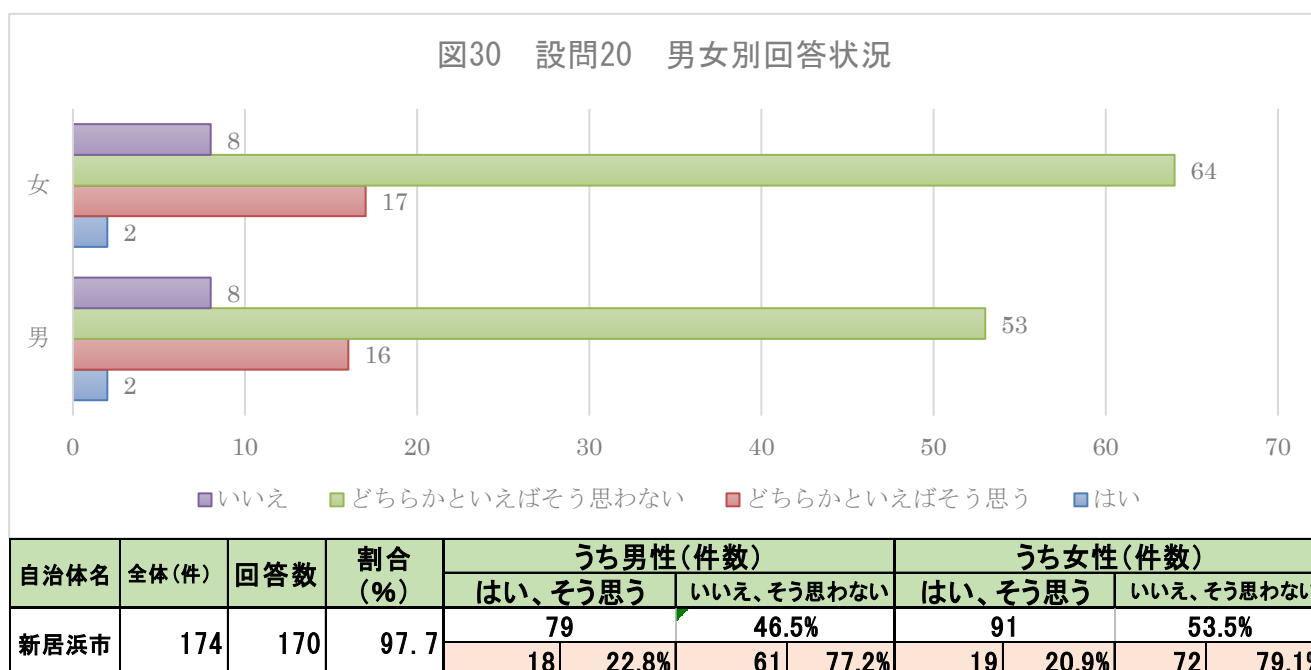
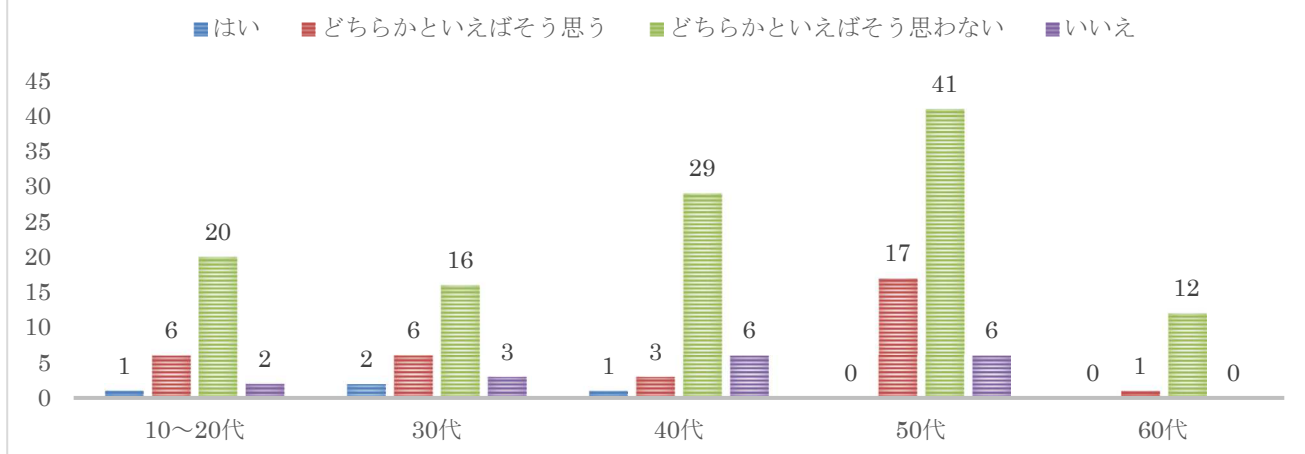


図31により、各年代別の状況を見てみると、年代によってバラツキがあるが、全体と比較して、40代は89.7%、60代は92.3%と、否定的な回答割合がより高かった。

図31 設問20 年代別回答状況



自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代～20代		30代		40代		50代		60代							
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない						
新居浜市	174	172	98.9	29	16.9%	27	15.7%	39	22.7%	64	37.2%	13	7.6%						
				7	24.1%	22	75.9%	8	29.6%	19	70.4%	4	10.3%	35	89.7%	17	26.6%	47	73.4%

シ 設問 22～23 (産休・育休等休暇制度の活用が自身のキャリア形成に与える影響はないと思いますか?)

設問に対する回答数は171件(全体174件)で、問いに対し、図32のとおり、肯定的な回答割合が35%であった一方で、否定的な回答割合は65%と、多くの方が「自身のキャリア形成に影響がある」と認識している結果となった。

図32 設問22 項目別回答状況

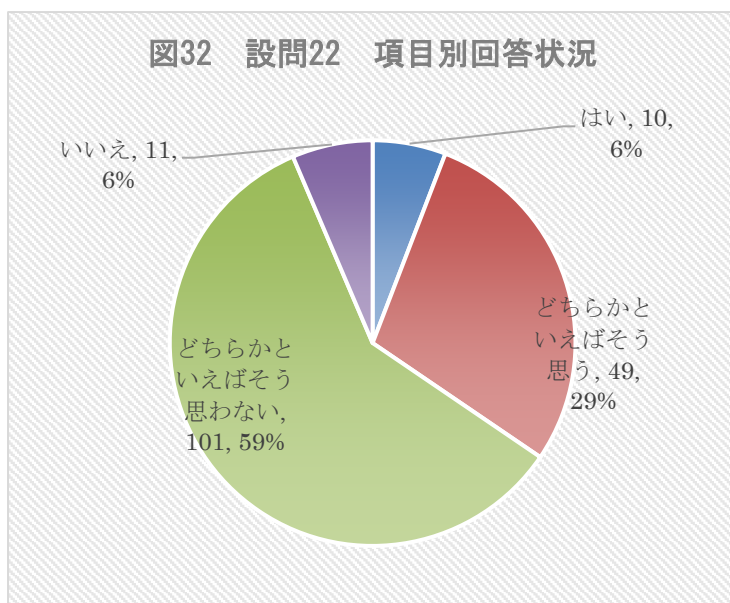
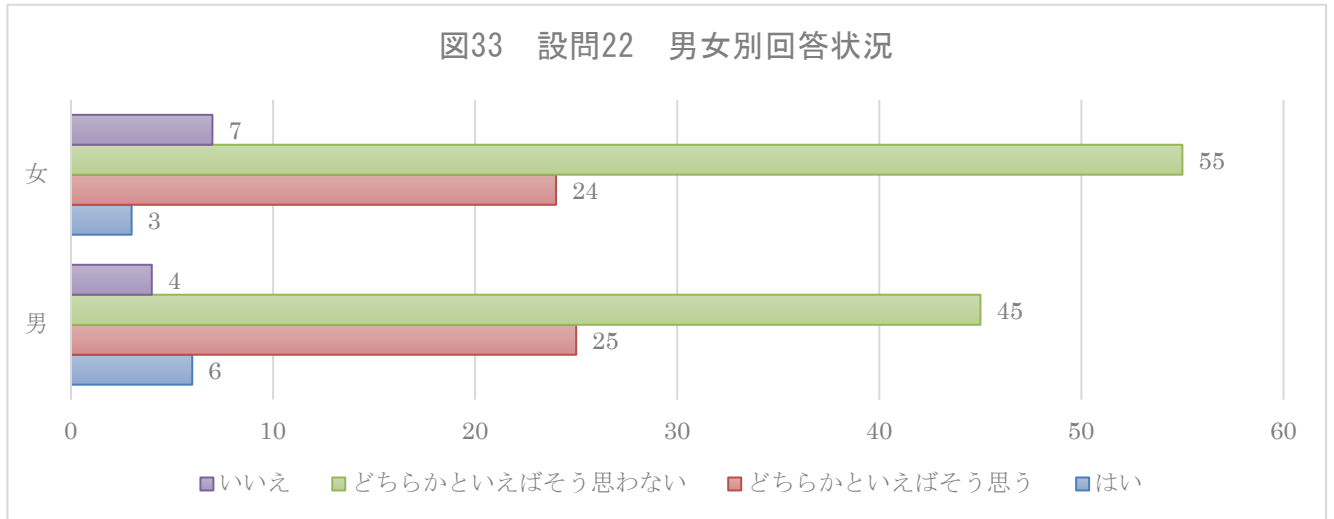
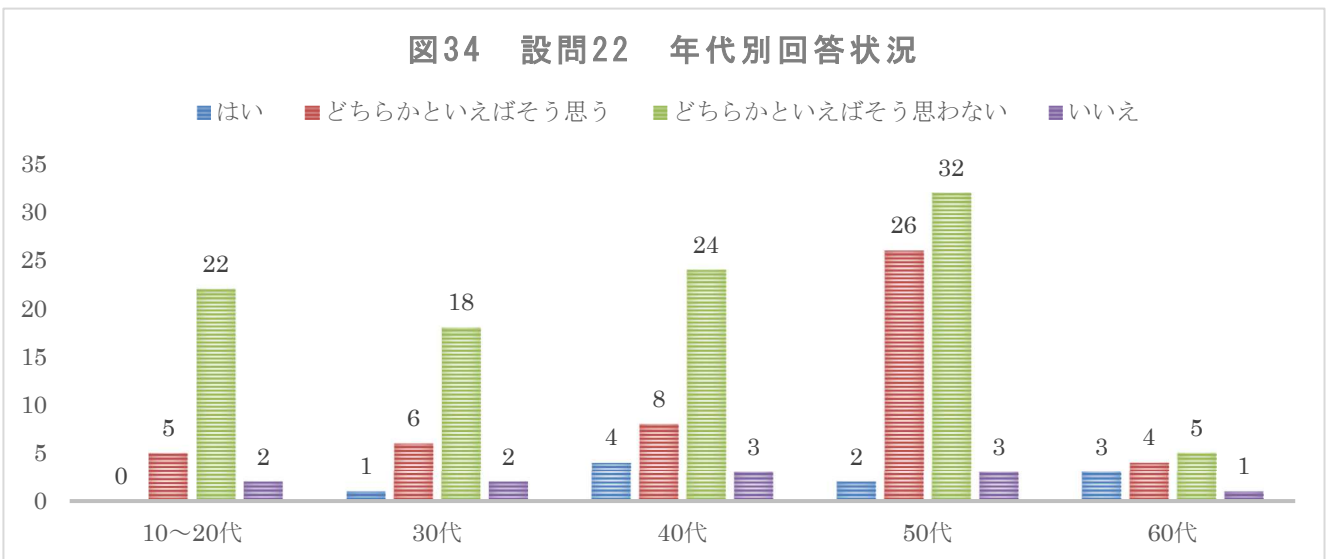


図 33 により、性別による回答状況を見ると、全体としては否定的な回答が多かった中、相対的には、男性の方が肯定的な回答割合が高かったのに対し、女性の方が否定的な回答割合が高いという結果となった。女性の方が、制度の活用が自身のキャリア形成に影響があると、より強く認識している結果となった。



自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	うち男性(件数)		うち女性(件数)	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない
新居浜市	174	169	97.1	80	47.3%	89	52.7%
				31	38.8%	27	30.3%
				49	61.3%	62	69.7%

図 34 により、各年代別の状況を見てみると、各年代で回答結果に差が出ており、全体の傾向に近いのは40代であるが、それを境に、若年世代では否定的な回答割合が高く、年代が上がるにつれて否定的な回答割合が低下し、肯定的な回答割合が高くなるという傾向が認められた。



自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代~20代		30代		40代		50代		60代	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない
新居浜市	174	171	98.3	29	17.0%	27	15.8%	39	22.8%	63	36.8%	13	7.6%
				5	17.2%	24	82.8%	7	25.9%	20	74.1%	12	30.8%
				28	44.4%	35	55.6%	7	53.8%	6	46.2%		

ス 設問 24～25（女性職員に対する職場での教育・研修環境は整っていると思いますか？）

設問に対する回答数は174件（全体174件）で、問いに対し、図35のとおり、肯定的な回答割合は約55%、否定的な回答割合は約45%という結果であり、肯定、否定とも概ね半数程度という結果となった。

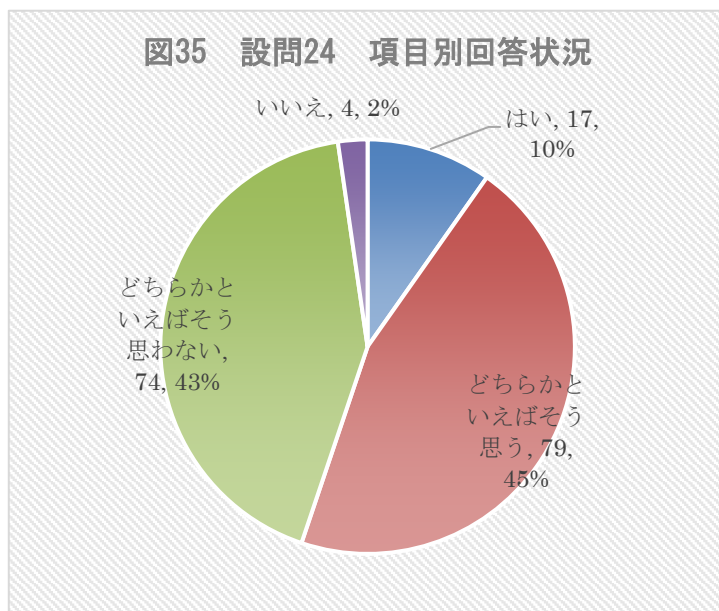
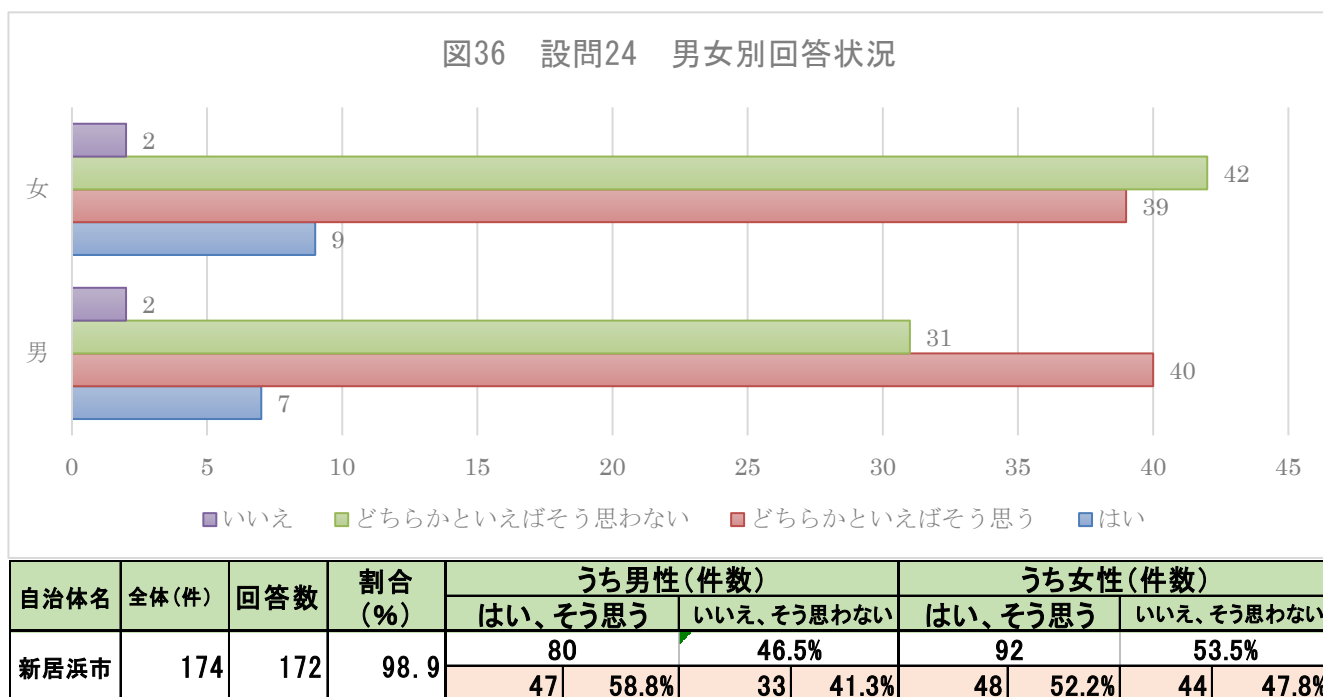


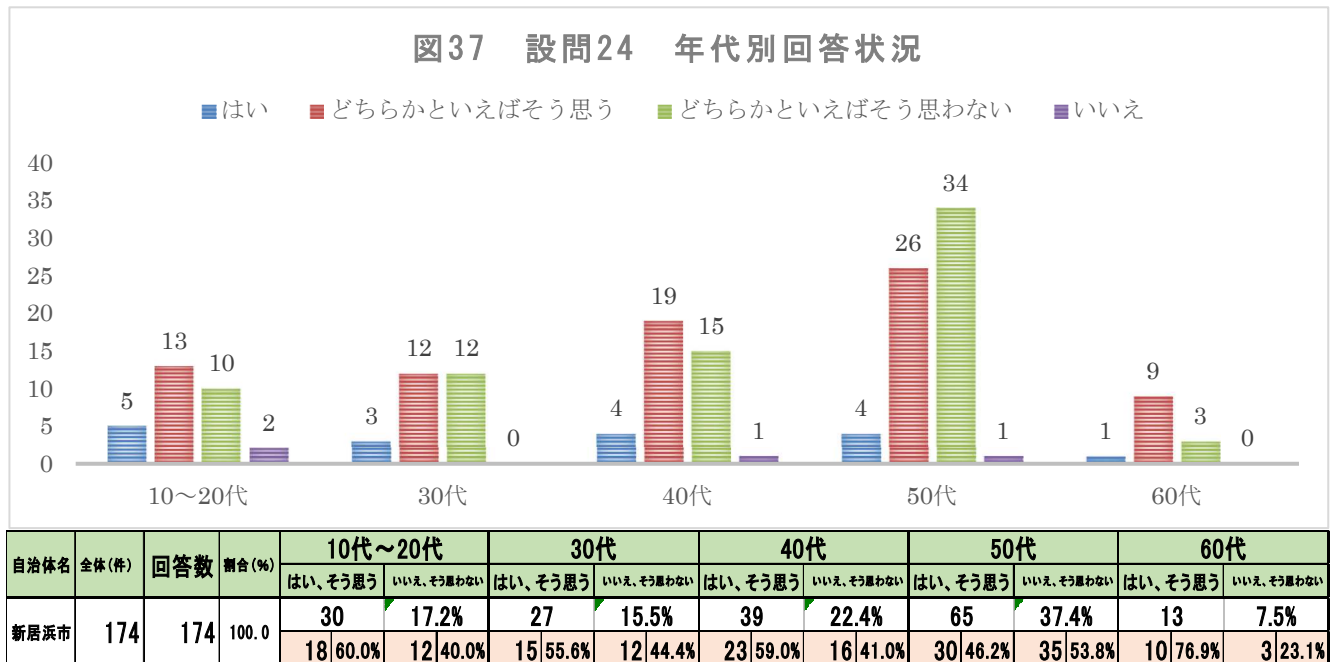
図36により、性別による回答を見てみると、性別に関わらず全体の傾向と概ね同様の結果ではあるが、全体との比較では男性では肯定的な回答割合が58.8%でやや高かった一方で、女性の方は、否定的な回答割合の方が47.8%とやや高かった。



自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	うち男性(件数)		うち女性(件数)	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない
新居浜市	174	172	98.9	80	46.5%	92	53.5%
				47	58.8%	48	52.2%
						44	47.8%

図 37 のとおり、各年代別の状況を見てみると、50代を除き、各年代とも全体の傾向と概ね同様ではあった。50代については、肯定的な回答よりも否定的な回答が上回るなど逆の結果になっている。

図37 設問24 年代別回答状況



セ 設問 26~27 (女性職員の能力・スキルの向上について、組織としての支援は十分だと思いますか?)

設問に対する回答数は173件(全体174件)で、問いに対し、図38のとおり、肯定的な回答をした方の割合は、約55%、否定的な回答割合は約45%と、肯定、否定とも概ね半分程度という結果となった。

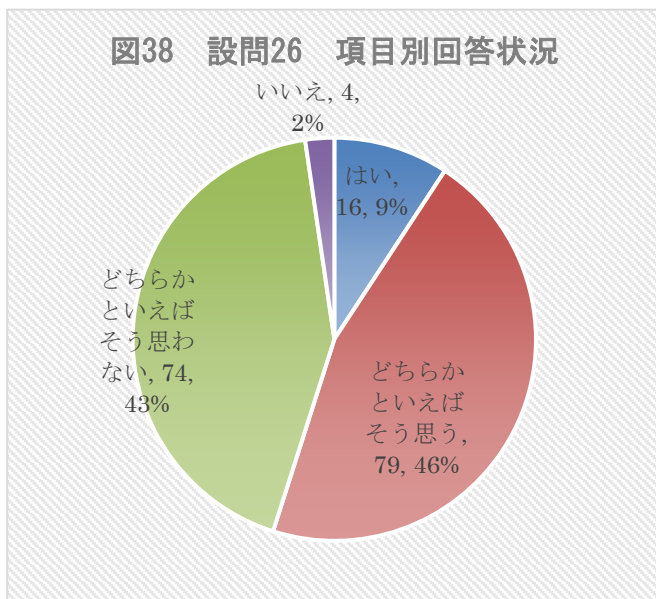
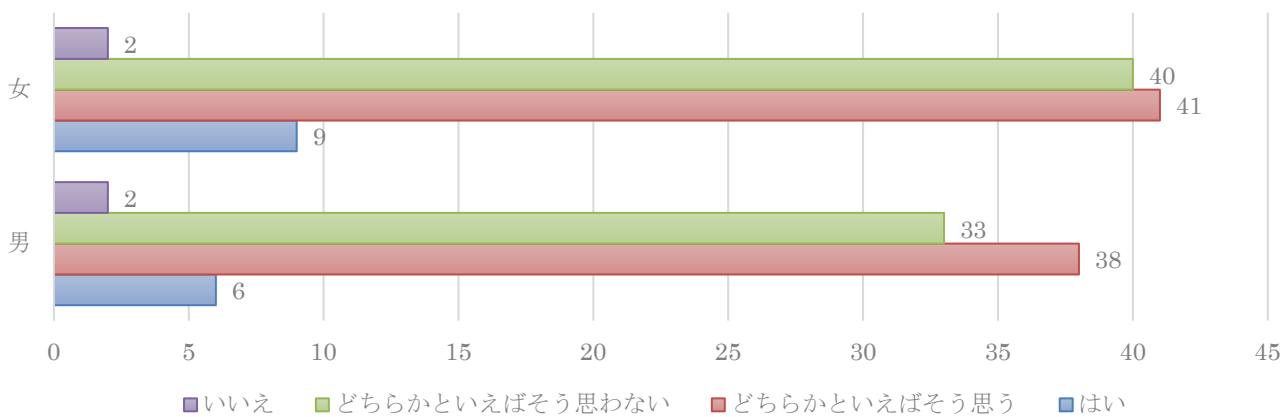


図 39 のとおり、性別による回答状況を見ると、全体の傾向と比較すると、性別に関わらず、全体の傾向と概ね同様の結果となり性別による差異は認められなかった。

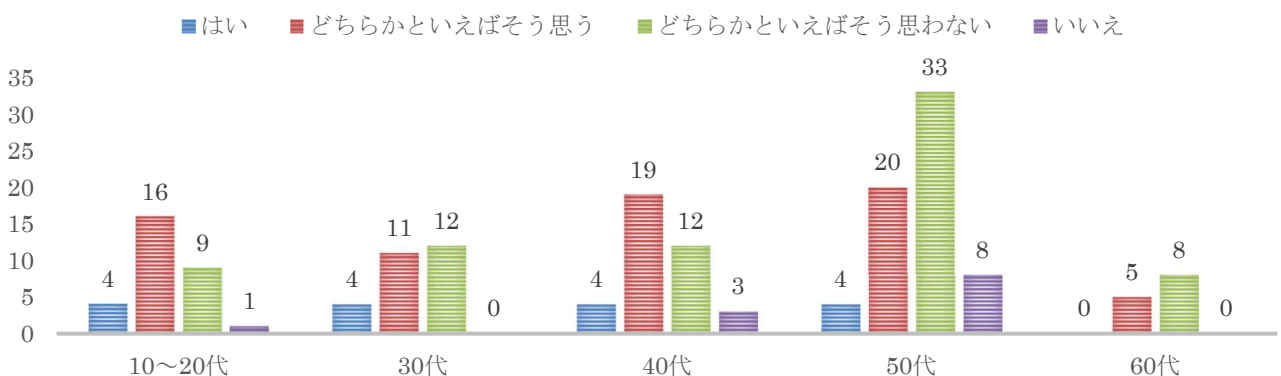
図39 設問26 男女別回答状況



自治体名	全体(件)	回答数	割合 (%)	うち男性(件数)				うち女性(件数)			
				はい、そう思う		いいえ、そう思わない		はい、そう思う		いいえ、そう思わない	
新居浜市	174	171	98.3	79		46.2%		92		53.8%	
				44	55.7%	35	44.3%	50	54.3%	42	45.7%

図 40 のとおり、各年代別の状況を見てみると、全体の傾向とは異なるバラツキが認められ、10～20代及び40代は、より肯定的な回答割合が高い傾向が、50代以降は、否定的な回答割合が高くなる傾向が認められた。組織としての研修等への取組みについて、若い年代については、一定の評価を得られているのではないかと考えられる。

図40 設問26 年代別回答状況



自治体名	全体(件)	回答数	割合 (%)	10代～20代		30代		40代		50代		60代							
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない								
新居浜市	174	173	99.4	30	17.3%	27	15.6%	38	22.0%	65	37.6%	13	7.5%						
				20	66.7%	10	33.3%	15	55.6%	12	44.4%	23	60.5%	15	39.5%	24	36.9%	41	63.1%

②働きやすさについて

ソ 設問 28～29（職場では時差出勤やテレワークなど多様な働き方の制度が整っていると思いますか？）

設問に対する回答数は173件（全体174件）で、問いに対し、図41のとおり、肯定的な回答割合は約40%で、否定的な回答割合は、約60%であった。多様な働き方に関する制度への満足感が低い結果となった。

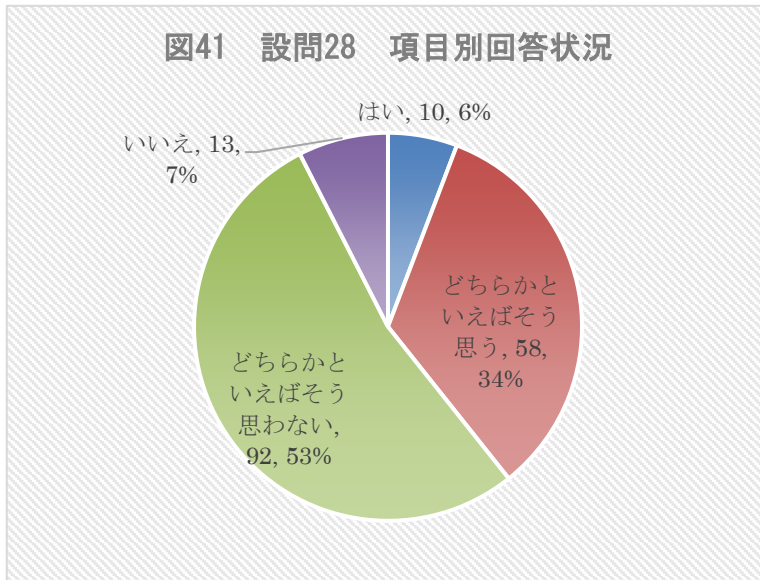


図42のとおり、性別の状況を見てみると、性別に関わらず全体の傾向と概ね同様の結果となっており、性別による大きな差異は認められなかった。

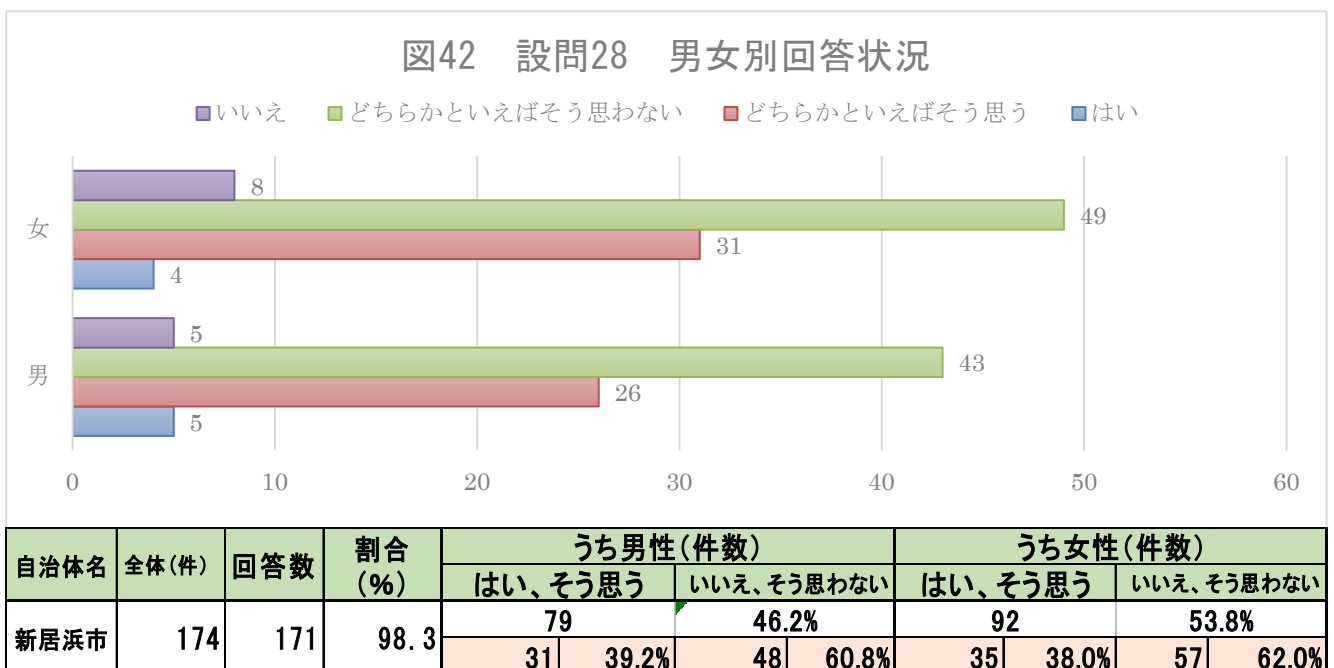
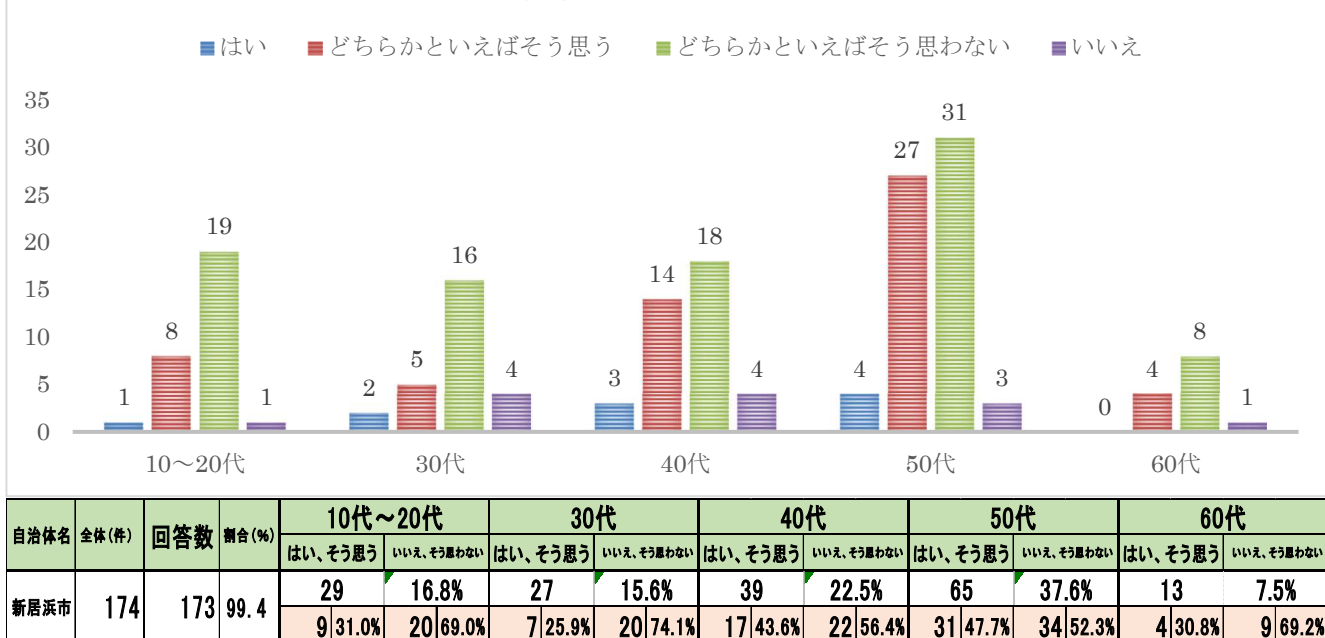


図43のとおり、各年代別の状況を見てみると、全体の傾向と比較すると、10～30代にかけては、全体の傾向よりもさらに否定的な回答の割合が高い傾向にある。40から50代は全体と概ね同様の傾向ではあるが、60代になると、否定的な傾向が強まった。全年代を通じて、こうした制度整備についての満足感が得られていない状況と思われる。

図43 設問28 年代別回答状況



タ 設問30～31（職場の福利厚生（過重労働対策、メンタル相談ほか）制度は整っていると思いますか？）

設問に対する回答数は174件（全体174件）で、図44のとおり、問いに対し、制度が整っていると肯定的に感じている方は約49%で、そうでないと感じている方は約51%であった。前問と同様、全体的に福利厚生に関する制度への満足感が低い結果となった。

図44 設問30 項目別回答状況

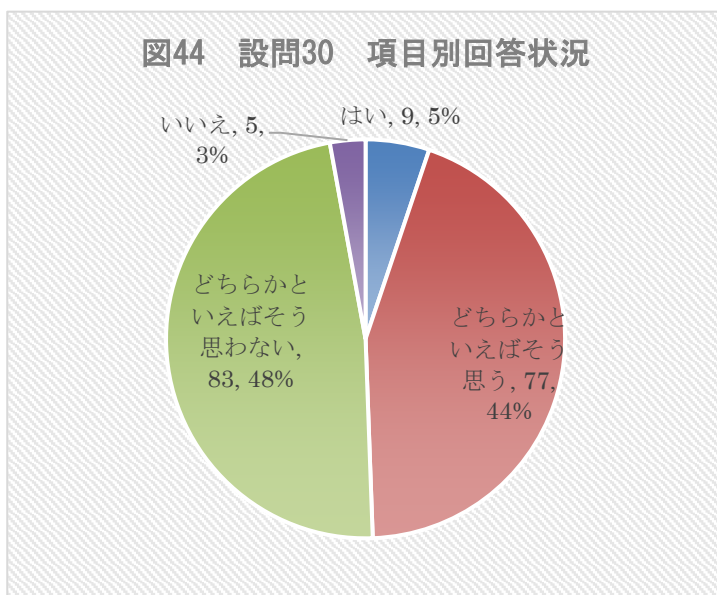


図45のとおり、性別の状況を見ると、性別に関わらず概ね全体と同様の傾向ではあるが、全体と比較すると、男性では肯定的な回答の割合が若干ではあるが51.3%とやや高かったが、女性は否定的な回答の割合のほうが52.2%とやや高い結果となった。

図45 設問30 男女別回答状況

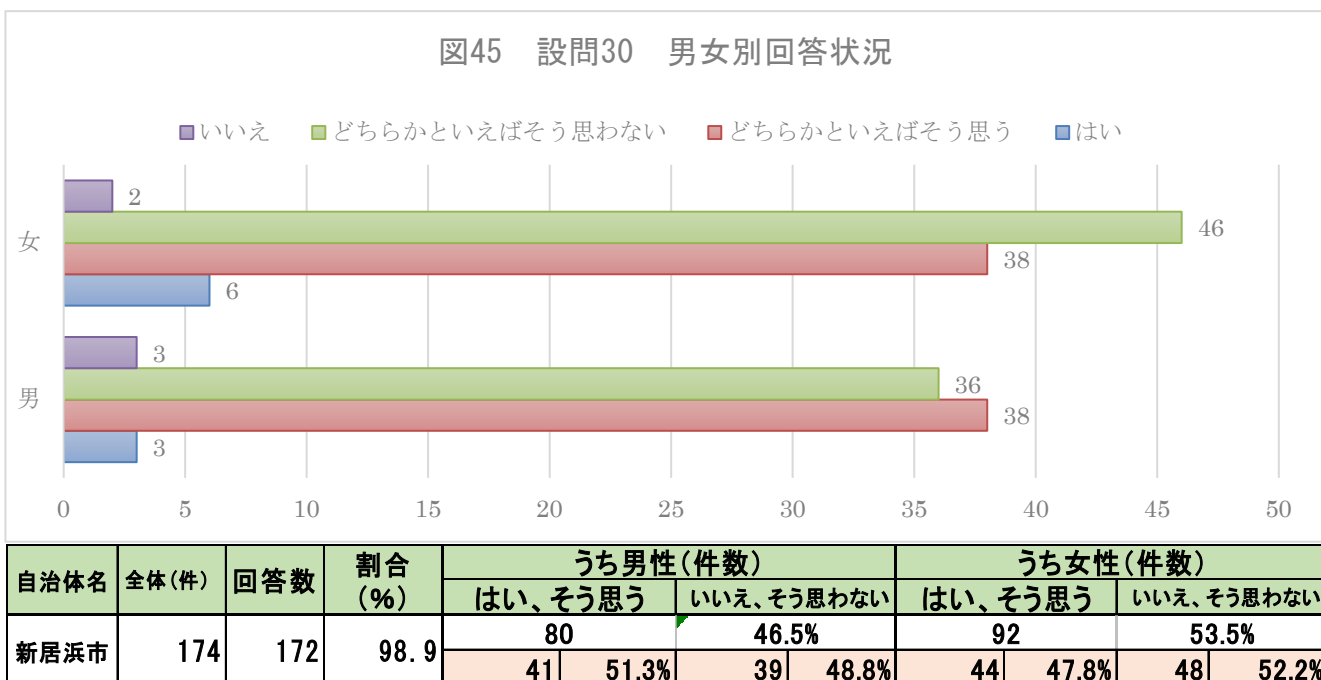
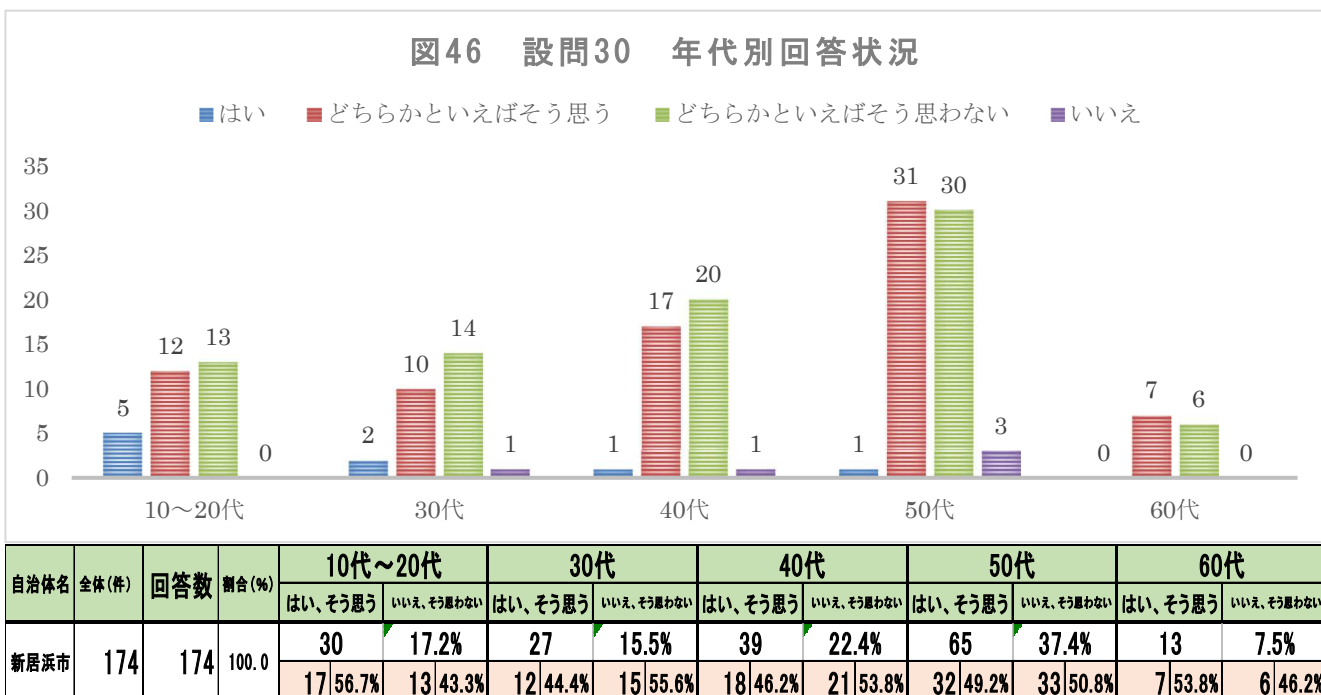


図46のとおり、各年代別の状況を見てみると、全体的にバラツキはあったものの極端な偏りはなかった。全体との比較では、10～20代における肯定的な回答割合が56.7%とやや高かった一方で、30代は肯定的な回答割合が44.4%とやや低かった。

図46 設問30 年代別回答状況



チ 設問 32～33（職場において休暇（年休、夏季休暇）は取得しやすいですか？）

設問に対する回答数は172件（全体174件）で、図47のとおり、問いに対し、休暇を取得しやすいと肯定的な回答割合は約79%で、否定的な回答割合は約21%であった。多くの職員から、休暇の取得のしやすさについては評価されている。

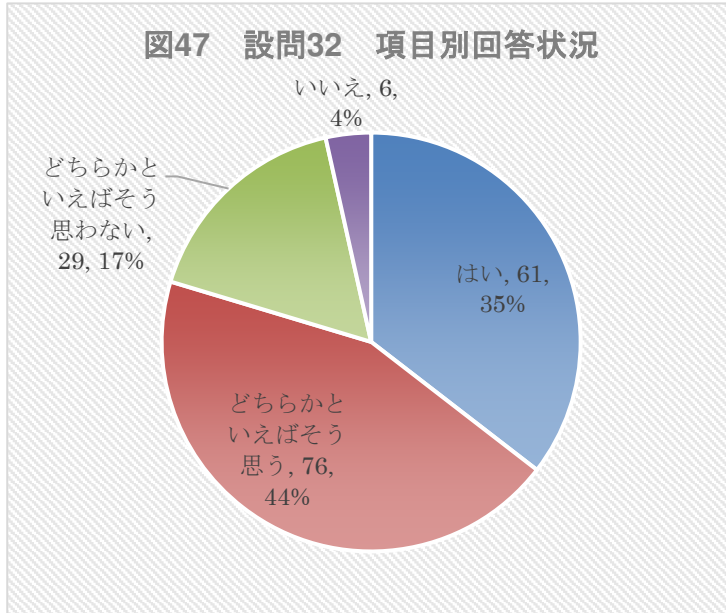


図48のとおり、性別の状況を見ると、性別に関わらず、全体の傾向と概ね同様の結果となったほか、特段の差異も認められなかった。

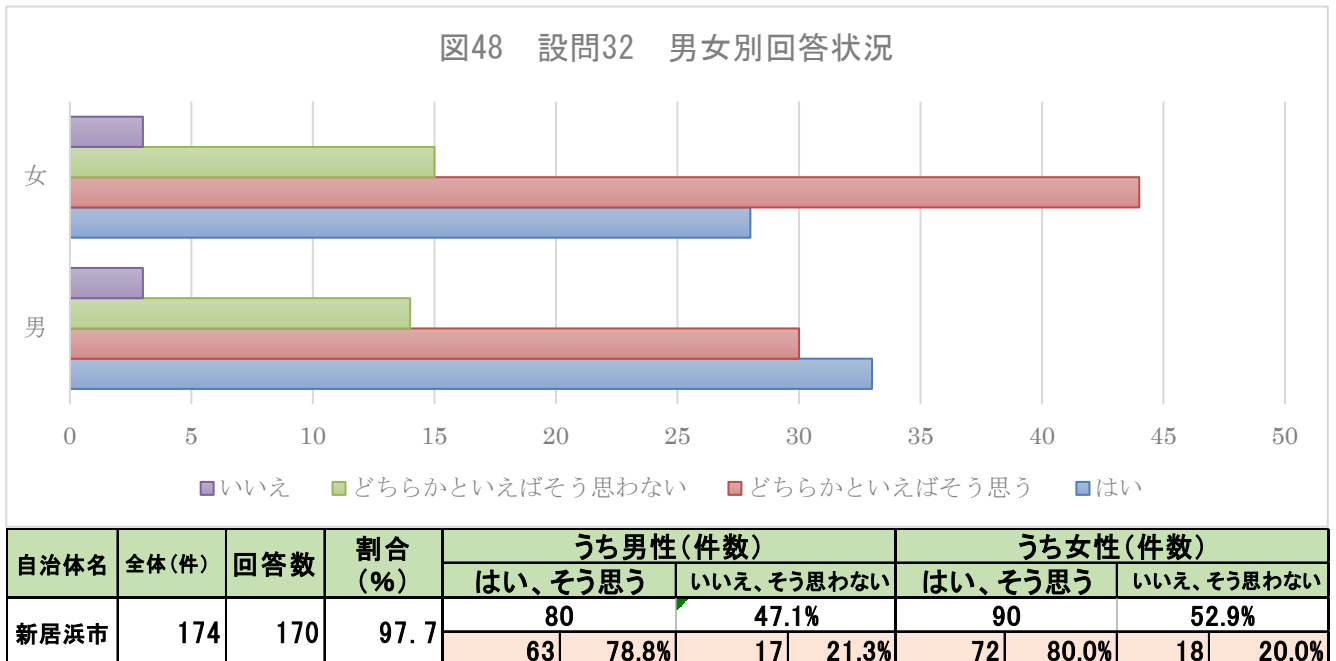
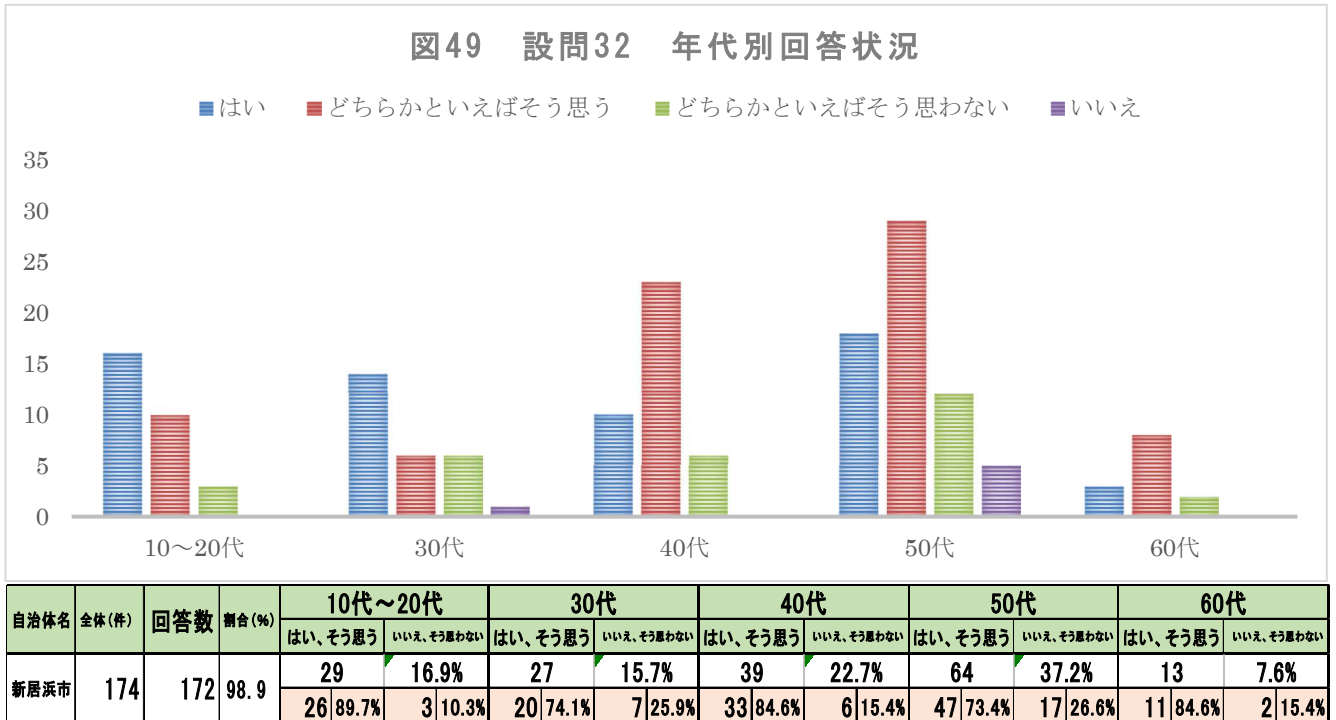


図 49 のとおり、各年代別の状況を見てみると、年代にバラツキはあるものの、全体の傾向に近い結果となった。全体の傾向と比較すると、10～20代、40代、60代が肯定的な回答割合が高かった一方で、30代、50代は逆に低かった。



ツ 設問 34～35（産休・育休等休暇制度は、十分に活用できていますか？）

設問に対する回答数は172件（全体174件）で、問いに対し、図 50 のとおり、制度の活用に関しては約77%の方が肯定的な回答をされた一方で、23%の方は否定的な回答であった。概ね、制度の活用に関しては肯定的な回答が多かったことから、職員においても、制度に関して一定の理解があると思われる。

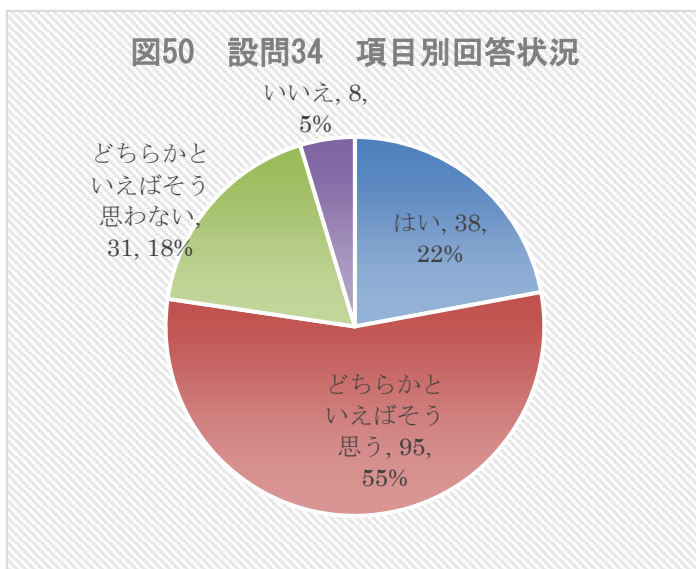
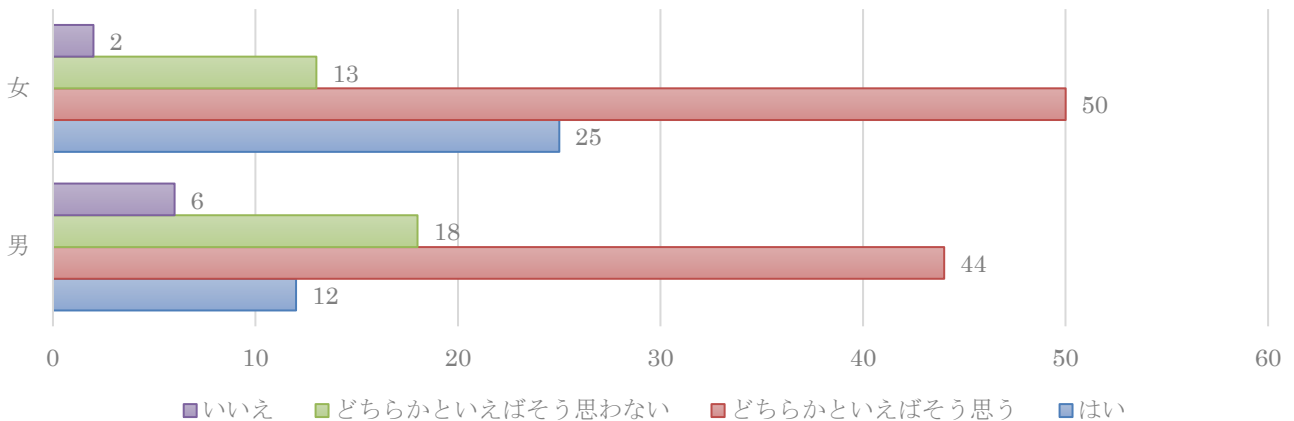


図 51 のとおり、性別の状況を見ると、全体の傾向と比較すると、男性の方がやや肯定的な回答割合が低く、逆に女性の方が高い結果となった。認識としては男性の方がやや活用できていないと感じる一方で、女性は活用できていると感じている結果となった。

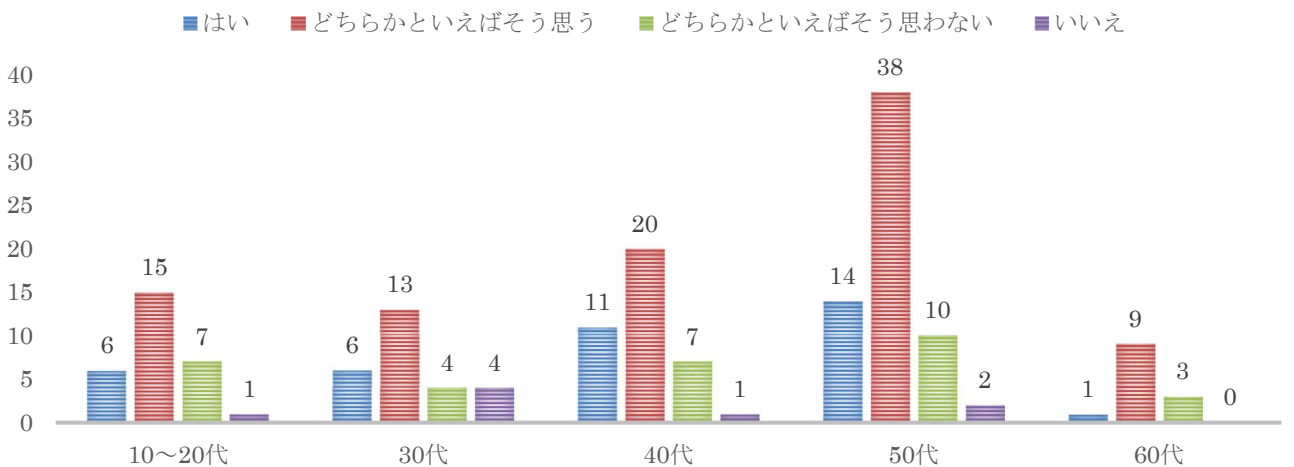
図51 設問34 男女別回答状況



自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	うち男性(件数)		うち女性(件数)	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない
新居浜市	174	170	97.7	80	47.1%	90	52.9%
				56	70.0%	24	30.0%
				75	83.3%	15	16.7%

図 52 のとおり、各年代別の状況を見てみると、各年代とも全体の傾向と概ね同様ではあるが、10～30代で肯定的な回答割合がやや低かった。また、一方で、40代以降はやや高めという結果であった。

図52 設問34 年代別回答状況



自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代~20代		30代		40代		50代		60代	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない
新居浜市	174	172	98.9	29	16.9%	27	15.7%	39	22.7%	64	37.2%	13	7.6%
				21	72.4%	8	27.6%	19	70.4%	8	29.6%	31	79.5%
				52	81.3%	12	18.8%	10	76.9%	3	23.1%		

テ 設問 36～37（職場内におけるワークシェアリングなど、休暇を取得しやすい取り組みは進んでいると思いますか？）

設問に対する回答数は174件（全体174件）で、問いに対し、図53のとおり、肯定的な回答割合は全体で約45%、否定的な回答割合は約55%という結果となった。全体的に、休暇を取得しやすい取り組みに関しては、満足度が低い結果となった。

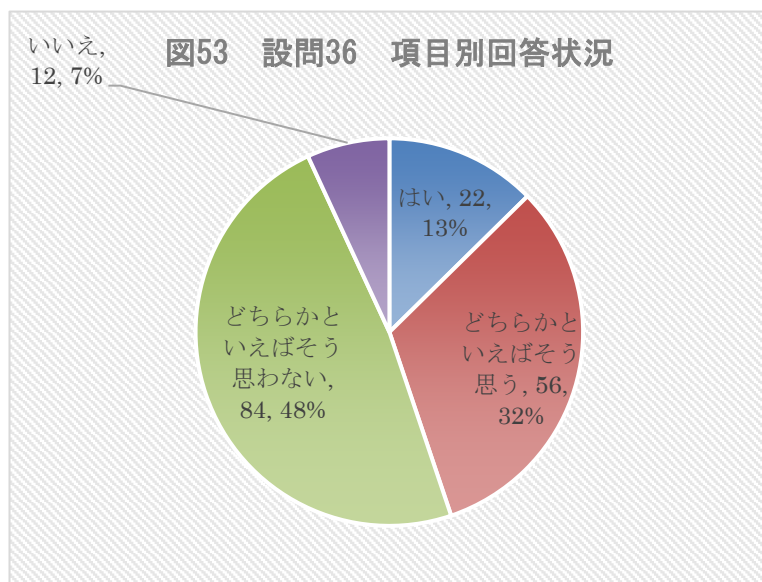


図54のとおり、性別の状況を見ると、性別に関わらず全体の傾向と概ね同様の結果であったが、若干ではあるものの、男性の方が肯定的な回答割合が42.5%と低く、一方で女性は47.8%と高かった。

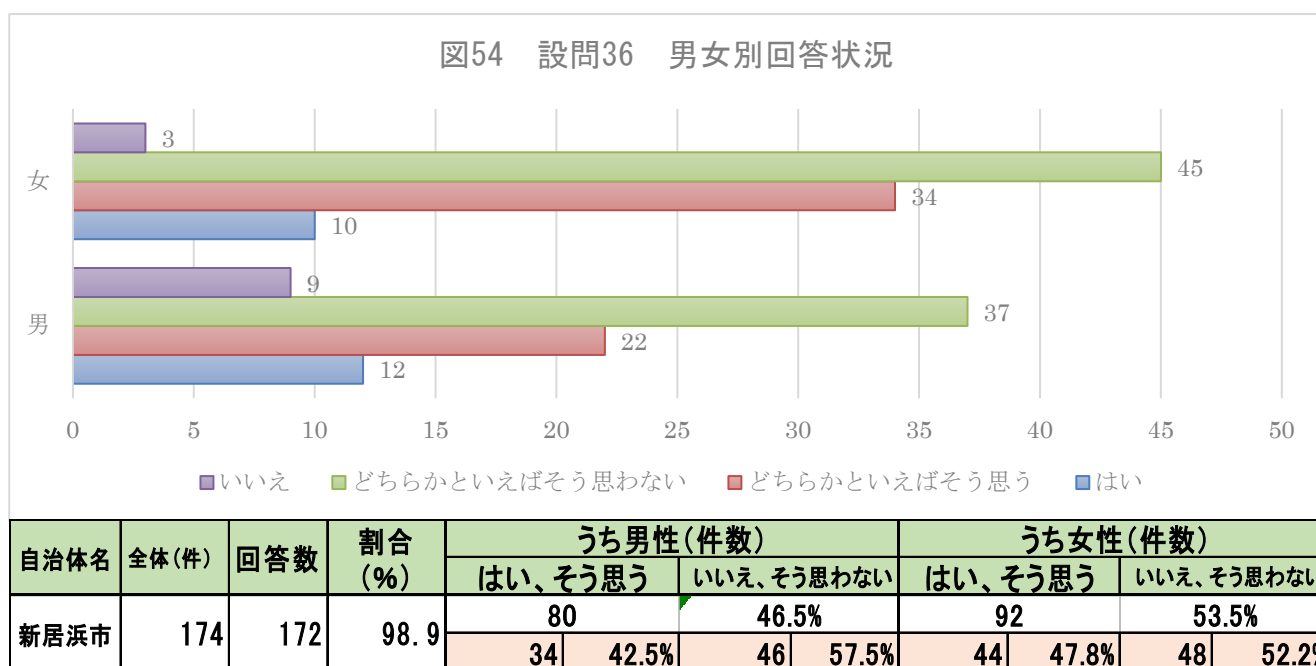
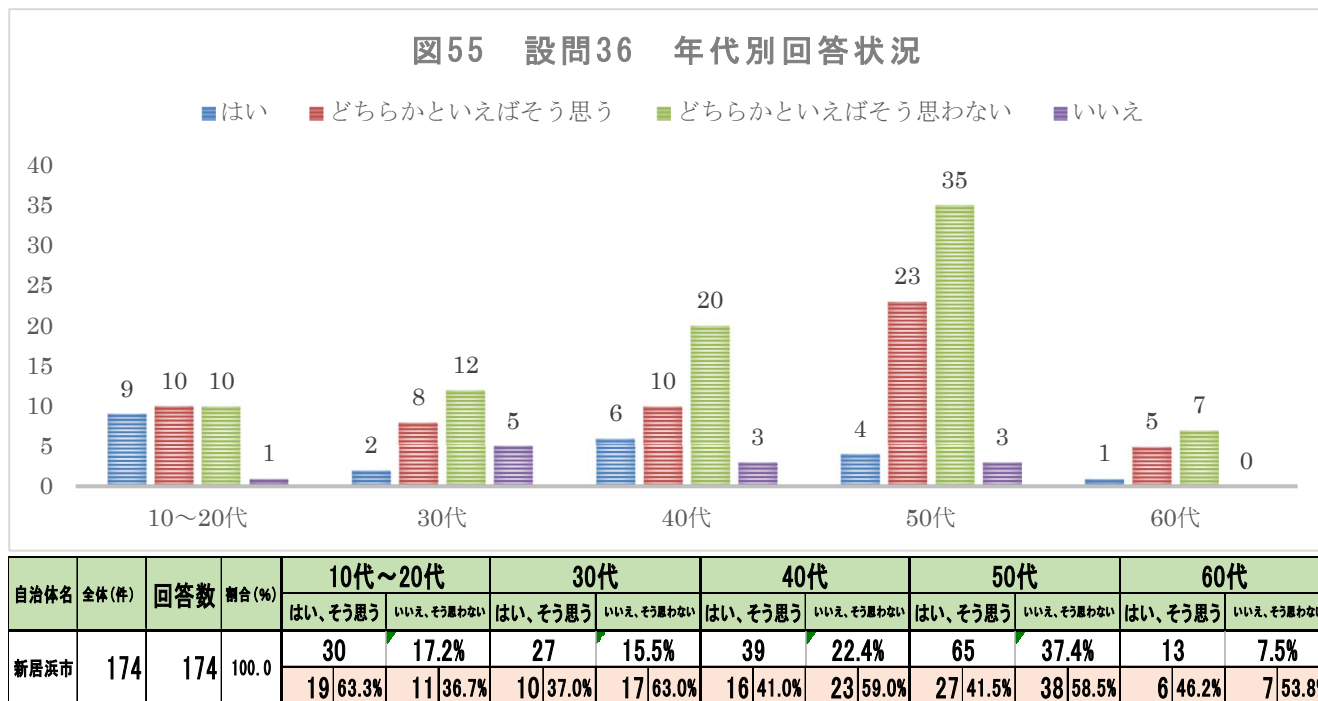


図 55 のとおり、各年代別の状況を見てみると、各年代でバラツキがあり、であったが、全体と比較すると、10～20代が突出して肯定的な回答割合が63.3%と高かった一方で、30代は37.0%と大きな差異があった。そのほかの世代は、概ね全体の傾向と近い結果となった。

図55 設問36 年代別回答状況



④職場環境について

ト 設問 38～39（職場のオフィス環境に満足していますか？）

設問に対する回答数は174件（全体174件）で、問いに対し、図 56 のとおり、肯定的な回答割合は約61%で、否定的な回答割合は、約39%という結果となった。全体的には、環境への満足度はやや高いという結果であるものの、否定的な回答も一定数あることから、満足度向上のための取組みが必要と思われる。

図56 設問38 項目別回答状況

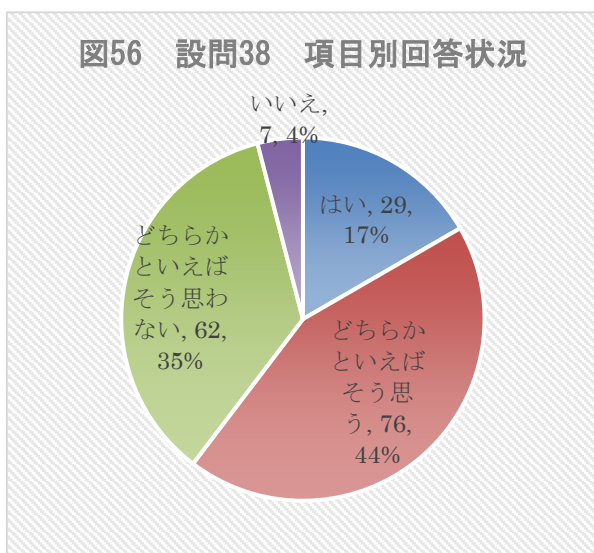
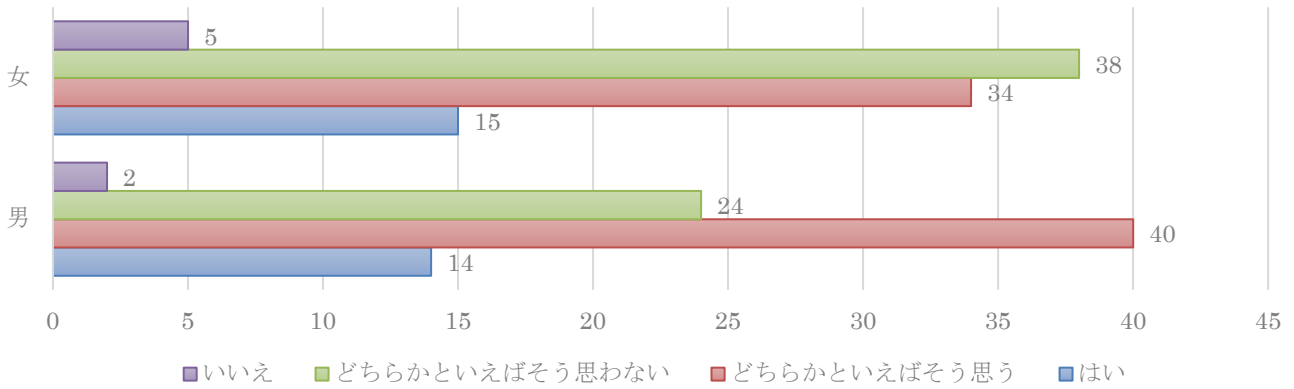


図 57 のとおり、性別の状況を見ると、明らかに差異があり、全体の傾向と比較すると、男性では肯定的な回答割合が 67.5% と高く、女性では、約 53.3% と低い結果となり、オフィス環境への満足度は男性の方が高く、女性の方が低いと感じている結果となった。

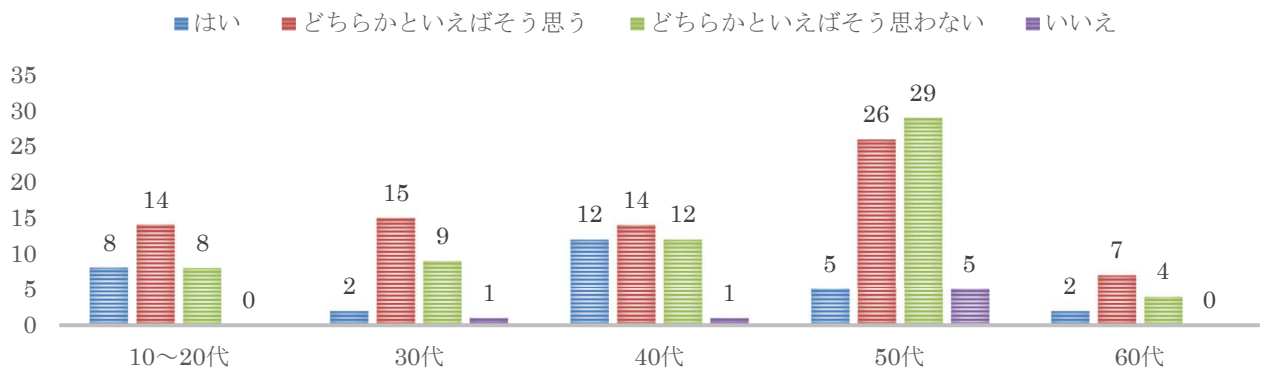
図57 設問38 男女別回答状況



自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	うち男性(件数)		うち女性(件数)	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない
新居浜市	174	172	98.9	80	46.5%	92	53.5%
				54	67.5%	49	53.3%
				26	32.5%	43	46.7%

図 58 のとおり、各年代別の状況を見てみると、全体の傾向と比較すると、各年代によってバラツキがあり、10～20代では肯定的な回答割合が 73.3% とかなり高い結果になった一方で、50代は 47.7% と大きな差異があった。60代も肯定的な回答割合がやや高めではあったが、残る年代は概ね全体の傾向に近い結果となった。

図58 設問38 年代別回答状況



自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代~20代		30代		40代		50代		60代	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない		
新居浜市	174	174	100.0	30	17.2%	27	15.5%	39	22.4%	65	37.4%	13	7.5%
				22	73.3%	8	26.7%	17	63.0%	10	37.0%	26	66.7%
				31	47.7%	34	52.3%	9	69.2%	4	30.8%		

ナ 設問 40（快適な職場環境では何が必要と思いますか？（複数選択可））

※全体の総括の回答状況を参照（P 45）

二 設問 41～42（市内LANをはじめ様々な業務システムやツールがありますが、業務を行う上で十分だと思いますか？）

設問に対する回答数は174件（全体174件）で、問いに対し、図59のとおり、肯定的な回答割合は約69%、否定的な回答割合は約31%で、全体的には、多くの職員から肯定的な評価を受けている結果となった。

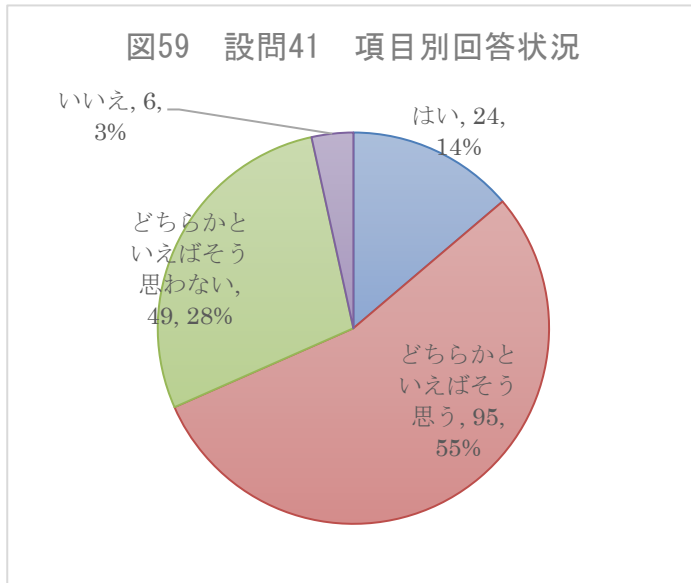


図60のとおり、性別の状況を見ると、性別に関わらず、概ね全体の傾向と同様の結果であり、若干女性の方が肯定的な回答が多かったものの、男女間で大きな差異は認められなかった。

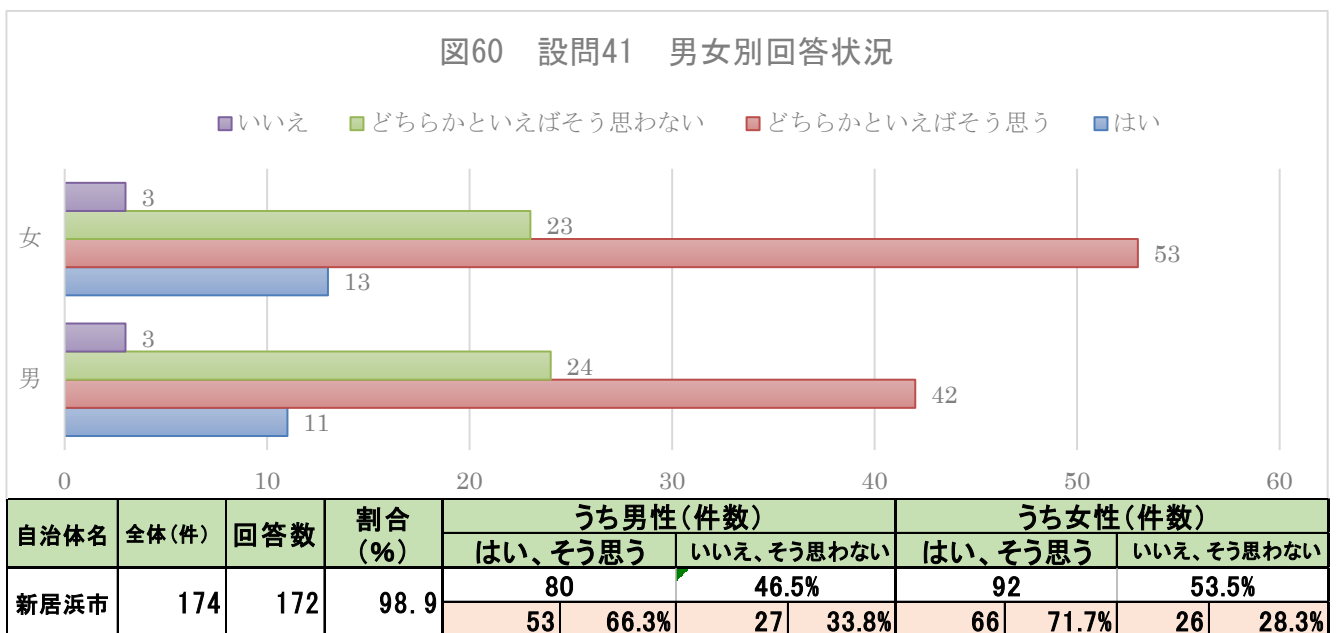
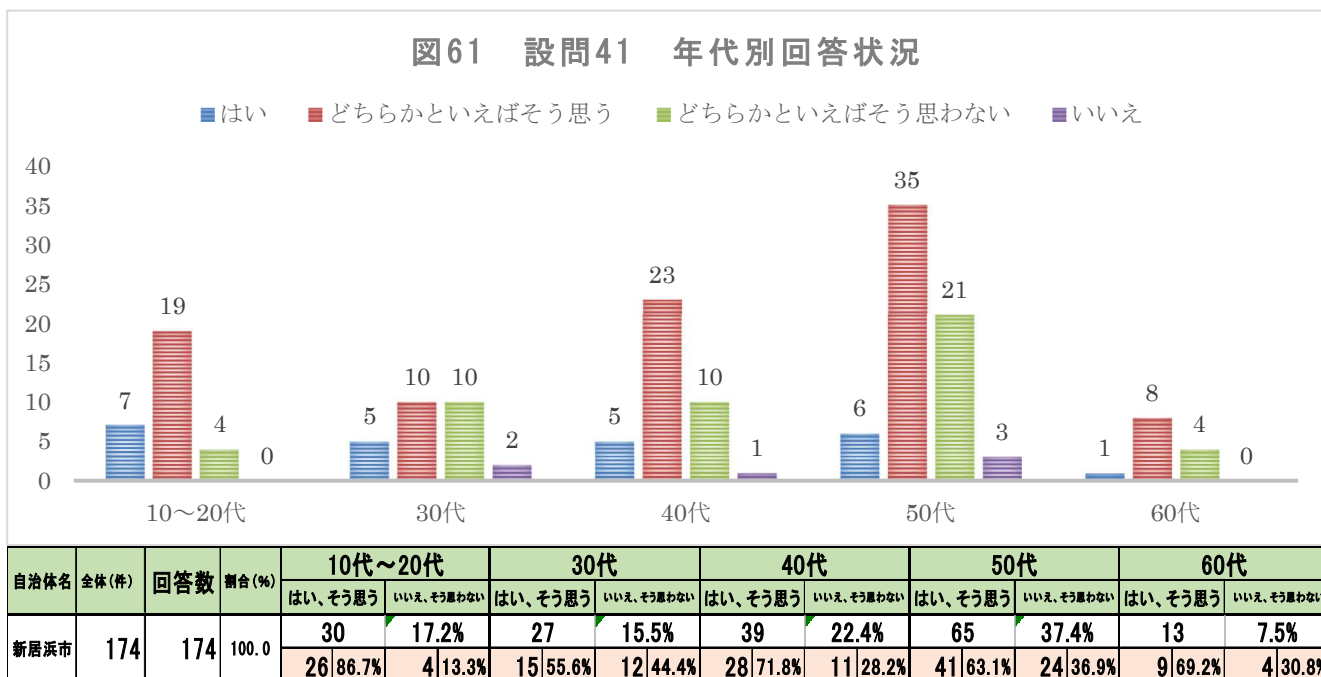


図 61 のとおり、各年代別の状況を見てみると、40代及び60代以外は、全体の傾向とやや異なる結果となった。10代～20代は、現在の業務システム等に対する満足度が他の年代に比べ高かった一方で、30代や50代ではやや低い結果となった。

図61 設問41 年代別回答状況



又 設問 43 (職場において、キャリアアップや様々なハラスメント相談などに対応できる仕組みが整備されていますが、十分だと思いますか?)

設問に対する回答数は173件(全体174件)で、問いに対し、図62のとおり、肯定的な回答割合は約46%、否定的な回答割合は約54%で、全体的には、過半数を超える職員から否定的な評価を受けているという結果となった。

図62 設問43 項目別回答状況

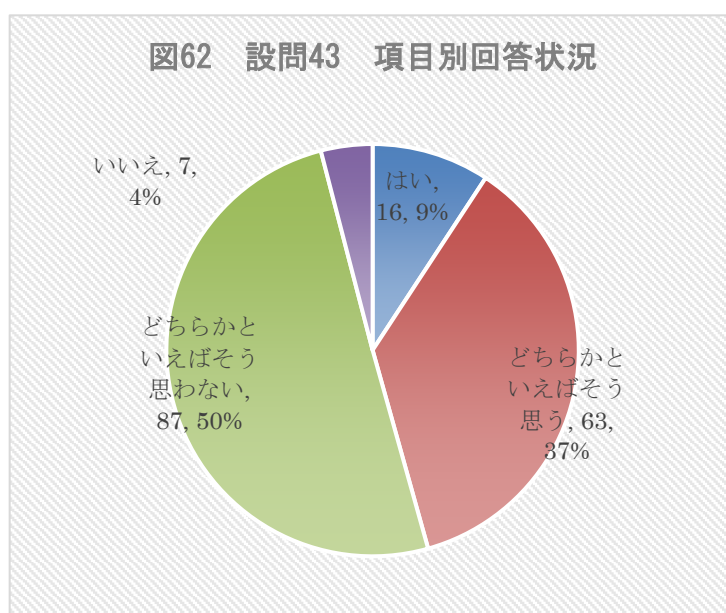
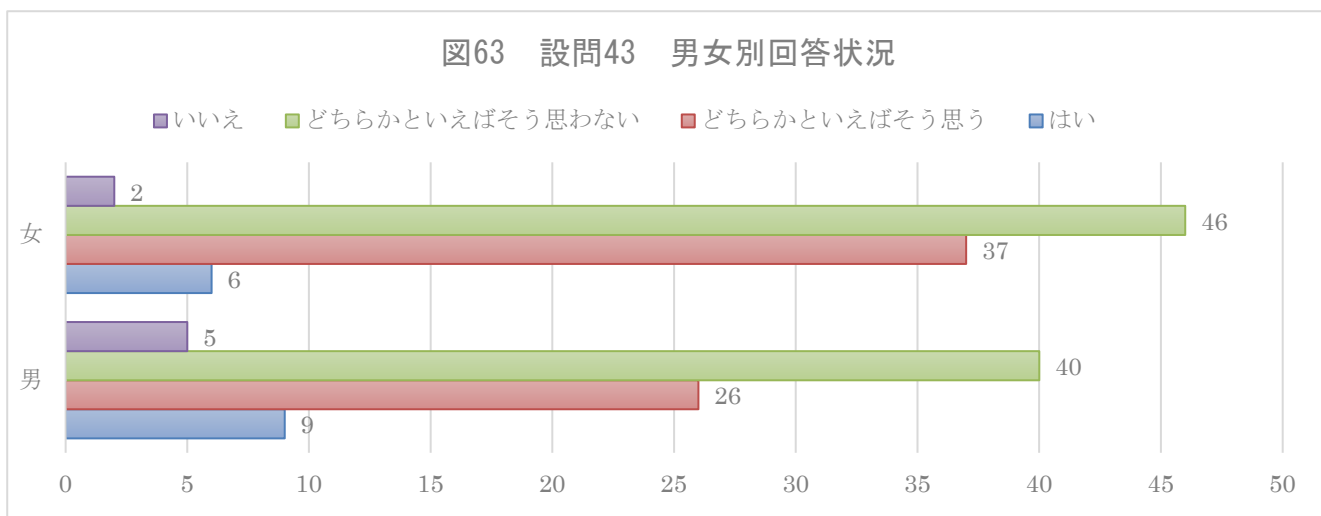


図 63 のとおり、性別の状況を見ると、性別に関わらず概ね全体の傾向と同様の結果であり、男女間で特段の差異は認められなかった。

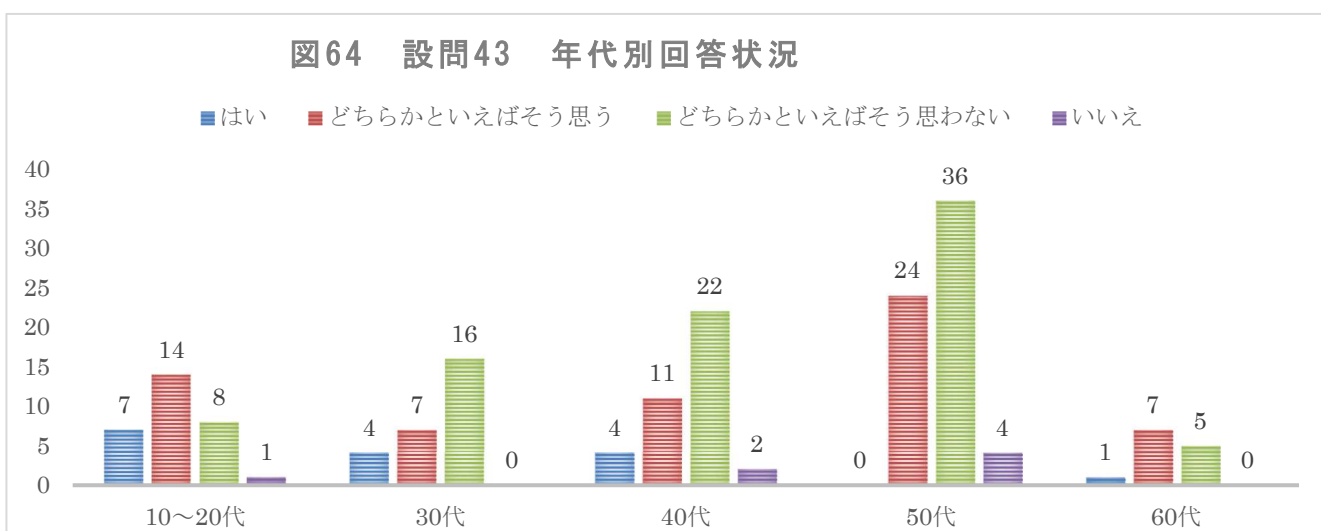
図63 設問43 男女別回答状況



自治体名	全体(件)	回答数	割合 (%)	うち男性(件数)		うち女性(件数)	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない
新居浜市	174	171	98.3	80	46.8%	91	53.2%
				35	43.8%	43	47.3%

図 64 のとおり、各年代別の状況を見てみると、全体の傾向と比較すると、10～20代及び60代は肯定的な回答が多かった一方で、それ以外の年代では否定的な回答が多く、満足度が低い傾向だった。

図64 設問43 年代別回答状況



自治体名	全体(件)	回答数	割合 (%)	10代~20代		30代		40代		50代		60代	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない		
新居浜市	174	173	99.4	30	17.3%	27	15.6%	39	22.5%	64	37.0%	13	7.5%
				21	70.0%	9	30.0%	11	40.7%	16	59.3%	15	38.5%

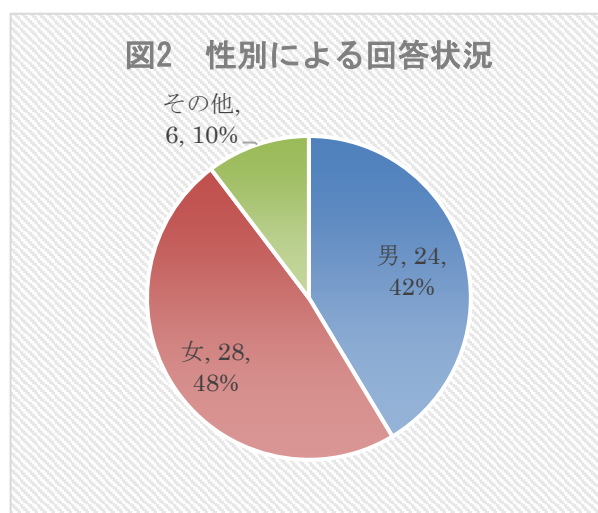
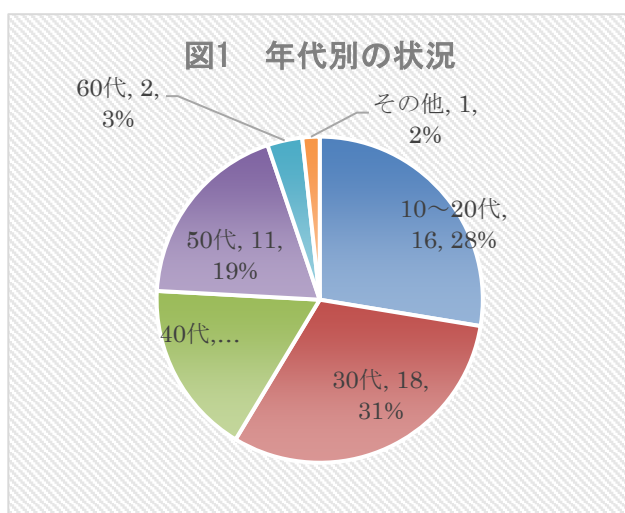
(3) 松前町の状況について

① 回答者の年齢・性別・回答数について

ア 設問2～設問3（年齢、性別）

松前町における全体の回答者数は58件で、回答者の年代別、男女等別の回答数の状況は図1、図2のとおりとなった。10代～30代の若い世代からの回答も多く、幅広い世代等の職員から回答を頂いた。

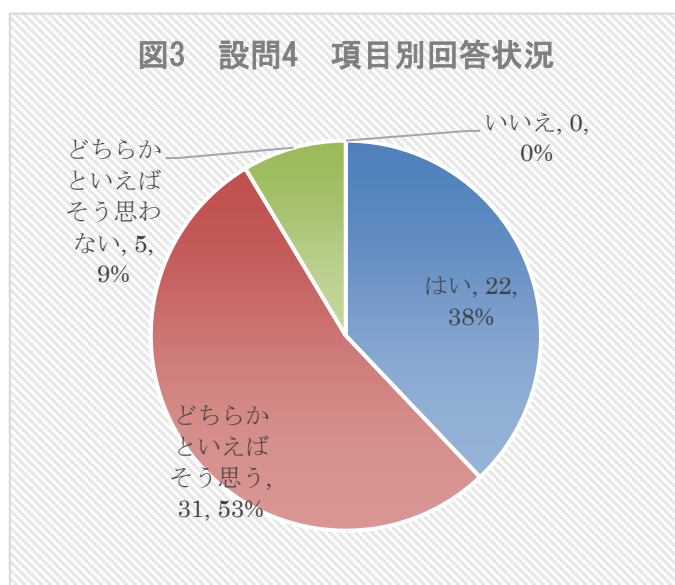
なお、松前町は自治体の規模が他の自治体よりも規模が小さく、回答総数が少ないこともあって、アンケート全体の傾向と、性別や年代別の傾向との誤差が大きくなる場合がある。



② 女性の活躍について

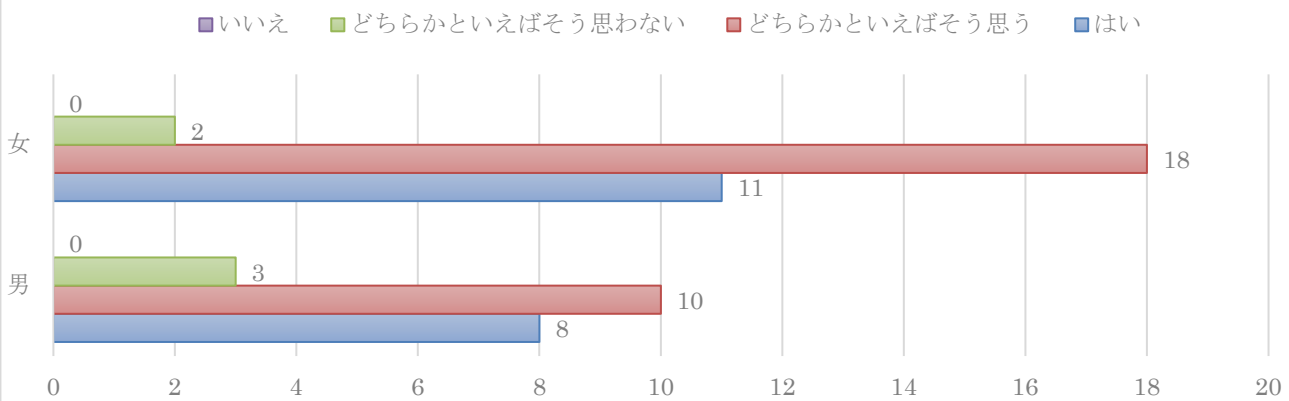
イ 設問4（職場内で女性職員が増えたと思いますか？）

図3のとおり、設問に対する回答数は58件（全体58件）で、問いに対し、肯定的に回答された方が、全体の91%占め、否定的な回答割合は約9%だった。多くの職員が、女性職員の割合が増えていると感じている結果となった。



次に、図4により性別による状況を見てみると、全体の傾向と概ね同様であるが、女性は肯定的な回答割合が93.5%と、男性よりもやや高い結果となった。

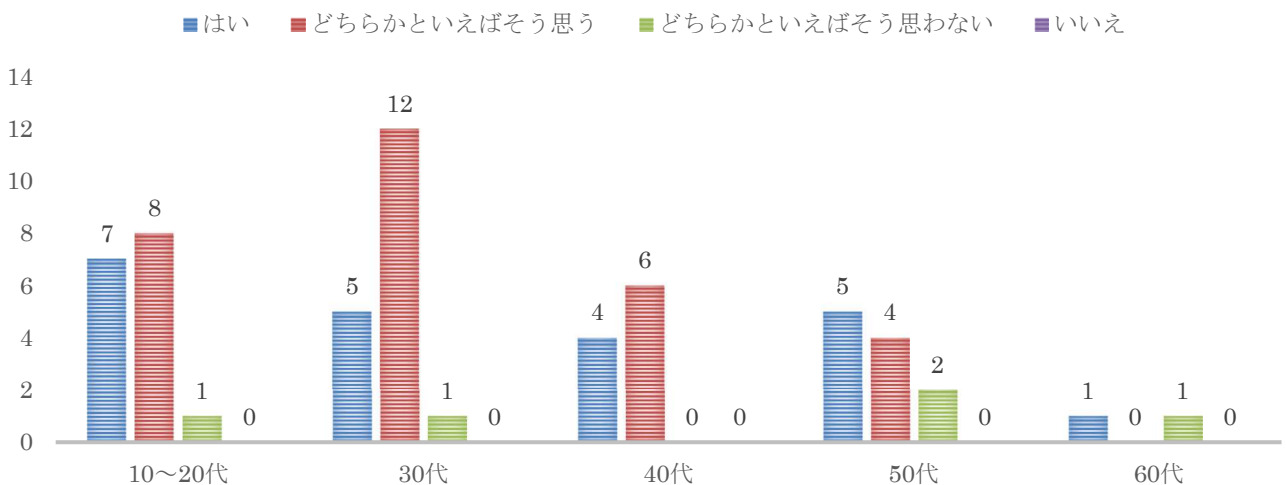
図4 設問4 項目別回答状況



自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	うち男性(件数)		うち女性(件数)	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない
松前町	58	52	89.7	21	40.4%	31	59.6%
				18	85.7%	3	14.3%

次に、図5により、各年代別の状況を見てみると、10～40代までは、肯定的な回答の割合が、全体の傾向に近いかまたそれ以上の割合であったが、50代以降は肯定的な回答割合が下がる傾向であった。

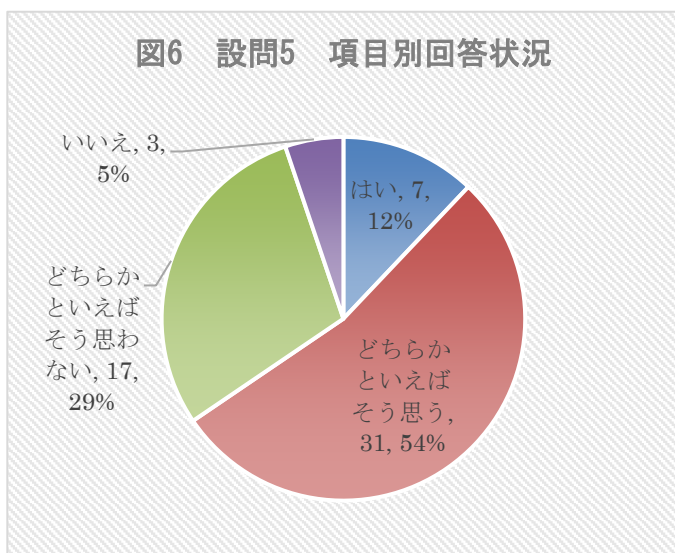
図5 設問4 年代別回答状況



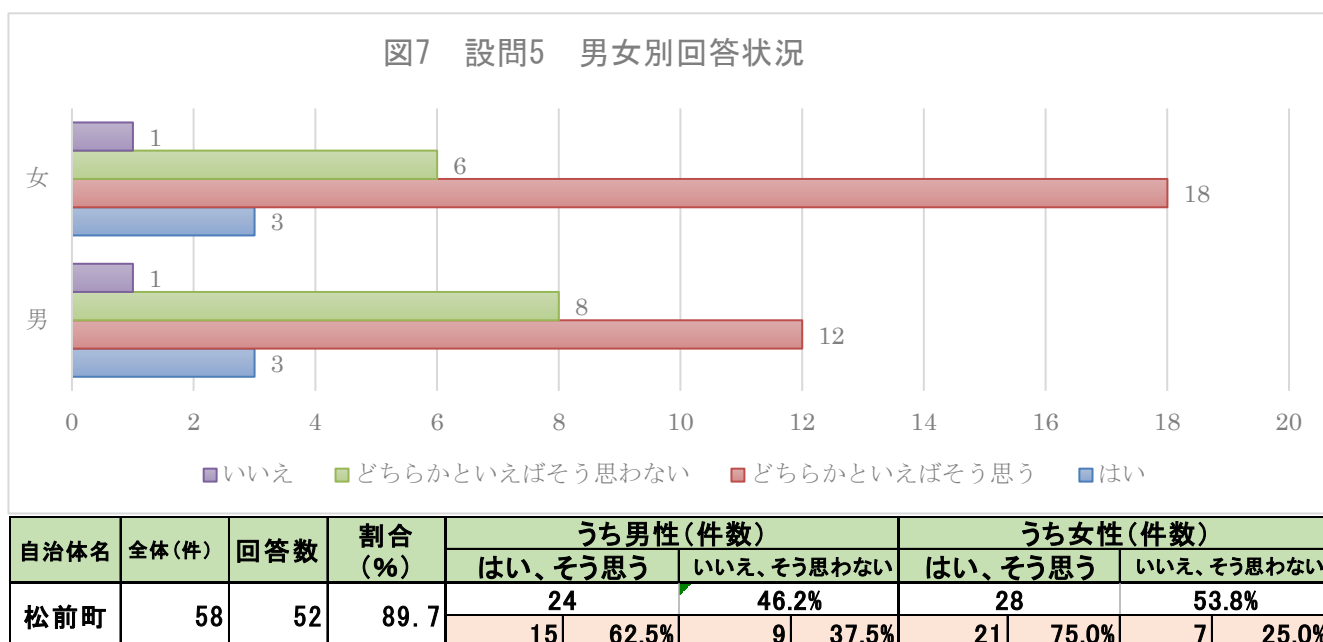
自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代～20代		30代		40代		50代		60代							
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない						
松前町	58	57	98.3	16	28.1%	18	31.6%	10	17.5%	11	19.3%	2	3.5%						
				15	93.8%	1	6.3%	17	94.4%	1	5.6%	10	100.0%	0	0.0%	9	81.8%	2	18.2%

ウ 設問5～6（職場内で性別や年齢、役職に関わらずコミュニケーションは円滑に図られていると思いますか?）

設問に対する回答数は58件（全体58件）で、問いに対し、図6のとおり、肯定的な回答割合が66%で、否定的な回答割合は約34%であった。多くの職員が円滑なコミュニケーションが図られていると肯定的に回答している一方で、否定的な回答も一定数あることから、今後、職場の人間関係の改善を検討していく必要があると思われる。

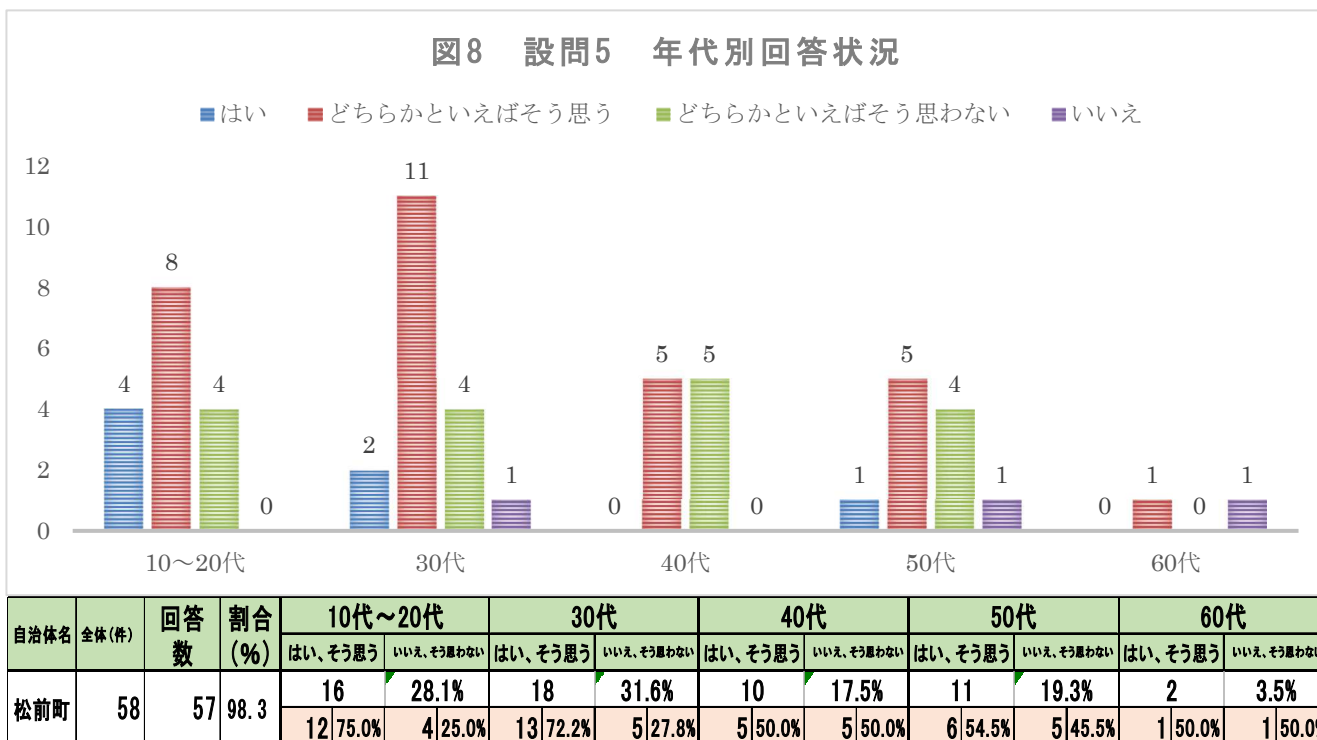


次に、図7により、性別による状況を見てみると、全体の傾向に対して、男性は否定的、女性は肯定的な回答がやや多かった。



次に、図8により、各年代別の状況を見てみると、各年代とも全体と概ね同様の傾向であり、10～20代がやや肯定的な回答割合が高かったものの、特に年代による大きな偏りは認められなかった。

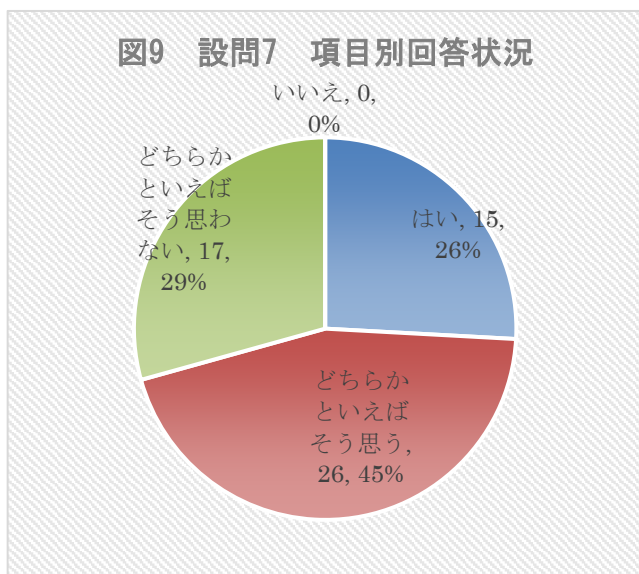
図8 設問5 年代別回答状況



エ 設問7～8 (今の職場で女性は活躍できていると思いますか?)

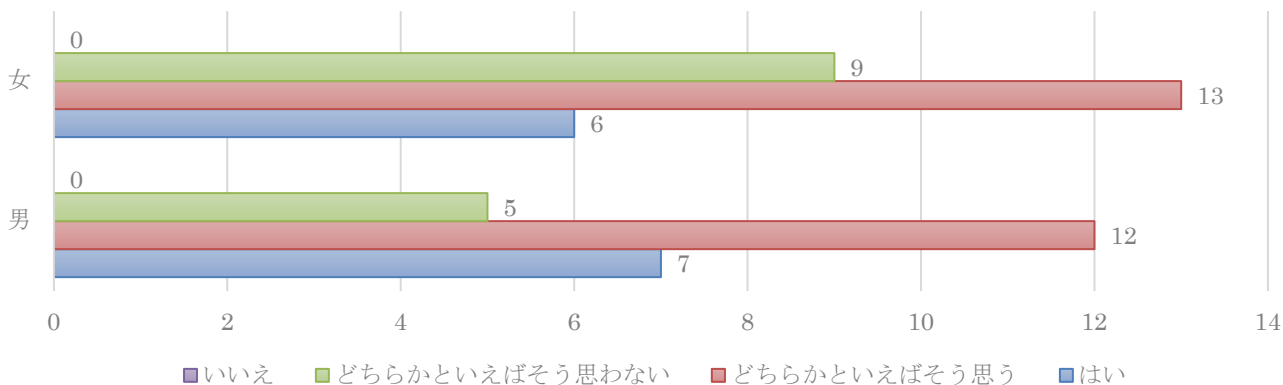
設問に対する回答数は58件(全体58件)で、問いに対し、図9のとおり、肯定的な回答割合が約71%で、否定的な回答割合は、約29%と多くの職員が、女性が活躍できていると感じているとの結果となったが、否定的に感じている回答も一定数認められた。

図9 設問7 項目別回答状況



次に、図 10 により、性別による状況を見てみると、性別に関わらず全体と概ね同様の傾向ではあるが、全体との比較では、肯定的な回答割合は男性の方が、やや高く、女性の方がやや低かった。

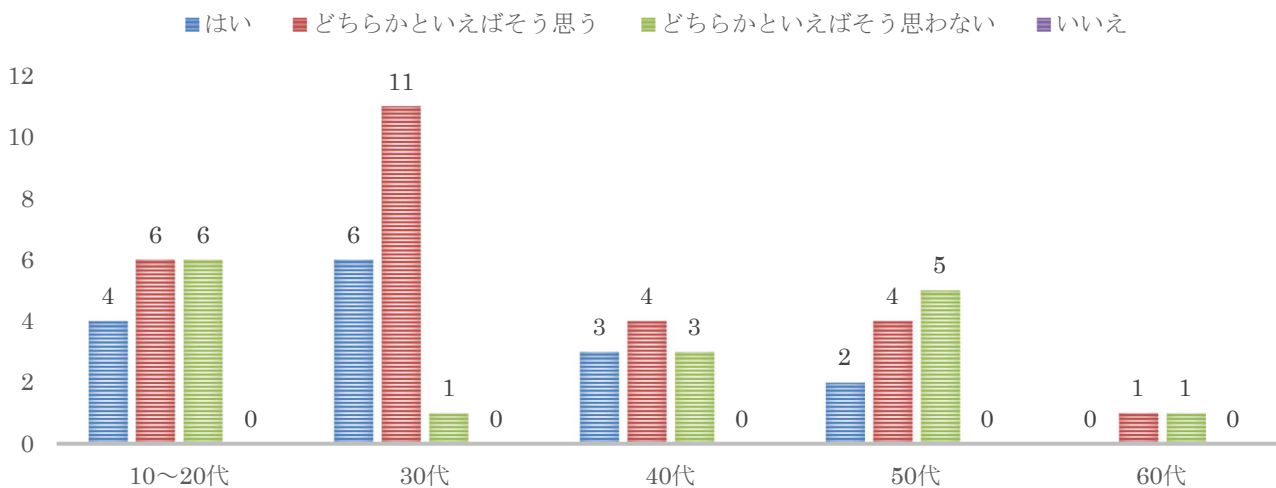
図10 設問7 男女別回答状況



自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	うち男性(件数)		うち女性(件数)		
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	
松前町	58	52	89.7	24	46.2%	28	53.8%	
				19	79.2%	19	67.9%	
					5	20.8%	9	32.1%

次に、図 11 により、各年代別の状況を見てみると、全体的にバラツキがあり、特に肯定的だったのは30代で94.4%であった。全体と比較すると、10～20代62.5%、50代は54.5%と肯定的な回答の割合がやや低めであった。

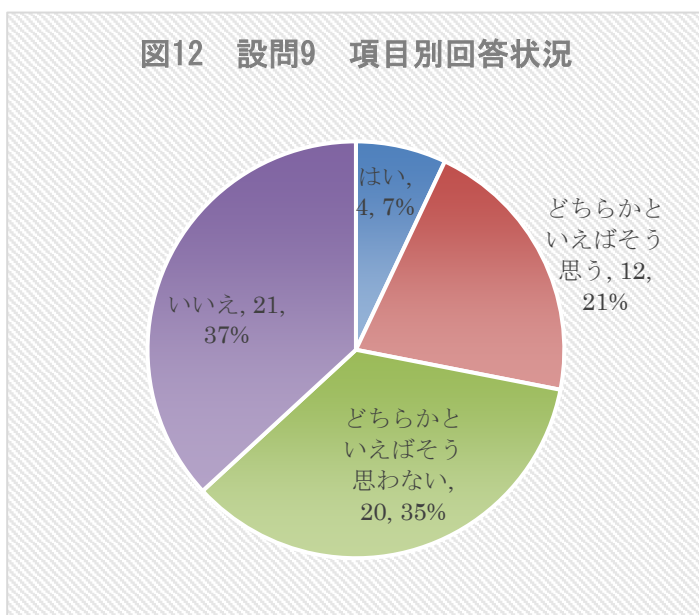
図11 設問7 年代別回答状況



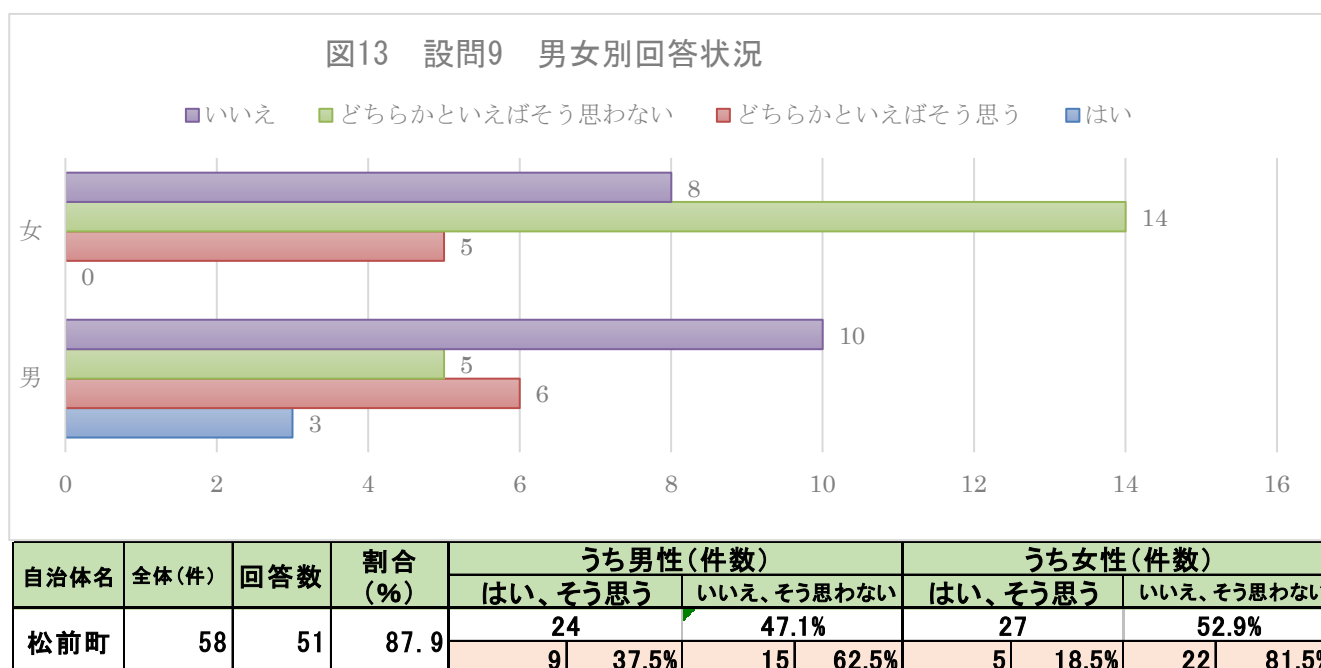
自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代~20代		30代		40代		50代		60代	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない		
松前町	58	57	98.3	16	28.1%	18	31.6%	10	17.5%	11	19.3%	2	3.5%
				10	62.5%	6	37.5%	17	94.4%	1	5.6%	7	70.0%
								3	30.0%	6	54.5%	5	45.5%
										1	50.0%	1	50.0%

オ 設問9～10（女性が活躍できる環境をさらに充実させる必要は、「ない」と思いますか？）

設問に対する回答数は57件（全体58件）で、問いに対し、図12のとおり、肯定的な回答が約28%、否定的な回答が約72%と、多くの職員は「女性が活躍できる環境の充実」が必要と感じている、という結果となった。

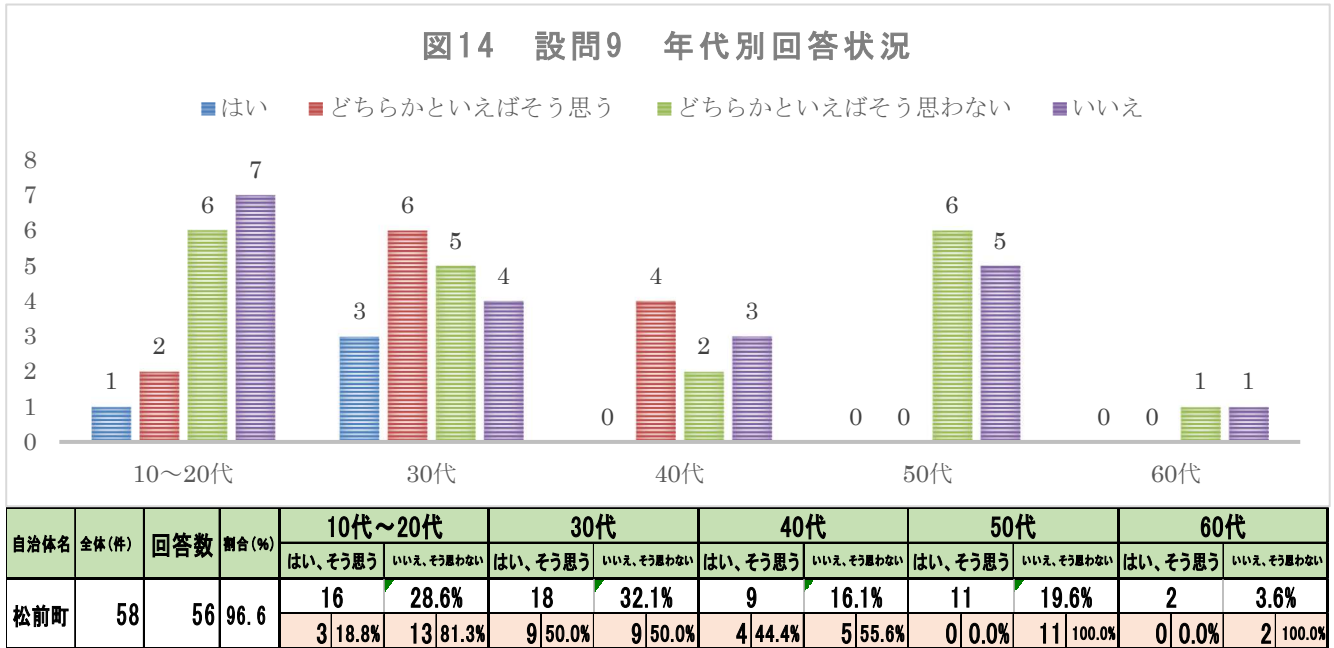


次に、図13により、性別による状況を見てみると、性別に関わらず否定的な回答を選択した方が多かったが、全体との比較では、女性が81.5%と、男性に比べ否定的な回答割合が高かった。



次に、図14により、各年代別の状況を見てみると、各年代で大きく異なり、特に否定的な回答割合が高かったのは10～20代の81.3%に加え、50代以降は100%であった。30代から40代は、肯定と否定の回答がほぼ同じ割合だった。

図14 設問9 年代別回答状況



カ 設問 11（女性が活躍できる職場環境では何が重要だと思いますか？）

設問に対する回答数は58件（全体58件）で、問いに対し、女性が活躍できる環境で最も望まれるのは、図15のとおり、「柔軟な働き方」という結果となった。大きな差はなかった。上位は次の4項目となった。

- | | | | |
|---|-----------|-------|-------------|
| 1 | 柔軟な働き方 | (31%) | 【男性1位 女性1位】 |
| 2 | 既存意識の改革 | (29%) | 【男性2位 女性2位】 |
| 3 | 多様なライフプラン | (14%) | 【男性1位 女性3位】 |
| 4 | 男女の相互理解 | (12%) | 【男性3位 女性4位】 |

なお、管理職への登用や保育施設の充実といった項目に関しては、回答者の中での優先順位は低いという結果となった。

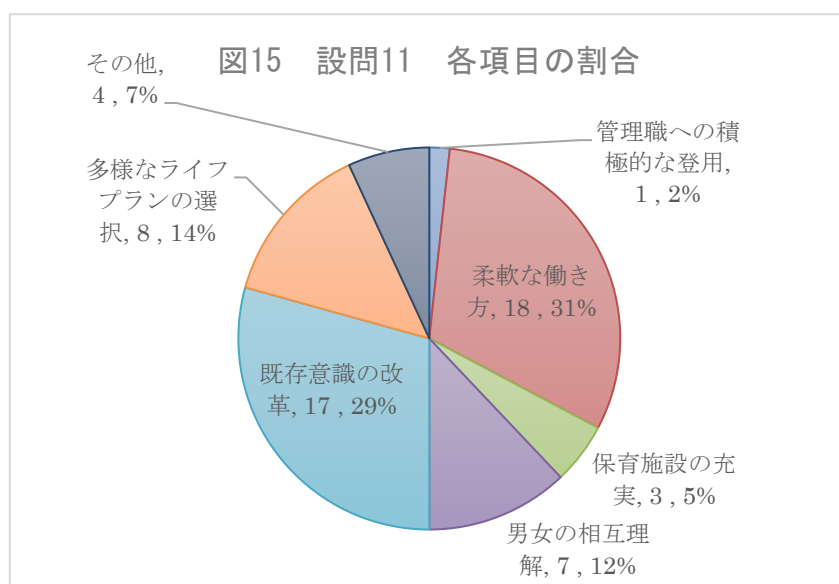


図15-1、図15-2、図16により、男女別の回答内訳をみると、回答結果の傾向については大きな違いが認められた。1位の「柔軟な働き方」や2位の「既存意識の改革」以外において、男性は、「多様なライフプラン」に回答した方はゼロだった一方で、「その他」に回答した方が一定数あった。また女性では、「男女の相互理解」に回答した方が男性に比べ少なかった。

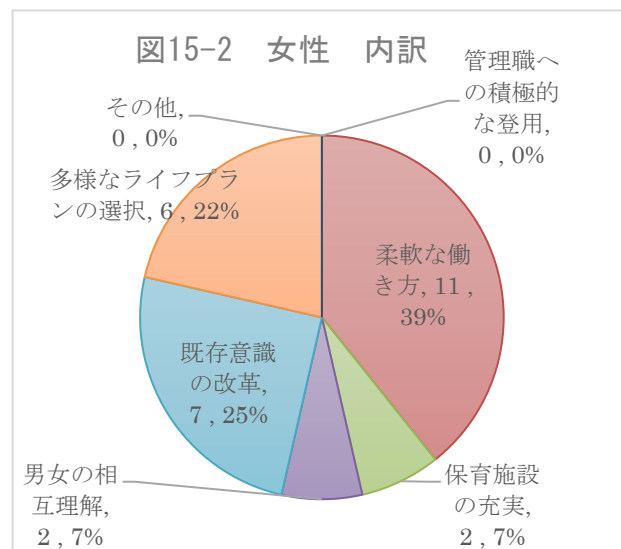
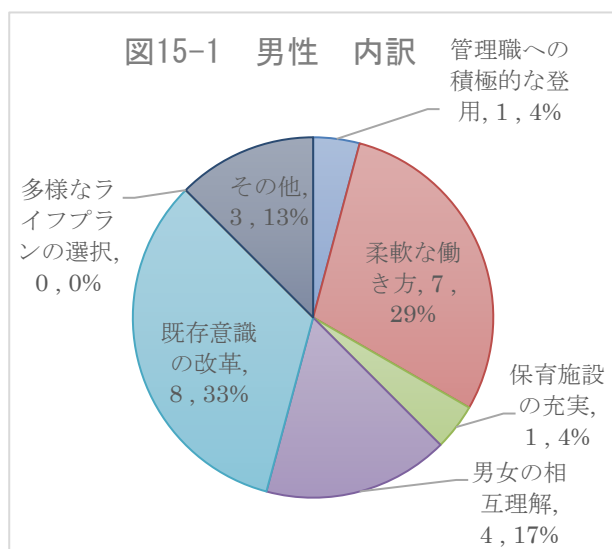


図16 設問11 男女別の回答状況

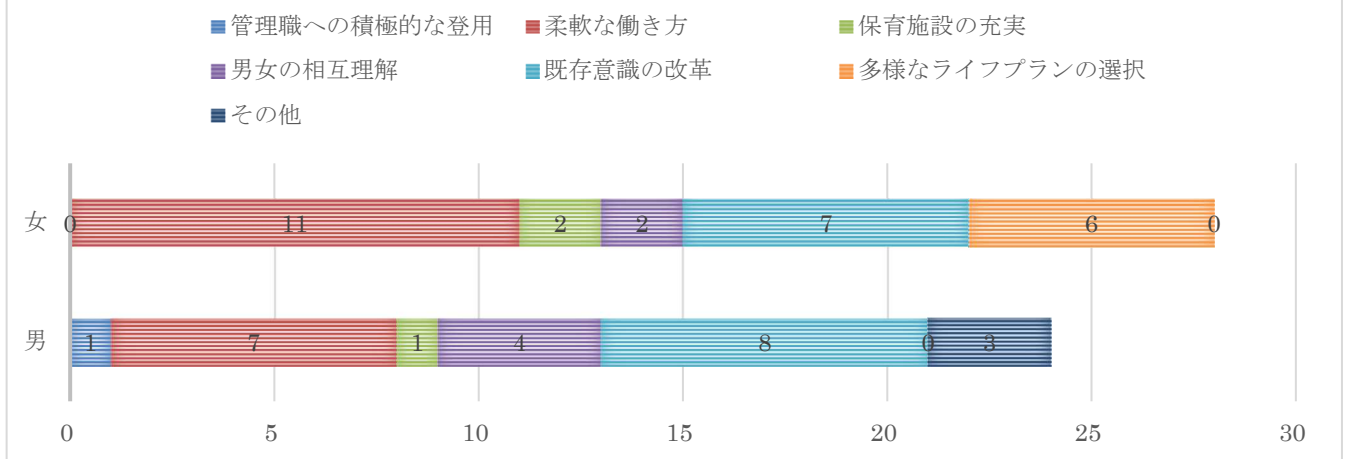
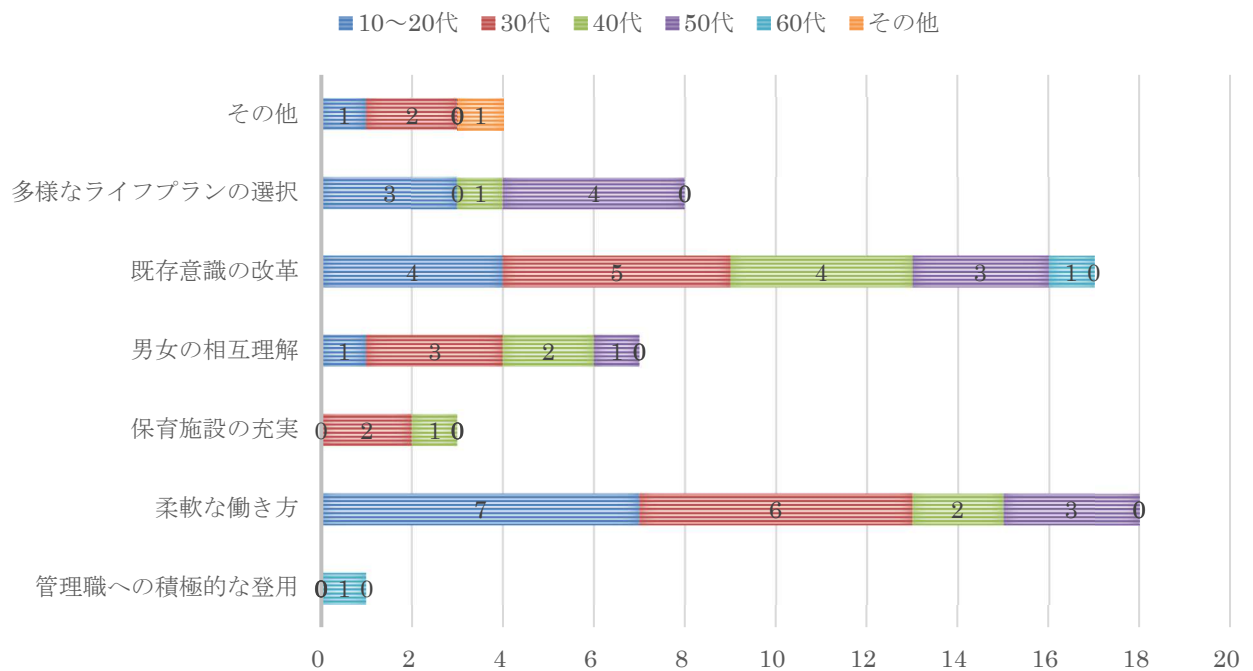


図16-1のとおり、年代別の傾向では、上位の2項目、「柔軟な働き方」と「既存意識の改革」にそれぞれの年代から回答が集中する結果となった。また、一部の項目では回答のない年代も見受けられた。

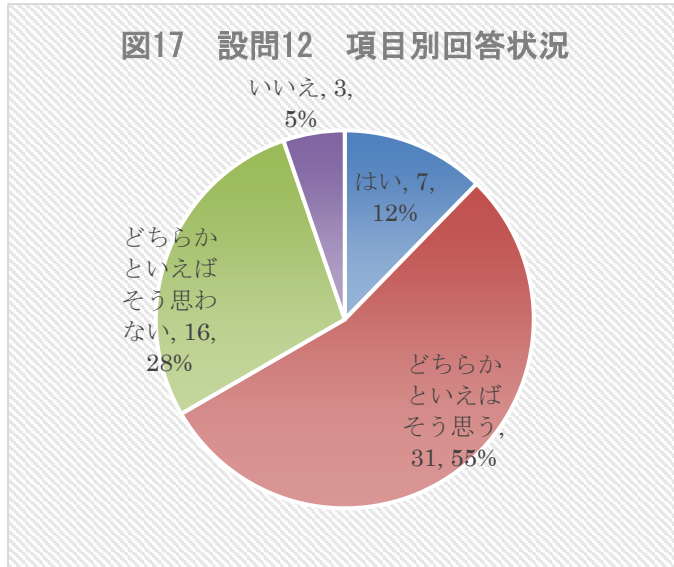
図16-1 項目・年代別回答状況



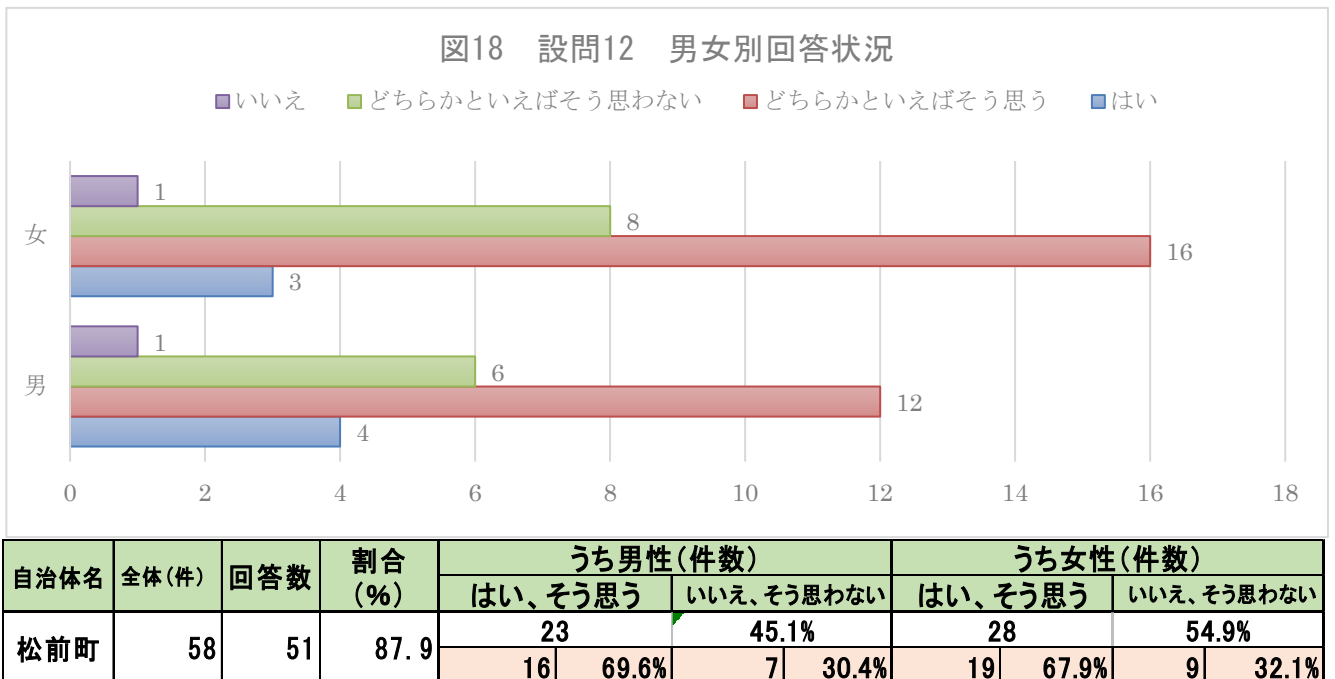
	管理職への積極的な登用	柔軟な働き方	保育施設の充実	男女の相互理解	既存意識の改革	多様なライフプランの選択	その他
10~20代	0	7	0	1	4	3	1
30代	0	6	2	3	5	0	2
40代	0	2	1	2	4	1	0
50代	0	3	0	1	3	4	0
60代	1	0	0	0	1	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	1

キ 設問 12～13（女性の管理職への登用は進んでいると思いますか？）

設問に対する回答数は57件（全体58件）で、問いに対し、図17のとおり、肯定的な回答割合が約67%で、否定的な回答割合は、約33%という結果となった。多くの職員が女性の管理職登用が進んでいると感じている。

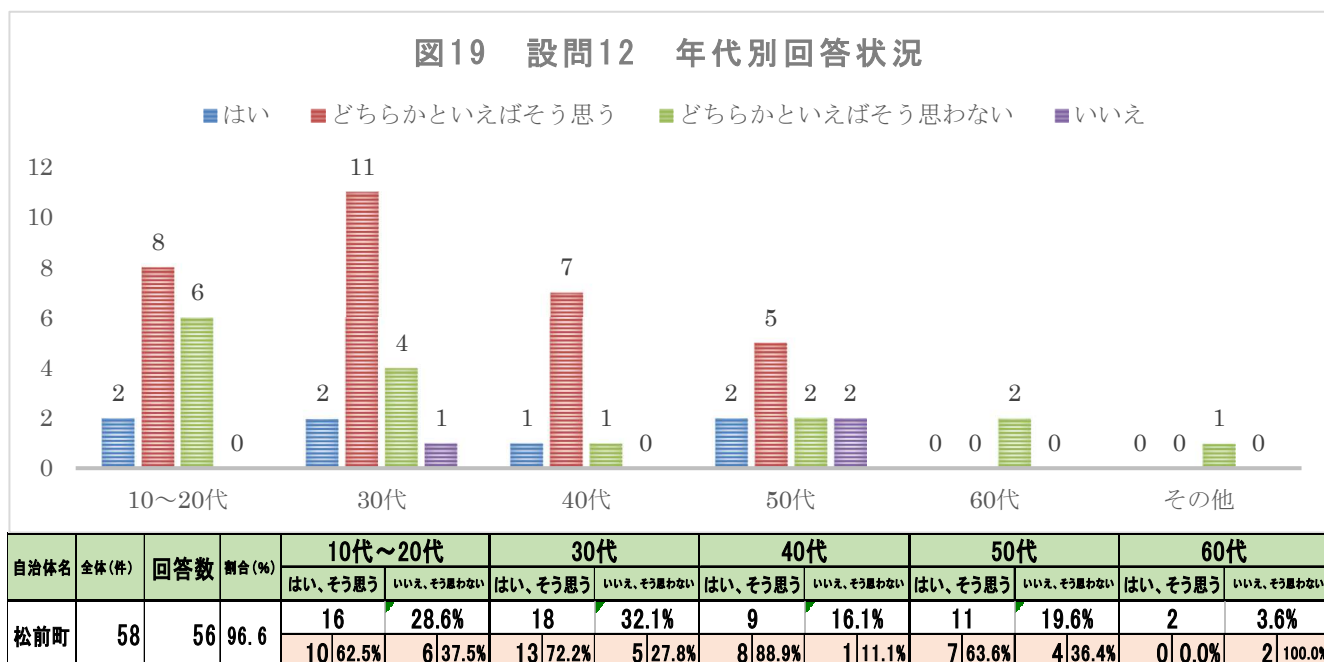


次に、図18のとおり、性別による状況を見てみると、全体の傾向と概ね同様であり、性別による大きな差異は認められなかった。



次に、図 19 のとおり、各年代別による状況を見てみると、全体的にバラツキがあり、特に 40代は特に肯定的な回答の割合が高かった。

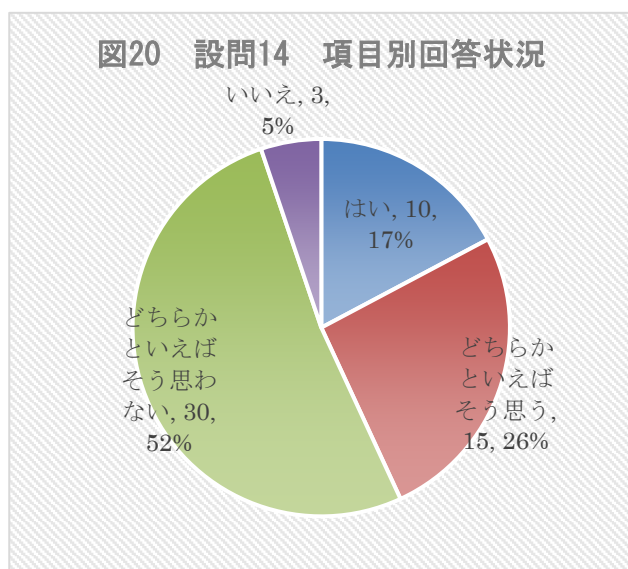
図19 設問12 年代別回答状況



ク 設問 14~15 (職場において、女性の活躍や管理職登用に妨げになるものは「ない」と思いますか?)

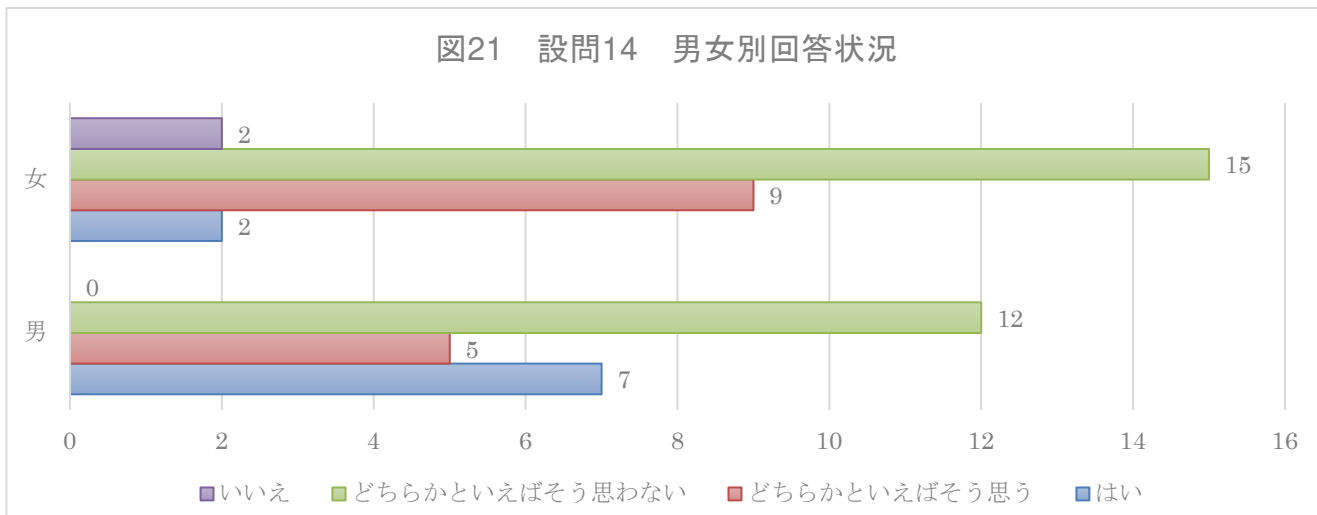
設問に対する回答数は 58 件 (全体 58 件) で、問いに対し、図 20 を見ると、肯定的な回答割合は約 43% で、否定的な回答割合が約 57% と、否定的な回答割合が過半を占める結果となった。

図20 設問14 項目別回答状況



次に、図 21 により、性別による状況を見てみると、明らかに男女差があり、男性は肯定、否定それぞれ半数ずつに分かれたが、女性は否定的な回答が60.7%と、男性と比べ、女性登用に対する何らかの妨げがあると認識している方の割合が高かった。

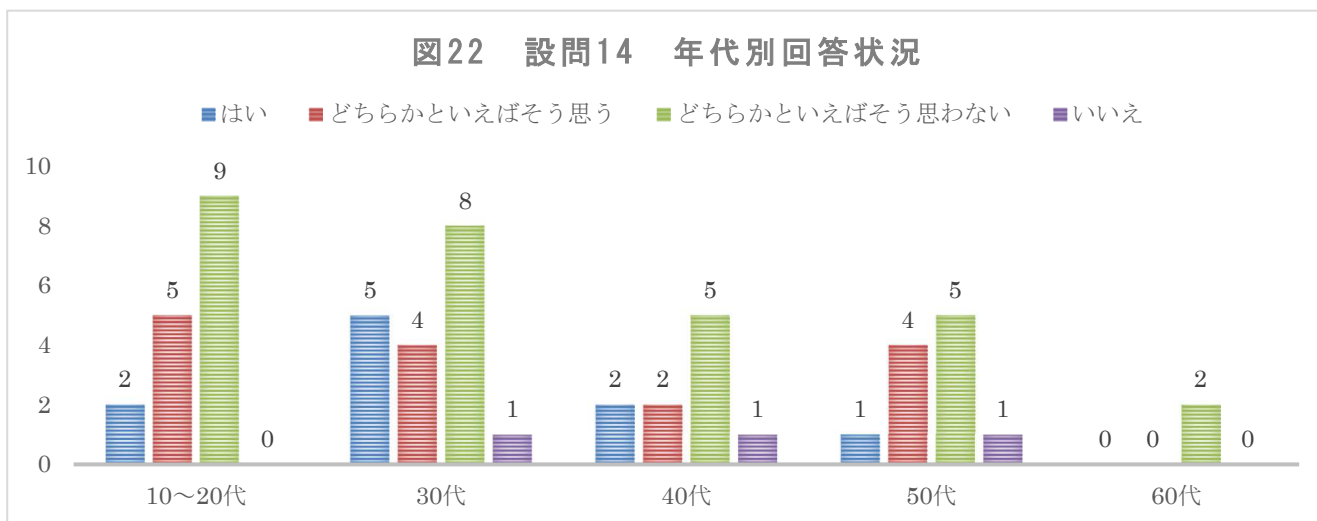
図21 設問14 男女別回答状況



自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	うち男性(件数)		うち女性(件数)	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない
松前町	58	52	89.7	24	46.2%	28	53.8%
				12	50.0%	11	39.3%
						17	60.7%

次に、図 22 により、各年代別の状況を見てみると、60代を除いて、全ての年代に割って概ね全体の傾向と同様の結果であった。若干のバラツキはあるが、大きな差異は認められなかった。

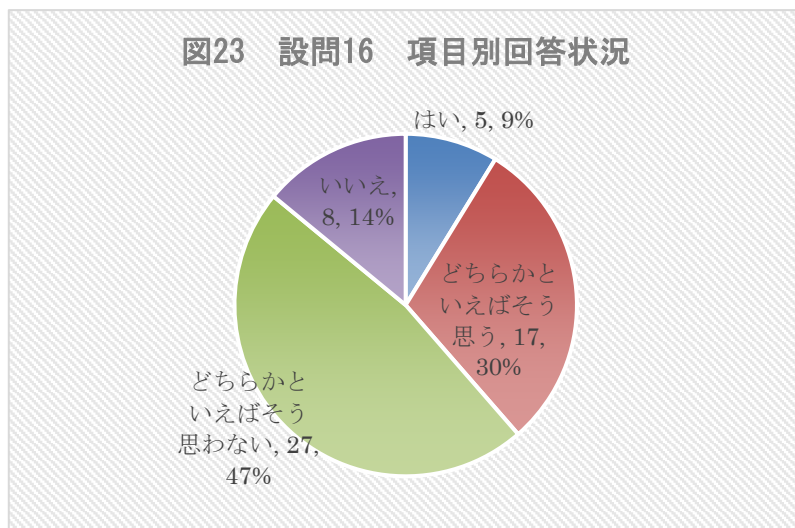
図22 設問14 年代別回答状況



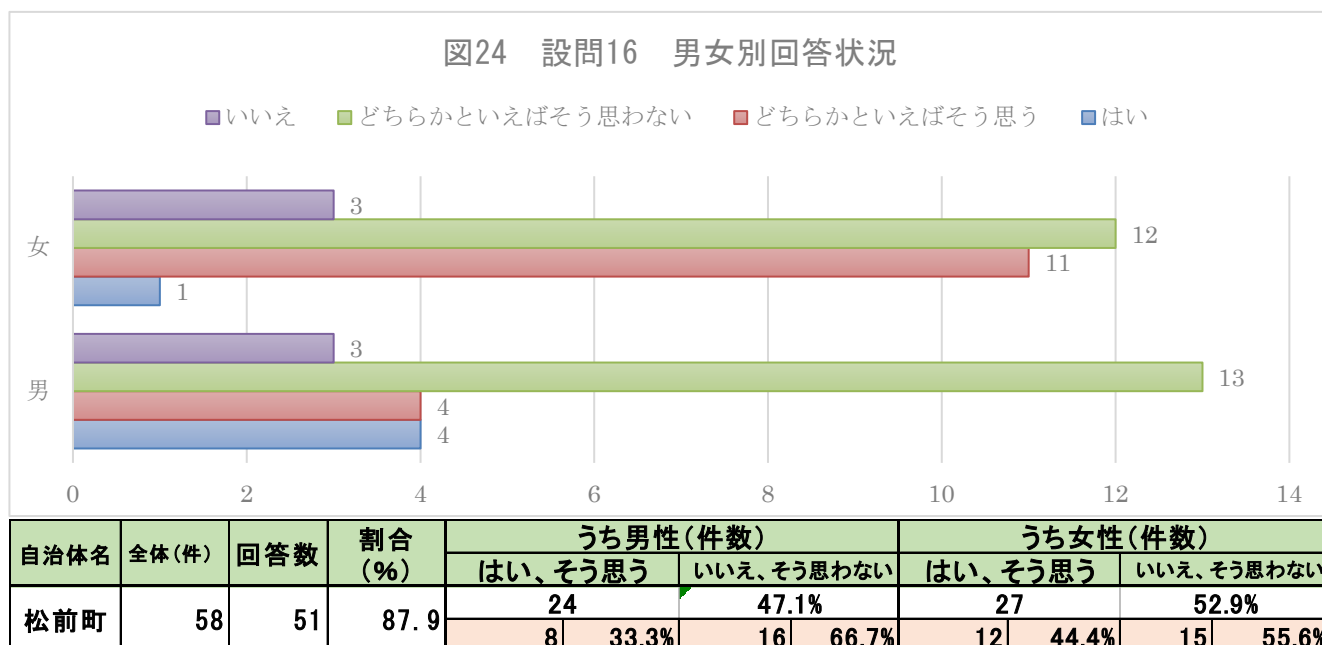
自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代~20代		30代		40代		50代		60代	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない		
松前町	58	57	98.3	16	28.1%	18	31.6%	10	17.5%	11	19.3%	2	3.5%
				7	43.8%	9	50.0%	4	40.0%	5	45.5%	0	0.0%
						9	50.0%	6	60.0%	6	54.5%	2	100.0%

ケ 設問 16～17（職場は、子育てをするうえで仕事と家庭を両立しやすい環境だと思いますか？）

設問に対する回答数は57件（全体58件）で、問いに対し、図23のとおり、両立しやすい環境である、と肯定的な方は約39%、否定的な方は約61%という結果となった。多くの職員が、どちらかと言えば仕事と家庭の両立が難しいと認識している結果となった。

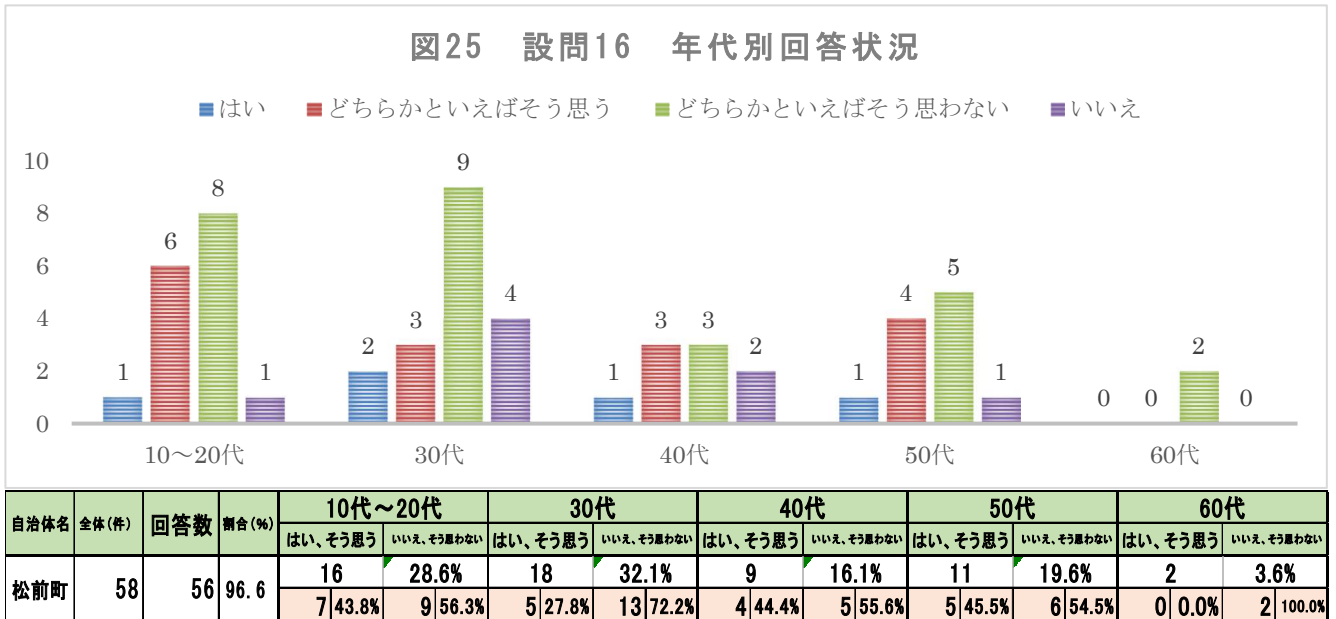


次に、図24により、性別の状況を見ると、全体の傾向と同様、男女とも否定的な回答割合が高かった。また、男性の方が否定的な回答割合が高かった。



次に、図 25 により、各年代別の状況を見てみると、若干の差はあるが、各年代とも全体の傾向と概ね同様で、肯定的な回答割合が高かったが、60代を除くと、30代が他の年代と比較しても否定的な回答割合が高かった。

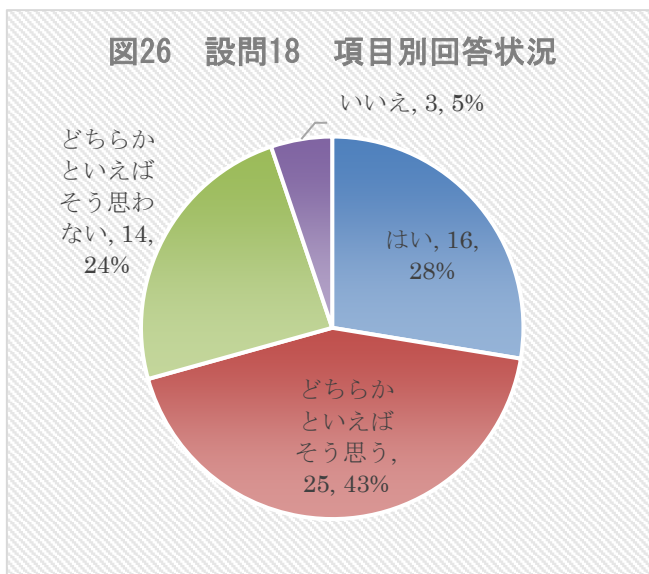
図25 設問16 年代別回答状況



コ 設問 18～19（職場に保育施設があれば、今よりも働きやすくなると思いますか？）

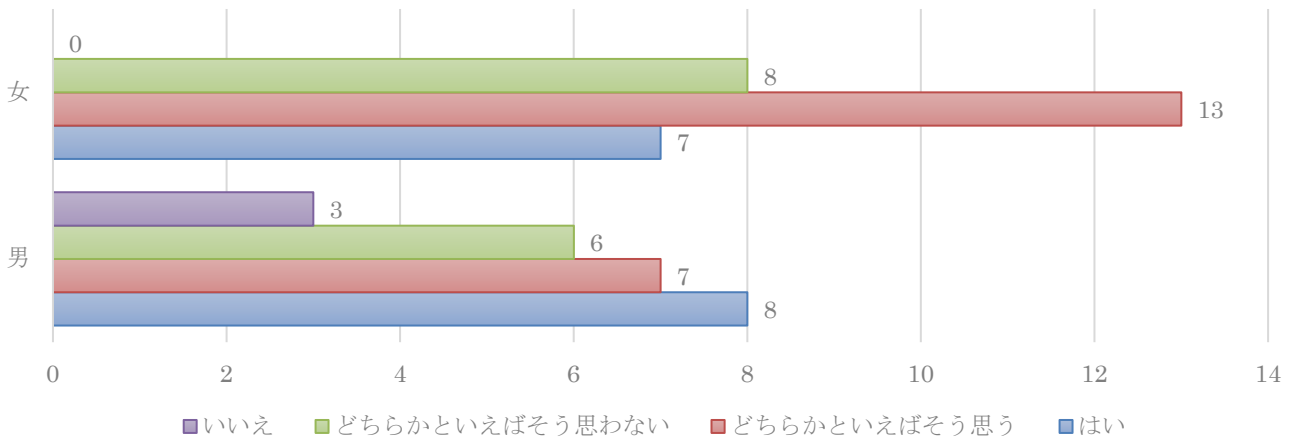
設問に対する回答数は58件（全体58件）で、問いに対し、図 26 のとおり、肯定的な回答が約71%で、否定的な回答が約29%という結果となった。多くの方が、施設があれば、働きやすくなるという認識であった。

図26 設問18 項目別回答状況



次に、図 27 により、性別による回答状況を見てみると、全体の傾向と比べて、男性が肯定的な方の割合がやや低く、一方で、女性はやや高いという結果となった。男性よりも女性の方が、施設があった方が働きやすくなると感じている結果となった。

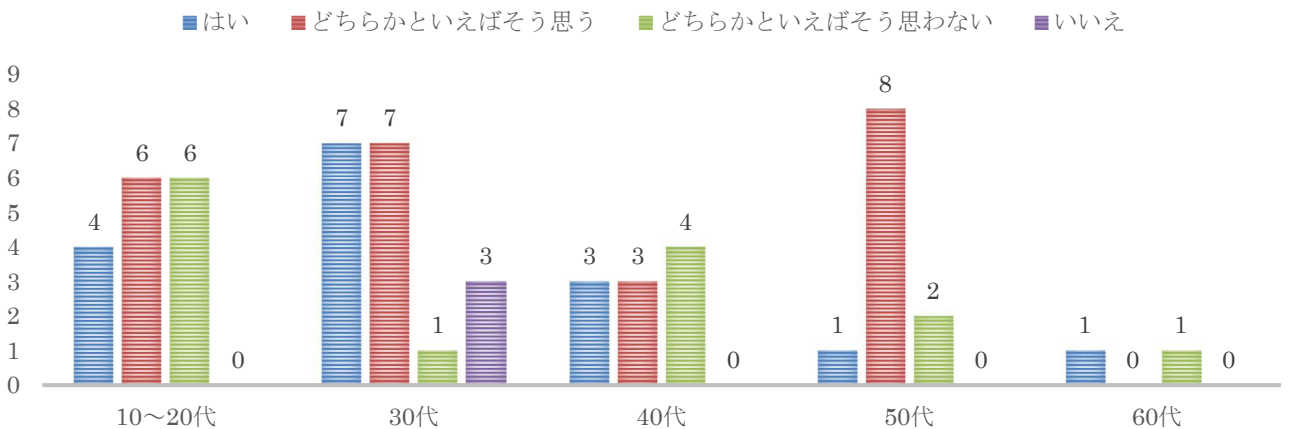
図27 設問18 男女別回答状況



自治体名	全体(件)	回答数	割合 (%)	うち男性(件数)		うち女性(件数)	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない
松前町	58	52	89.7	24	46.2%	28	53.8%
				15	62.5%	9	37.5%

図 28 により、各年代別の状況を見てみると、全体的にバラツキがあり、30代及び50代が他の年代と比べて肯定的な回答の割合が高かった一方で、それ以外の年代は否定的な回答割合がやや高かった。

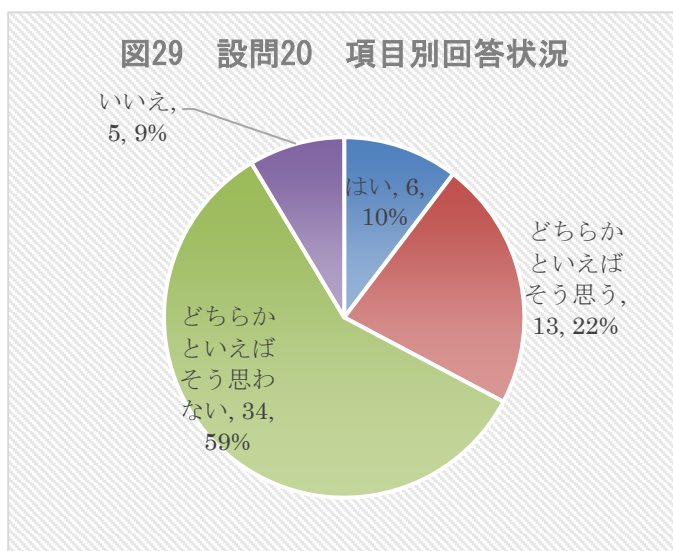
図28 設問18 年代別回答状況



自治体名	全体(件)	回答数	割合 (%)	10代~20代		30代		40代		50代		60代							
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない						
松前町	58	57	98.3	16	28.1%	18	31.6%	10	17.5%	11	19.3%	2	3.5%						
				10	62.5%	6	37.5%	14	77.8%	4	22.2%	6	60.0%	4	40.0%	9	81.8%	2	18.2%

サ 設問 20～21（職場に保育施設以外は、特に新たな設備・制度は必要ないと思いますか？）

設問に対する回答数は58件（全体58件）で、問いに対し、図29のとおり、肯定的な回答割合は約32%、否定的な回答割合は約68%で、多くの方が設備・制度などの整備が必要と認識している結果となった。



次に、図30のとおり、性別の状況を見ると、男性は肯定、否定がほぼ半数であったが、女性は、否定的な意見が大半を占めた。男性よりも女性の方が、設備や制度の整備が必要と認識している方の割合が高かった。

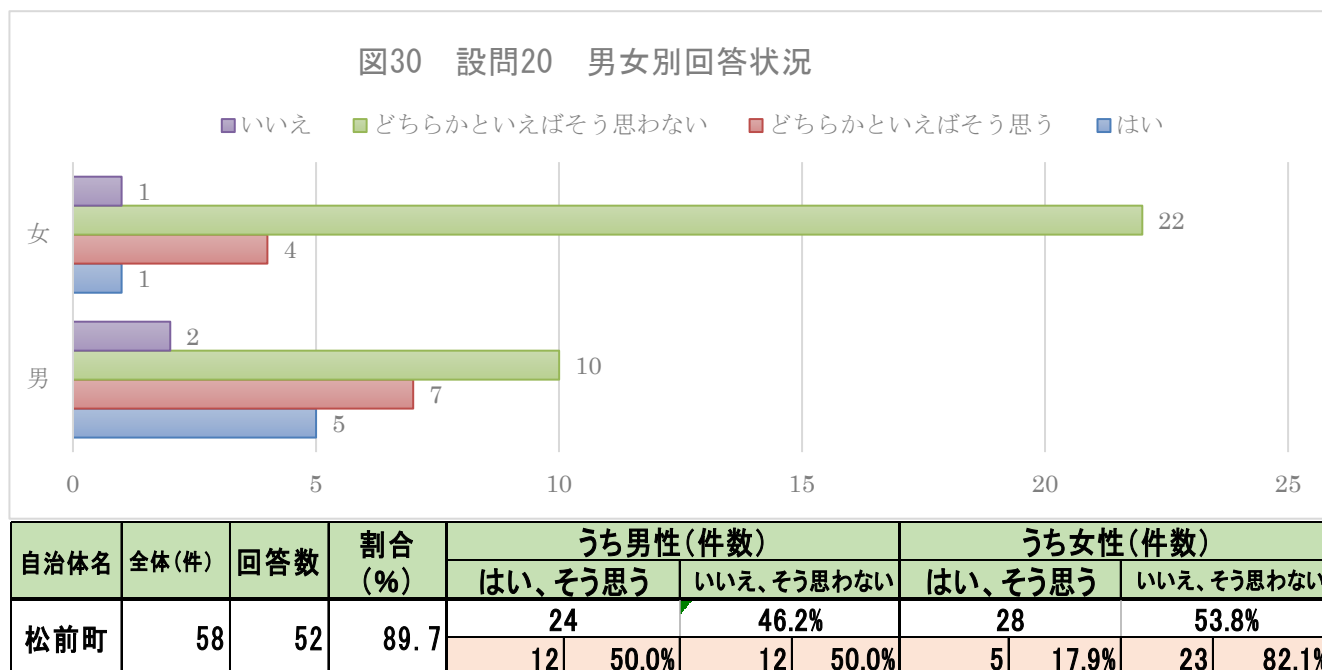
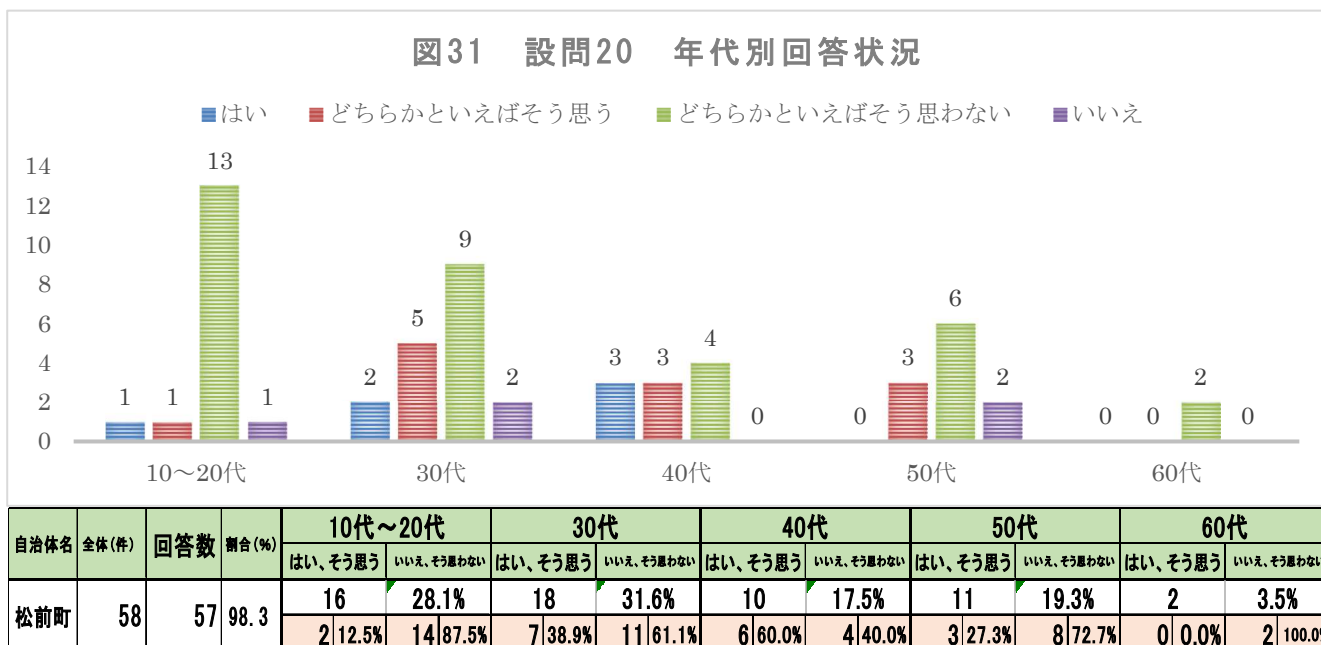


図 31 により、各年代別の状況を見てみると、全体の傾向に近いのは 50 代のみで、全体的にかなりバラツキがあった。特に 10 代～20 代は否定的な回答が多く、40 代では逆に肯定的な方の割合が高いなど、年代によって意識に差異が認められた。

図 31 設問 20 年代別回答状況



シ 設問 22～23 (産休・育休等休暇制度の活用が自身のキャリア形成に与える影響はないと思いますか?)

設問に対する回答数は 58 件 (全体 58 件) で、問いに対し、図 32 のとおり、肯定的な回答割合が 41% であった一方で、否定的な回答割合は 59% と、半数以上の方が「自身のキャリア形成に影響がある」と認識している結果となった。

図 32 設問 22 項目別回答状況

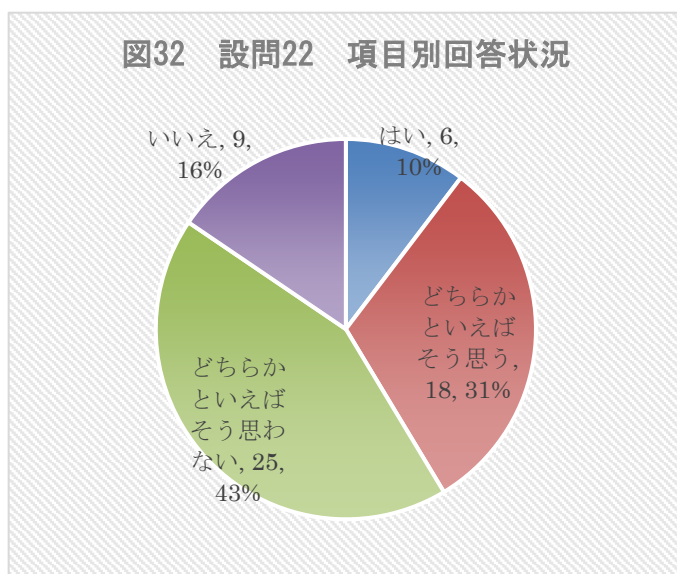


図 33 により、性別の状況を見ると、男女とも全体の傾向に近い結果となっているが、女性の方が肯定的な回答割合が高かったのに対し、男性は否定的な回答割合が高いという結果となった。どちらかと言えば、男性の方が、制度の活用が自身のキャリア形成に影響があると、より強く認識している結果となった。

図33 設問22 男女別回答状況

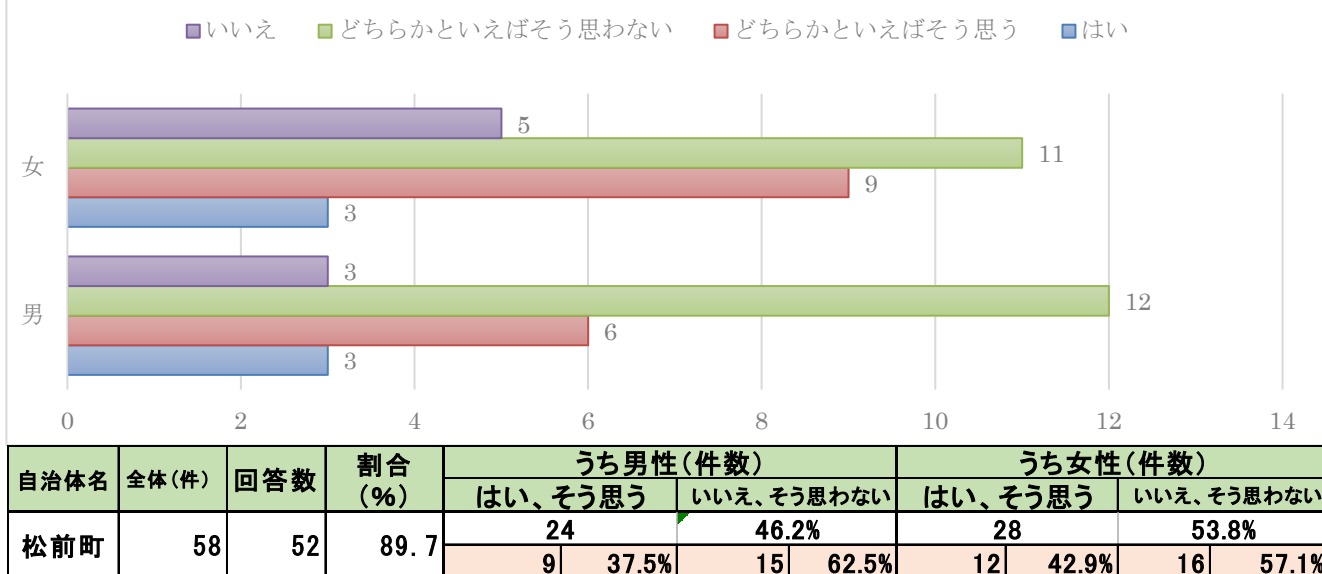
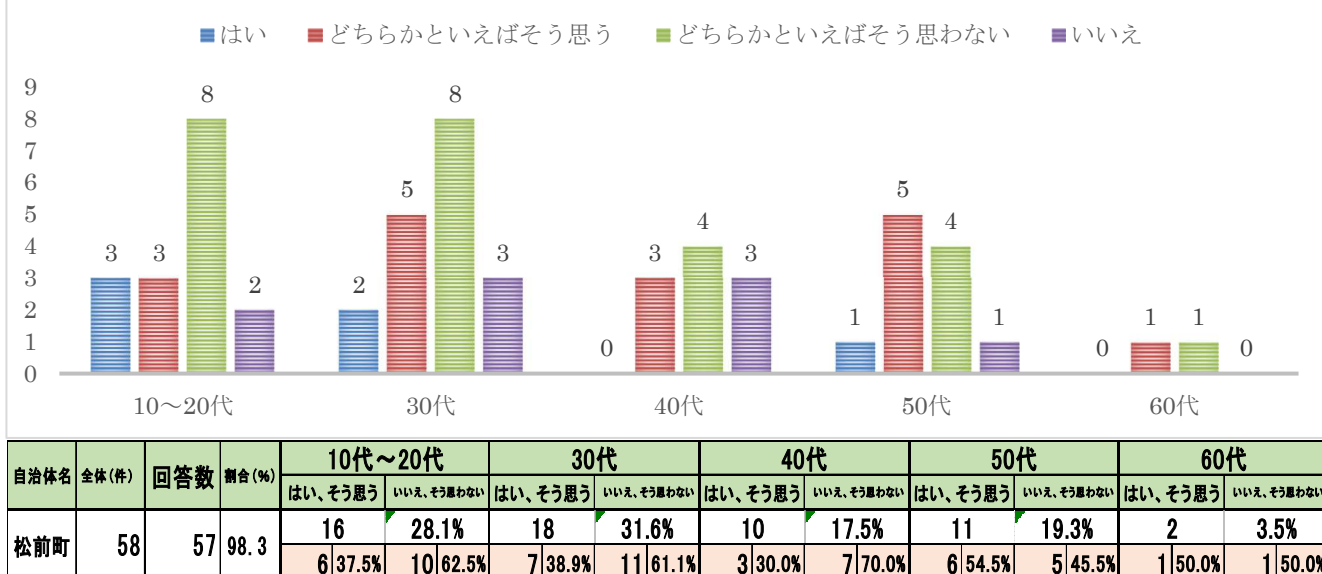


図 34 により、各年代別の状況を見てみると、全体的にバラツキがあるものの、50代を除き、他の年代は概ね全体の傾向と同様、否定的な回答割合が高かった。50代は、肯定的な回答割合が過半数を超えており、他の年代と比べて自身のキャリアへの影響を感じていない方の割合が高いという結果となった。

図34 設問22 年代別回答状況



ス 設問 24～25（女性職員に対する職場での教育・研修環境は整っていると思いますか？）

設問に対する回答数は58件（全体58件）で、問いに対し、図35のとおり、肯定的な回答割合は約50%、否定的な回答割合は約50%と、肯定、否定とも同じ割合という結果となった。

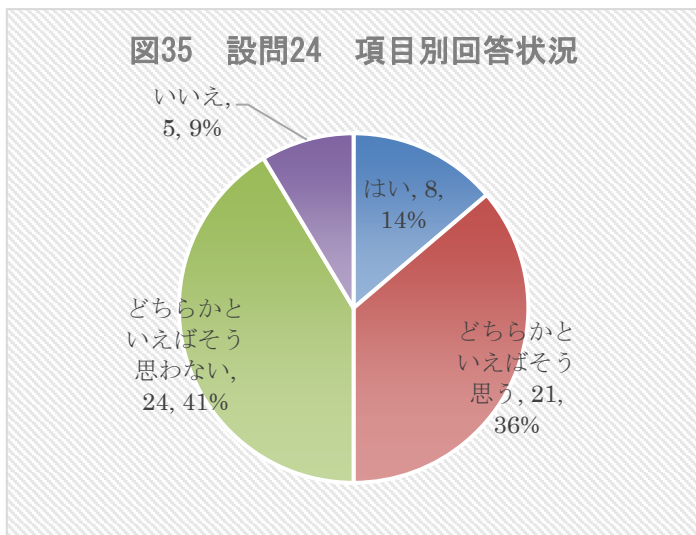


図36により、性別による回答を見てみると、性別に関わらず全体の傾向と概ね同様の結果ではあるが、女性の方が肯定的な回答割合が男性よりも若干高かった。

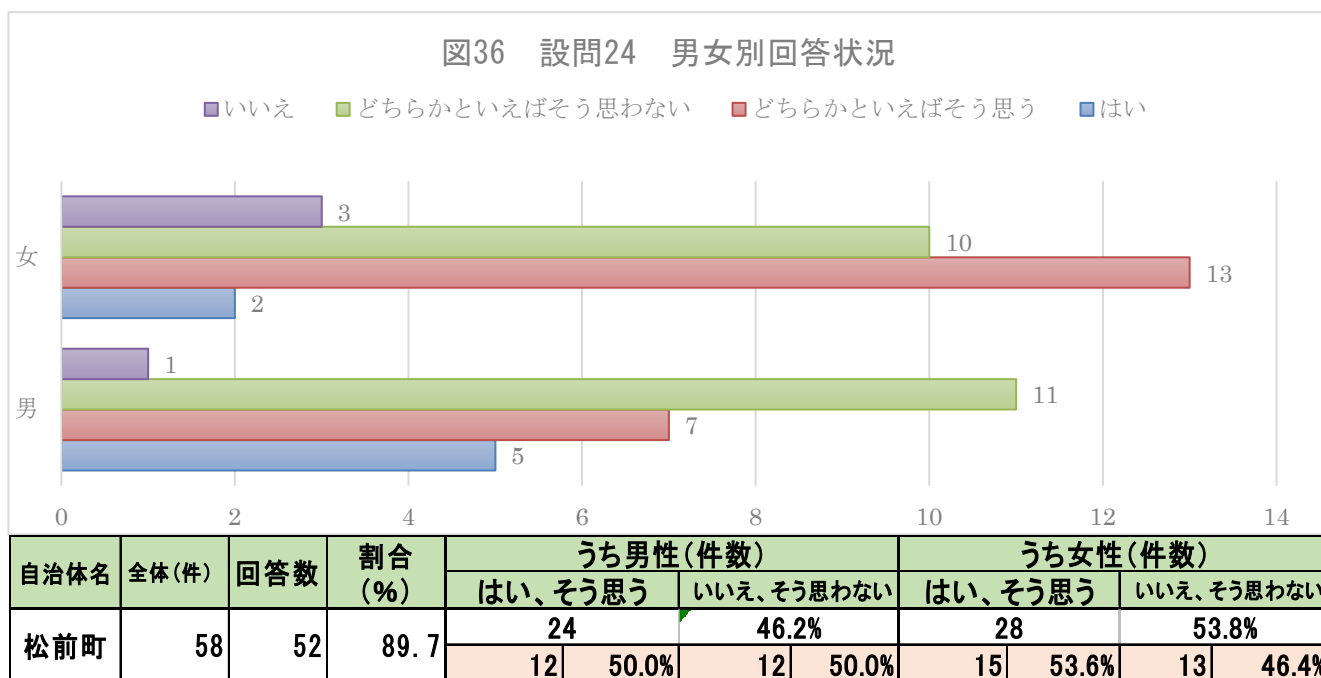
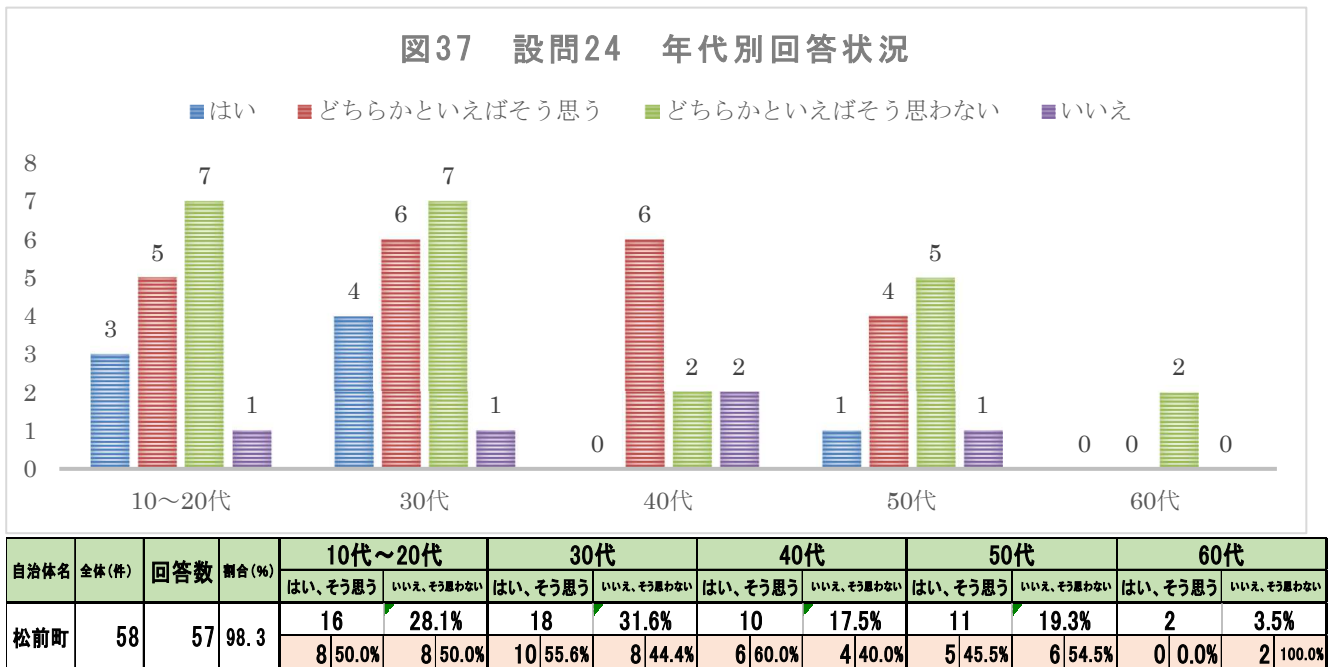


図 37 のとおり、各年代別の状況を見てみると、各年代とも全体の傾向に近い結果ではあるが、他の年代と比べ、特に 40 代が全体よりも肯定的な回答の割合がやや高かった。



セ 設問 26～27（女性職員の能力・スキルの向上について、組織としての支援は十分だと思いますか？）

設問に対する回答数は 57 件（全体 58 件）で、問いに対し、図 38 のとおり、肯定的な回答をした方の割合は、約 51%、否定的な回答割合は約 49%と、肯定、否定とも概ね同じ割合という結果となった。

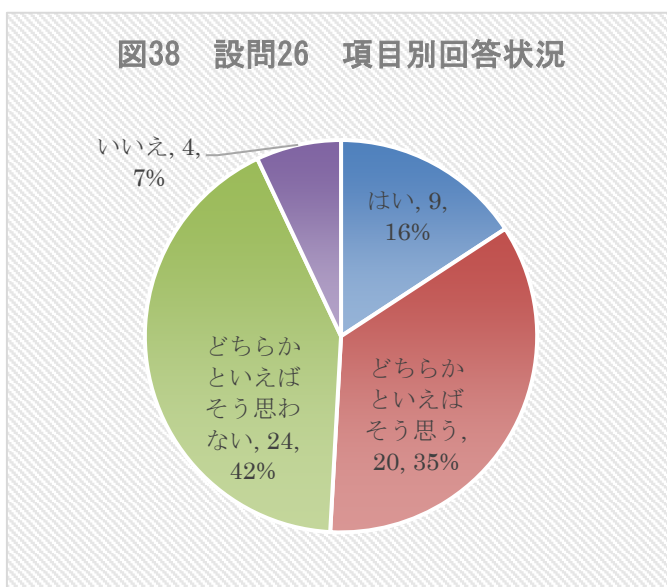


図 39 のとおり、性別による回答状況を見ると、性別に関わらず全体の傾向と概ね同様の傾向であり、男女間で特に大きな差異は認められなかった。

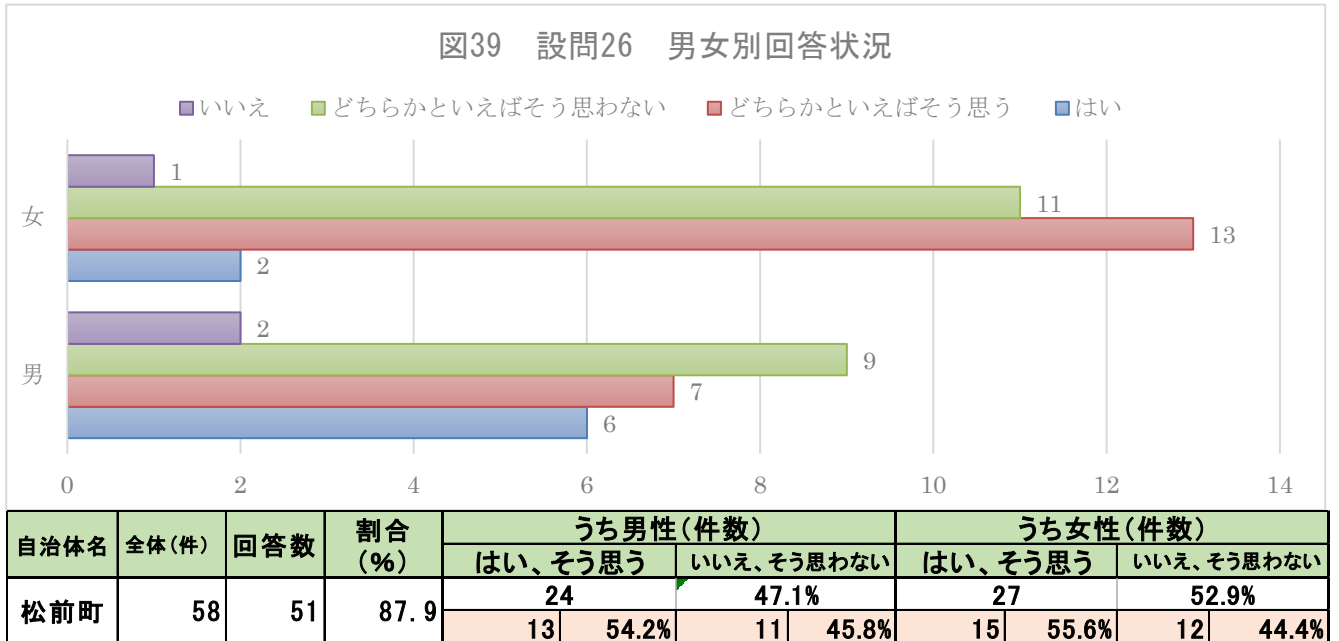
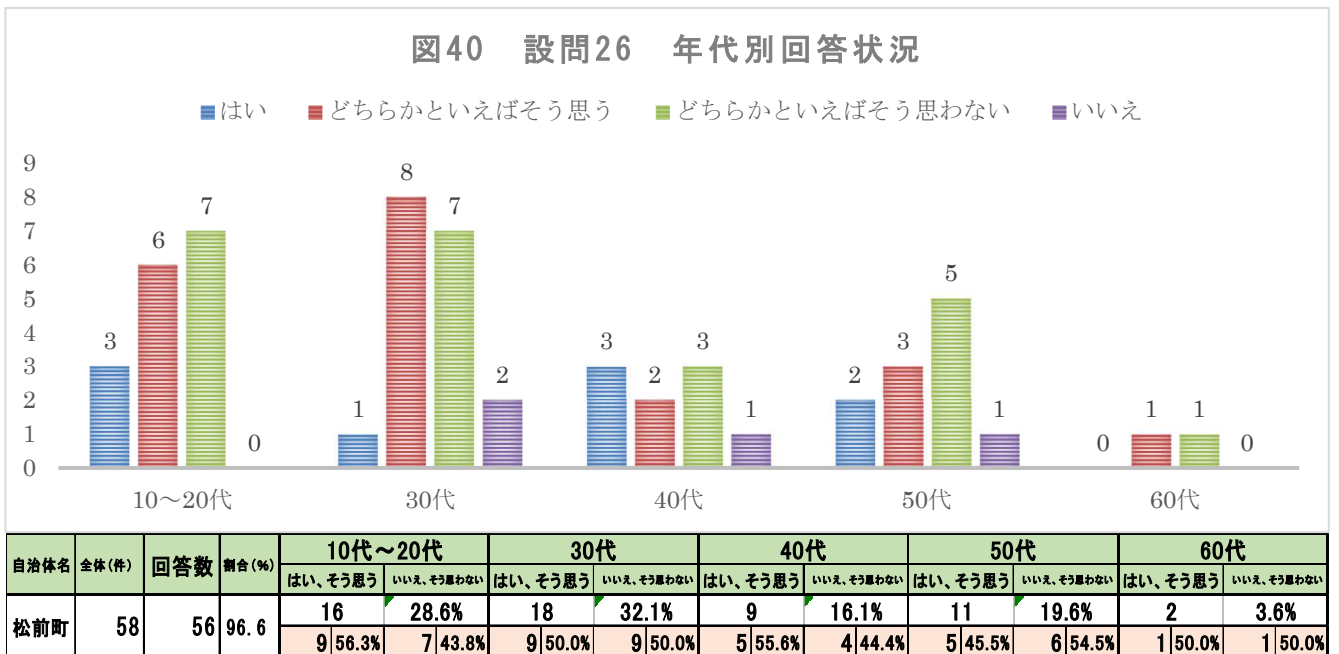


図 40 のとおり、各年代別の状況を見てみると、各年代とも概ね全体の傾向と同様の傾向ではあったが、50代のみ、肯定的に回答した方の割合が、他の年代と比較してやや低く、50%を切っていた。



③働きやすさについて

ソ 設問 28～29（職場では時差出勤やテレワークなど多様な働き方の制度が整っていると思いますか？）

設問に対する回答数は57件（全体58件）で、問いに対し、図41のとおり、肯定的な回答割合は約7%で、否定的な回答割合は、約93%であった。制度が整っていないと感じている方が過半数を超える結果となった。

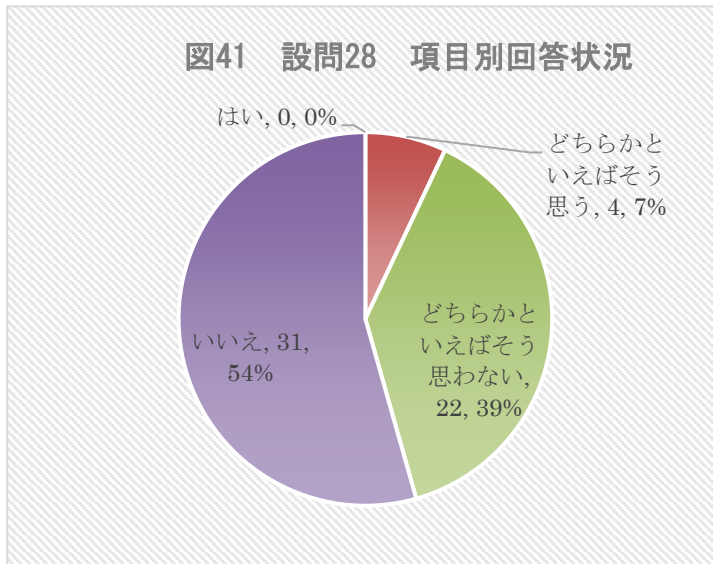


図42のとおり、性別の状況を見てみると、性別に関わらず全体の傾向と概ね同様の結果となった。男性の方が、全体の傾向よりも肯定的な回答割合がやや高かった一方で、女性の方はやや低かった。

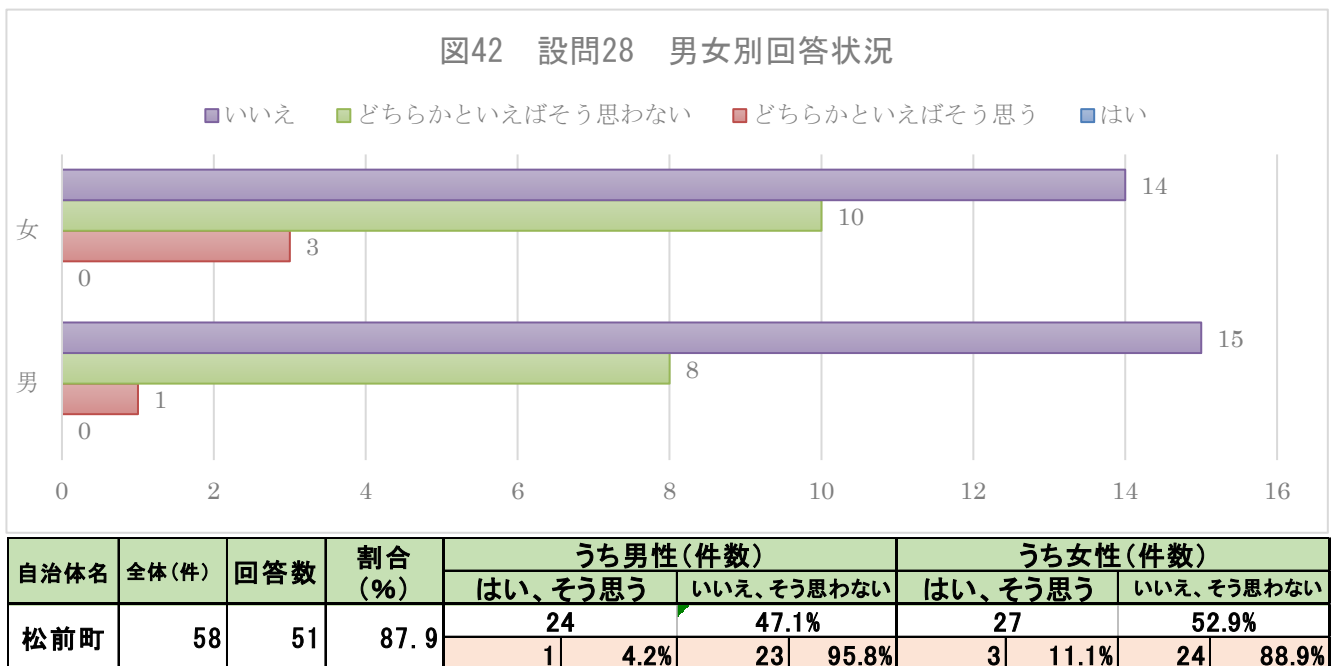
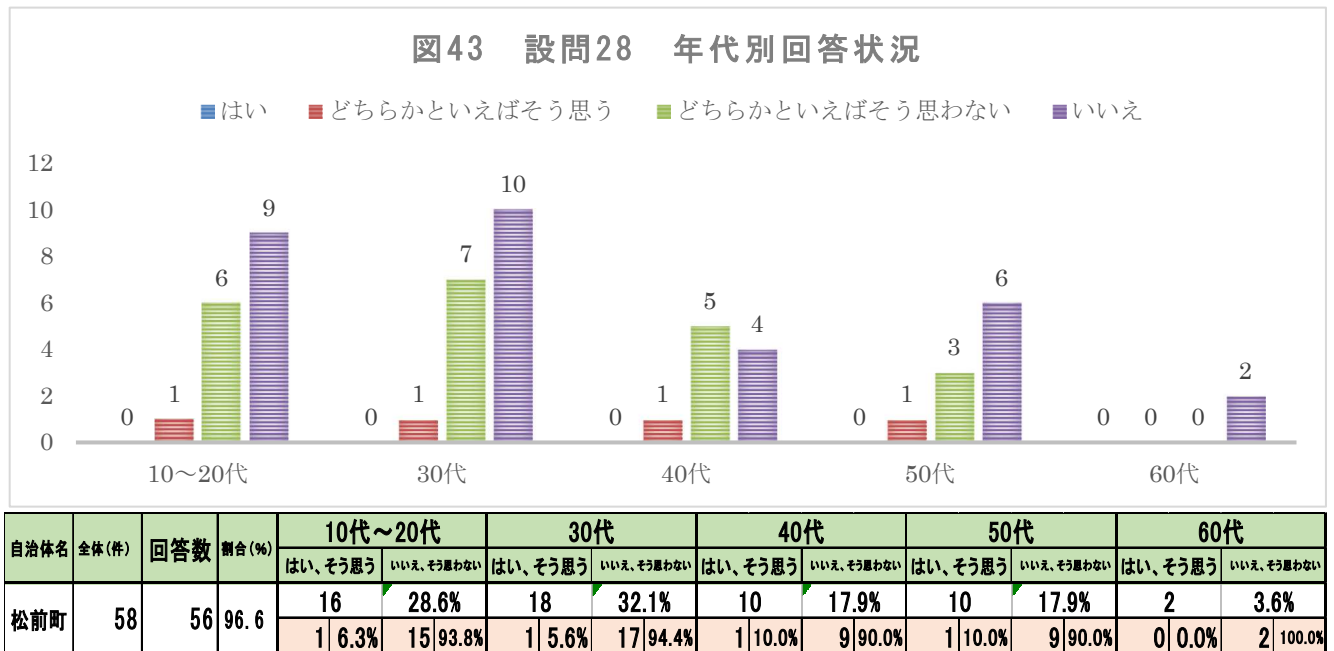


図 43 のとおり、各年代別の状況を見てみると、どの年代も全体の傾向と概ね同様に否定的な回答が大半を占めた。



タ 設問 30～31（職場の福利厚生（過重労働対策、メンタル相談ほか）制度は整っていると思いますか？）

設問に対する回答数は58件（全体58件）で、図44のとおり、問いに対し、制度が整っていると肯定的に感じている方は約33%で、そうでないと感じている方は約67%であった。多くの方が、制度が整っていないと感じている結果となった。

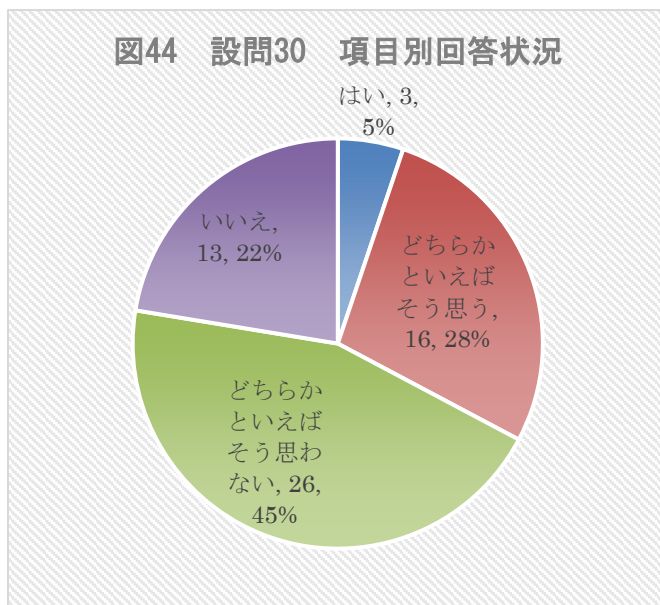


図 45 のとおり、性別の状況を見ると、男性は全体の傾向に近い結果であったが、女性は、肯定的な回答割合が42.9%とやや高かった。女性の方が、男性よりも、より福利厚生制度が充実していると感じている結果となった。

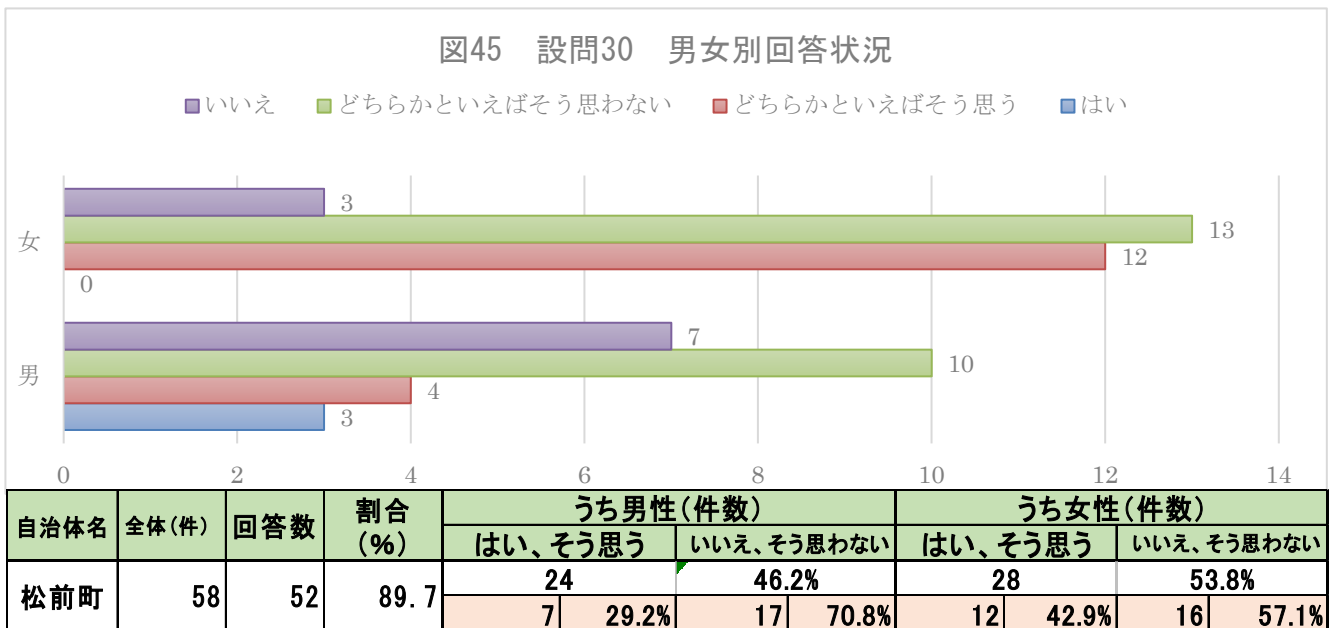
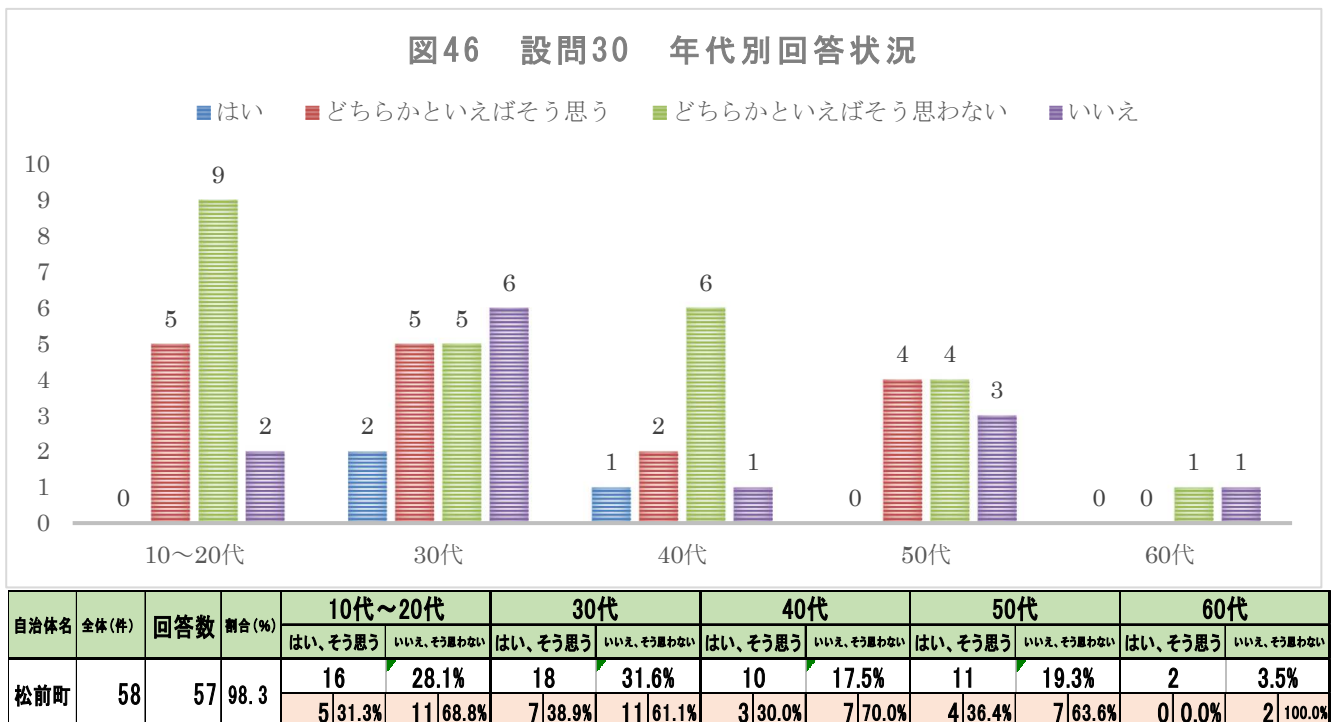


図 46 のとおり、各年代別の状況を見てみると、若干のバラツキはあるものの、60代を除き、各年代とも全体の傾向に近い結果となった。



チ 設問 32～33（職場において休暇（年休、夏季休暇）は取得しやすいですか？）

設問に対する回答数は57件（全体58件）で、図47のとおり、問いに対し、休暇を取得しやすいと肯定的な回答割合は約68%で、否定的な回答割合は約32%であった。多くの職員が休暇を取得しやすいと感じて伊R結果となった。

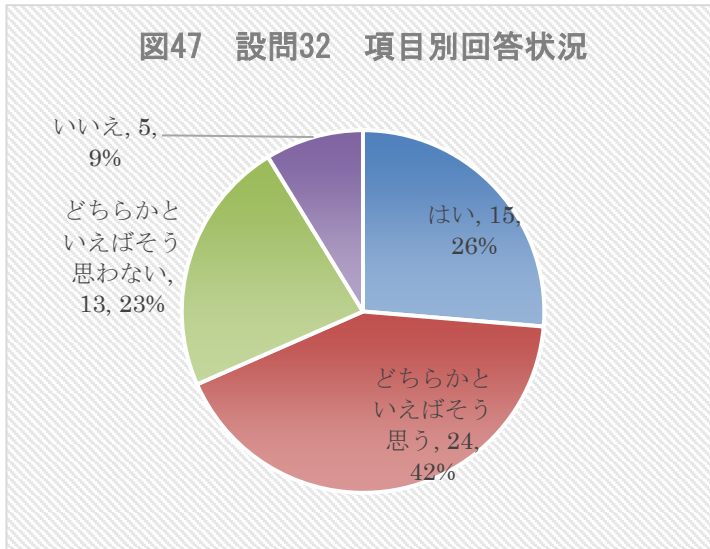


図48のとおり、性別の状況を見ると、性別に関わらず、全体の傾向と概ね同様の結果となったほか、特段の差異も認められなかった。

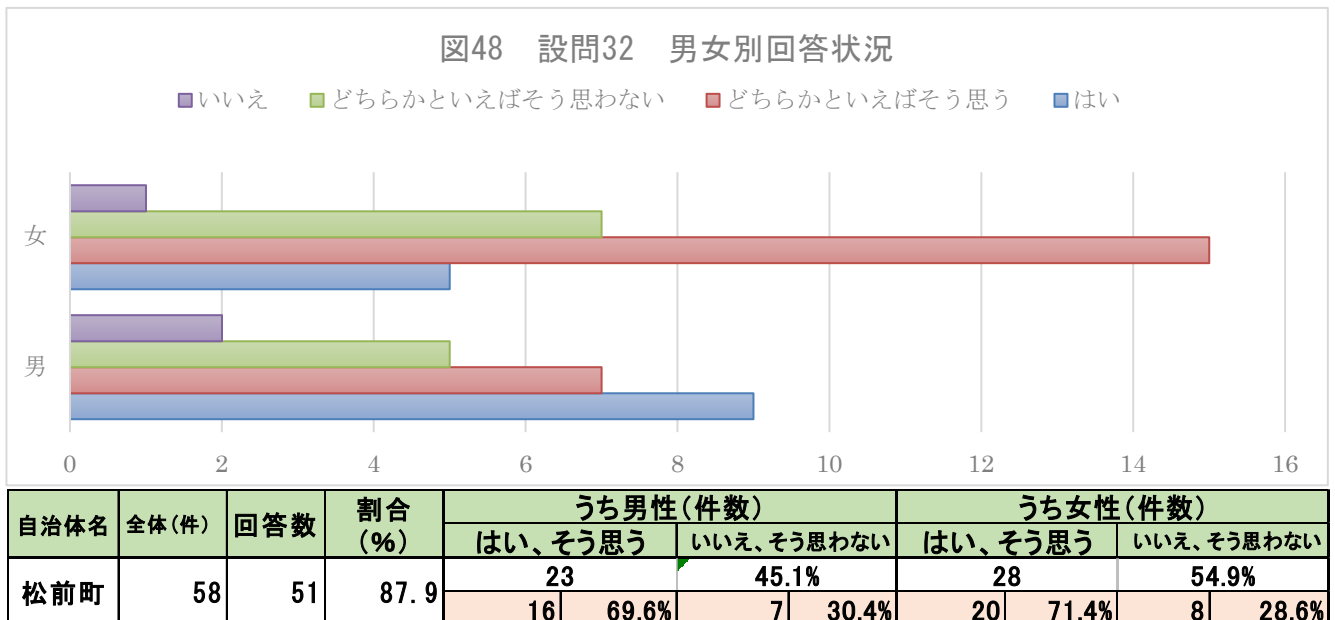
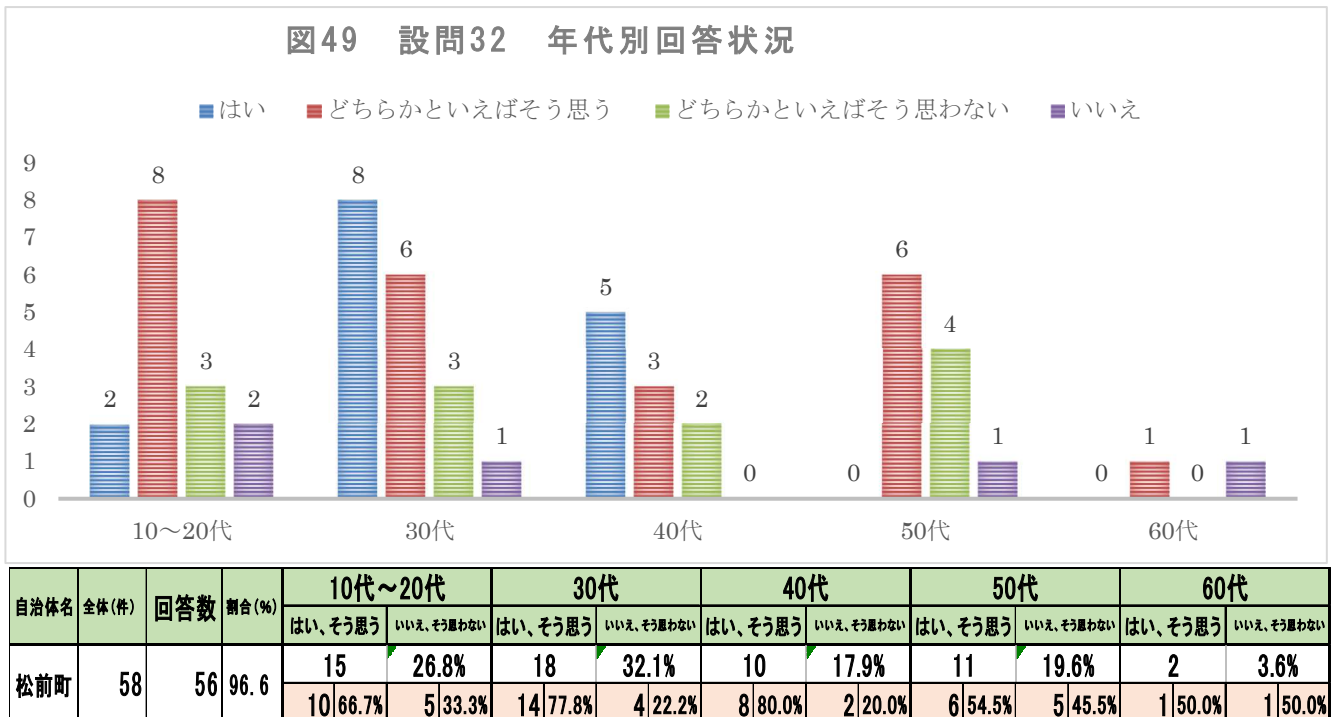


図 49 のとおり、各年代別の状況を見てみると、全体的にバラツキがあり、全体の傾向と比較すると、30代は77.8%、40代は80.0%と、肯定的な回答割合が高く、50代以降は50%台とやや低かった。

図49 設問32 年代別回答状況



ツ 設問 34~35 (産休・育休等休暇制度は、十分に活用できていますか?)

設問に対する回答数は58件(全体58件)で、問いに対し、図50のとおり、制度の活用に関しては約63%の方が活用できていると回答した一方で、活用できていないと回答した方は約37%であった。比較的活用されていると思われる一方で、実際は活用できていない方も一定数いるものと思われる。

図50 設問34 項目別回答状況

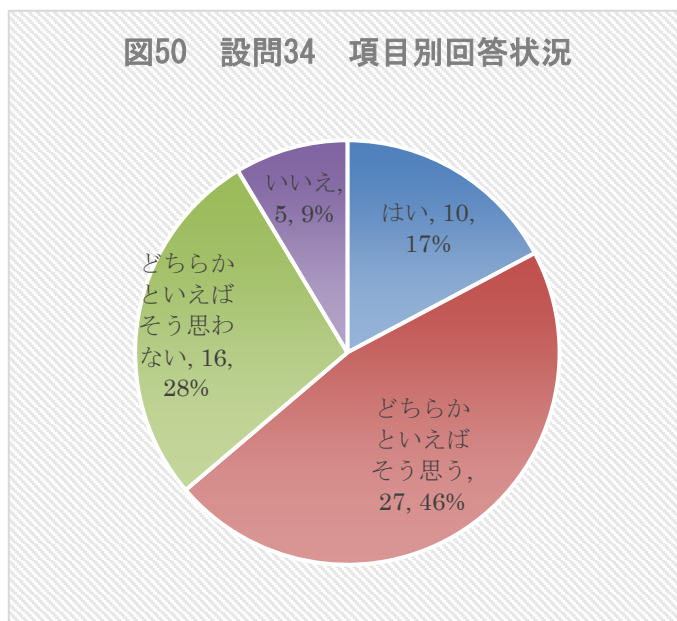
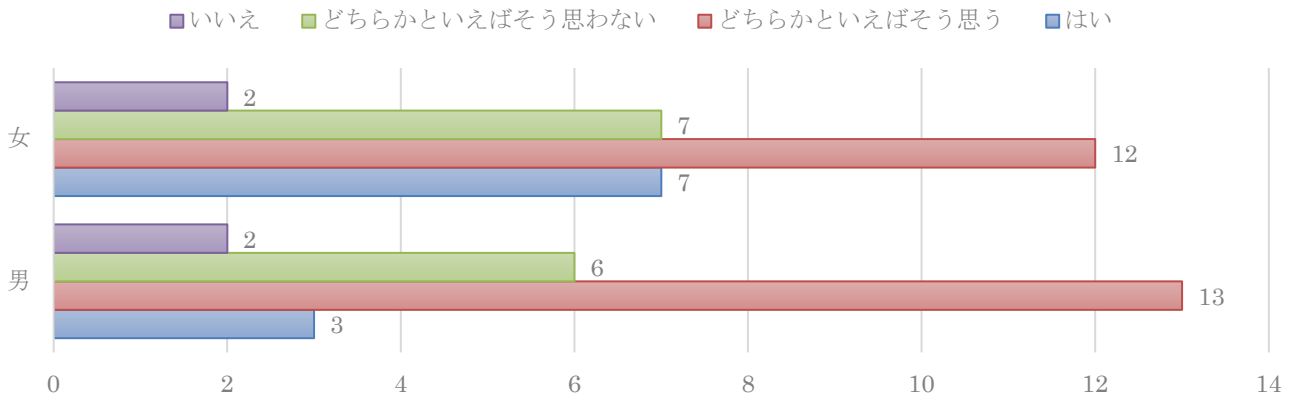


図 51 のとおり、性別の状況を見ると、性別に関わらず全体の傾向と同様の結果となったほか、全体と比較しても特段の差異は認められなかった。

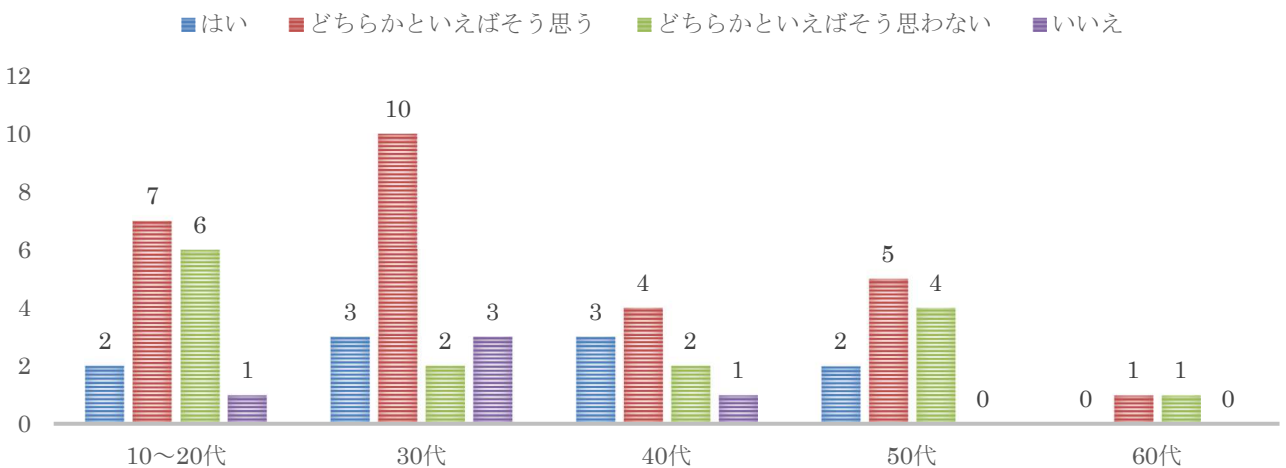
図51 設問34 男女別回答状況



自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	うち男性(件数)		うち女性(件数)	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない
松前町	58	52	89.7	24	46.2%	28	53.8%
				16	66.7%	8	33.3%

図 52 のとおり、各年代別の状況を見てみると、全体的にバラツキがあり、10～20代は56.3%で肯定的な回答割合がやや低かった一方で、30代は72.2%、40代は70.0%と、やや高めであった。

図52 設問34 年代別回答状況



自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代~20代		30代		40代		50代		60代							
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない						
松前町	58	57	98.3	16	28.1%	18	31.6%	10	17.5%	11	19.3%	2	3.5%						
				9	56.3%	7	43.8%	13	72.2%	5	27.8%	7	70.0%	3	30.0%	7	63.6%	4	36.4%

テ 設問 36～37（職場内におけるワークシェアリングなど、休暇を取得しやすい取り組みは進んでいると思いますか？）

設問に対する回答数は 58 件（全体 58 件）で、問いに対し、図 53 のとおり、肯定的な回答割合は全体で約 30%、否定的な回答割合は約 70% という結果となった。多くの方が、取り組みが進んでないと感じている結果となった。

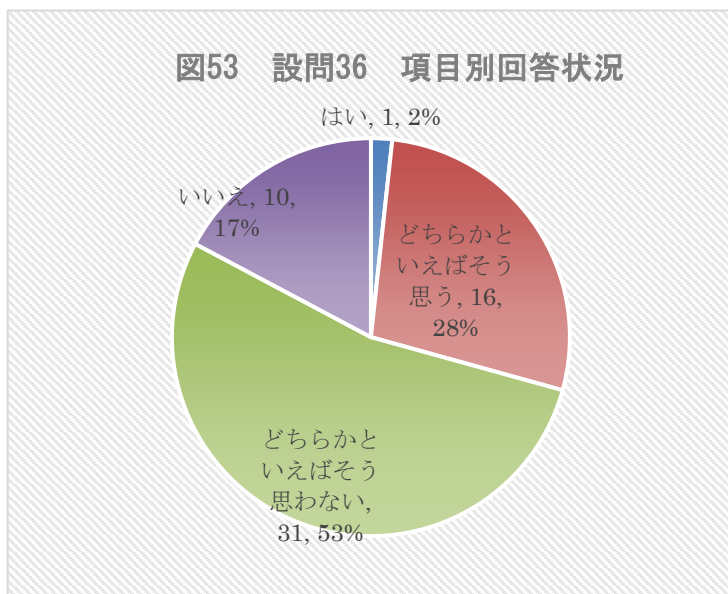


図 54 のとおり、性別で見ると、性別に関わらず全体の傾向と概ね同様の結果であった。性別による大きな差異は認められなかった。

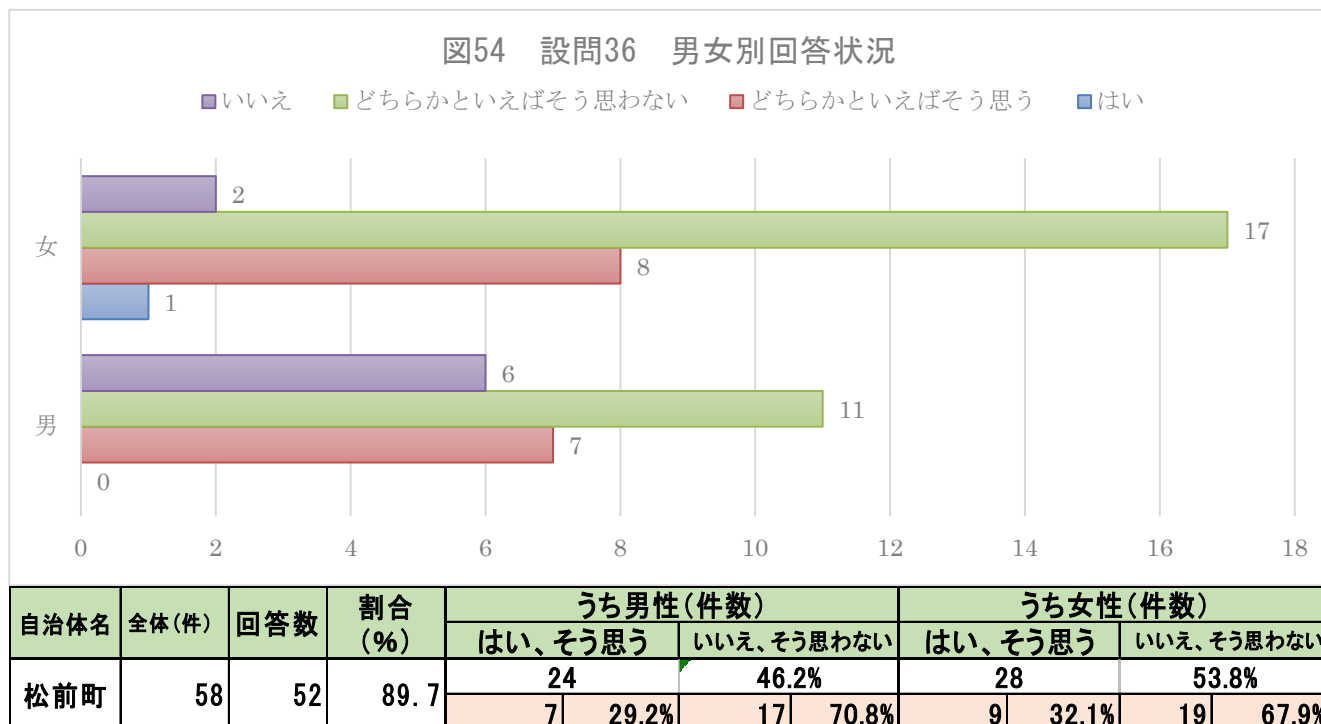
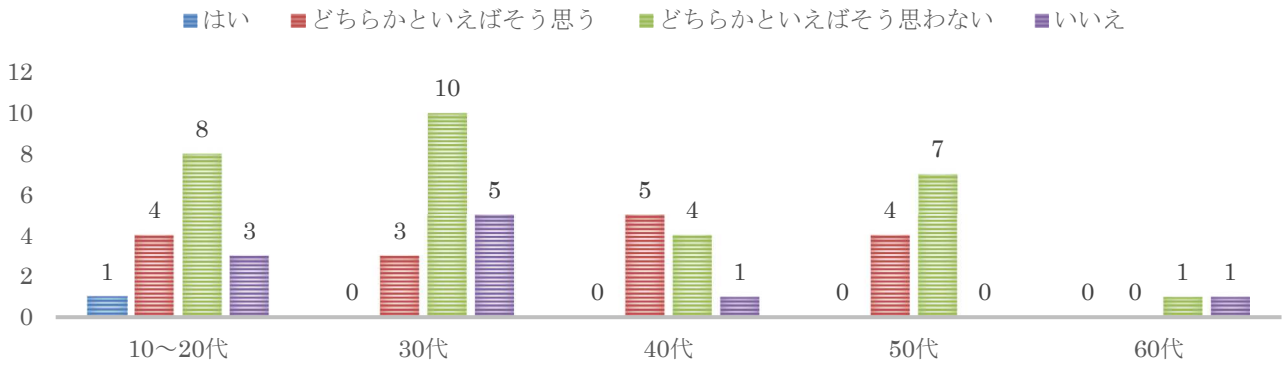


図 55 のとおり、各年代別の状況を見てみると、各年代によってバラツキがあり、全ての年代で概ね否定的な回答割合が高いが、30代は16.7%と肯定的な回答割合がかなり低かった一方で、40代は50.0%と逆に高かった。年代による認識の相違が認められた。

図55 設問36 年代別回答状況



自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代~20代		30代		40代		50代		60代							
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない								
松前町	58	57	98.3	16	28.1%	18	31.6%	10	17.5%	11	19.3%	2	3.5%						
				5	31.3%	11	68.8%	3	16.7%	15	83.3%	5	50.0%	5	50.0%	4	36.4%	7	63.6%

④職場環境について

ト 設問 38~39 (職場のオフィス環境に満足していますか?)

設問に対する回答数は58件(全体58件)で、問いに対し、図56のとおり、肯定的な回答割合は約41%、否定的な回答割合は、約59%という結果となった。現在のオフィス環境に満足されていない方が過半数を超える結果となった。

図56 設問38 項目別回答状況

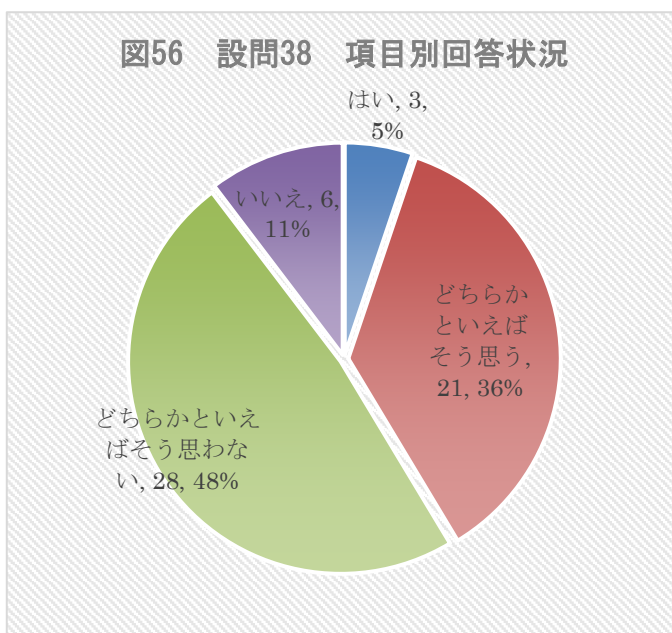


図 57 のとおり、性別で見ると、男性は全体の傾向に近い結果となったが、女性は肯定、否定が半数ずつに分かれた。男性よりも女性の方がオフィス環境の万読度がやや高い結果となった。

図57 設問38 男女別回答状況

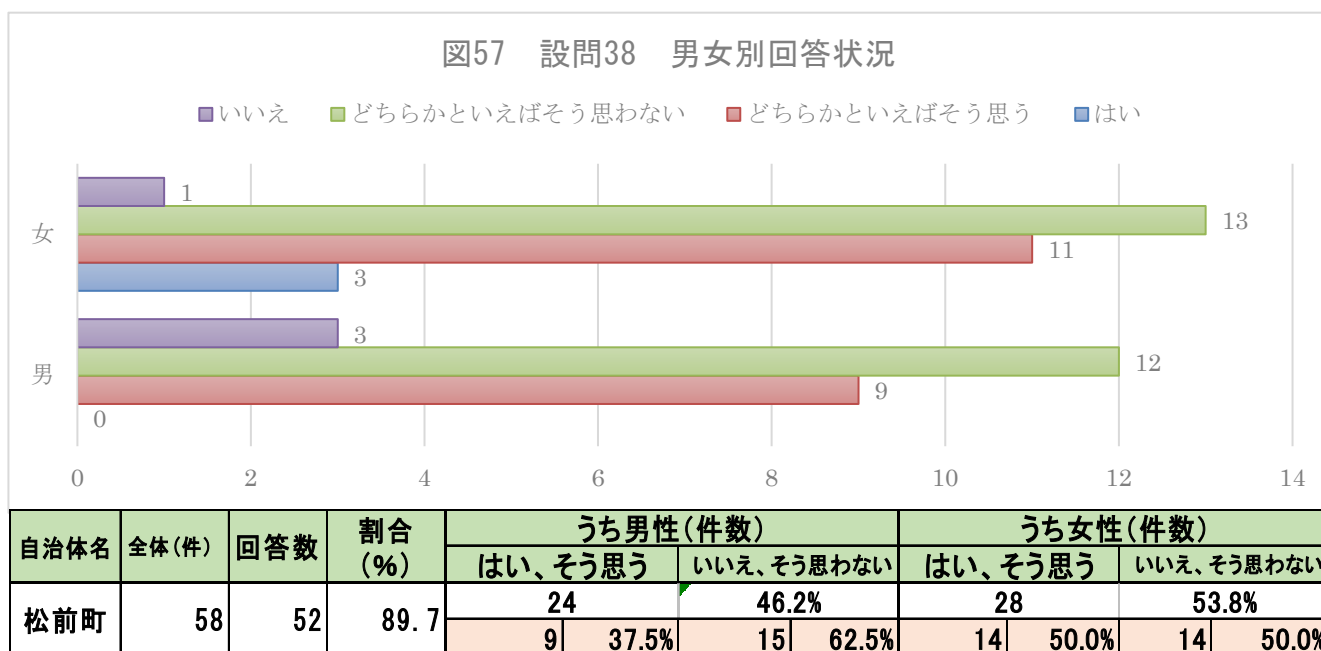
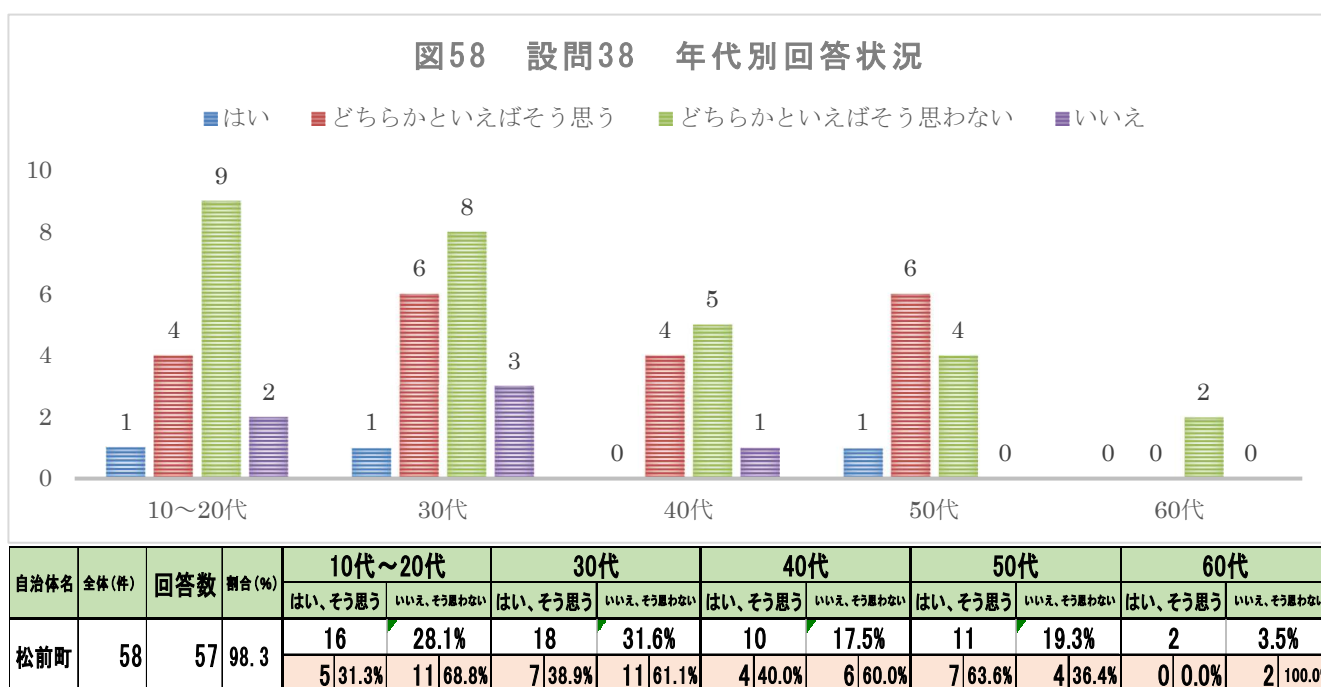


図 58 のとおり、各年代別の状況を見てみると、全体的に否定的な回答割合が高かったものの50代のみが肯定的な回答割合（63.6%）が高かった。

図58 設問38 年代別回答状況



ナ 設問 40（快適な職場環境では何が必要と思いますか？（複数選択可））

※全体の総括の回答状況を参照（P45）

ニ 設問 41～42（市内LANをはじめ様々な業務システムやツールがありますが、業務を行う上で十分だと思いますか？）

設問に対する回答数は58件（全体58件）で、問いに対し、図59のとおり、肯定的な回答割合は約47%、否定的な回答割合は約53%で、否定的な評価が上回っており、業務システム等に関してはやや満足度の低い結果となった。

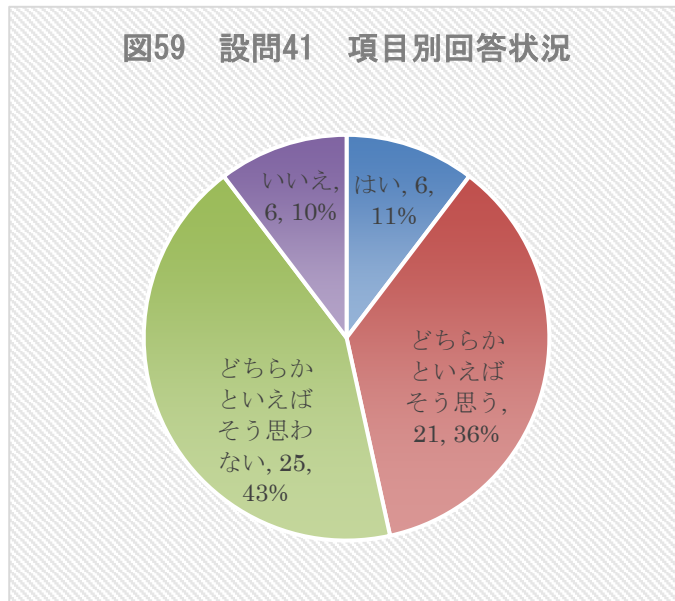


図60のとおり、性別の状況をみると、全体の傾向と比較すると男性の方が肯定的な回答割合が低く、一方で女性の肯定的な回答割合が高かった。男女間で意識差が認められた。

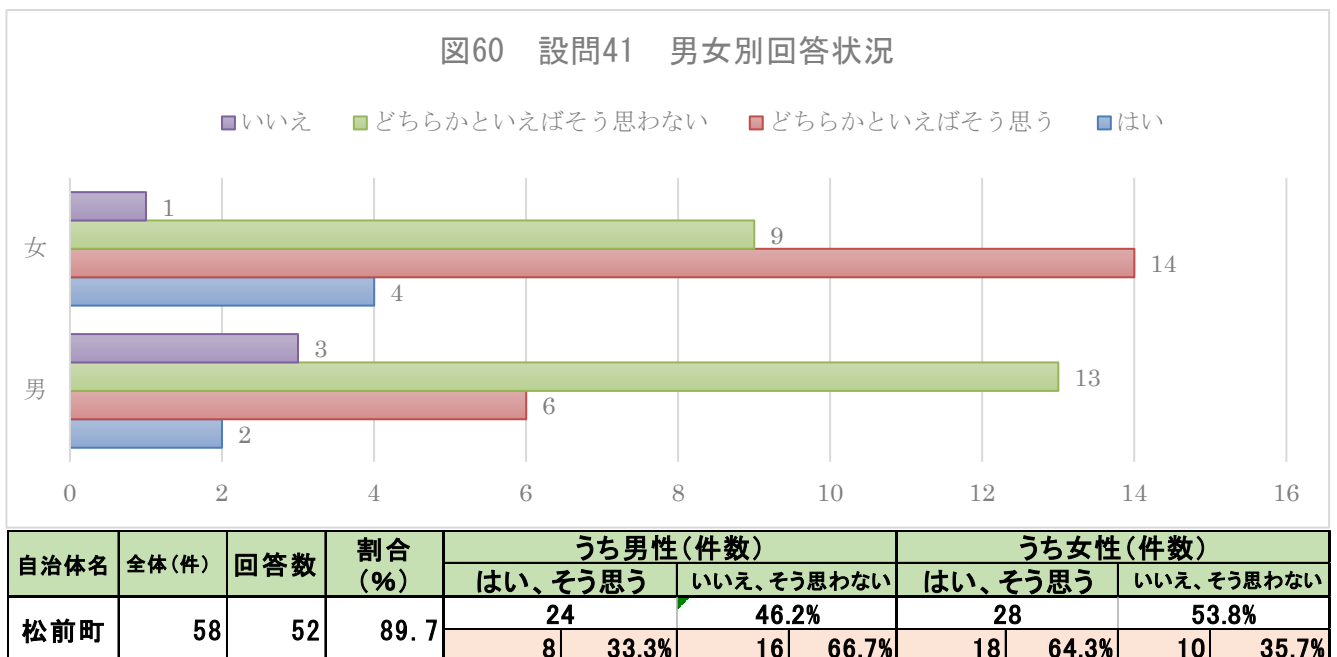
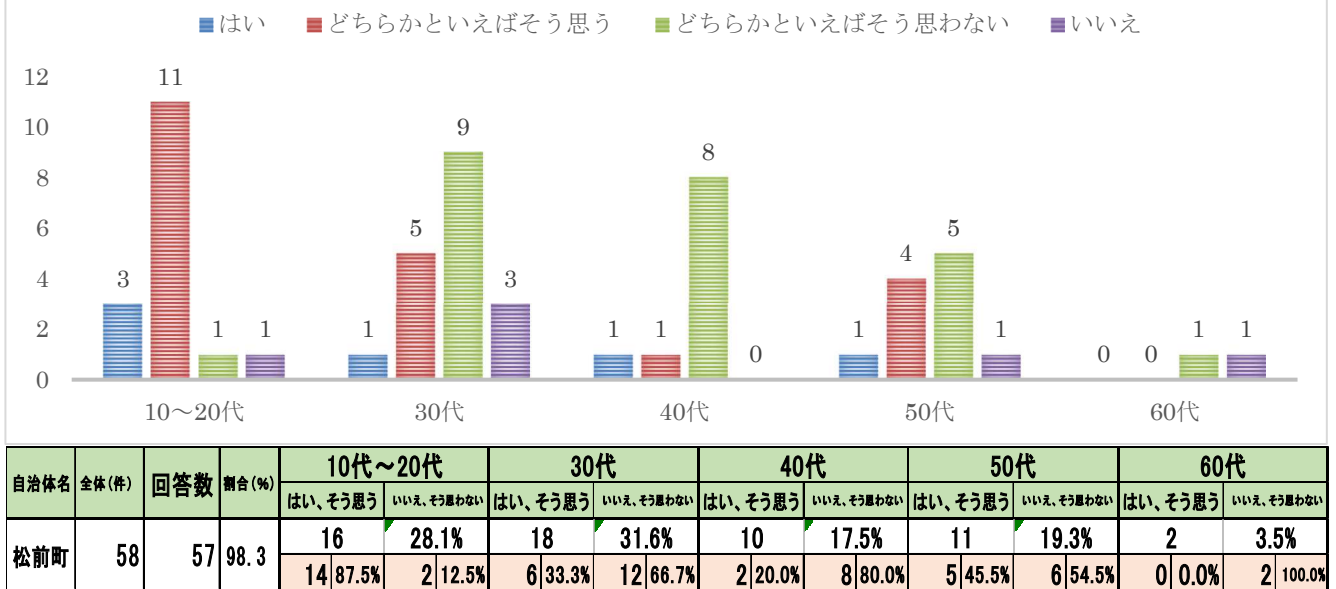


図 61 のとおり、各年代別の状況を見てみると、全体的にバラツキがあり、10～20代は87.5%と肯定的な回答が極めて高い割合であったが、30代以降は否定的な意見が多くを占め、特に40代は否定的な回答が80.0%であるなど、全体的に満足度は低い結果となった。

図61 設問41 年代別回答状況



又 設問 43 (職場において、キャリアアップや様々なハラスメント相談などに対応できる仕組みが整備されていますが、十分だと思いますか?)

設問に対する回答数は58件(全体58件)で、問いに対し、図62のとおり、肯定的な回答割合は約41%、否定的な回答割合は約59%となった。全体的には、否定的な意見が過半数を超えており、多くの職員が、キャリアアップ等に関する制度が不十分と感じている結果となった。

図62 設問43 項目別回答状況

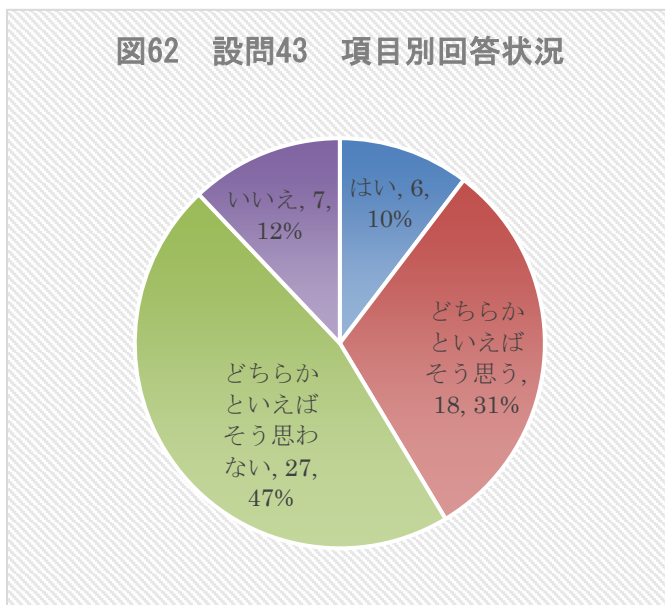


図 63 のとおり、性別の状況を見ると、全体の傾向と概ね近い傾向であり、若干ではあるが、女性よりも男性の方が肯定的な回答割合が高かった。

図63 設問43 男女別回答状況

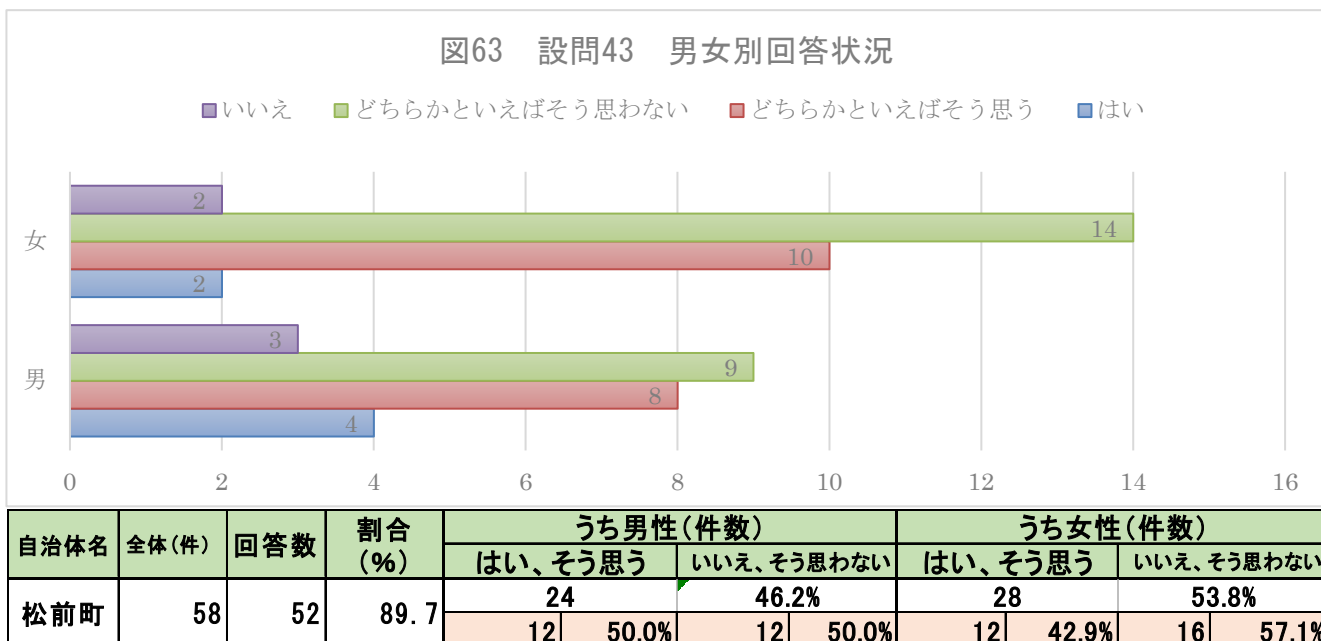
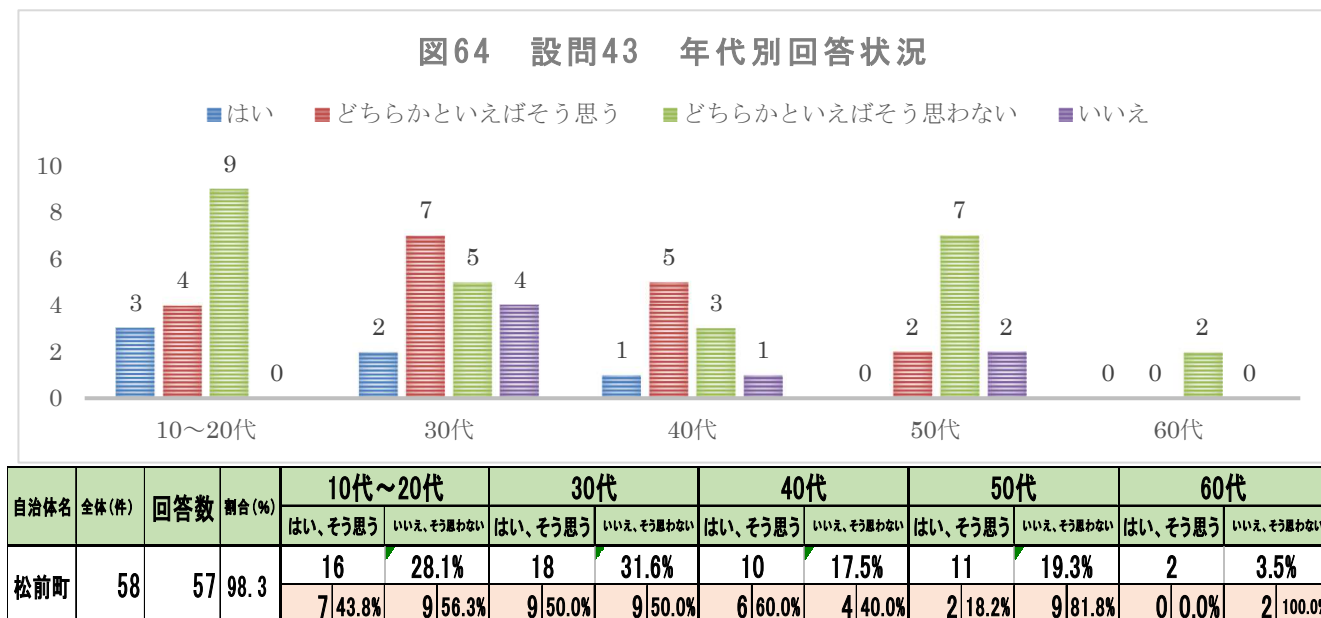


図 64 のとおり、各年代別の状況を見てみると、全体的にバラツキがあるものの、多くの年代が否定的な回答割合が高かったのに対し、40代のみ、肯定的な回答（60.0%）の割合が高かった。また、50代以降については、否定的な回答割合が高かった。

図64 設問43 年代別回答状況

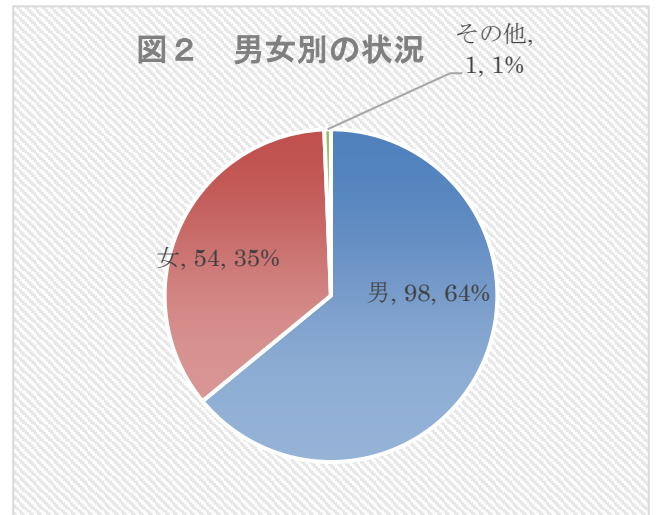
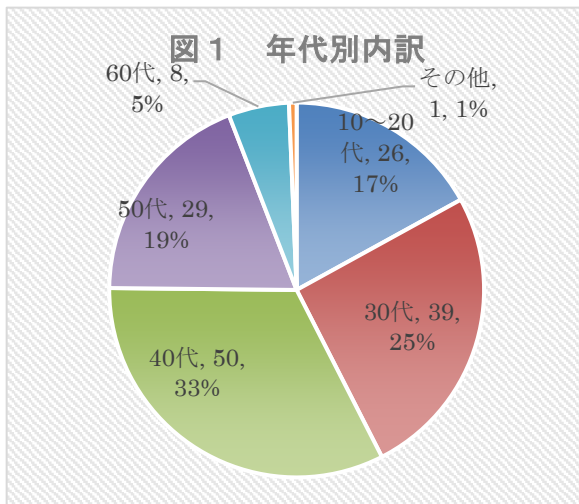


(4) 八幡浜市の状況について

①年齢、性別による回答状況について

ア 設問2～設問3（年齢、性別）

新居浜市における全体の回答者数は153件で、回答者の年代別、男女等別の回答数の状況は図1、図2のとおりとなった。40代の方の回答がやや多いものの、幅広い世代等の職員から回答を頂いた。



②女性の活躍について

イ 設問4（職場内で女性職員が増えたと思いますか？）

設問に対する回答数は153件（全体153件）で、問いに対し、図3のとおり、肯定的に回答された方が、全体の79%占め、否定的な回答割合は約21%だった。多くの職員が、女性職員の割合が増えていると感じている結果となった。

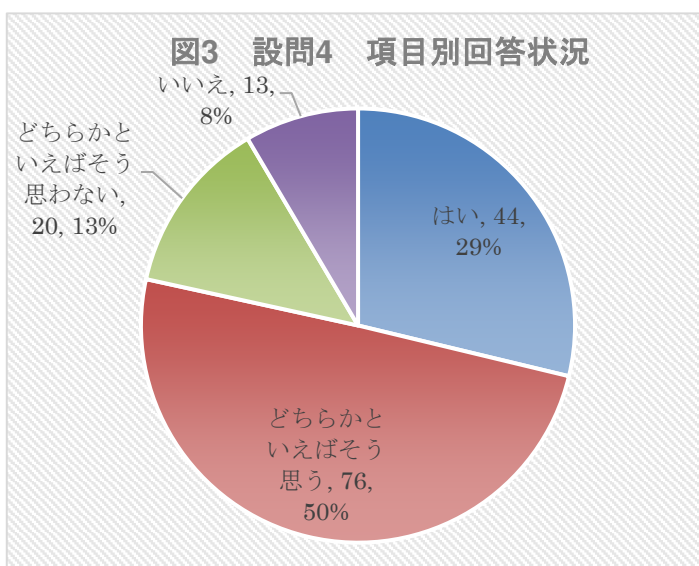
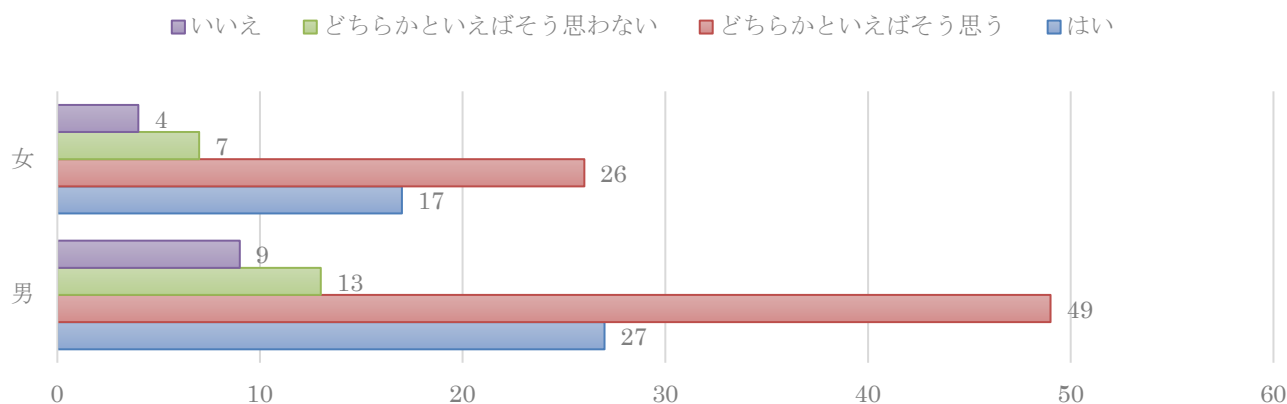


図4により、性別による回答状況をみると、全体の傾向と概ね同様であり、性別による大きな差異は認められなかった。

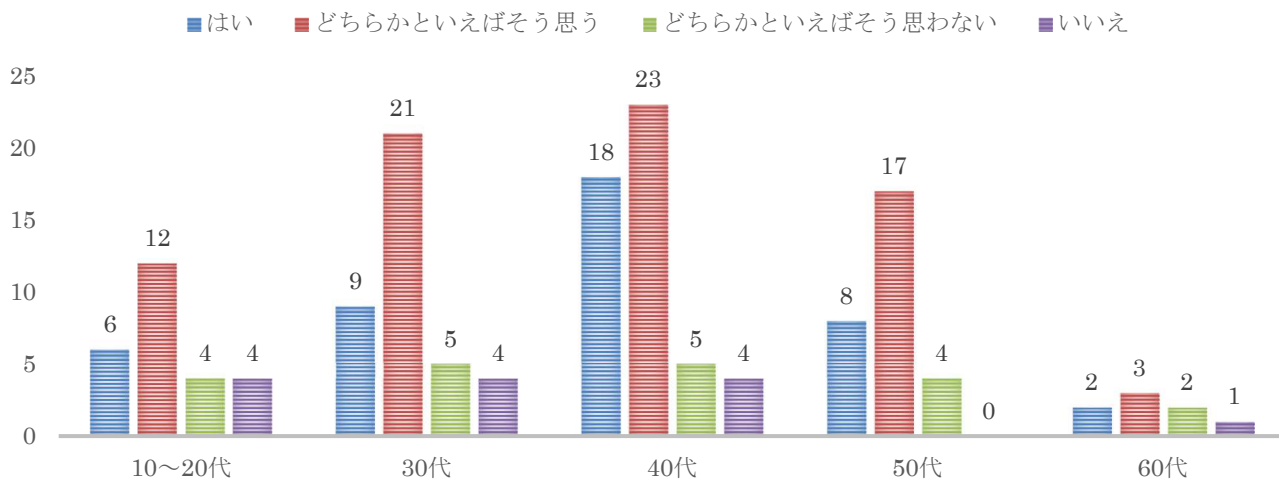
図4 設問4 男女別回答状況



自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	うち男性(件数)		うち女性(件数)	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない
八幡浜市	153	152	99.3	98	64.5%	54	35.5%
				76	77.6%	43	79.6%
						11	20.4%

次に、図5により、各年代別の状況を見てみると、どの年代も肯定的な回答割合が高かったが、特に40～50代がより高い傾向であった。

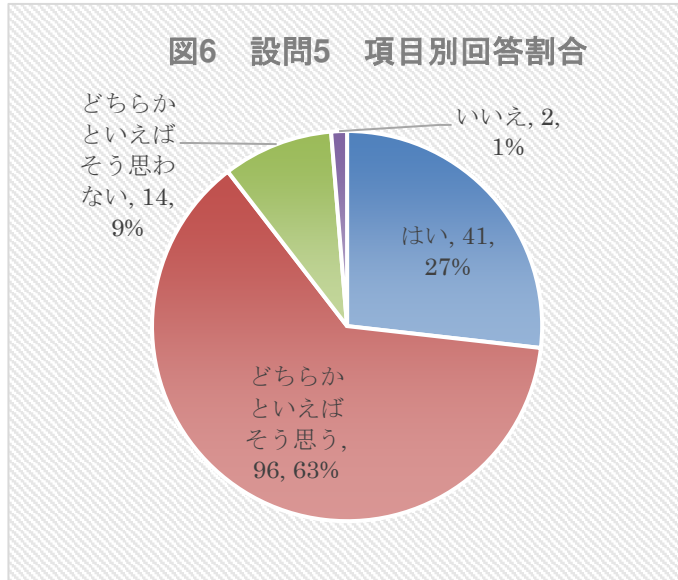
図5 設問4 年代別の回答状況



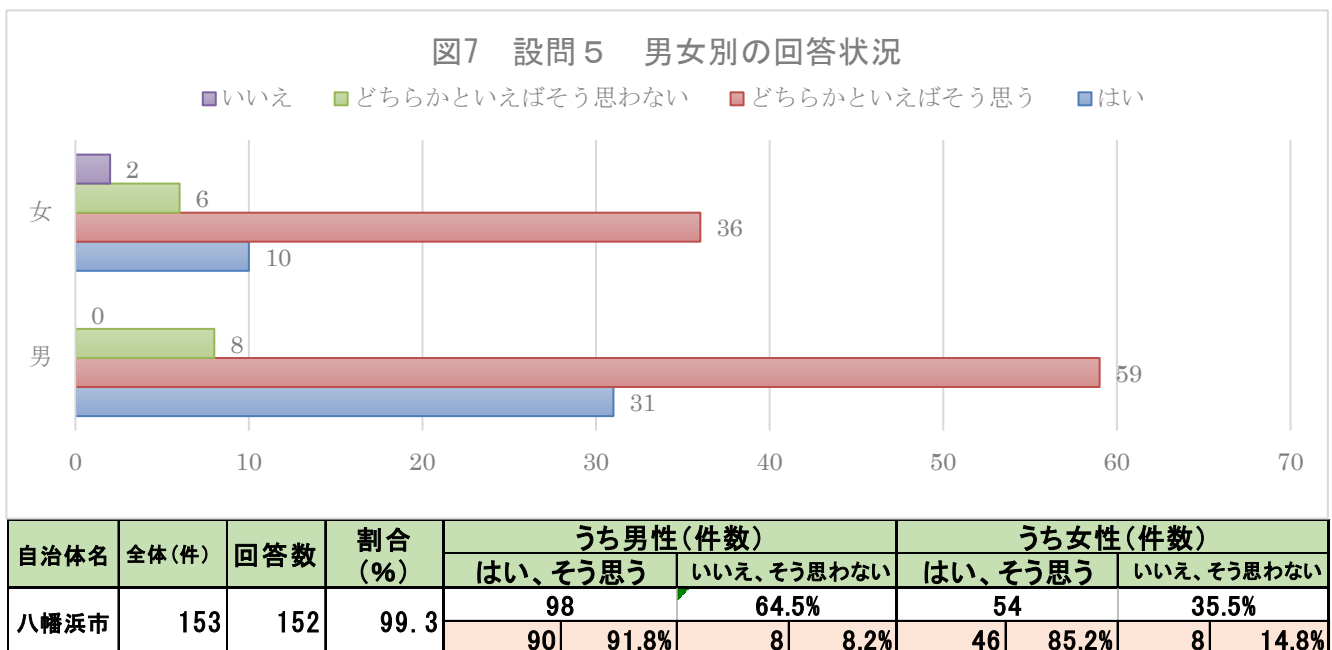
自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代～20代		30代		40代		50代		60代	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない
八幡浜市	153	152	99.3	26	17.1%	39	25.7%	50	32.9%	29	19.1%	8	5.3%
				18	69.2%	8	30.8%	30	76.9%	9	23.1%	41	82.0%
								9	18.0%	25	86.2%	4	13.8%
										5	62.5%	3	37.5%

ウ 設問5～6（職場内で性別や年齢、役職に関わらずコミュニケーションは円滑に図られていると思いますか？）

設問に対する回答数は153件（全体153件）で、問いに対し、図6のとおり、肯定的な回答割合が90%で、否定的な回答割合は約10%であった。多くの職員が円滑なコミュニケーションが図られていると感じているとの結果となった。

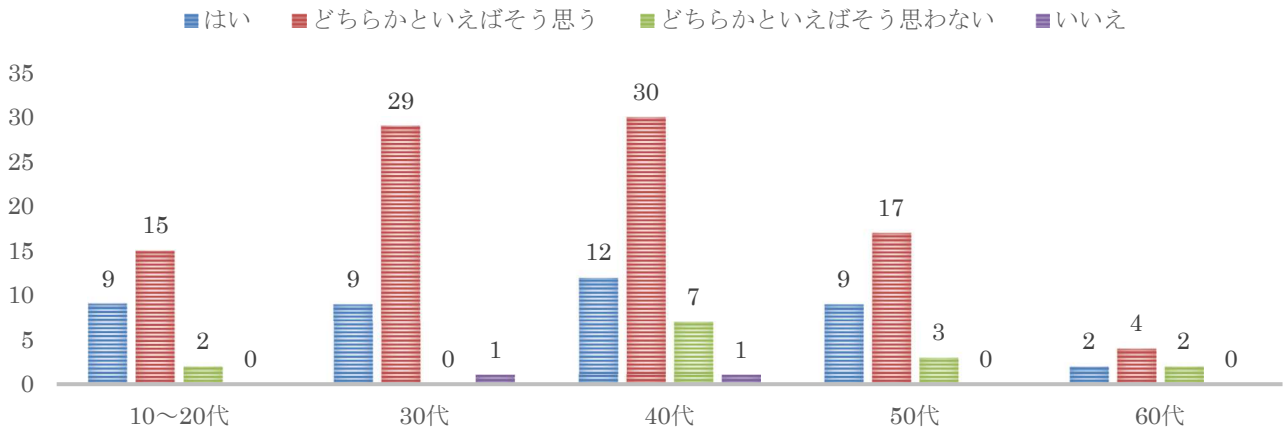


次に、図7により、性別による状況を見てみると、全体の傾向と概ね同様の結果となったが、女性の方が若干ではあるが肯定的な回答がやや少なかった。結果的に、性別による大きな差異は認められなかった。



次に、図8により、各年代別の状況を見てみると、60代を除き、各年代とも全体と概ね同様の傾向ではあったが、特に30代は97.4%と、他の年代よりも肯定的な回答割合が特に高かった。

図8 設問5 年代別の回答状況

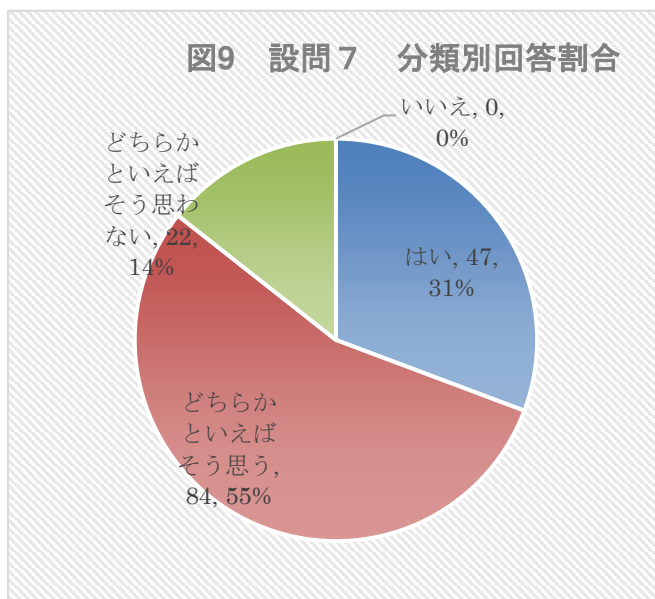


自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代~20代		30代		40代		50代		60代											
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない												
八幡浜市	153	152	99.3	26	17.1%	39	25.7%	50	32.9%	29	19.1%	8	5.3%										
				24	92.3%	2	7.7%	38	97.4%	1	2.6%	42	84.0%	8	16.0%	26	89.7%	3	10.3%	6	75.0%	2	25.0%

エ 設問7~8 (今の職場で女性は活躍できていると思いますか?)

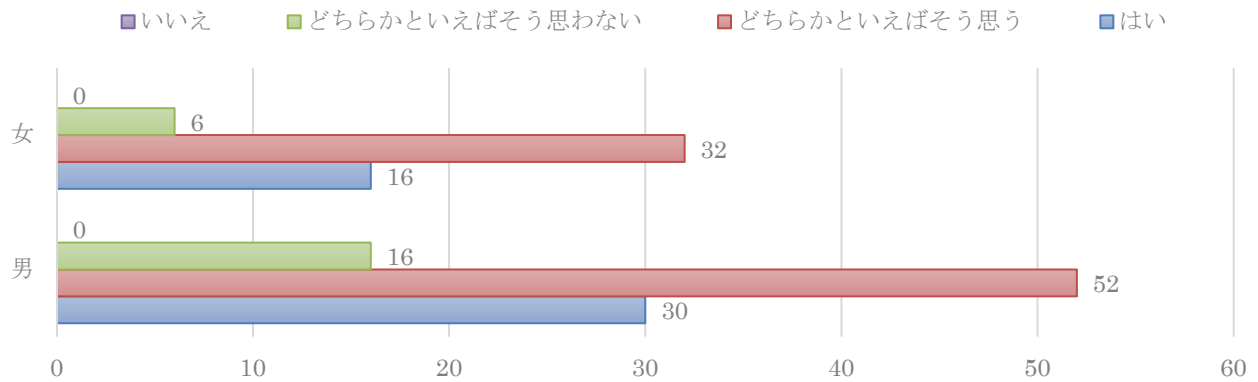
設問に対する回答数は153件(全体153件)で、問いに対し、図9のとおり、肯定的な回答割合が約86%で、否定的な回答割合は約14%であった。多くの職員が、女性が活躍できていると感じている結果となった。

図9 設問7 分類別回答割合



次に、図 10 により、性別による状況を見てみると、女性の方が全体の傾向に概ね近い結果となった一方で、男性の方は肯定的な回答割合が若干低かった。結果的には、性別による大きな差異は認められなかった。

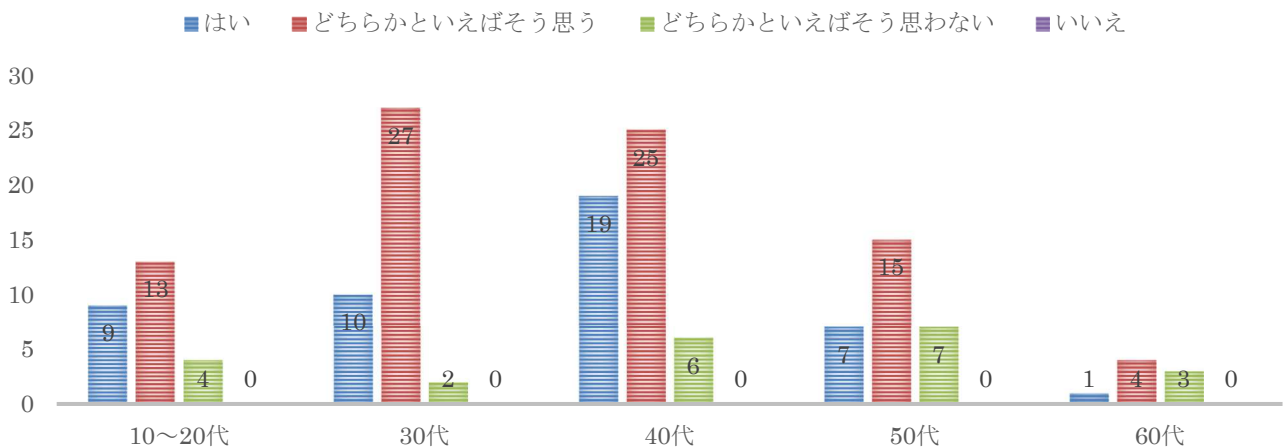
図10 設問7 男女別の回答状況



自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	うち男性(件数)		うち女性(件数)	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない
八幡浜市	153	152	99.3	98	64.5%	54	35.5%
				82	83.7%	16	16.3%
				48	88.9%	6	11.1%

次に、図 11 により、各年代別の状況を見てみると、各年代とも全体の傾向と概ね同様で肯定的な意見が多くを占めたが、10～20代、60代が若干肯定的な回答割合が低かった。

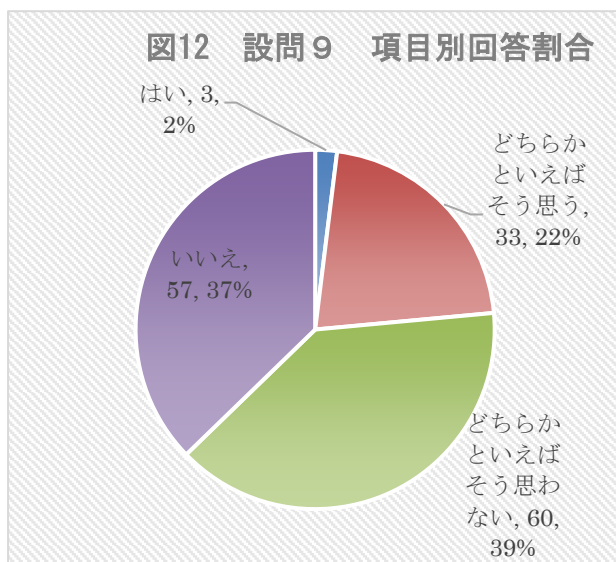
図11 設問7 年代別の回答状況



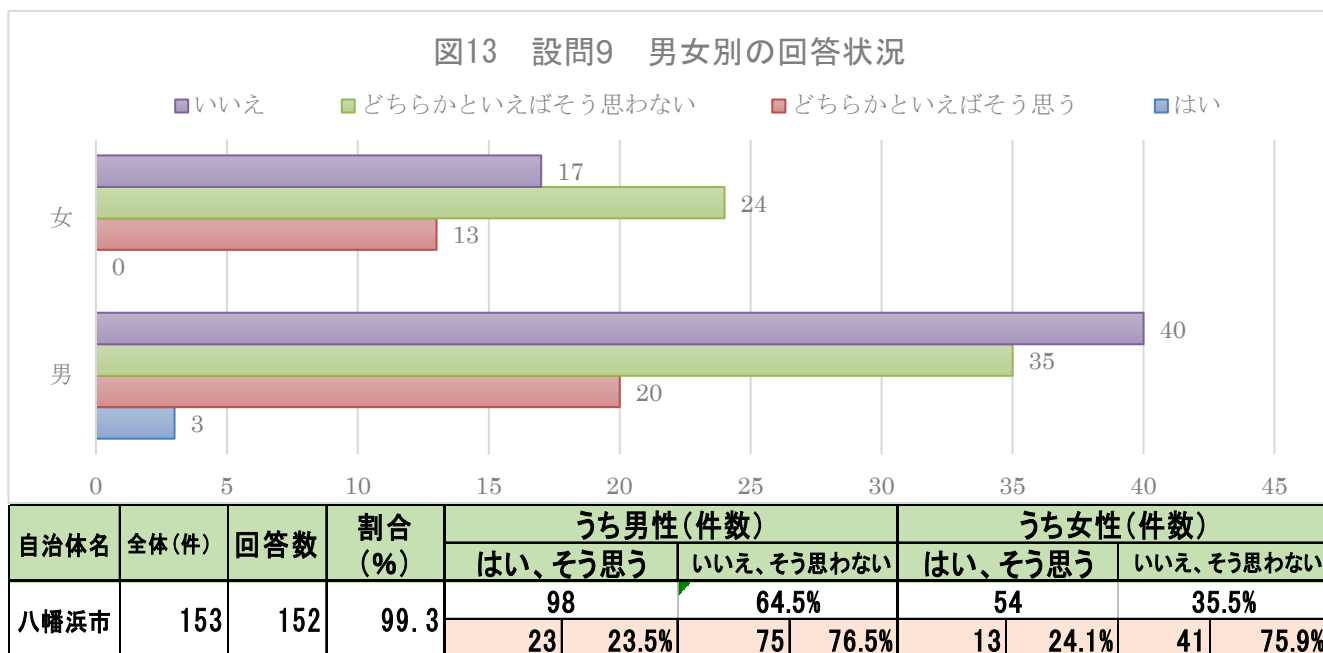
自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代～20代		30代		40代		50代		60代	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない		
八幡浜市	153	152	99.3	26	17.1%	39	25.7%	50	32.9%	29	19.1%	8	5.3%
				18	69.2%	8	30.8%	30	76.9%	9	23.1%	41	82.0%
				9	18.0%	25	86.2%	4	13.8%	5	62.5%	3	37.5%

オ 設問9～10（女性が活躍できる環境をさらに充実させる必要は、「ない」と思いますか？）

設問に対する回答数は153件（全体153件）で、問いに対し、図12のとおり、肯定的な回答が約25%、否定的な回答が約75%と、多くの職員は「女性が活躍できる環境の充実」が必要と感じている、という結果となった。

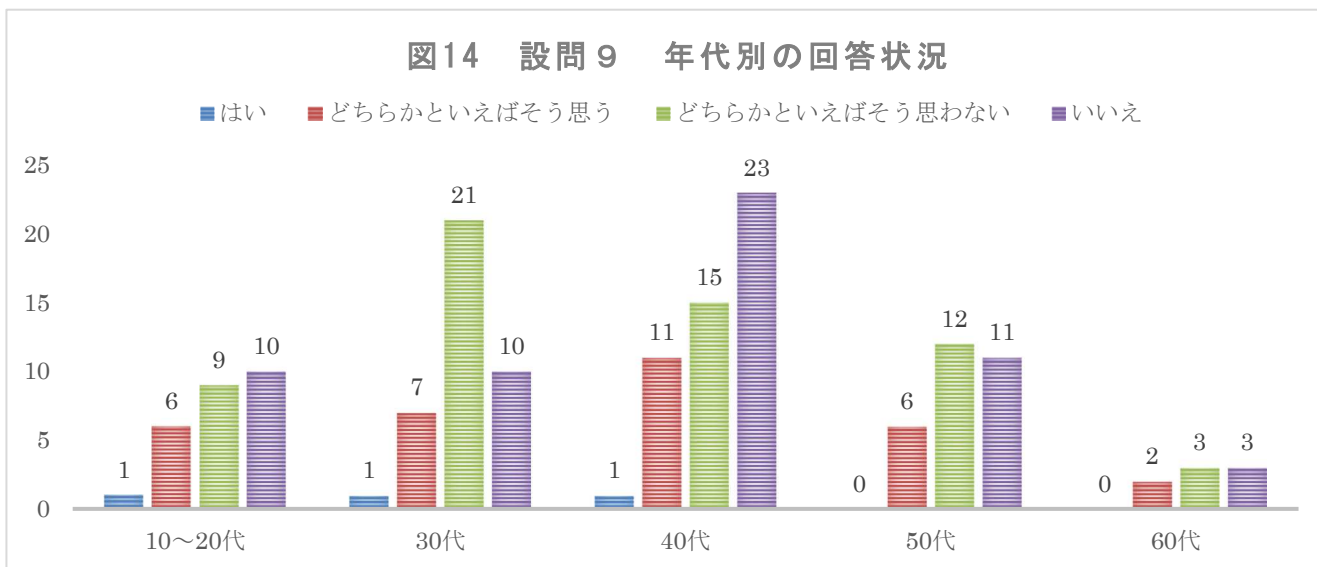


次に、図13により、性別による状況を見てみると、性別に関わらず否定的な回答を選択した方が多かった。性別による差異は認められなかった。



次に、図 14 により、各年代別の状況を見てみると、各年代とも全体の傾向と概ね同様に、大きな差異はなかった

図 14 設問 9 年代別の回答状況



自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代~20代		30代		40代		50代		60代							
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない						
八幡浜市	153	152	99.3	26	17.1%	39	25.7%	50	32.9%	29	19.1%	8	5.3%						
				7	26.9%	19	73.1%	8	20.5%	31	79.5%	12	24.0%	38	76.0%	6	20.7%	23	79.3%

カ 設問 11（女性が活躍できる職場環境では何が重要だと思いますか？）

設問に対する回答数は153件（全体153件）で、問いに対し、女性が活躍できる環境で最も望まれるのは、図15のとおり、「柔軟な働き方」という結果となった。約41%の方から回答があるなど突出しており、続く2～4位は以下の通りで、上位は次の4項目となった。

- | | | | |
|---|-----------|-------|-------------|
| 1 | 柔軟な働き方 | (41%) | 【男性1位 女性1位】 |
| 2 | 男女の相互理解 | (20%) | 【男性2位 女性2位】 |
| 3 | 既存意識の改革 | (17%) | 【男性2位 女性4位】 |
| 4 | 多様なライフプラン | (10%) | 【男性5位 女性3位】 |

なお、管理職への登用や保育施設の充実といった項目に関しては、回答者の中での優先順位は低いという結果となった。

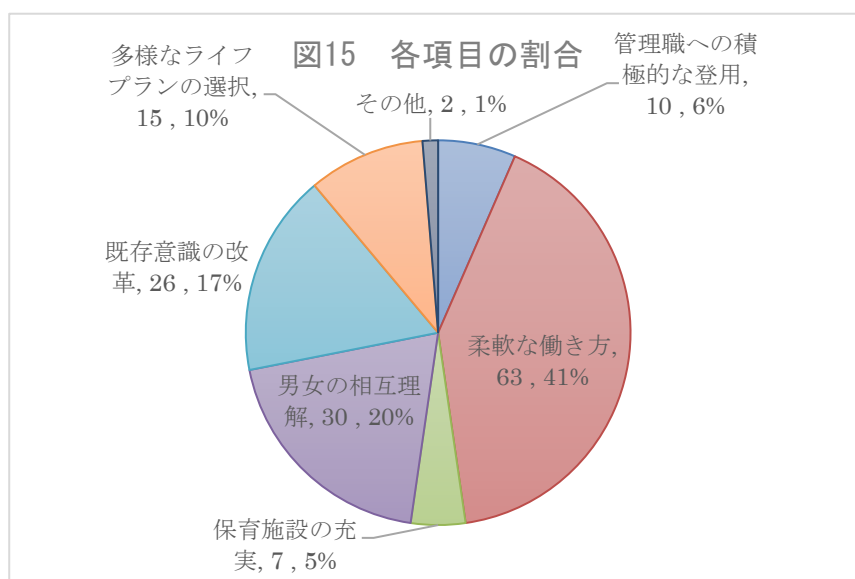


図15-1、図15-2、図16により、男女別の回答内訳をみると、回答の傾向については大きな違いが認められた。男性は、上位項目にある程度分散しているが、女性は1位の「柔軟な働き方」が過半数を占めていた。男性では、「管理職への積極的な登用」に一定の回答があったが、女性はゼロだった。

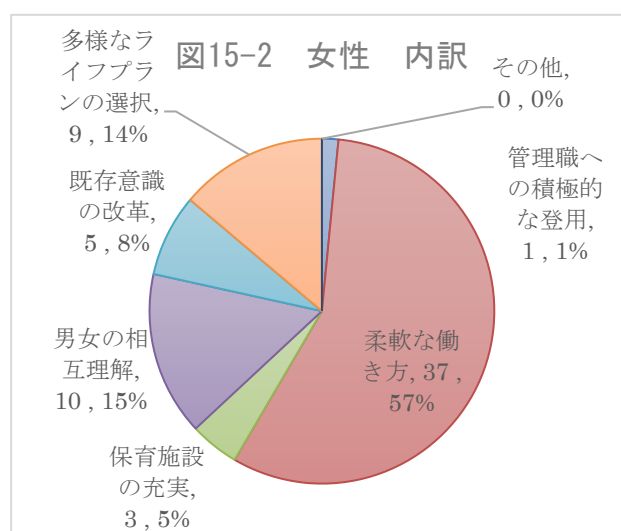
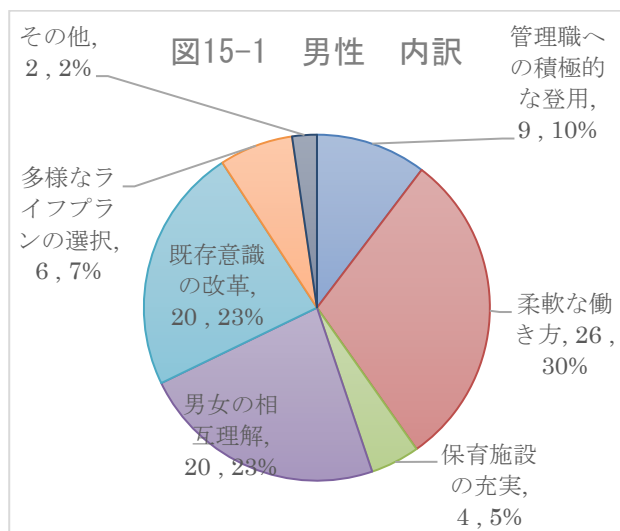


図16 設問11 男女別の回答状況

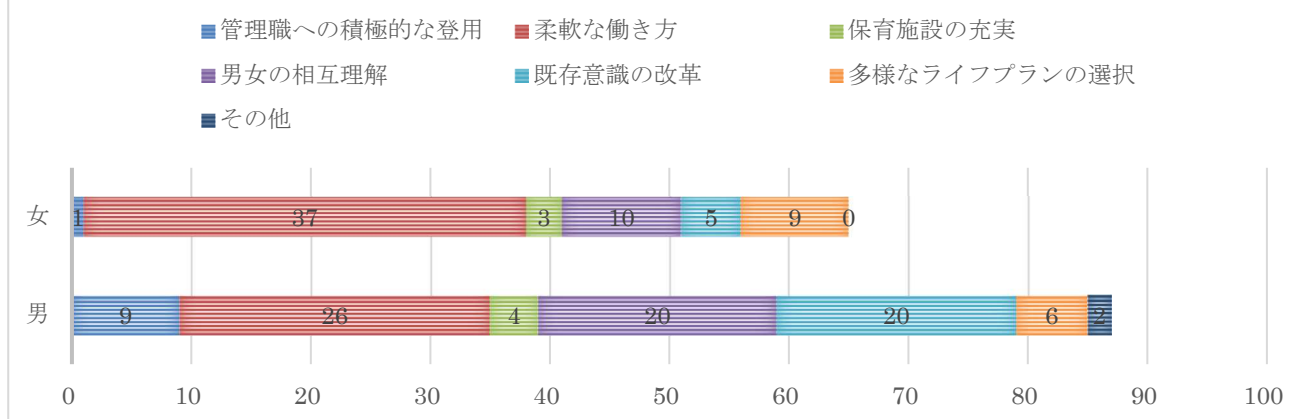
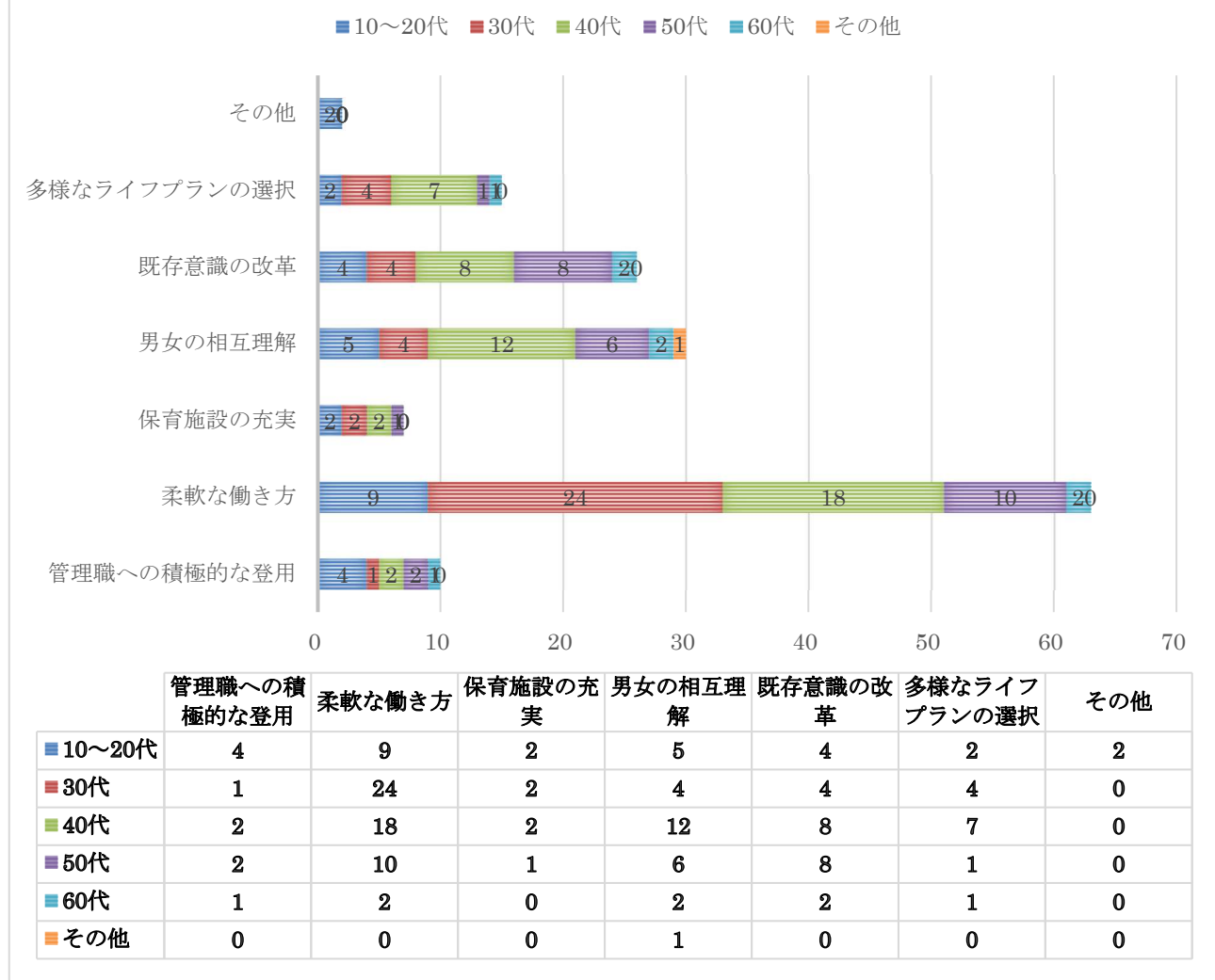


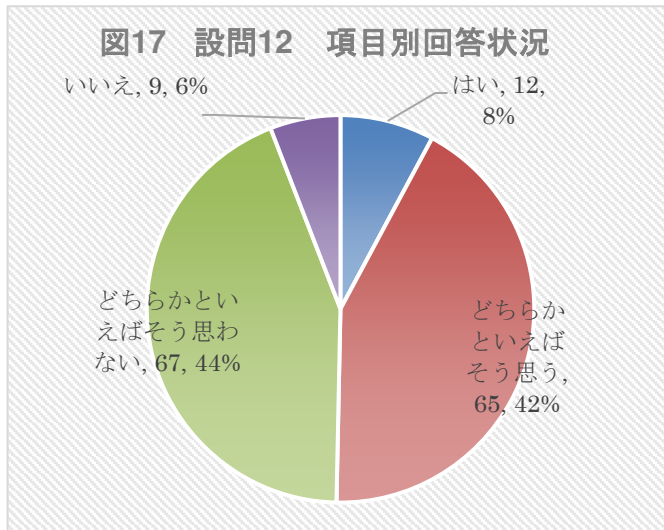
図16-1において、各年代別の状況を見てみると、「柔軟な働き方」については、全年代を通じて多くの回答があり、特に30代からの回答が集中している結果となった。

図16-1 設問11 項目別の回答状況

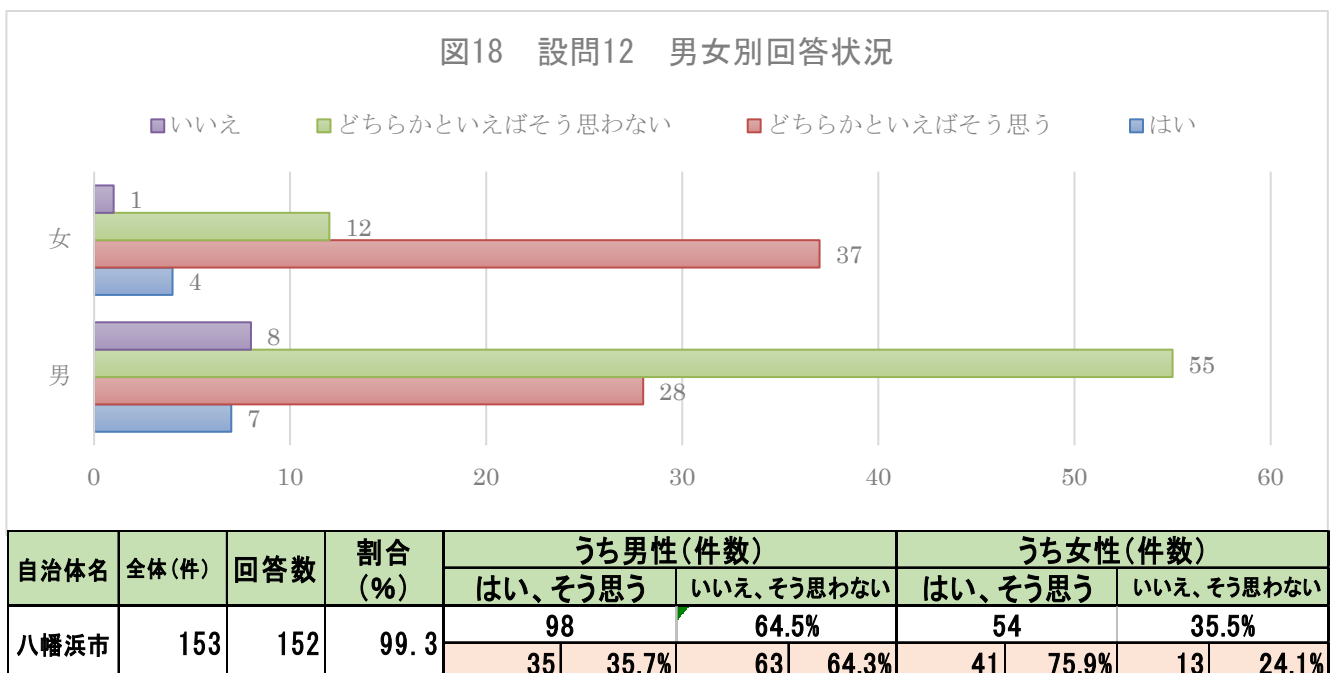


キ 設問 12～13（女性の管理職への登用は進んでいると思いますか？）

設問に対する回答数は153件（全体153件）で、問いに対し、図17のとおり、肯定的な回答が約50%、否定的な回答も約50%という結果となった。女性の管理職登用については、回答された方の感じ方に差異がある結果となった。

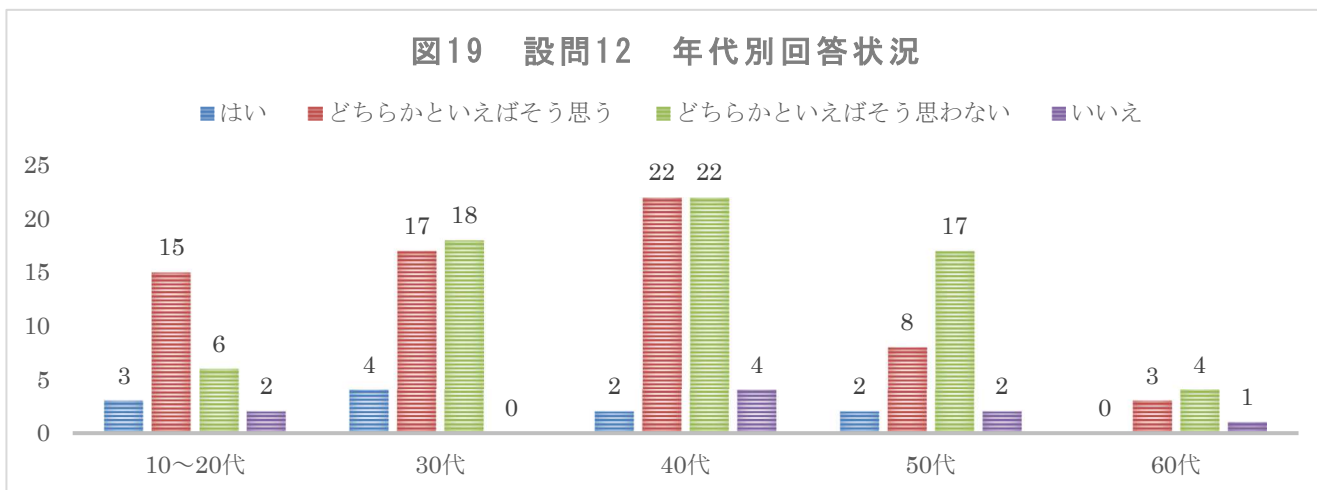


次に、図18のとおり、性別による状況を見てみると、男女で大きく感じ方が異なる結果となった。男性は、女性の登用が進んでいない否定的な回答割合が高い一方で、女性の方は登用が進んでいると肯定的な回答割合が高く、対照的な結果となった。



次に、図 19 のとおり、各年代別の状況を見てみると、10代～30代の若い世代は肯定的な回答割合が高く、40代以降は否定的な回答割合が高い結果となった。

図19 設問12 年代別回答状況

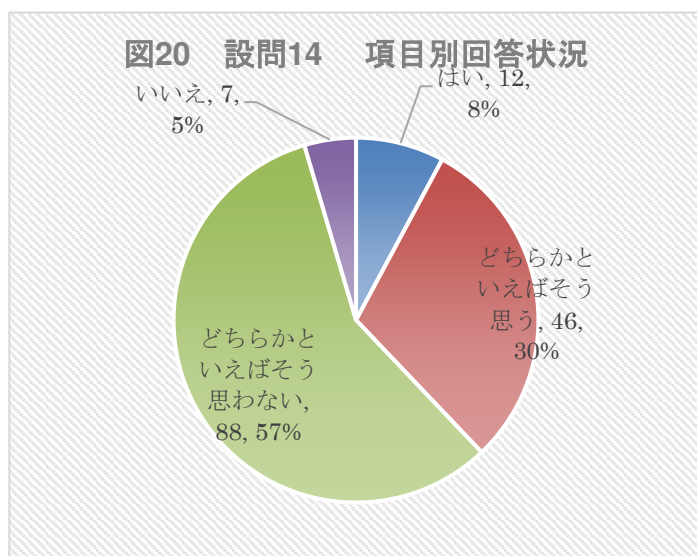


自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代～20代		30代		40代		50代		60代	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない
八幡浜市	153	152	99.3	26	17.1%	39	25.7%	50	32.9%	29	19.1%	8	5.3%
				18	69.2%	8	30.8%	21	53.8%	18	46.2%	24	48.0%
				26	52.0%	10	34.5%	19	65.5%	3	37.5%	5	62.5%

ク 設問 14～15（職場において、女性の活躍や管理職登用に妨げになるものは「ない」と思いますか？）

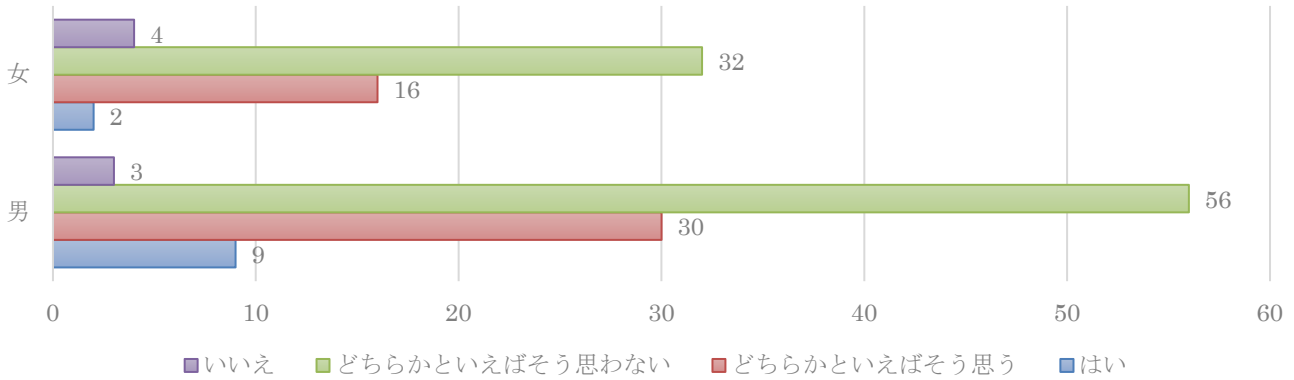
設問に対する回答数は153件（全体153件）で、問いに対し、図 20 を見ると、肯定的な回答を選択した方が約38%、否定的な回答を選択した方が約62%と、管理職登用に妨げとなるものが「ある」と感じている方が過半数を占める結果となった。

図20 設問14 項目別回答状況



次に、図 21 により、性別の状況を見ると、男女とも全体の傾向と近い結果となった。全体の傾向と比較すると、女性の方が否定的な回答割合がやや高いものの、性別による有意な差異は認められなかった

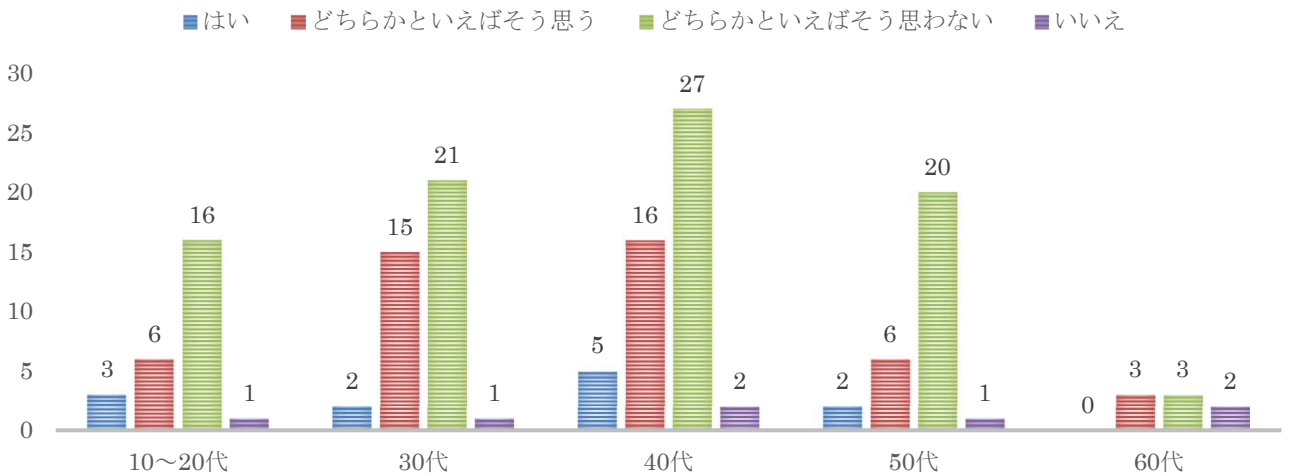
図21 設問14 男女別回答状況



自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	うち男性(件数)		うち女性(件数)	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない
八幡浜市	153	152	99.3	98	64.5%	54	35.5%
				39	39.8%	18	33.3%

次に、図 22 により、各年代別の状況を見てみると、全体的な傾向と比べて、30代から40代は肯定的な回答割合がやや高く、一方で10～20代及び50代は低かった。

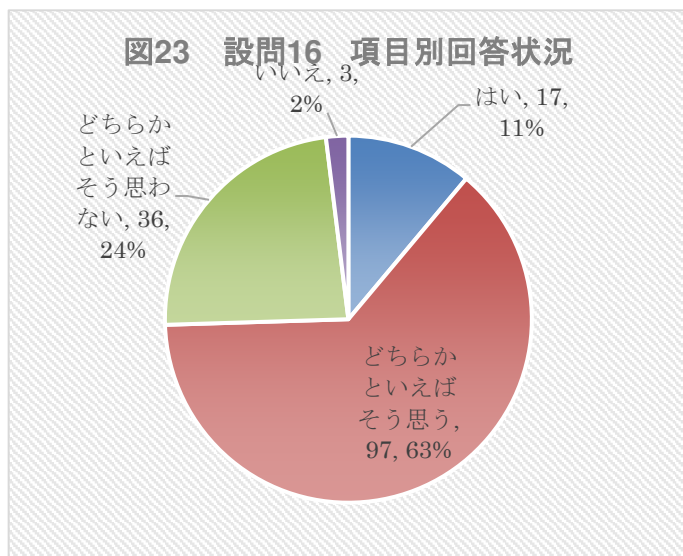
図22 設問14 年代別回答状況



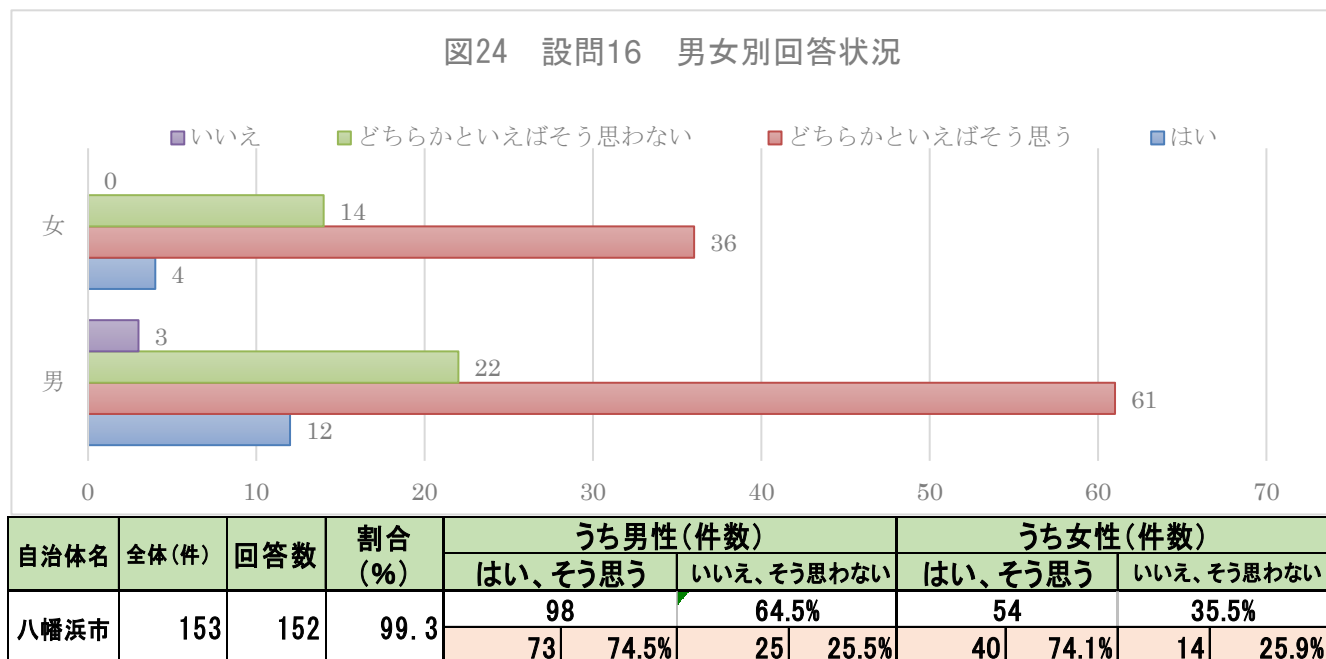
自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代~20代		30代		40代		50代		60代							
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない								
八幡浜市	153	152	99.3	26	17.1%	39	25.7%	50	32.9%	29	19.1%	8	5.3%						
				9	34.6%	17	65.4%	17	43.6%	22	56.4%	21	42.0%	29	58.0%	8	27.6%	21	72.4%

ケ 設問 16～17（職場は、子育てをするうえで仕事と家庭を両立しやすい環境だと思いますか？）

設問に対する回答数は153件（全体153件）で、問いに対し、図23のとおり、両立しやすい環境である、と肯定的な方は約74%、否定的な方は約26%という結果となった。多くの方が、職場が両立しやすい環境だと感じている結果となった。

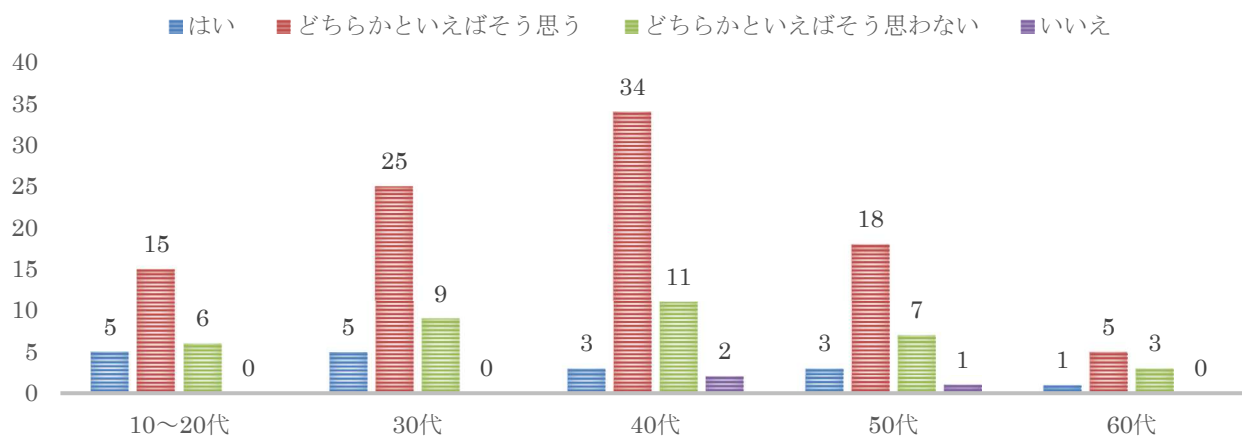


次に、図24により、性別の状況を見ると、全体の傾向と同様で、男女とも肯定的な回答割合が高かったほか、性別による大きな差異はなかった。



次に、図 25 により、各年代別の状況を見てみると、60代以外は、各年代とも全体の傾向と概ね同様の結果となった。年代による大きな差異は認められなかった。

図25 設問16 年代別回答状況

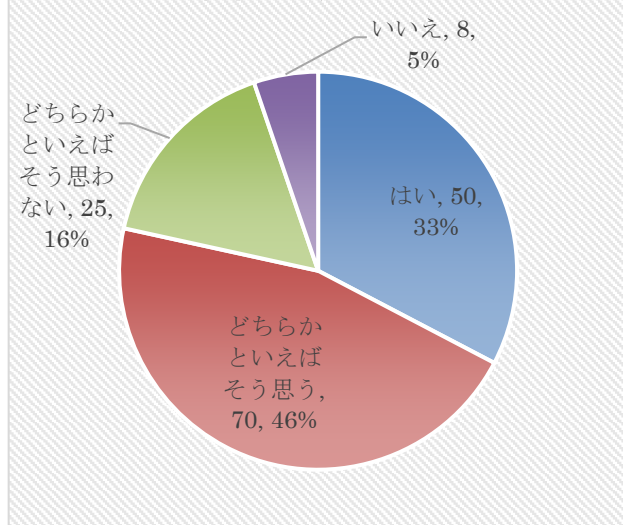


自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代～20代		30代		40代		50代		60代	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない		
八幡浜市	153	153	100.0	26	17.0%	39	25.5%	50	32.7%	29	19.0%	9	5.9%
				20	76.9%	6	23.1%	30	76.9%	9	23.1%	37	74.0%
				13	26.0%	21	72.4%	8	27.6%	6	66.7%	3	33.3%

コ 設問 18～19（職場に保育施設があれば、今よりも働きやすくなると思いますか？）

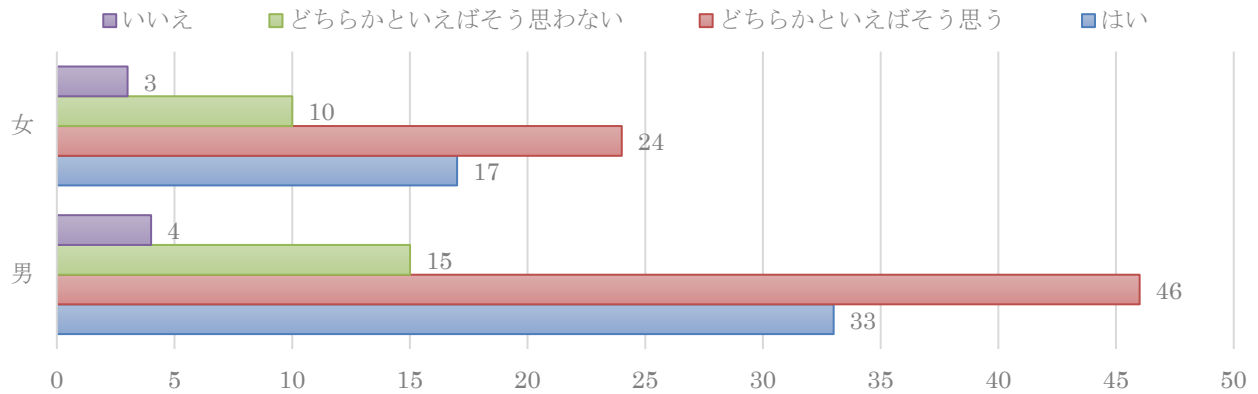
設問に対する回答数は153件（全体153件）で、問いに対し、図 26 のとおり、肯定的な回答が約79%で、否定的な回答が約21%という結果となった。多くの方が、保育施設があれば、働きやすくなると感じている結果となった。

図26 設問18 項目別回答状況



次に、図 27 により、性別の状況を見ると、男女とも全体の傾向と概ね同様の結果となった。若干ではあるが、女性の方が否定的な回答割合が高かったものの、性別による有意な差異は認められなかった。

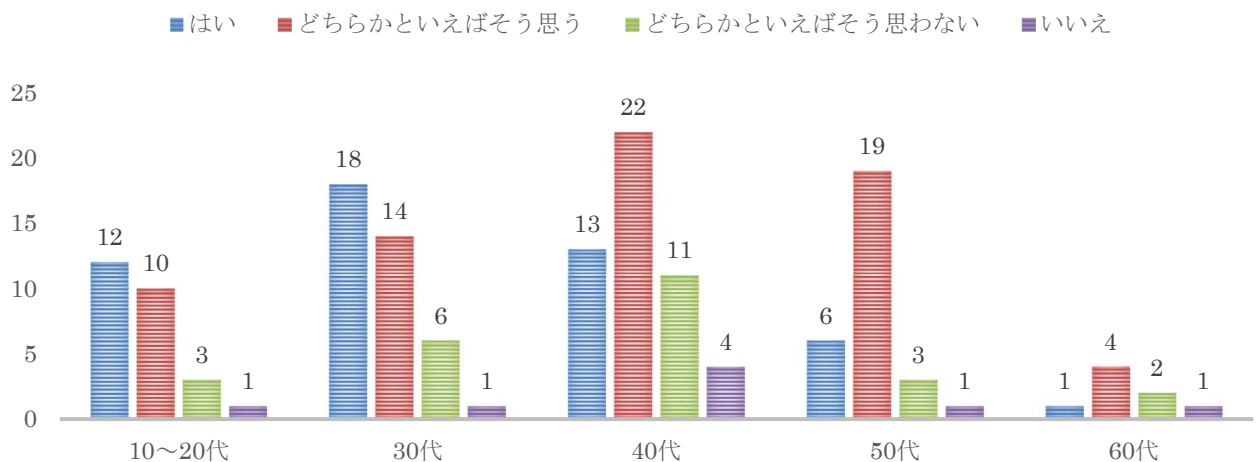
図27 設問18 男女別回答状況



自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	うち男性(件数)		うち女性(件数)	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない
八幡浜市	153	152	99.3	98	64.5%	54	35.5%
				79	80.6%	19	19.4%
				41	75.9%	13	24.1%

図 28 により、各年代別の状況を見てみると、60代を除き、全体の傾向に近い結果となった。10～20代、50代が、若干ではあるが肯定的な回答割合が高かった一方で、40代は否定的な回答割合がやや高かった。60代は、他の年代に比べ、肯定的な回答割合が低く、逆に否定的な回答割合が高かった。

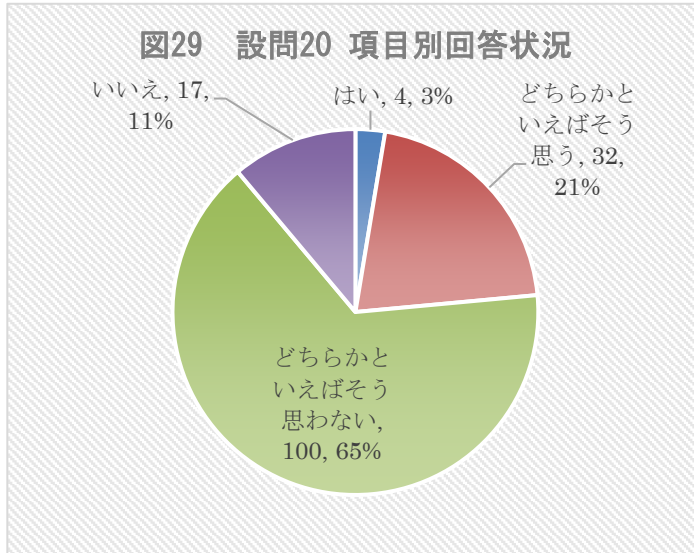
図28 設問18 年代別回答状況



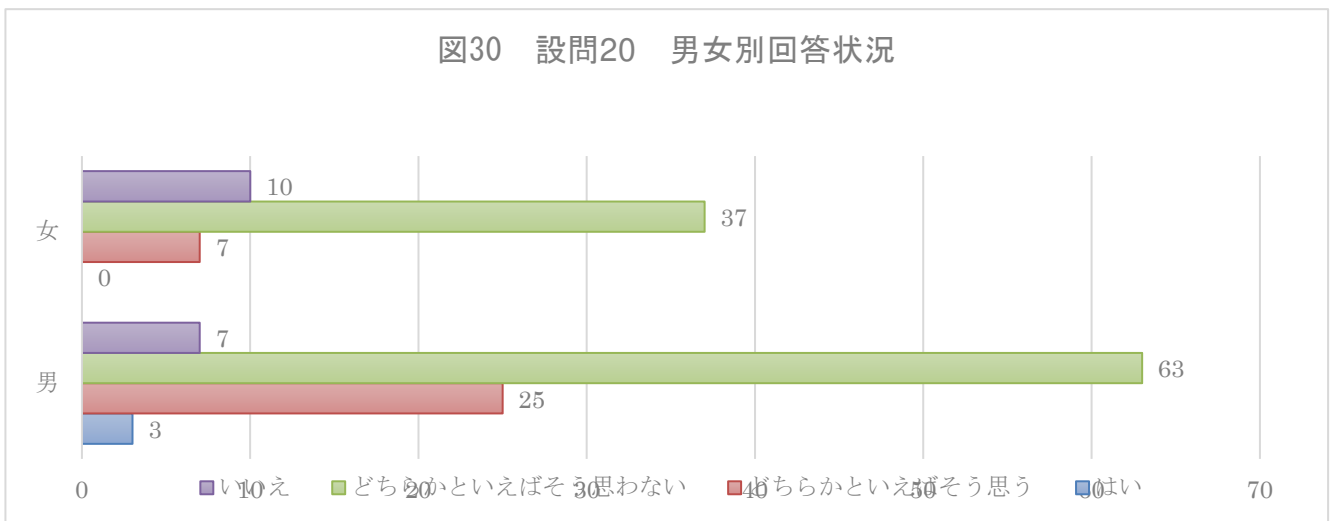
自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代~20代		30代		40代		50代		60代	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない		
八幡浜市	153	152	99.3	26	17.1%	39	25.7%	50	32.9%	29	19.1%	8	5.3%
				22	84.6%	4	15.4%	32	82.1%	7	17.9%	35	70.0%
				25	86.2%	4	13.8%	5	62.5%	3	37.5%		

サ 設問 20～21（職場に保育施設以外は、特に新たな設備・制度は必要ないと思いますか？）

設問に対する回答数は153件（全体153件）で、問いに対し、図29のとおり、肯定的な回答割合は約24%、否定的な回答割合は約76%で、どちらかといえば、設備・制度などの整備が必要と認識されている方の割合が高いという結果となった。



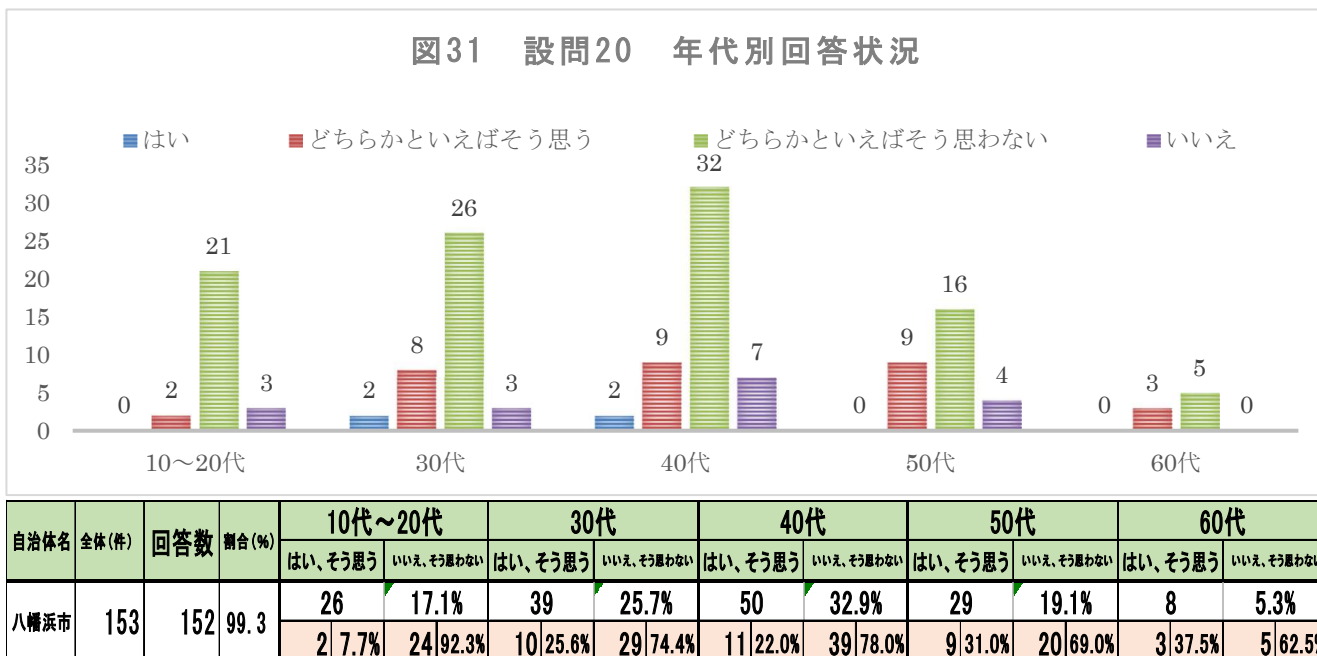
次に、図30のとおり、性別の状況を見ると、男女で傾向がやや異なり、全体の傾向と比較すると、男性は肯定的な回答がやや高い結果となったが、女性の方は逆に肯定的な回答割合が低く、多くの方が否定的な回答であった。女性の方が、保育施設以外の何らかの制度や設備について必要性を強く感じている結果となった



自治体名	全体(件)	回答数	割合 (%)	うち男性(件数)		うち女性(件数)	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない
八幡浜市	153	152	99.3	98	64.5%	54	35.5%
				28	28.6%	7	13.0%

図 31 により、各年代別の回答状況を見ると、全体の傾向に対し、10代～40代は否定的な回答割合が高く、50代を境に肯定的な回答割合が高くなる傾向が認められた。若い世代の方が、設備・制度などの整備が必要について、より強く感じている結果となった。

図 31 設問 20 年代別回答状況



シ 設問 22～23（産休・育休等休暇制度の活用が自身のキャリア形成に与える影響はないと思いますか？）

設問に対する回答数は152件（全体153件）で、問いに対し、図 32 のとおり、肯定的な回答割合が約37%であった一方で、否定的な回答割合は約62%だった。半数を超える多くの方が「自身のキャリア形成に影響がある」と認識している結果となった。

図 32 設問 22 項目別回答状況

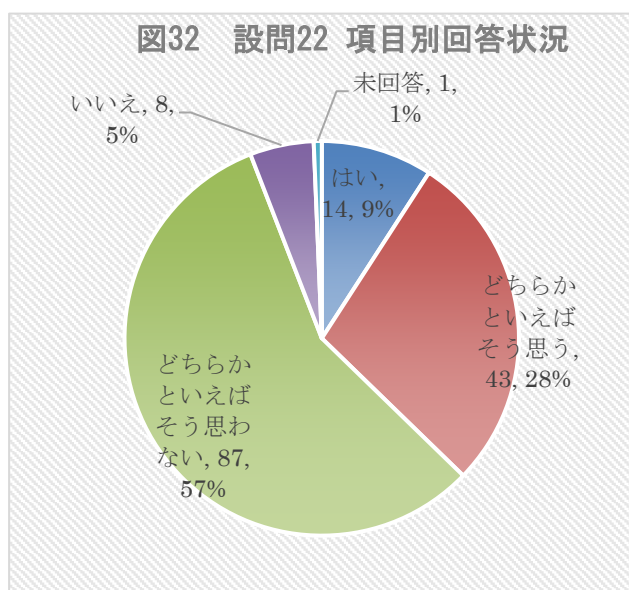
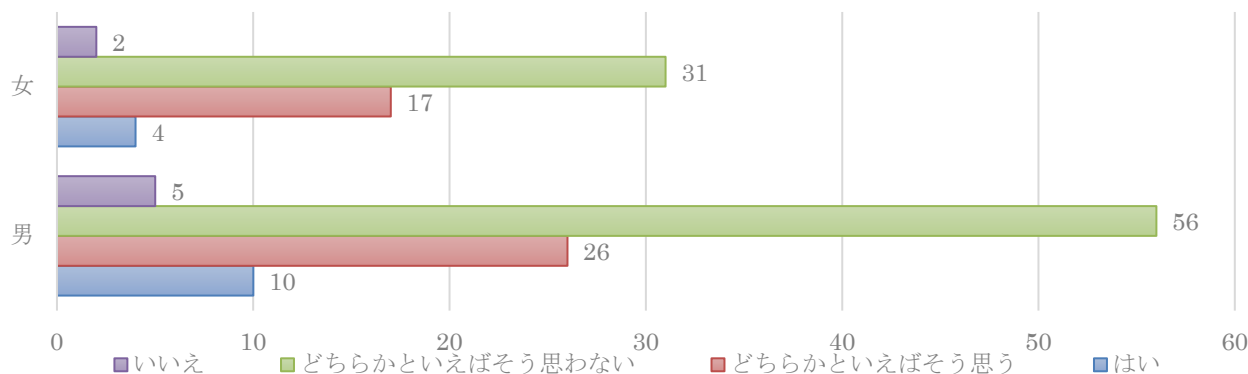


図 33 により、性別の状況を見ると、男女とも全体の傾向と概ね一致した結果となった。制度の活用が自身のキャリア形成に影響があると感じていることについて、性別による差異はなかった。

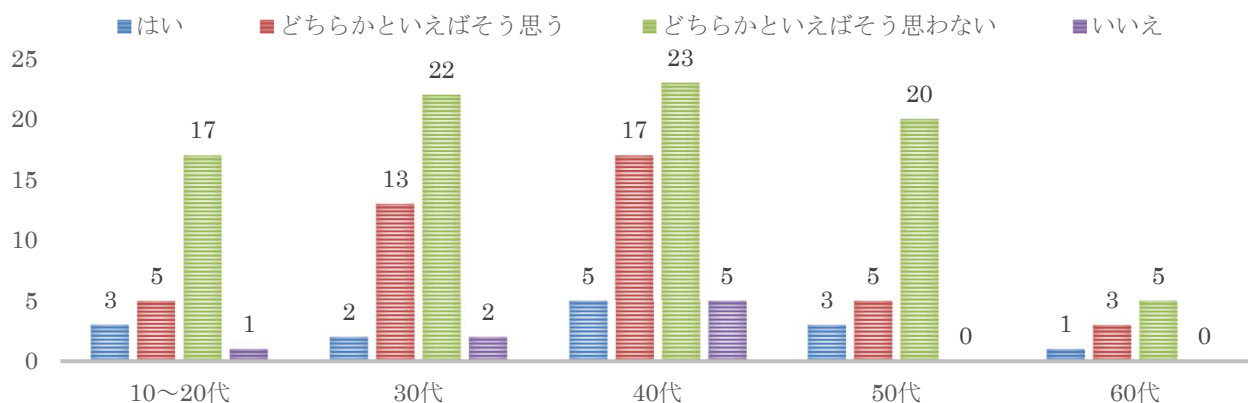
図33 設問22 男女別回答状況



自治体名	全体(件)	回答数	割合 (%)	うち男性(件数)		うち女性(件数)	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない
八幡浜市	153	151	98.7	97	64.2%	54	35.8%
				36	37.1%	61	62.9%
				21	38.9%	33	61.1%

図 34 により、各年代別の回答状況を見ると、全体的にバラツキがあるものの、どの年代も全体の傾向と同様に、否定的な回答割合が高かった。特に否定的な回答の割合が高かったのは50代で71.4%だった。その他の年代は、全体の傾向と比較すると肯定的な回答の方がやや高い、という結果となった。

図34 設問22 年代別回答状況



自治体名	全体(件)	回答数	割合 (%)	10代~20代		30代		40代		50代		60代	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない		
八幡浜市	153	152	99.3	26	17.1%	39	25.7%	50	32.9%	28	18.4%	9	5.9%
				8	30.8%	18	69.2%	15	38.5%	24	61.5%	22	44.0%
				8	28.6%	20	71.4%	4	44.4%	5	55.6%		

ス 設問 24～25（女性職員に対する職場での教育・研修環境は整っていると思いますか？）
 設問に対する回答数は153件（全体153件）で、問いに対し、図35のとおり、肯定的な回答割合は約58%、否定的な回答割合は約42%という結果となった。教育・研修環境が整っているとする回答が過半数を超えている一方で、否定的に感じている方も少なくない、という結果となった。

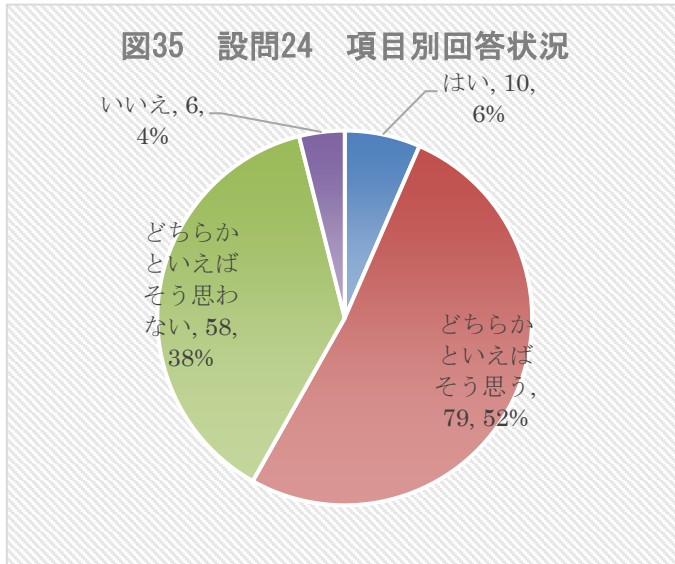


図36により、性別による回答を見てみると、若干の違いはあるが、全体の傾向と概ね同様の結果であり、50代が肯定的な回答割合が高いものの、各年代による大きな差異は認められなかった

」

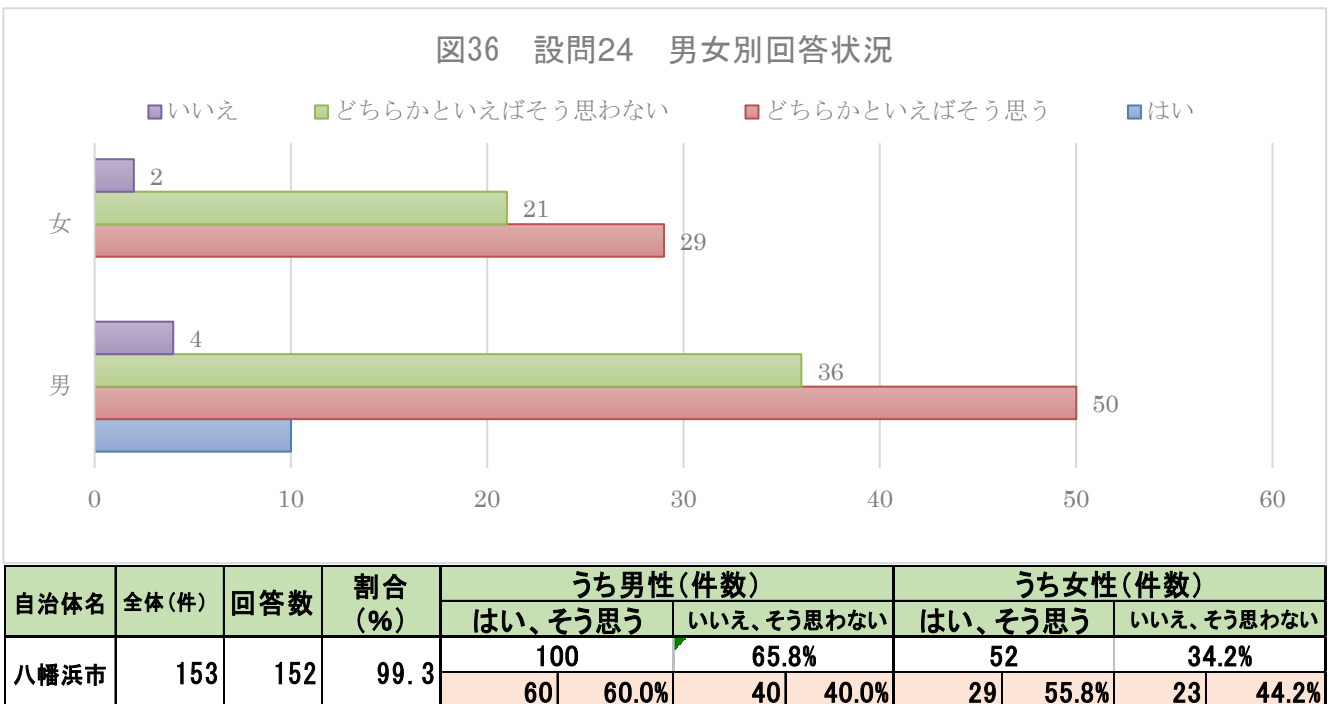
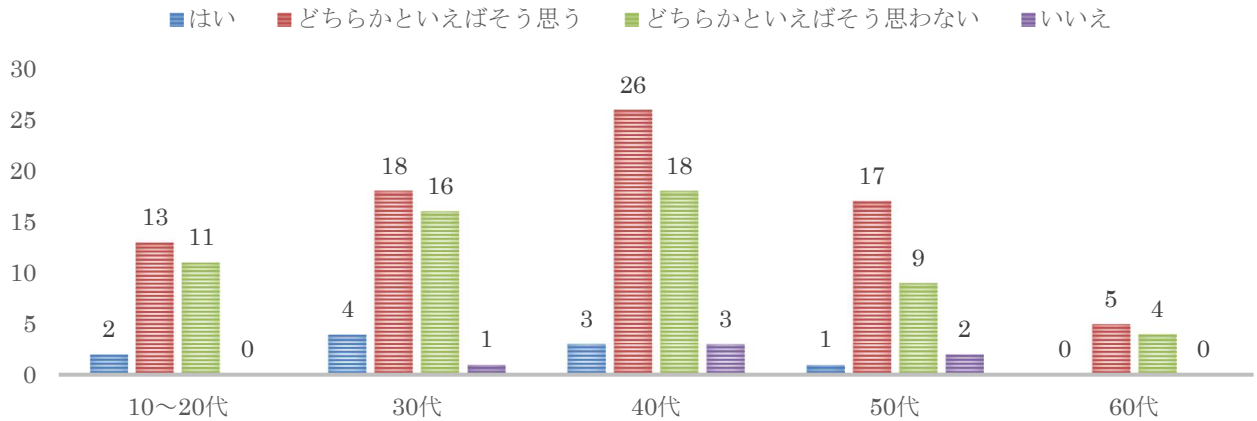


図 37 のとおり、各年代別の回答状況を見ると、全体的にバラツキはあるものの、全体の傾向と概ね同様の結果となっている。30代、40代、60代が、全体よりもやや否定的な回答の割合が高かった。

図37 設問24 年代別回答状況



自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代~20代		30代		40代		50代		60代	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない
八幡浜市	153	153	100.0	26	17.0%	39	25.5%	50	32.7%	29	19.0%	9	5.9%
				15	57.7%	11	42.3%	22	56.4%	17	43.6%	29	58.0%
				11	42.3%	17	43.6%	21	42.0%	18	62.1%	11	37.9%
				5	55.6%	4	44.4%						

セ 設問 26~27 (女性職員の能力・スキルの向上について、組織としての支援は十分だと思いますか?)

設問に対する回答数は153件(全体153件)で、問いに対し、図38のとおり、肯定的な回答をした方の割合は、約56%、否定的な回答割合は約44%という結果となった。組織としての支援が十分と感じている方が過半数を超えているものの、否定的に感じている方も少なくないという結果となった。

図38 設問26 項目別回答状況

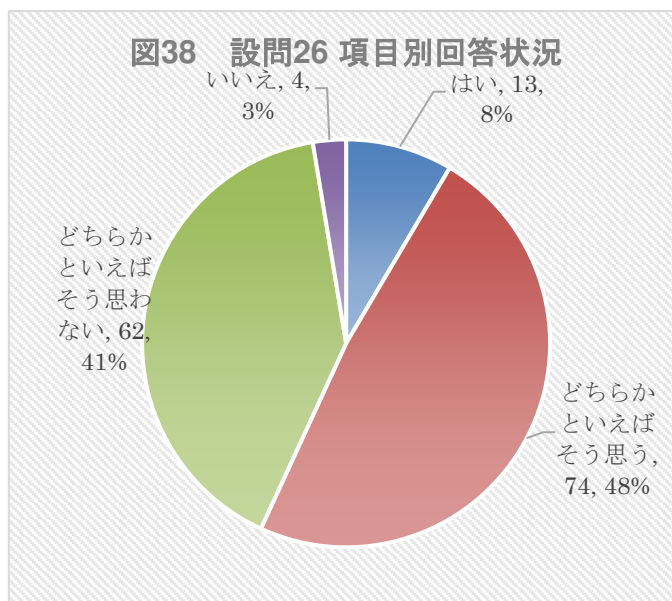
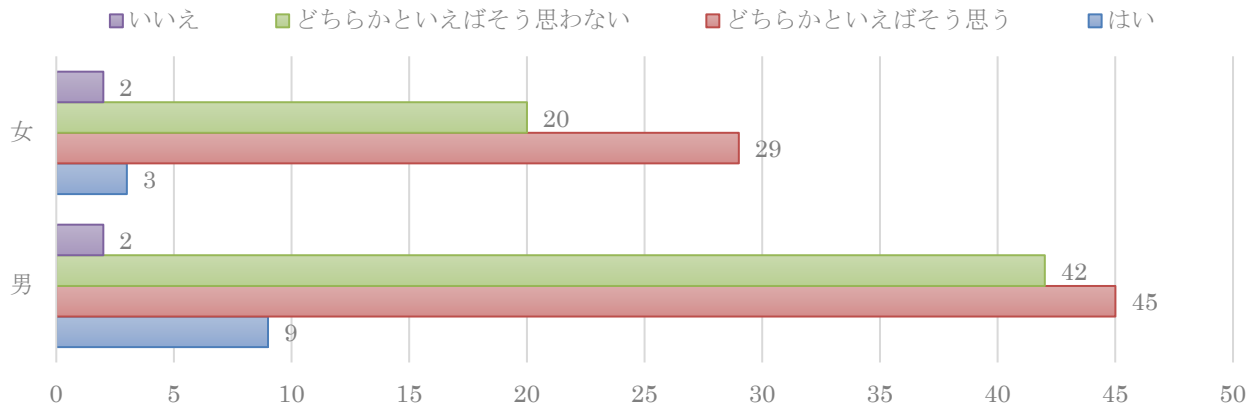


図 39 のとおり、性別の状況を見ると、男女とも全体の傾向と概ね同様の結果となっている。若干ではあるが、女性の方が、男性よりも肯定的な回答割合が高かった。

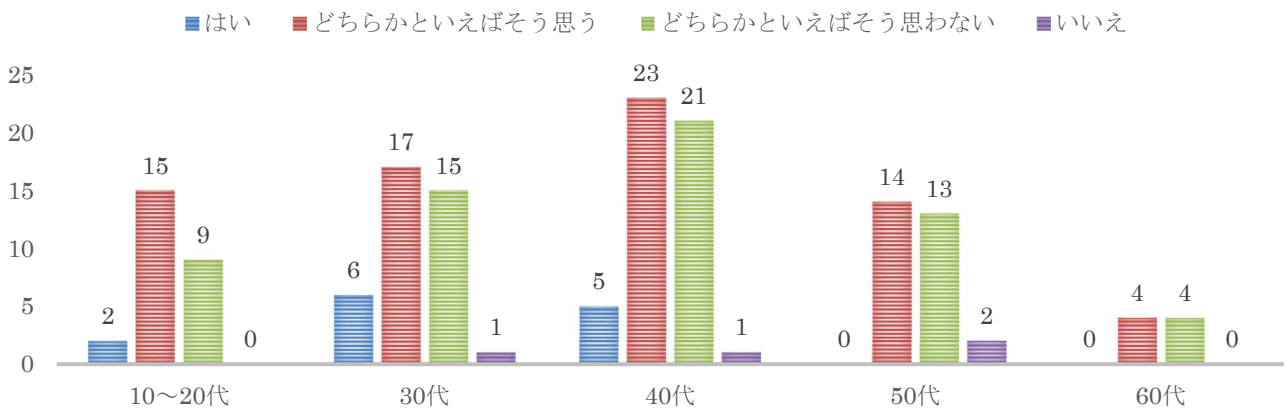
図39 設問26 男女別回答状況



自治体名	全体(件)	回答数	割合 (%)	うち男性(件数)				うち女性(件数)			
				はい、そう思う		いいえ、そう思わない		はい、そう思う		いいえ、そう思わない	
八幡浜市	153	152	99.3	98		64.5%		54		35.5%	
				54	55.1%	44	44.9%	32	59.3%	22	40.7%

図 40 のとおり、各年代別の状況を見てみると、全体的にバラツキがあり、10代～40代は全体の傾向に近い結果であったが、50代では肯定よりも否定的な回答割合が逆転しているほか、60代も肯定、否定が同数となるなど、全体的には年代が上がるると肯定的な回答割合が低下する結果となった。

図40 設問26 年代別回答状況



自治体名	全体(件)	回答数	割合 (%)	10代~20代		30代		40代		50代		60代							
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない								
八幡浜市	153	152	99.3	26	17.1%	39	25.7%	50	32.9%	29	19.1%	8	5.3%						
				17	65.4%	9	34.6%	23	59.0%	16	41.0%	28	56.0%	22	44.0%	14	48.3%	15	51.7%

③働きやすさについて

ソ 設問 28～29（職場では時差出勤やテレワークなど多様な働き方の制度が整っていると思いますか？）

設問に対する回答数は153件（全体153件）で、問いに対し、図41のとおり、肯定的な回答割合は約65%で、否定的な回答割合は約35%であった。制度が整っていると肯定的な回答が過半数を大きく超えてはいるものの、否定的に感じている方も少なくない結果となった。

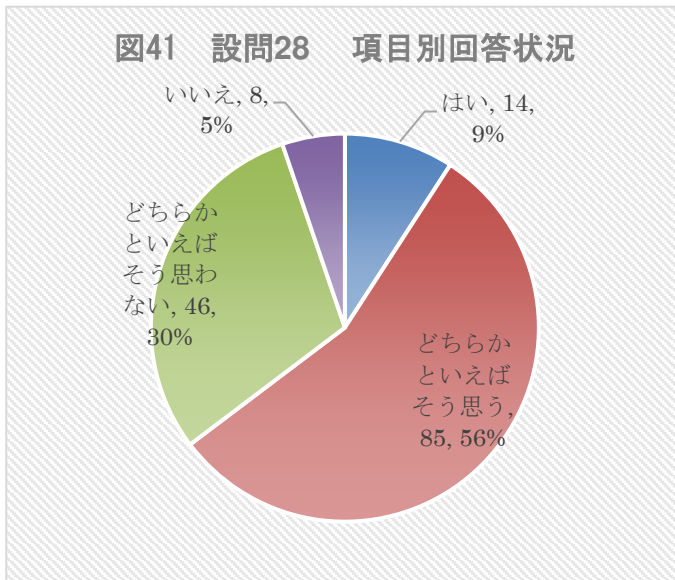
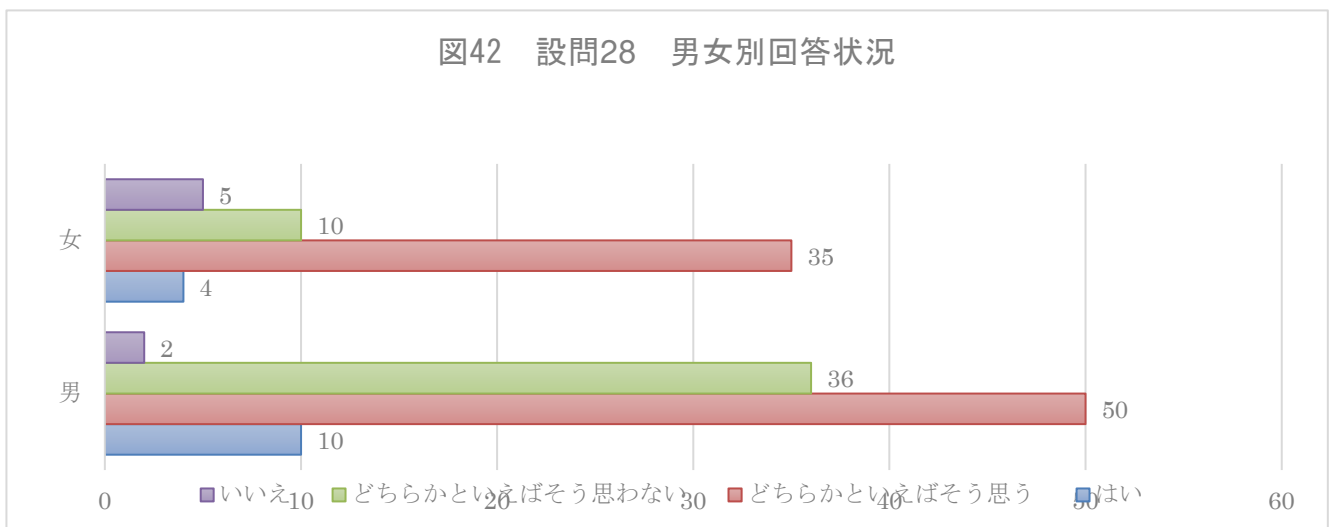


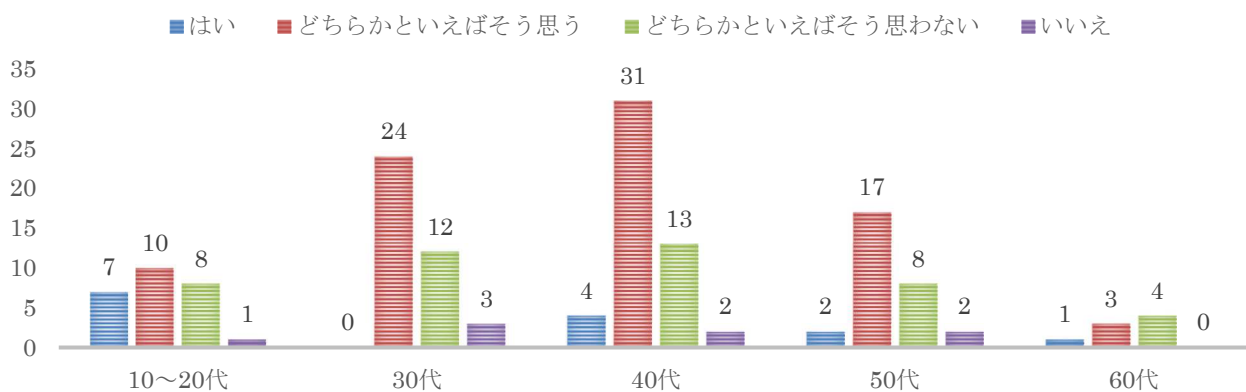
図42のとおり、性別の状況を見てみると、全体の傾向と比較して、男性は肯定的な回答割合が61.2%とやや低く、女性は72.2%とやや高かった。女性の方が男性よりも制度が整っていると感じている結果となった。



自治体名	全体(件)	回答数	割合 (%)	うち男性(件数)		うち女性(件数)	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない
八幡浜市	153	152	99.3	98	64.5%	54	35.5%
				60	61.2%	39	72.2%
				38	38.8%	15	27.8%

図 43 のとおり、各年代別の状況を見てみると、全体の傾向と比較して、どの年代も傾向的には概ね同様の結果となっているが、10～40代にかけては、肯定的な回答割合が低かった一方で、50代以降になると逆に高かった。

図43 設問28 年代別回答状況



自治体名	全体(件)	回答数	割合(%)	10代～20代		30代		40代		50代		60代	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない		
八幡浜市	153	153	100.0	26	17.0%	39	25.5%	50	32.7%	29	19.0%	9	5.9%
				15	57.7%	11	42.3%	22	56.4%	17	43.6%	29	58.0%
				11	42.3%	22	56.4%	17	43.6%	21	42.0%	18	62.1%
				11	37.9%	5	55.6%	4	44.4%				

タ 設問 30～31（職場の福利厚生（過重労働対策、メンタル相談ほか）制度は整っていると思いますか？）

設問に対する回答数は152件（全体153件）で、図44のとおり、問いに対し、制度が整っていると肯定的な回答割合は約77%で、否定的な回答割合は約23%であった。多くの方が、制度が整っていると感じている結果となった。

図44 設問30 項目別回答状況

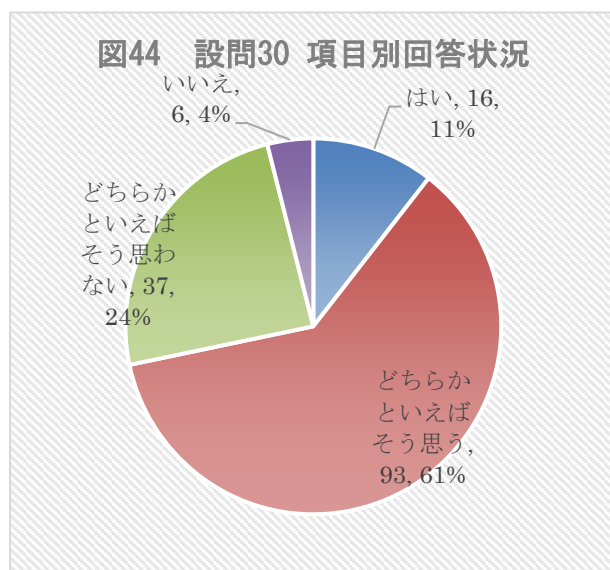


図45のとおり、性別の状況を見ると、男女とも全体の傾向と概ね同様の結果となった。性別による特段の差異は認められなかった。

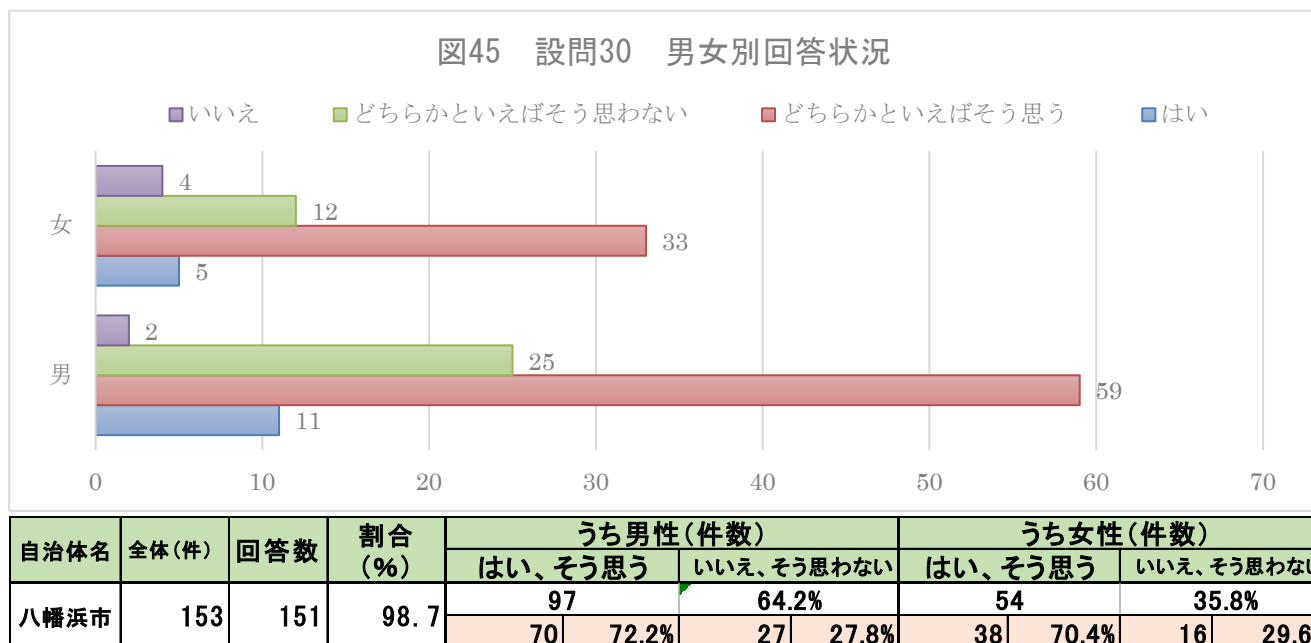
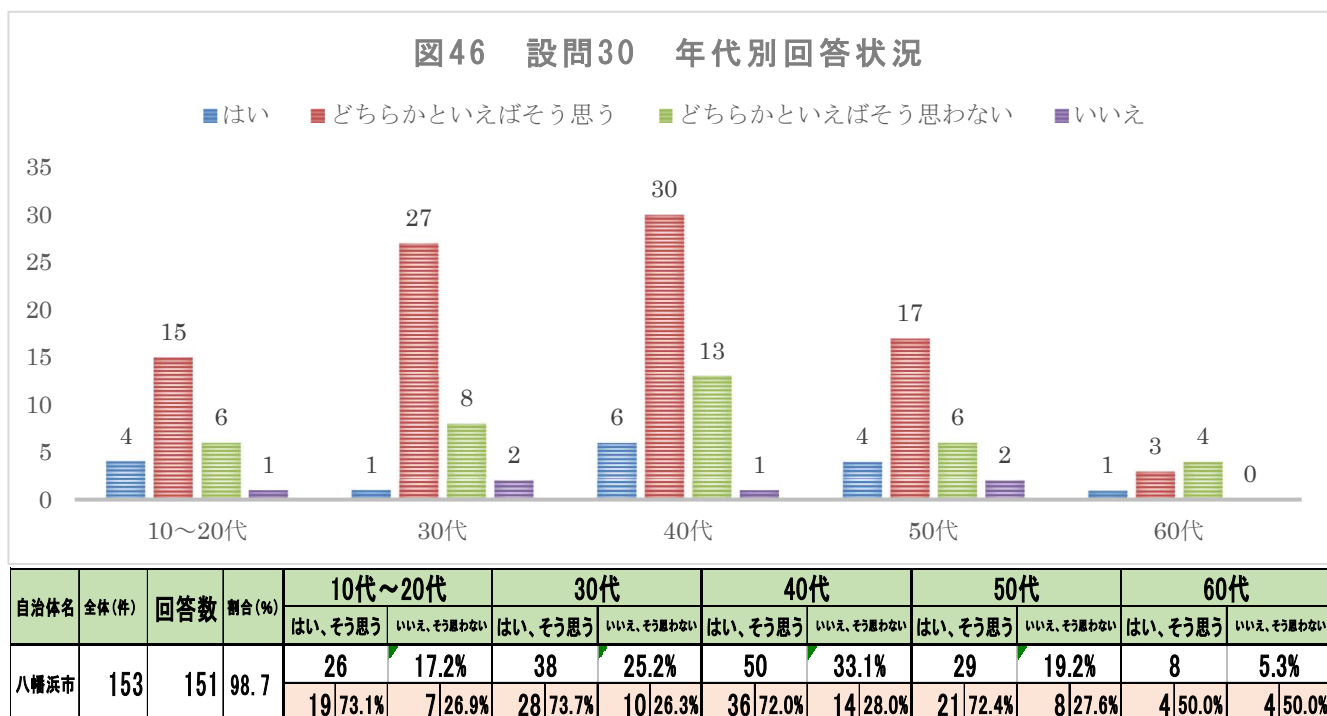


図46のとおり、各年代別の状況を見てみると、60代を除き、各年代とも全体の傾向と概ね同様の結果であった。年代による特段の差異は認められなかった。

なお、60代は回答数が他の年代と比べると少ないので、傾向としては考慮しないこととした。



チ 設問 32～33（職場において休暇（年休、夏季休暇）は取得しやすいですか？）

設問に対する回答数は153件（全体153件）で、図47のとおり、問いに対し、休暇を取得しやすいと肯定的な回答割合は約89%で、否定的な回答割合約11%であった。殆どの方が年休等の休暇の取得しやすさを感じている結果となった。

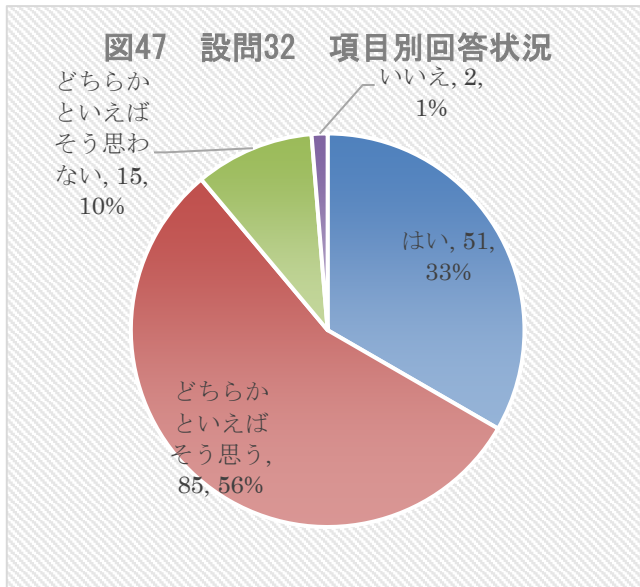
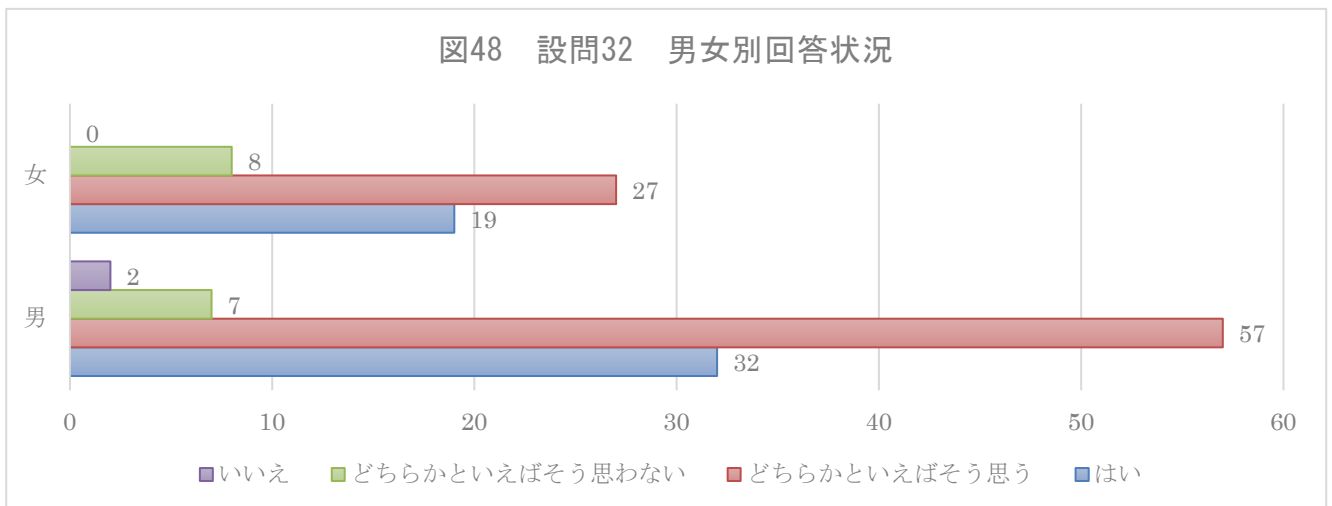


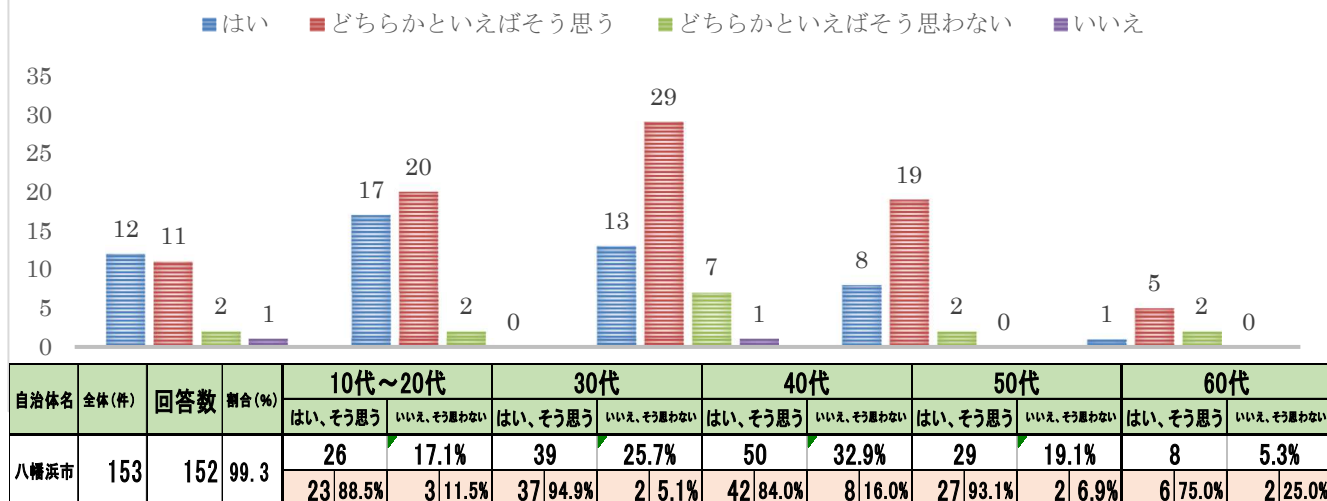
図48のとおり、性別の状況を見ると、男女とも全体の傾向と概ね同様の結果となった。若干ではあるが、女性の方が肯定的な回答割合が低かった。



自治体名	全体(件)	回答数	割合 (%)	うち男性(件数)		うち女性(件数)	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない
八幡浜市	153	152	99.3	98	64.5%	54	35.5%
				89	90.8%	46	85.2%
						9	9.2%
						8	14.8%

図 49 のとおり、各年代別の状況を見てみると、各年代とも全体の傾向と概ね同様の結果であったが、若干ではあるが、肯定的な回答割合が40代では84.0%、60代が75.0%と、やや低かった。

図49 設問32 年代別回答状況



ツ 設問 34~35 (産休・育休等休暇制度は、十分に活用できていますか?)

設問に対する回答数は153件(全体153件)で、問いに対し、図50のとおり、制度の活用に関して肯定的な回答割合が約77%、否定的な回答割合は、約23%であった。多くの方が、産休・育休を活用できていると感じている結果となった。

図50 設問34 項目別回答状況

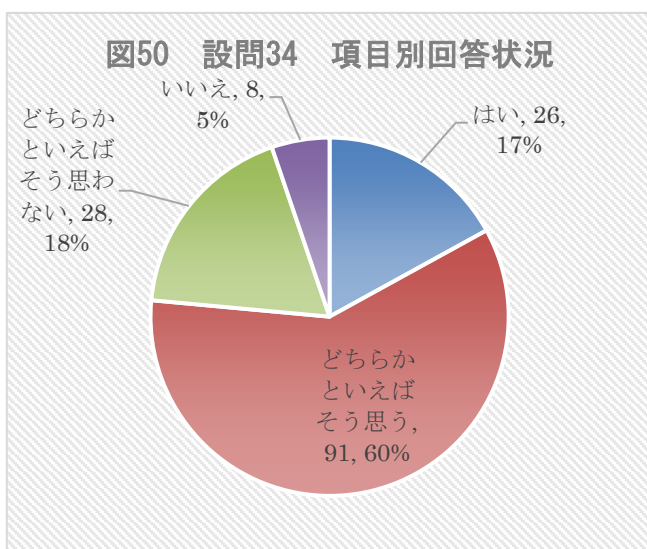
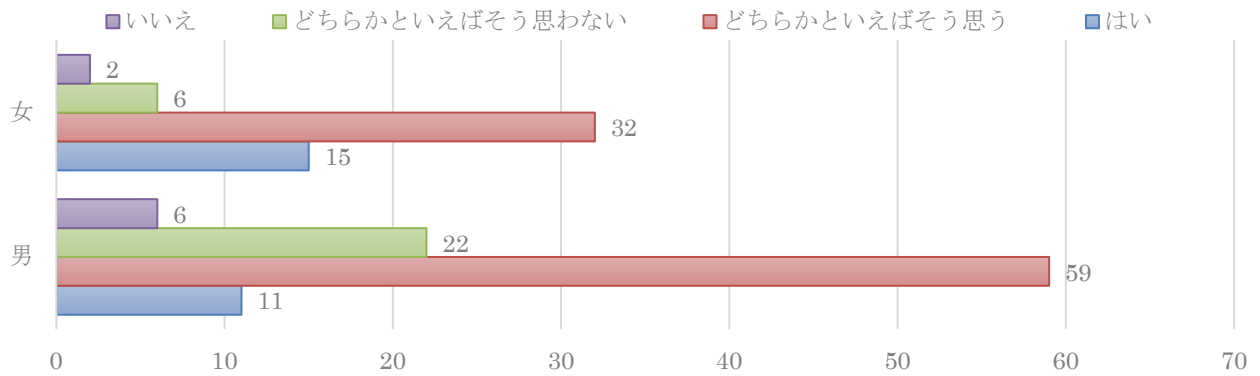


図 51 のとおり、性別でみた場合、全体の傾向と比較すると、肯定的な回答割合が男性では 71.4%、女性は 85.5%と、女性の方が肯定的な回答割合が高かった。

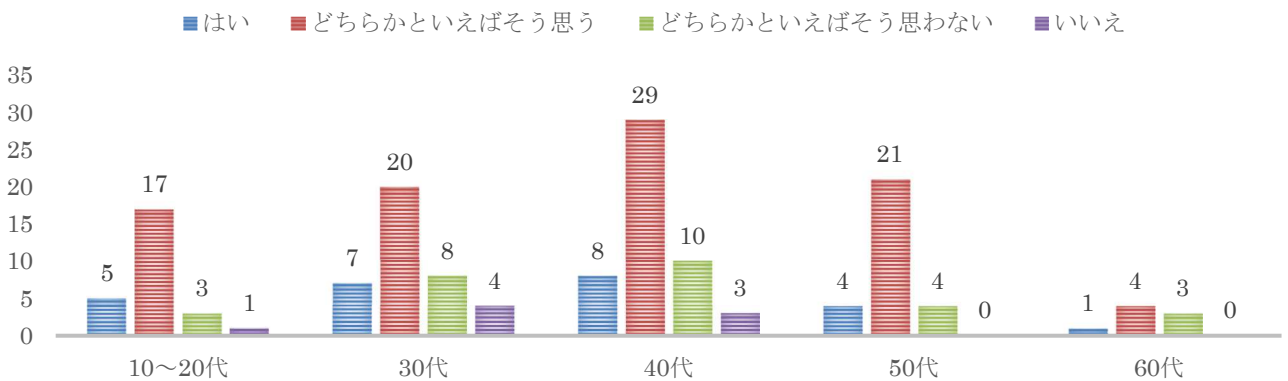
図51 設問34 男女別回答状況



自治体名	全体(件)	回答数	割合 (%)	うち男性(件数)		うち女性(件数)	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない
八幡浜市	153	153	100.0	98	64.1%	55	35.9%
				70	71.4%	47	85.5%
				28	28.6%	8	14.5%

図 52 のとおり、各年代別の状況を見てみると、全体的にバラツキがあるが、10代及び50代は肯定的な回答割合が高かった一方で、その他の年代はやや低かった。特に30代は、最も活用される時期とも重なるにもかかわらず、69.2%と低めであった。

図52 設問34 年代別回答状況



自治体名	全体(件)	回答数	割合 (%)	10代~20代		30代		40代		50代		60代	
				はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない	はい、そう思う	いいえ、そう思わない		
八幡浜市	153	152	99.3	26	17.1%	39	25.7%	50	32.9%	29	19.1%	8	5.3%
				22	84.6%	4	15.4%	27	69.2%	12	30.8%	37	74.0%
				13	26.0%	25	86.2%	4	13.8%	5	62.5%	3	37.5%

テ 設問 36～37（職場内におけるワークシェアリングなど、休暇を取得しやすい取り組みは進んでいると思いますか？）

設問に対する回答数は153件（全体153件）で、問いに対し、図53のとおり、肯定的な回答割合は約42%、否定的な回答割合は約58%という結果となった。否定的な回答が過半数を超えており、前問、前々問との関係では、休暇は取得しやすい、産休・育休も活用できている、にもかかわらず、取得しやすい取り組みは進んでいないというやや矛盾した結果となった。

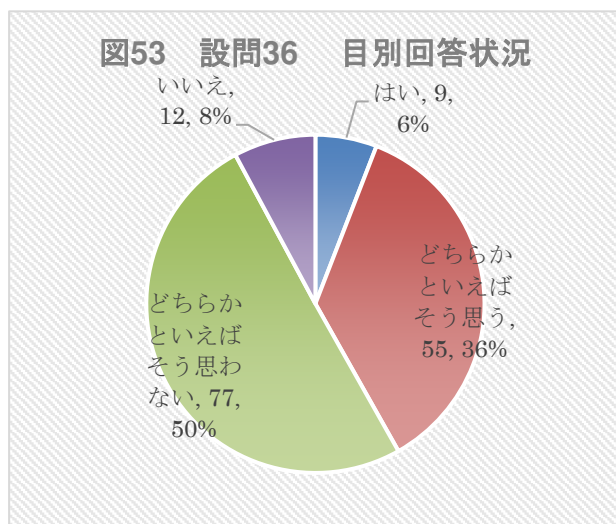


図54のとおり、性別の状況を見ると、男女とも否定的な回答が過半数を超えており、性別により大きく異なる傾向は認められなかったが、男性は61.2%、女性は51.9%と、男性の方が否定的な回答割合がより高い結果となった。

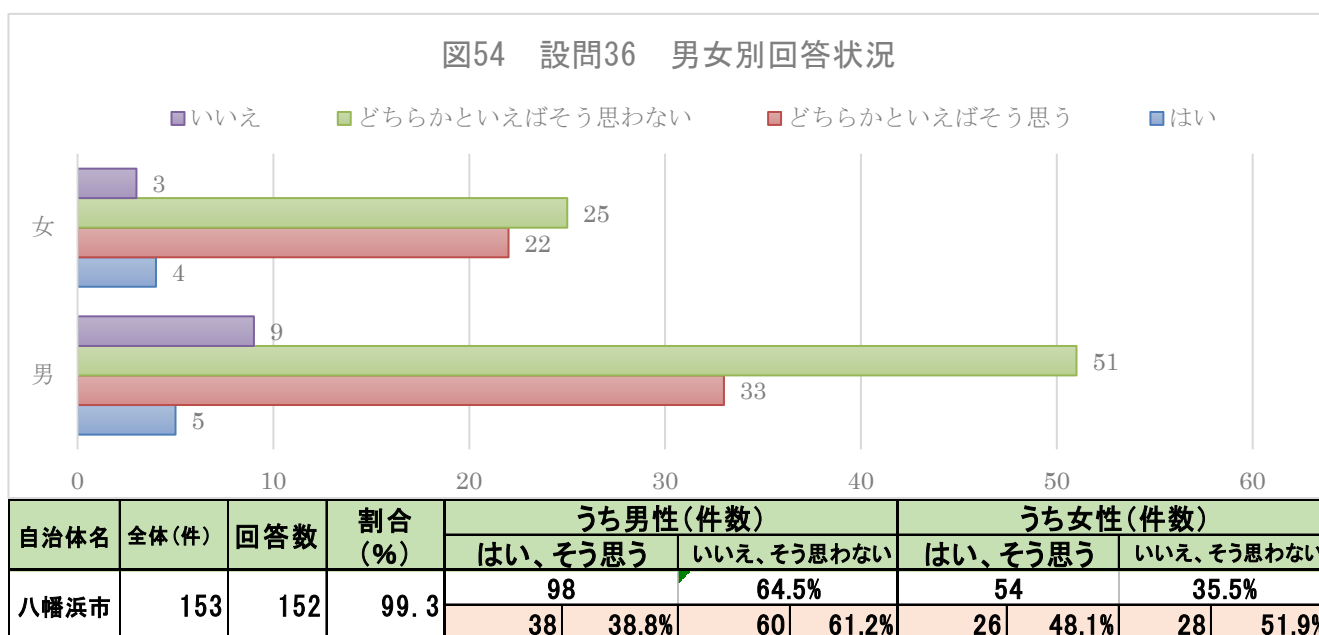
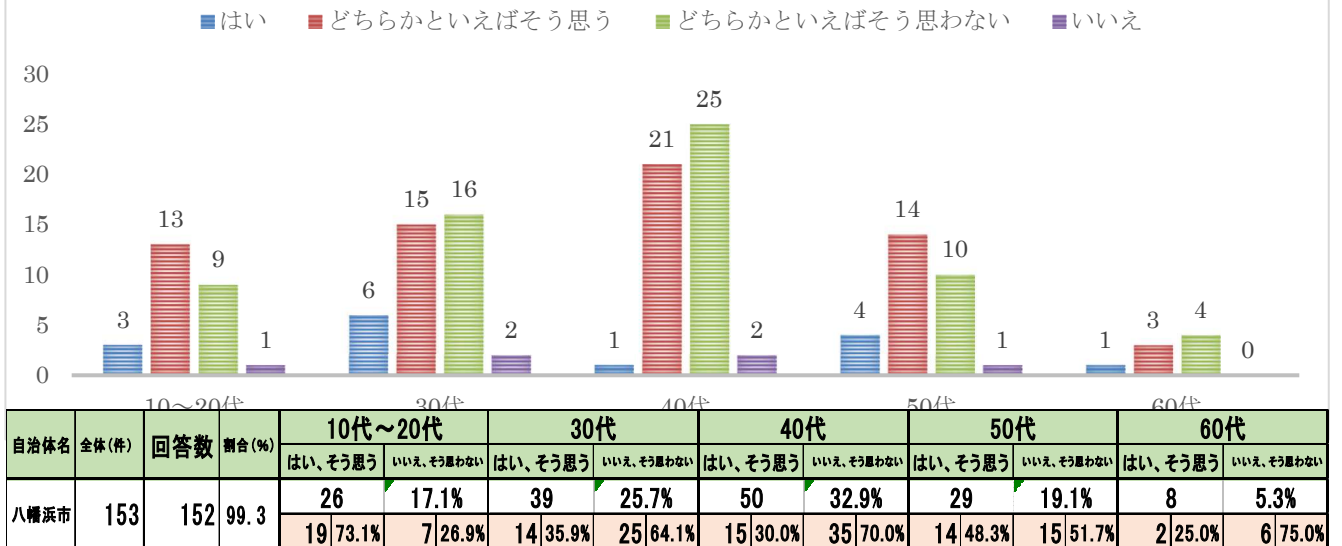


図 55 のとおり、各年代別の状況を見てみると、全体的にバラツキがあり、10～20代のみ肯定的な回答割合が73.1%と極端に高く、全体の傾向とは反対の結果となった。また、60代を除き、30代、40代の肯定的な回答割合が低く、取り組みが進んでいないとより感じている結果となった。

図55 設問36 年代別回答状況



④職場環境について

ト 設問 38～39（職場のオフィス環境に満足していますか？）

設問に対する回答数は152件（全体153件）で、問いに対し、図 56 のとおり、肯定的な回答割合は約54%、否定的な回答割合は、約46%という結果となった。肯定的な回答がcaろうじて過半数を超えたものの、多くの方が否定的に感じているという結果となった。

図56 設問38 項目別回答状況

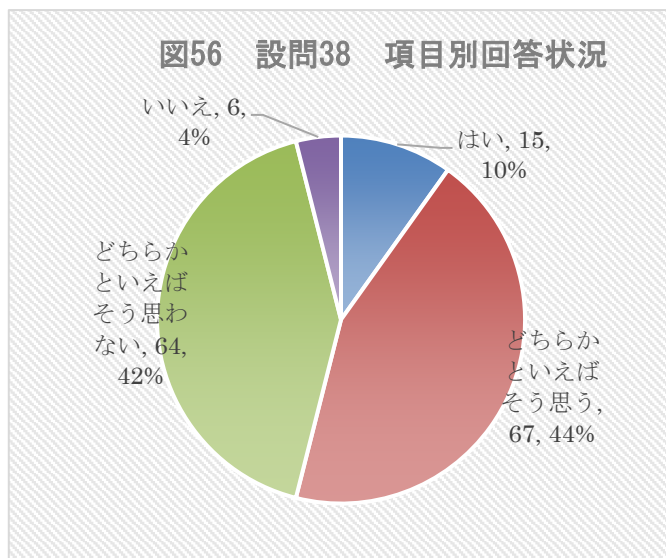


図 57 のとおり、性別の状況を見ると、男女とも概ね全体の傾向と同様の結果であった。性別による特段の差異は認められなかった。

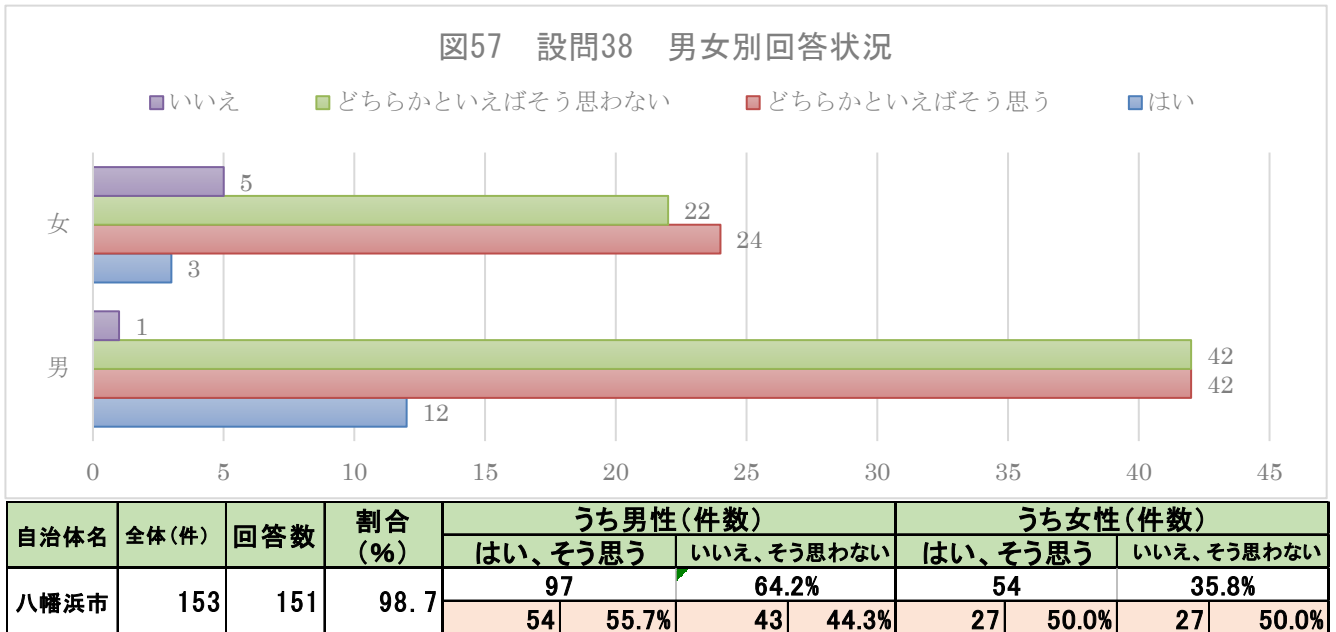
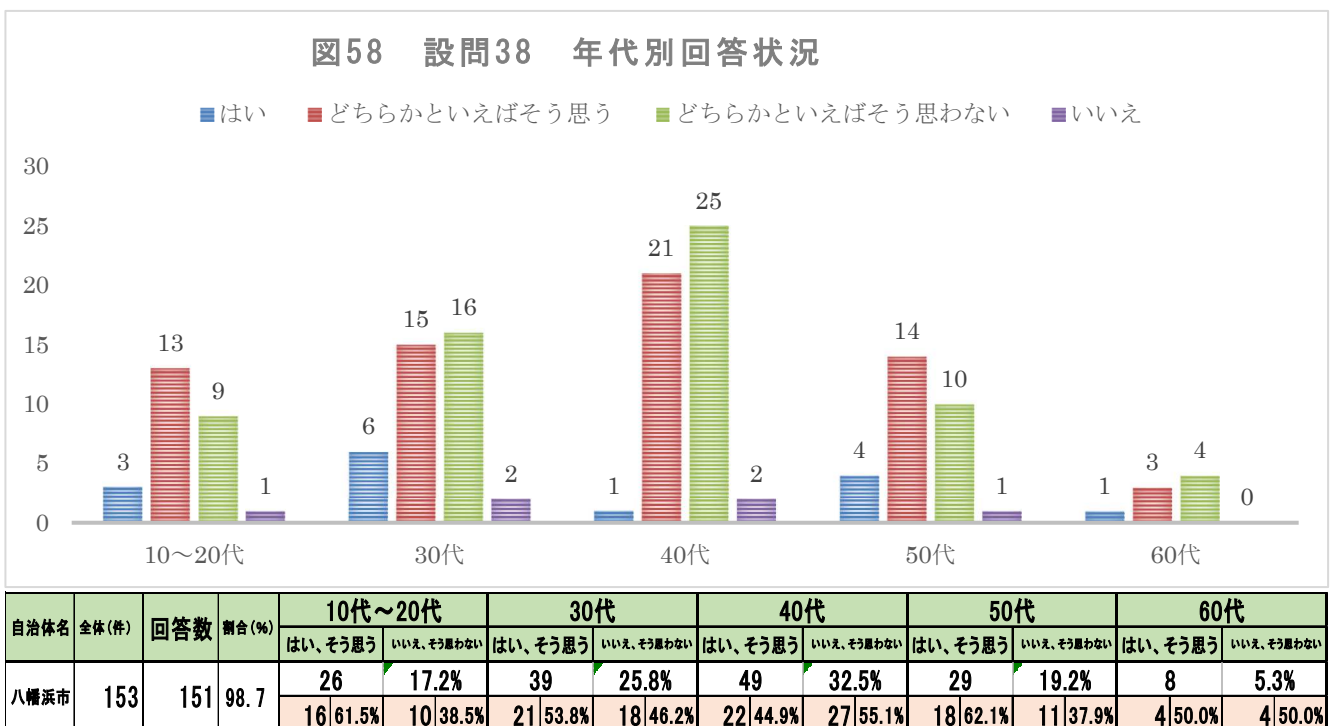


図 58 のとおり、各年代別の状況を見てみると、全体的にバラツキはあるが、全体と比較して、肯定的な回の割合が低かったのは40代の44.9%であった。逆に高かったのは50代の55.1%、10～20代の61.5%で、30代から40代の中堅層の職員の満足度がやや低い結果となった。



ナ 設問 40（快適な職場環境では何が必要と思いますか？（複数選択可））

※全体の総括の回答状況を参照（P 45）

二 設問 41～42（庁内LANをはじめ様々な業務システムやツールがありますが、業務を行う上で十分だと思いますか？）

設問に対する回答数は153件（全体153件）で、問いに対し、図59のとおり、肯定的な回答割合は約63%、否定的な回答割合は約37%であった。全体的には、多くの職員から肯定的な評価を受けている結果となったが、否定的に感じている方も少なくない結果となった。

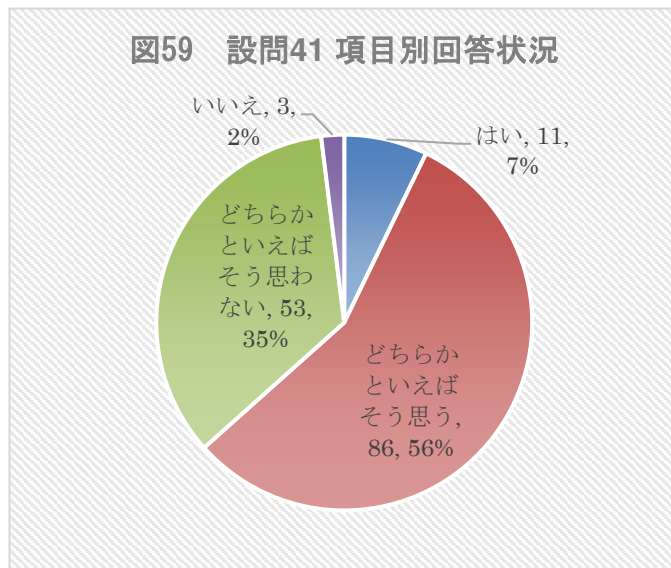


図60のとおり、性別の状況を見ると、男女で若干異なる結果となり、全体の傾向と比較すると、肯定的な回答割合が、男性が60.2%、女性が70.4%と、男性の方がやや低く、女性の方がやや高いという結果となった。

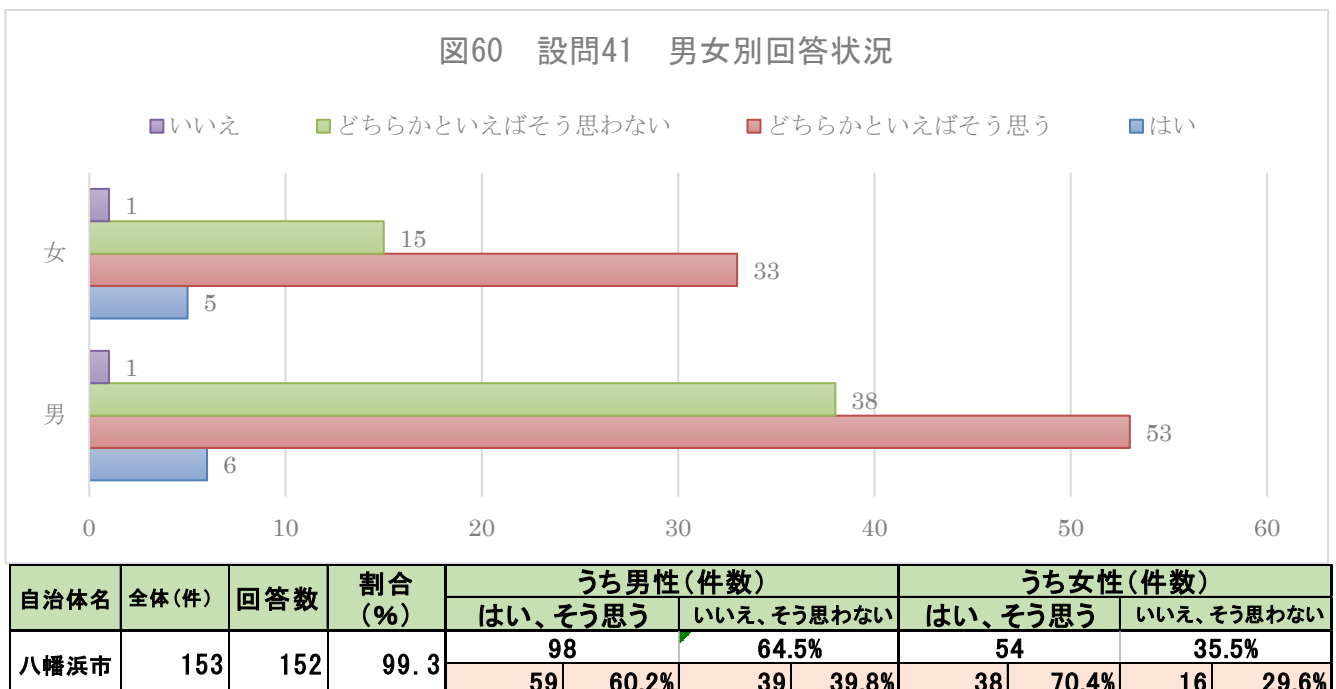
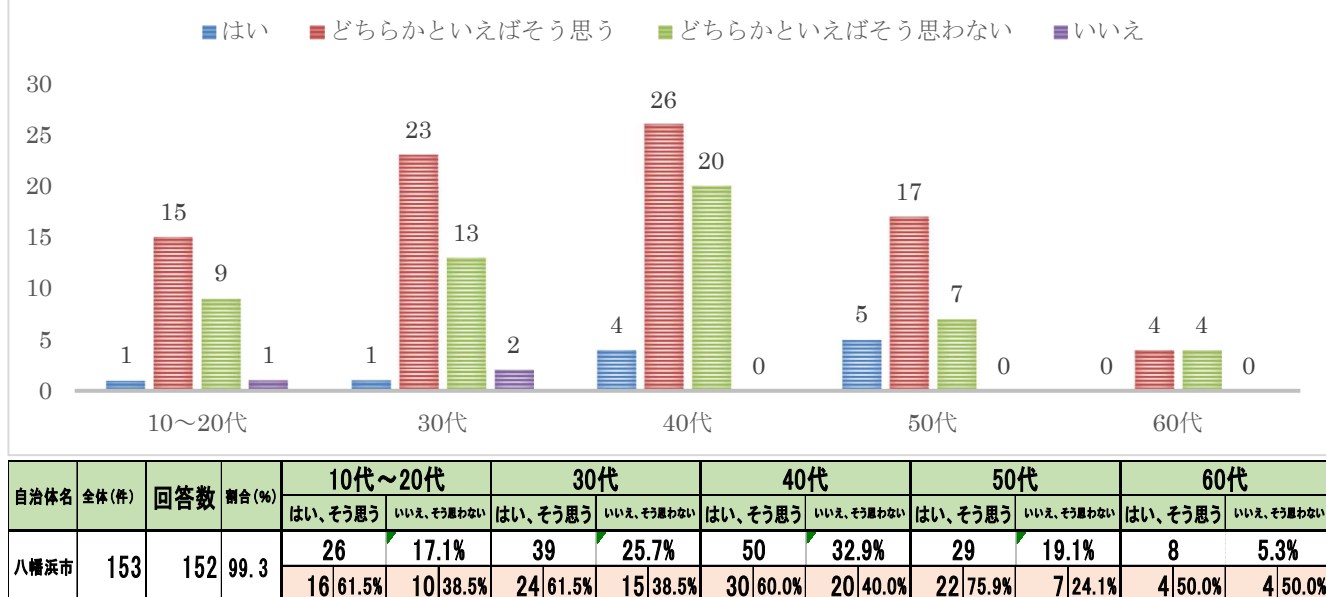


図 61 のとおり、各年代別の状況を見てみると、10代～40代が概ね全体の傾向に近く、50代はやや高い結果となった。若い層では満足度がやや低いが、年齢の高い層では、今のシステム環境での満足度が高いものと思われる。

図61 設問41 年代別回答状況



又 設問 43 (職場において、キャリアアップや様々なハラスメント相談などに対応できる仕組みが整備されていますが、十分だと思いますか?)

設問に対する回答数は153件(全体153件)で、問いに対し、図62のとおり、肯定的な回答割合は約56%、否定的な回答割合は約44%であった。過半数の方からは肯定的な評価を受けている一方で、否定的に感じている方も少なくないという結果となった。

図62 設問43 項目別回答状況

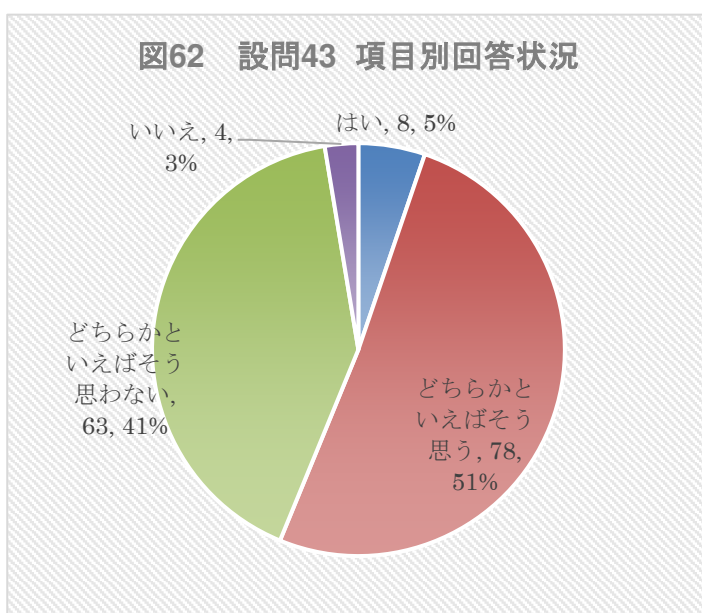


図 63 のとおり、性別の状況を見ると、男女とも概ね全体の傾向に近い結果となった。若干ではあるが、男性の方が肯定的な回答割合が高く、女性の方が低かった。

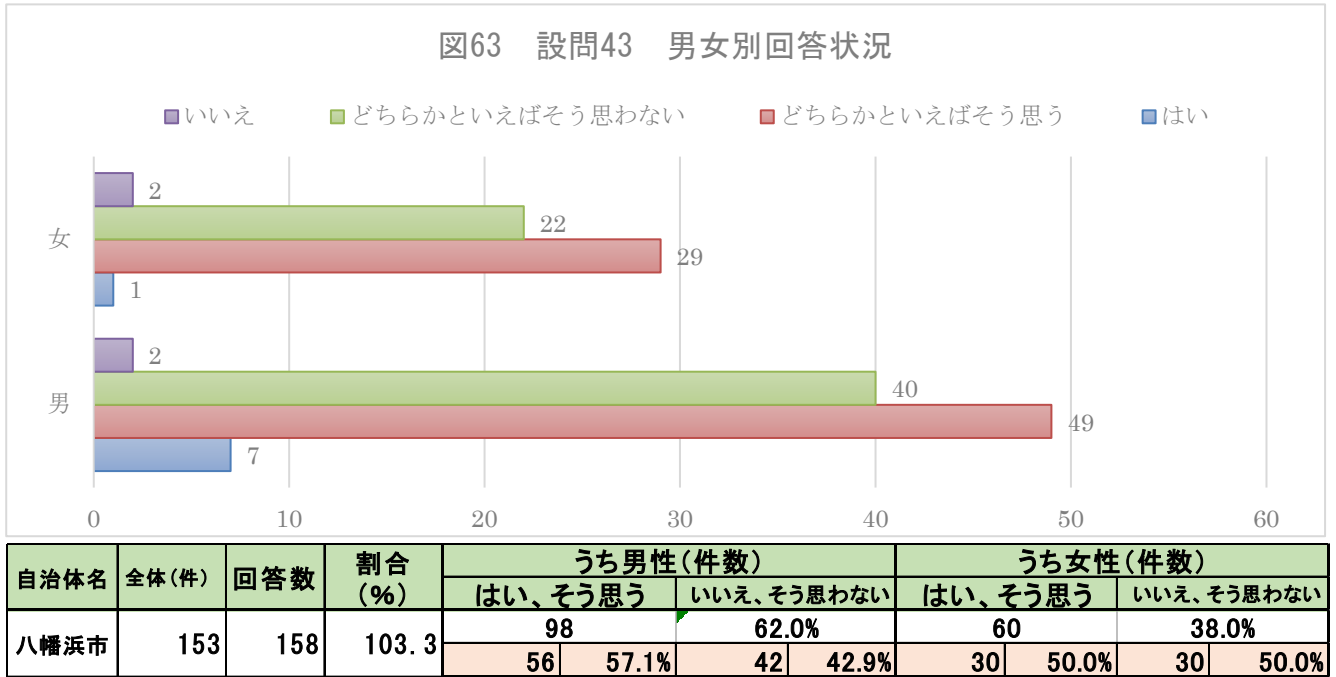
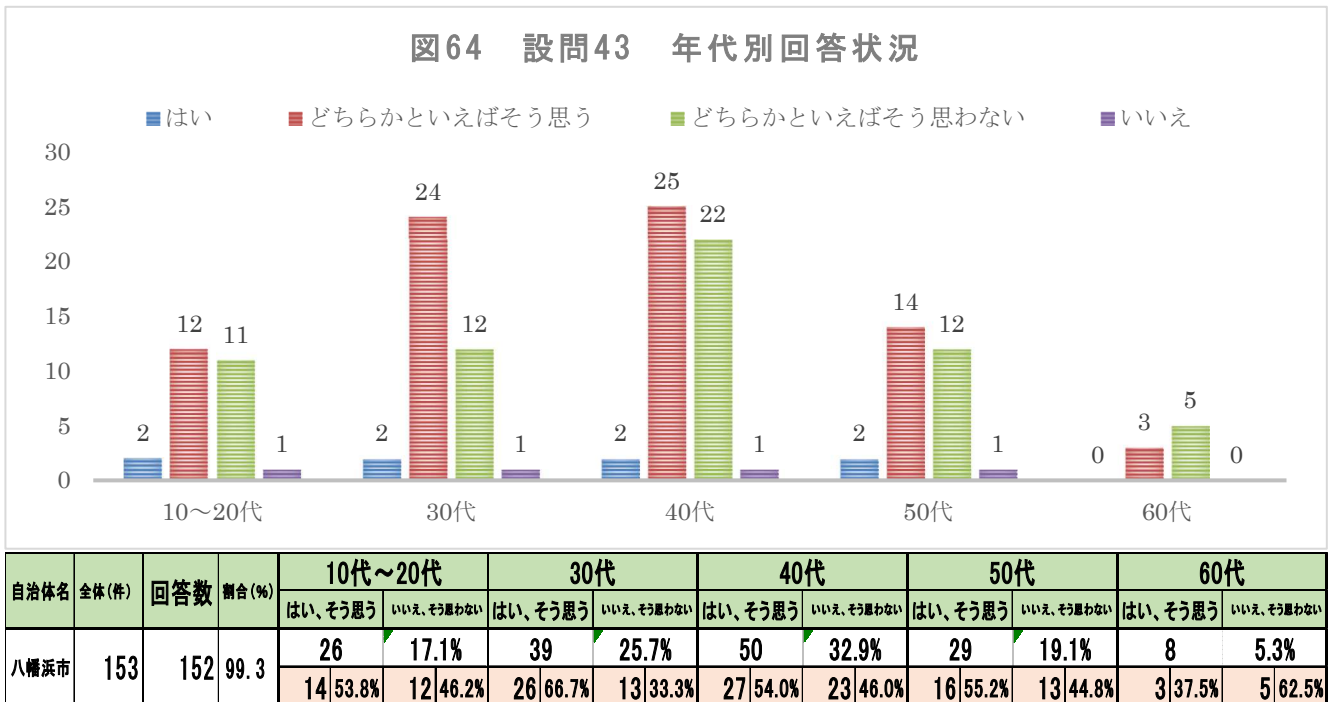


図 64 のとおり、各年代別の状況を見てみると、全体と比較して、肯定的な回答割合が高かったのは30代で66.7%であった。逆に低かったのは60代で37.5%だった。その他の世代は、全体の傾向に近い結果となった。



6. 課題及び対策について

最近は、「女性の活躍」という言葉がいろいろな場面で使われるようになってきているが、そもそも、大元は「男女共同参画」という言葉から始まり、1991年頃（平成3年）から使われはじめ、「男女共同参画社会基本法」という法律が制定されたのは1999年（平成11年）のことであり、そのような社会の変化はあったものの、今ほど「活躍」などという言葉が飛び交うほど盛り上がりはなかったように感じる。

当時も、今と同様に男女が対等な立場で社会に参画するという考えは基本的にあったが、今ほど積極的な取り組みとならなかったのは、本格的な少子高齢化や生産年齢人口の減少などといった社会問題が、今ほど深刻でなかったこともあると思われる。

その後状況は変化し、我が国も本格的な人口減少スキームに突入した2008年（平成20年）以降、じわじわとではあるが人手不足感が出始め、現在に至っては、当時では考えられないほど深刻化した現状があり、性別に関わらず社会を支える状況、いわゆる男性と等しく女性もその社会の構成員として対等な状況にならなければ、社会が回らなくなってきたのもその一因であると考ええる。

女性が働きやすくなるためには、女性特有の妊娠・出産という大きなライフイベントがあることを前提に、より柔軟な働き方を選択できる環境が必要である。また、昨今の人材確保が厳しくなっている状況では、性別を問わず選ばれる職場となるためには、職場環境も整えなければ、選ばれないだけでなく、もっとより良い環境をもった職場へと流れていく可能性もある。

今回の3つのテーマに沿って、以下、各設問の回答に含まれた問題点等を整理し、今度、組織としてどう取り組んでいくべきかという課題について考えていきたいと思う。

（1）女性の活躍について

①各設問の状況を踏まえた課題等について

○設問4について

職場内で女性職員の割合が増えているという状況は、概ね共通の認識であり、全体の約81%がそのように認識しており、否定的な回答は19%であった。。県でも女性の採用割合を半数程度に増やす方針としているところであり、今度段階を経て、概ね男女の職員数が同数程度となる組織体制に移行していくと思われる。このことは、市町においても同様であり、少なくともこれまでの男性主体の組織体制から、女性を意識した組織体制への移行を念頭に置いた組織作りが必要である。

○設問5について

職場内で性別や年齢に関わらず、コミュニケーションが良好かどうかに関しては、約86%が概ね円滑という回答である一方、約14%は否定的な回答であった。所属によっては、職員数や性別、年齢の偏りなどもあって、コミュニケーションが十分でない職場も存在すると思われる。基本的には、それぞれの職場において可能な限り解決を模索すべきであろうが、そうはいかない職場もあろう。人事担当部門にお

いても組織内の状況を十分に把握し、それぞれの職場にその解決を任せて終わりではなく、自立的な対応がとれない職場に関しては、一定の介入は必要であると考える。

職場内でのコミュニケーションが疎遠にならないよう、適切に状況を把握し、職員の声をしっかり受け止めるなど、職員の精神的なケアなども含めて適切に対応すべきではないかと考える。

○設問7について

女性が活躍できているか、ということについては、全体の約87%が肯定的に感じており、否定的な回答は約13%であった。、全体的にはその土壌が整ってきているものと考えられる。否定的な回答割合の主な意見の中には、子育てから復帰した職員のロールモデルとなっている方の周知が不十分といった意見もあり、復帰後に活躍されている方の事例を取り上げ、共有する取り組みを進めるべきと考える。

○設問9について

女性の活躍できる環境の充実に係る必要性については、「ない」と肯定的な回答が25%で、「ある」と否定的な回答が75%であった。多くの方が環境の充実の必要制を感じている一方で、何を充実させたいかについては、明確に「いいえ」とした回答が960件もあつたにもかかわらず、具体的な意見が全く出てこなかったことから、アンケート実施上の反省点となった。

○設問11について

女性が活躍できる職場環境で何が重要かについては、他に圧倒的な差をつけて「柔軟な働き方」がトップとなった。県においても、ここ数年の働き方改革の一環で、多様な働き方が導入され、テレワークや時差出勤なども制度導入当初よりは利用しやすくなっている。一方で、そうして制度が未整備もしくは今後整備を検討される自治体もあると思うが、今後、多様な働き方について更なる対策を講じていくことは、必須の取組みになっていくものと思われる。また「既存意識の改革」「男女の相互理解」についても多くの方から回答を頂いたが、より良い職場づくりにおいて、従来とは異なる柔軟な発想に加え、性別を超えてお互いを尊重しあえる雰囲気作りが大切である。各自自治体においては、この結果を踏まえて、それぞれの項目をより具体化した対策に取り組んでいただけることを願う。

なお、「その他」と回答した方からは、性別に寄らずキャリア形成できる職務経験、予算や議会など汎用的な経験や、超勤の縮減、業務量削減、適正な人員配置などといった意見が出されているが、これらは、後から出てくる項目でも共通する課題でもあるので、これらに対する対策も検討する必要がある。

○設問12について

女性の管理職登用が進んでいるかという点については、約69%の方が肯定的な回答で31%が否定的な回答であった。確かに女性が係長や管理職に登用される割合は増えていると思うが、過去の職員の採用状況では、職種にもよるが、例えば行

政事務の職員であれば、男性の割合が高かったという一定の事実があり、ここ数年は女性採用数が増加傾向となっているものの、女性職員が更なる登用に向けての土壌が整うには、いましばらく時間が必要である。人事当局でも能力等を勘案しながら適正な配置に努められていると思うが、男女では特に管理職の候補者となる方の絶対数が違うので、特に女性については、能力や実績で評価できる方は積極的に登用すべきと思うが、単に女性登用の数値目標にこだわるのではなく、性別に関わらず能力・実績を評価の上、登用を進めていくことが、組織としての取り組みとしては重要であると考える。

○設問 14 について

職場における女性活躍や管理職登用の妨げになるものは「ない」という質問に関しては、性差のこともあり、否定的な回答が多くを占めると予想していたが、結果は、約 43% が妨げは「ない」と肯定的な回答しており、否定的な回答は約 57%と予想に反する結果となった。また、男女別では、男性は、肯定、否定ともに概ね半数程度であったのに対し、女性是否定的な回答が 70% 近くを占め、女性の方が女性活躍や管理職登用の妨げになるものがあると強く感じており、性別により認識の差が認められた。それぞれの組織において、男女の意識の偏りを是正するべく、対応を検討すべきである。

○設問 16 について

職場は子育てするのに仕事と家庭の両立しやすい環境か、という質問に関しては、肯定的な回答割合は約 62% で、約 38% の方は否定的な回答であったことから、両立に関してはまだまだ職場環境の改善の必要がある。

その原因として、業務量過多、長時間労働、人手不足などといったことがあげられる。これらは容易に改善できる問題ではないが、業務量過多に関しては、常に新たな事務が発生し続けている現状において、まずは無駄（必要ない若しくは削っても問題ない）と思われる事務処理を削っていくことが必要であり、個々の事務内容を改めて確認するなど、事務の効率化により超勤時間の削減につなげる必要がある。

なお、人手不足に関しては、正職員の行う事務を会計年度任用職員では補うことはできないことから、職員定数については、人事当局においても柔軟な発想をもって対応すべきと考える。

○設問 18 について

保育施設があれば今より働きやすくなるかという質問に対して、約 79% の方が肯定的な回答、約 21% の方が否定的な回答であった。かなり多くの方が肯定的な回答であったものの、先の設問 11 における、女性が活躍できる職場環境に求められるものは何か、という設問の選択肢に「保育施設」があったが、それよりも「柔軟な働き方」のほうが選ばれるなど、「保育施設」は現状として優先度は低いと考えられる。

設問が、「保育施設」の設置を前提としているような問いかけであったため、働

きやすくなるかも、という肯定的な回答に流れただけだと思われる。寄せられた意見を見ると、職場で保育施設を維持・運営するのは、現実性に乏しい、民間施設での受け入れで十分だという意見が本音の部分と考えられる。どちらかと言えば、子どもに何かあったとき、休みやすい環境を整えてほしいという意見の方が職員が本当に望んでいる回答ではないかと考える。したがって、設問16とも関連するが、制度の見直しや改善を行う方が、働きやすい環境づくりに繋がると考える。

○設問20について

保育施設以外の新たな設備・制度等について必要ないか、との設問については、肯定的な方が約27%、否定的な方が約73%という結果となった。これも前設問と同様、頂いた意見の中ではハード面の整備を望む声というよりは、ソフト面(働き方の制度等)に係る改善を求めるものが多い。また、少数ではあるが、病児保育に関する声もあった。

○設問22について

産休・育休等の制度活用自体が自身のキャリアに与える影響について、全体では、「影響がない」と肯定的にとらえる方が約40%に対し、「影響がある」と否定的な回答割合が約60%という結果になった。肯定的な回答割合が意外に多かったが、男女別に見ると、女性の方が否定的な回答をされている方が多く、女性の回答者数の70%程度を占めた一方で、男性は50%程度だった。また、年代別に見ると、10代～30代の若年層の方に否定的な回答割合が多かった。

制度の利用に係る影響については、男女の意識差があるほか、若年層においても否定的な認識がやや強い傾向があることから、制度そのものの利用に関しては、そのような不安を払しょくするための対策が必要である。

○設問24について

女性職員に対する職場での教育・研修環境は整っているかとの問いに対し、全体的には約65%の方が肯定的な回答であったのに対し、否定的な回答は約35%であった。整っていないと感じている方の主な意見の中から、女性職員や女性管理職が増えてきたのは最近のことでロールモデルが確立していないという意見があったが、若年層の職員向けに、育児・子育て経験のある女性職員のロールモデルがあれば、イメージしやすいのではないかと考える。また、研修環境が整っていないという方の意見では、業務多忙で研修に十分な時間を割けないという方や、過去数回、ステージアップ研修ですらきちんと受けられないといった意見などがあったことから、研修の受講について柔軟性を持たせたり、受講の機会については公平性を欠くことの無いよう、配慮が必要である。

なお、県の実施する研修の内容に男女差はないと思うが、性差、特に妊娠や出産は女性特有の生理現象であることから、性別に関わらず、相互理解を深めるための教育・研修制度とすべきではないかと考える。

○設問 26 について

女性職員の能力・スキルの向上について組織の支援は十分か、との問いに対し、全体では約 66%の方が肯定的、約 34%の方が否定的な回答であった。

否定的な回答者の主な意見であるが、研修機関へは、通所が原則であり、時間もフルタイムを前提にスケジュールリングされるなど時短勤務者などへの配慮や、全体的な総論は県の研修所で学べても実務の業務については個々人で努力するしかない、現状の制度よりも更に実効性がある制度を検討すべき、など研修制度について更なる改善を求める意見があった。女性に関わるものもあるが、基本的には性別に関係なく改善を図っていくべきであると考える。

今後の研修のあり方について、時短勤務者など時間的な制約がある方などにも配慮したりリモートもしくは動画での受講も取り入れるべきではないかと考える。それにより、柔軟な受講の仕方を選択でき、受講の幅が広がるのではないかと考える。

また、実務の研修に関しては、総論中心で実務の視点に欠けているというものはある意味やむを得ないと思われるが、職場における OJT レベルのことまでは求めないものの、事務処理の基本的なことを学ぶ研修があってもよいのではないかと考える。例えば、補助事業や委託事業などの事務処理例であるとか、あるいは庶務事務などの基本的な処理の仕方であるとか、多少具体的なレベルまで掘り下げたものがあった方が受講者にもイメージしやすいのではないかと思われる。

② 女性の活躍の活躍に係る提言について

①による各設問の課題・問題点等を踏まえて、女性が活躍できる職場にするための対策等について次の通り提言する。

《提言 1》

○更なる「柔軟な働き方」の制度拡充について

短時間勤務対象者は小学校就学始期に達するまでとなっているが、少なくとも子どもの義務教育期間中まで対象を拡大すべきである。子供が小さなうちは、通園通学などの送迎や食事の世話のほか、急な体調不良など突然の対応を求められることがしばしばある。家庭と仕事の両立を図るうえでは、短時間勤務が可能な期間を今以上に拡充すべきである。

《提言 2》

○柔軟に研修を受講できる体制整備について

短時間勤務者などリモートや録画での受講なども対象とすべきである。現在の研修体制、特に必修となる研修は基本的に集合研修を前提に企画されており、また日程も終日受講が必要であるなど、受講者が時短勤務者場合は研修日程を合わないことから、より柔軟な受講体制を整備し、受講者の選択の幅を広げるべきである。

《提言3》

○子育て経験のある女性職員のロールモデルについて

復帰後に活躍されている女性職員の事例を取り上げ、共有すべきである。女性職員が子育てから復帰して大いに活躍している事例を踏まえたロールモデルを共有し、これからの出産や子育てを意識している女性職員の不安解消を図るべきである。

《提言4》

○産休・育休制度利用に係る不安解消について

勤務期間にとらわれすぎない人事評価制度を検討すべきである。制度利用に関して、自身のキャリアに与える影響を不安視する声は男性よりもむしろ女性の方が強い傾向があることから、現行の人事評価制度においても、特に期間にとらわれすぎることなく、本人の能力や実績などを適切に評価する制度設計について検討する必要がある。

なお、能力や実績で評価できる女性を積極的に登用すべきと思うが、単に女性登用の数値目標にこだわるのではなく、性別に関わらず能力・実績を評価の上、登用を進めていくことが、組織としての取組みとしては重要であると考える。

③ 男女が対等意識で働ける職場のための提言について

性別を意識することなく、対等な関係で働ける職場づくりのため、次の通り提言する。

《提言5》

○研修内容の改善について

男女の相互理解や意識改革につながる研修及びより実務に近い研修の導入について検討すべきである。

女性が、その活躍や管理職登用などの面でハードルがあるという認識が高いことから、組織において、男女の意識の偏りを是正するべく、ジェンダーに関する知識を深めること等を目的とした研修を検討すべきである。

また、総論的な研修だけでなく可能な範囲で、現場の実務を取り入れた研修を検討すべきである。実務に関してはOJTでの対応が基本であるし、また、似て非なる事務も多くあることからすべてを網羅することは難しいが、基本的な事務処理を学ぶ研修、例えば補助事業や委託事業、あるいは日常的な庶務事務など、基本的な処理の仕方など身近な実務に関する研修について検討してはどうか。近年、後輩職員や新採職員の指導についても相応の丁寧さが求められている。事務を進める上でイメージしやすくなるほか、自助努力を促し、インストラクターなど教える側の負担軽減にもつながると思われる。

《提言 6》

○業務量過多、長時間労働、人手不足への対応について

職員数（定数）の柔軟な運用について検討すべきである。

業務量過多などの問題は、今回のアンケートでも多くの意見が寄せられている。1人あたりの業務量過多や長時間労働は、全て人員不足が主な要因であると考えている。超勤を減らすには、業務量を減らすか、人を増やすかの2択しかないと考えている。現状として、すぐに業務量を減らすのはかなり難しいと思われることから、人を確保することを考えるべきである。人手不足が恒常化している部署がある以上、組織として当然カバーしていかなければならないものであり、必要に応じた人員増が可能となるよう、弾力的な運用を考えるべきである。通年採用とはいかないまでも、正職員の中途採用も選択肢として検討してはどうかと考える。民間企業との熾烈な人員獲得競争が行われている状況では、民間企業からの転職者など、即戦力として期待できる労働力の確保を、より柔軟に行える体制を整える必要があるのではないかと考える。また、超勤を縮減し、職員を増やした分の財源に充てるなどといったことも方法として考えられる。

なお、正職員の行う事務を会計年度任用職員では補えないことから、これまでの常識にとらわれず、組織存続のため異次元の対策を考えるべきである。

《提言 7》

○より働きやすい職場に向けた取組みについて

ア 職員の声を直接受け止める機会創出について

所属だけではコミュニケーションや職場内の関係性などの解決が難しい職場において、人事当局においても、精神的なケアなども含めた職員の声をしっかりと受け止める機会の創出を図るべきである。本来は所属で対応すべき問題かもしれないが、現実では自立的な対応がとれていない職場もある。人事当局の一定の介入は必要であると考えている。

イ 看護・介護休暇制度の拡充等について

子どもに何かあったときなど、休みやすい環境を整えてほしいという声が多く聞かれたことから、特に未就学児などを養育する職員や親の介護などの負担が大きな職員を考慮し、看護・介護休暇の日数をもっと増やす（例えば試行的に1.5～2倍程度を検討）べきではないかと考える。

(2) 働きやすさについて

①各設問の状況を踏まえた課題等について

○設問 28 について

時差出勤やテレワークなどの多様な働き方の制度が整っているかとの問いに対し、約78%の方が肯定的であった一方で、否定的な回答が約22%あり、全体的には制度が整っていると多くの職員が感じている。

しかしながら、制度が整っていたとしても、実際の利用に関しては、ルールの一貫性や管理が行き届いていない、業務（対面や出張がメインなど）によっては制度をうまく使えない、また職場によっては使いづらい雰囲気がある、などといった意見がある。自治体によっても差はあるが、制度があるところは、利用促進のための対策を講じていく必要がある、制度がない自治体では、制度整備について検討することも必要と考える。

○設問 3 0 について

福利厚生（過重労働、メンタル）制度は整っているか、との問いに対し、全体的には約 7 0 %の方が肯定的で、約 3 0 %の方が否定的な回答となった。主な意見としては、制度があっても利用しづらい、利用したがあまり良い印象はなかった、カスタマーハラスメント対策が十分でない、などの意見があった。また、若年層の退職者が多く、対策が十分でないとの意見もあった。

メンタル相談などは、担当者が職員の中から選ばれており、相談しにくいといった意見もあり、外部の専門家などに委託することも検討すべきと考える。また、カスタハラ対策に関しては、現在、各所属で対応していると思うが、民間企業のお客さま相談センターのような、クレーム専門部署で対応した方が、担当職員の精神的な負担軽減や業務の中断を避けられるなど、事務の効率化にもつながるのではないかと思われる。

○設問 3 2 について

年休、夏季休暇は取得しやすいか、との問いに対し、肯定的な回答割合は約 8 6 %で、否定的な方は約 1 4 %であった。全体的に見れば、多くの職員が取得しやすくなったと感じている。否定的な方の主な意見としては、夏季休暇の場合取得単位が 1 日なので取得しにくい、人手不足、病休取得職員のフォロー、業務の関係（窓口・出張多い）などがあった。制度拡充は、職員側にとってありがたいことではあるが、業務量が多いなど休暇を消化しづらい状況の方もいる。業務過多で超勤が常態化しているの職場に関しては、職員の補充や応援体制構築など何らかのフォローが必要である。

○設問 3 4 について

産休・育休は十分に活用できているか、との問いに対し、肯定的な回答割合は約 7 8 %で、否定的な方は約 2 2 %であった。全体的に見れば、概ね活用できているという回答となっている一方で、否定的な方の意見としては、男性と女性では取得日数に大きな違いがあることや、代替職員のいない中では取得率向上にはつながらないといった意見に加え、ここでも、根本的な問題として業務量過多や超過勤務が多いといった意見もあった。性別や年代別の結果も概ね同様の結果となっている。

休暇取得者のサポートについては、その場しのぎではなく、組織として必然的に対応可能な仕組みとして考えていく必要がある。

○設問 3 6 について

職場内のワークシェア、休暇を取得しやすい取り組みは進んでいるか、との問い

に対し、肯定的な回答割合は約55%で、否定的な方は約45%であった。前設問の結果に対して、肯定的な回答が減り否定的な回答が増加しており、休暇を取得しやすい取り組みに関しては、回答者の半数近い方がまだまだ十分でないと感じているようである。性別や年代別の結果も概ね同様の結果となっている。

否定的な方の主な意見としては、業務の属人化や業務量の偏り、情報の共有不足によりワークシェアが進まないなどといった意見があった。今後、対策を講じていかなければならない課題である。

②働きやすさの追求に関する提言について

①による各設問の結果を踏まえて、より働きやすい職場にするための対策等について次の通り提言する。

《提言8》

○時差出勤やテレワーク等の柔軟な利用について

制度整備に加え、より柔軟に利用できるような仕組み作りが必要である。

時差出勤やテレワークなどの制度に関しては、ルールの一貫や管理の問題、業務（窓口など対面や出張がメインなど）の問題、また職場の雰囲気など様々な意見があった。自治体により制度の整備状況や管理手法などに差はあると思うが、これらの制度を整備して、なおかつ利用促進を図るのであれば、より柔軟に利用できるような仕組み作りが必要である。一部、こうした制度利用にそぐわない職場もあるかもしれないが、できる限り多くの職員が利用できるよう、努めていく必要がある。

《提言9》

○福利厚生制度の更なる充実について

ア メンタルヘルス対策について

メンタルヘルス対策は、外部の専門家などに委託すべきである。

メンタルヘルス相談などは、同じ職員間での相談といった現状の仕組みでは、利用しにくいのが正直なところである。また、割り当てられた職員自身がそうした資格を保有しているわけでもなく、単にあて職的に対応しているだけなのであれば実効性に乏しいと思われる。外部の専門家などに委託することも検討すべきと考える。

イ カスタマーハラスメント対策について

クレーム専門部署を新たに設置（外部委託等含む）すべきである。

近年、カスタマーハラスメントが社会問題になりつつある。カスハラを経験したことのある職員は少なくないといった報道もある。現在、特に電話対応に係るクレームへの対応は、各所属に加え、人事担当課などで対応していると思うが、電話対応が長時間になることも多く、業務に支障が出ることも多い。また、下手に回答もできず、理不尽な言われ方をすることもあり、対応する職員の精神的な負担は大きい。

そこで、特に電話対応に関しては、民間企業のお客様相談センターのような、クレーム専門部署を設置（外部委託等含む）で対応した方が、担当職員の精神的な負担軽減や、業務の中断を避けられるなど、事務の効率化にもつながるのではないかと考える。

なお、当面の間の対応として、対応がまちまちな現状を踏まえ、全庁共通の「クレーマー対応マニュアル」を策定し、電話対応の内容によっては、即座に電話を切るといった対応ができるよう、ルールを整備すべきと考える。

《提言 10》

○休暇を取得しやすい取組の推進について

実効性のあるワークシェアに係る取組みを本格的に検討すべきと考える。

年休や夏季休暇の取得、産休・育休の取得に関しては、多くの方が取得しやすい、活用できているとの回答があったものの、休暇を取得しやすくするためのワークシェアに関しては、肯定的な回答が半数程度であった状況から、設問の回答とやや矛盾するような結果が出ている。これは、制度的には整備されており、どちらかと言えば使いやすくなった、という意味での結果だと思われる、実際に休暇を取得するにあたってのワークシェアについては、十分ではない状況がうかがえる。改善するには、業務を減らすか人員を増やすか、という2択であり、先の（1）女性の活躍についての②に掲げた《提言2》に示した通り、定数の柔軟な運用になどにより、業務過多など休暇が取得しにくい職場の解消を図っていくべきである。ワークシェアで総労働時間を複数人でシェアするなど、時短勤務職員が増えてもいいの良い環境を検討すべきである。

（3）職場環境について

①各設問の状況を踏まえた課題等について

○設問38について

職場のオフィス環境に満足しているか、との問いに対し、肯定的な回答割合は、約56%で、否定的な方は約44%であった。男女別や年代別においても、概ね同様の結果が得られている。

否定的な方の主な意見として代表的なものは、施設・設備の整備・管理が十分でない（執務室が暗い、冷暖房の効きが悪い、机やいすが古い、トイレ環境、ロッカーや更衣室がない、会議室が足りない、建物の老朽化など）という意見が多く、これらは全てをまとめて改善できるものではないことから、徐々に改善を図っていく必要がある。

○設問40について

快適な職場環境に必要なものは、との問いに対し、前設問で頂いた意見に近い形

で、職場に必要と思われるものが選択されている。圧倒的な回答数であったのは冷暖房設備であり、近年の温暖化など影響もあると思われ、快適な作業ができる空調設備が望まれていると考える。また、事務室の環境としても照明や机、椅子などのほか、作業スペースや休憩室などを望む声も多い。これらの回答を参考に、それぞれの自治体においても職員の希望に少しでも耳を傾け、改善を図っていただきたい。

○設問 4 1 について

庁内LANなどの業務システム・ツール等は業務を行う上で十分か、との問いに対し、約73%の方が現状に十分に整備されていると感じている一方で、否定的な方は約27%であった。否定的な方の主な意見は、パソコン自体のスペックに関することや通信速度、ストレージなどハード環境に関連するもののほか、RPAに関することや現状未だに紙媒体を使った事務処理の改善などがあつた。

業務ツールなどに関しては、県の場合でも現在進行形で様々なものが生み出されつつある状況であり、今後、更なる事務改善等に繋がるツールの開発・提供に期待したい。また、ハードなどの環境については、業務のDX化が進む中で、パソコンの性能の向上や通信の更なる高速化に加え、ストレージ関しても、これまで以上に容量を増やしていく必要があると思われるので、日々の利用状況などを踏まえて、業務に支障のないように各自治体における取組が必要である。

○設問 4 3 について

キャリアアップやハラスメント相談に対応できる取り組みは十分か、との問いに対し、約64%の方が肯定的、約36%の方が否定的な回答であった。否定的な方の主な意見では、キャリアアップに関しては、目に見える形での育成（資格や免許の取得など）は十分でないといった意見もある一方で、研修会開催やオンライン研修などの実施に関しては感謝する意見もあつた。ハラスメントに関しては、職員が窓口になっているため気軽に相談できないことや、プライバシーの問題などがある。

性別でみると、肯定的な方は男性が約70%、女性が約60%で、男性の割合がやや高かった一方で、否定的な方は男性が約30%、女性が約40%で女性の割合がやや高かった。

年代別では、どの年代も大きく偏ることなく、約60%が肯定的、約40%が否定的で、概ね全体の傾向に近い回答であつた。

いずれの自治体においても、相談することに対するプライバシーが守られていないので相談しにくいという意見があつた。職員間での相談は、相談しやすさという面では壁になっていると思われるので、職員以外の第三者に相談できる仕組みにするとか、制度が形がい化しないよう、改善を検討すべきではないかと考える。

職員のキャリアアップに関しては、制度そのものがないか、または整備されていても、十分なものではない可能性もあり、各自治体においても、制度の整備や充実化に努めていく必要があると考える。

② 職場環境の充実に関する提言について

①による各設問の結果を踏まえて、より良い職場環境にするための対策等について次の通り提言する。

《提言 1 1》

○職場環境の一層の充実にについて

施設や設備等に係る改善を可能な限り速やかに進めるべきである。

今回多くの方から施設・設備の整備・管理が十分でない（執務室が暗い、冷暖房の効きが悪い、机や椅子が古い、トイレ環境、ロッカーや更衣室がない、会議室が足りない、建物の老朽化など）の意見を頂くなど、満足度は高くないのが実情である。業務を効率的に進める上では、快適な職場環境も重要な要素である。長年にわたり手を付けられていないところもあり、予算上の制約等もあると思われるが、できる限り改善を図っていくべきである。

《提言 1 2》

○業務用パソコン等のスペック向上等について

膨大な情報量を処理可能な端末等のスペック向上やクラウド技術の積極的な活用等を図るべきである。

業務システムや各種ツールは、更新や新規など様々なものが開発・運用されており、全体的には満足度は高い結果となっている。一方で、否定的な意見では、システムやツールというよりは、通信速度やハード面に係るものが多い。現在、端末は持ち運びが可能となっているが、ハードディスクを使用している以上、故障やデータ紛失等のリスクが付きまとう。クラウド技術の活用により、庁内のデータ管理をクラウド上で一元化する他、大容量のデータを扱えるように通信速度も向上させるなど、抜本的な対策を検討すべきである。

《提言 1 3》

○キャリアアップやハラスメント対策の充実にについて

ア キャリアアップ対策について

キャリアアップ対策について、より具体的な取組を検討すべきである。

目に見える形での育成(資格や免許の取得など)が十分でないとの意見もあり、今後、職員に対してより具体的な提案ができるよう、加えてインセンティブを与えられる仕組みとすべきである。

イ ハラスメント対策について

ハラスメント対策は、外部の専門家に委託すべきである。

ハラスメント対策は、同じ職員間では気軽に話すのが難しいほか、プライバシーの問題があつて、うまく機能していない現実がある。外部の専門家に委託する方が利用しやすいだけでなく、制度の信頼性も向上すると考える。

7. おわりに

今回のアンケート調査にご協力いただいた皆様に深く感謝申し上げます。調査にあたり、いろいろとご意見を頂き、提言の作成の参考とさせていただきました。ご意見の内容は様々でしたが、組織が行う調査と異なり、あくまで自主研究ということで、中にはかなり本音のご意見もいただきました。そうした声を拾い上げ、今回のテーマにしました「女性の活躍、働きやすさ、一層の職場環境の向上について」につつまして、少しでも今後の組織の対応に改善に繋がればと思っています。一人一人の声は小さいですが、まとめれば大きな力になると思いますので、今回の調査結果という「声」を、提言として繋いでいきたいと思っています。

今回、女性の活躍については、今後、組織の業務を円滑に進める上では重要な課題となると考えており、そこに組織の維持についての成否がかかってくるのではないかと考えています。ご承知の通り、男性と女性は、生理的にも異なることから、相互の理解が大変重要だと思っています。仕事と家庭の両立が可能となるような仕組みを整備していくことは、「人財」を確保するうえで組織としての責務でもあると思っています。国も、介護・育児休業法を改正するなど、働きやすさを前面に打ち出した対策を進めています。女性が働きやすい職場づくりは、選ばれる組織のポイントの一つになると思います。

また今回、業務過多であるとか超勤が多すぎるとか、忙しい職場におられる方のご意見をたくさんいただきました。おそらく、忙しいのが常態化している職場なのだと思います。ご意見をくださった方々も、かなり疲弊している感じがしてちょっと心配になりました。時として、急に仕事が忙しくなることはあると思いますが、もともと業務量が多く、超勤なども常態化しているようならば、やはり改善を図るべきだと考えます。組織には、「定数」というものがあります。組織の理屈上は簡単に換えられないものだと思いますが、これにとらわれ過ぎて、偏りをなくするための大胆な人事が行なわれないことや、業務過多などにより仕事に耐えられず、職場を離脱される方もおられると思います。それらが積もり積もった状況が、人員不足の本質ではないかと思っています。

人を増やすよりは、超勤の方が人件費を抑制できるかもしれませんが、職員が体調を崩して職場を離脱すれば、結局は実質的な減員になるので、残された人たちが当然フォローしなければならず、更なる疲弊を生み出すことになると思います。業務過多な部署こそ、根本的には人員を増やすべきだと考えます。そして、ワークライフバランスが良好な組織であれば、性別に関わらず選ばれる組織になるのではないかと考えます。

今回の提言で全てを網羅したとは思っておりませんが、選ばれる職場になるために、女性が活躍できること、それは女性員限らず、男性も含めて働きやすくなること、そして働きやすくなるためには、職場環境もよりよくしていかないといけないこと、全て繋がっていると思っています。今回の調査が、今後の組織の取組みに微力ながら貢献できれば幸いです。

最後になりますが、今回のアンケート調査につつまして、稚拙なまとめ方に終始したかもしれませんが、自主研究ということでどうかご容赦いただければと思います。アンケート調査にご協力いただきました皆様、県だけでなく、市町の皆様にもご協力を頂きましたこと、重ねてお礼申し上げます。